



横浜市建築工事特記仕様書(令和6年版)

1 工事名称 (仮称)舞岡墓園管理棟その他新築工事(建築工事)

2 工事場所 戸塚区吉田町1653番1ほか

3 地域・地区 市街化調整区域、基準建蔽率50%、基準容積率80% (第 種高度地区) (・防火 ・準防火 ○指定なし)

4 建物概要  
 (1) 敷地面積 46,920.93㎡  
 (2) 建築面積 346.40㎡  
 (3) 延床面積 299.22㎡  
 (4) 構造 鉄骨造  
 (5) 階数 平屋建て

管理棟新築工事	納骨堂新築工事
外構工事	電気設備工事
植栽工事	衛生設備工事
	空調設備工事
	土木工事

特記仕様書の取り扱い (1) 章、項目は番号に印の付いたものを適用する。  
 (2) 特記事項は ○印の付いたものを適用する。  
 ○印の付かない場合は 印の付いたものを適用する。  
 ○印と ○印の付いた場合は共に適用する。  
 (3) 特記事項(記載の )内の表示番号は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(以下「標仕」という。)の項目番号及び表番号を示す。  
 なお、別、別表は、標仕巻末の参考資料「各部配筋参考図」の図、表を示す。  
 標準的な仕様を示し、特記が必要な場合は・を選択する。

章 項目 特記事項

11 適用基準等 本特記仕様書によるほか下記による。  
 公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和4年版) [令和5年3月改定]  
 国土交通省大臣官房官庁営繕部 建築工事標準詳細図(令和4年版)  
 国土交通省大臣官房官庁営繕部 公共建築木造工事標準仕様書(令和4年版)  
 国土交通省大臣官房官庁営繕部 横浜市建築局建築工事特別仕様書(最新版) (以下「特別仕様書」という。)  
 営繕工事写真撮影要領(令和5年版) 国土交通省大臣官房官庁営繕部

12 施工図等の取扱い 施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

13 設備工事との施工区分 施工範囲  
 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の型枠及びそれらの補強  
 図示した壁、天井上材の切込み及び下地材の補強  
 駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ自動閉鎖装置取付箇所の切込み及び補強  
 ・その他( )

14 工事実績情報サービス(CORINS)への登録 行う ・行わない (1.1.4)  
 コリンズ工事実績情報システムによる「メール送付の承諾」する ・しない

15 建築基準法に基づく区分 建築基準法に基づき定められる風圧区分等  
 ○8章 ・9章 ・10章 ○13章 ○14章 ○16章  
 ○17章 ・23章  
 ○風速 (Vo = 34m/s ・ m/s)  
 ○地表面粗度区分 ( ・ )  
 ○垂直積雪量 ( 30cm ・ cm)

16 電気保安技術者 ・配置する ・配置しない (1.3.3)

17 (1.3.5)(a)以外の施工条件 ・ (1.3.5)

18 施工中の安全確保 横浜市工事安全管理規則による安全管理指定工事 ・指定する(「特別仕様書」第1章8節による) (1.3.7)

19 施工中の環境保全等 ○本工事は「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(平成12年5月31日法第104号)」、「資源の有効な利用の促進に関する法律(平成3年法律第48号)」の対象工事であり、特定建設資材の再資源化等について適切な措置を行う。ただし、工事契約後にやむを得ない事情により予定した条件により難しい場合は、監督員と協議する。  
 工事着手前に再生資源利用計画書、再生資源利用促進計画書及び工事登録証明書(計画書作成時の出力したもの)を提出する。また、上記2つの計画書を工事現場の見やすい場所に掲げる等により公衆の閲覧に供する。工事完成時に再生資源利用実施書、再生資源利用促進実施書及び工事登録証明書(実施書作成時の出力したもの)を提出する。 (1.3.10)

10 発生材の処理等  
 ○再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び施設等 (1.3.11)

特定建設資材廃棄物の種類	再資源化等する施設の名称及び所在地
○コンクリート	○「本市工事に伴い排出する建設副産物の処分要領」で指定する施設
○建設発生木材	○「本市工事に伴い排出する建設副産物の処分要領」で指定する施設
○アスファルト・コンクリート	○「本市工事に伴い排出する建設副産物の処分要領」で指定する施設
○コンクリートおよび鉄からなる建設資材	○建設リサイクル法第13条第1項に基づく書面による ・特別仕様書による

特定建設資材廃棄物以外の発生材の処分

種類	再資源化	所在地
	・する ・しない	
	・する ・しない	

・現場において再利用を図るもの ・有( ) ・無( )  
 ・引渡しを要するもの ・有( ) ・無( )  
 ・特別管理産業廃棄物 ・有( ) ・無( )  
 ・同上処理方法 ・有( ) ・無( )  
 ・建設汚泥の処分 ・有( ) ・無( )  
 建設汚泥の処分については、次のとおりである。  
 ・受入場所 市 区 町 番地  
 ・運搬距離 L = km  
 ・受入条件 時 ~ 時  
 月 日 ~ 月 日 及び日曜、祝日または、 曜日を除く。

11 材料の品質等 本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークのない材料及びその製造業者等は、次の(1)から(6)の事項を満たすものとする。 (1.4.2)  
 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。  
 (2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。  
 (3) 安定的な供給が可能であること。  
 (4) 法令等で定める許可、認可、認定または免許を取得していること。  
 (5) 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。  
 (6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。  
 なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質および性能を有することの証明となる資料、または外部機関が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。  
 また備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品または同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は使用する場合は監督職員の承諾を得ること。

12 木材又は木材を原料とする資材  
 ・木工事に使用する木材又は木材を原料とする資材を使用する場合は、神奈川県産木材又は地域材(関東甲信地方に属する都県及び静岡県で生産された素材等)を利用することとし、使用した材料の種類、産地等を監督職員に報告する。ただし、神奈川県産材又は地域材とすることが困難な場合には、原則として、監督職員の承諾を受けた国産材とする。  
 木材又は木材を原料とする資材を使用する場合は、間伐材や合法性の証明された材を使用する。 (1.4.2)

13 特別な材料の工法 「標仕」に記載されていない特別な工法は、材料製造所の指定する工法とする。

14 空気汚染低減措置  
 適用する ・適用しない (1.4.1)

化学物質	建築材料等	性能
ホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、アセトアルデヒド等	合板 木質系フローリング 構造用パネル 集成材 単板積層材 MDF パーティクルボード その他の木質建材(下地材含) 作り付け家具 作り付け書架 実験台	ホルムアルデヒド放散量は「F」として、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ホルムアルデヒド放散量は「F」として、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ホルムアルデヒド放散量は「F」として、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 ホルムアルデヒド放散量は「F」として、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 また、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシン等を含有しない難揮発性の可塑性剤を使用しているJIS規格品とする。 は併せて、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないJIS規格品とする。 クロロピリホス、ダイアジノン及びフェノカルブを含有しない非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後現場へ搬入する。
	ユリア樹脂	ホルムアルデヒド放散量は「F」として、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。
	壁紙 木工事、内装工事に使用する接着剤 保温材、防露材 緩衝材 断熱材 塗料 仕上塗材	ホルムアルデヒド放散量は「F」として、アセトアルデヒド及びスチレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 は併せて、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないJIS規格品とする。 また、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシン等を含有しない難揮発性の可塑性剤を使用しているJIS規格品とする。 は併せて、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ないJIS規格品とする。 クロロピリホス、ダイアジノン及びフェノカルブを含有しない非有機リン系の薬剤とし、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い、十分乾燥した後現場へ搬入する。

15 技能士  
 適用する ・適用しない (1.4.1)

16 化学物質の濃度測定 実施する ・実施しない (1.5.9)  
 測定対象化学物質、測定方法、測定対象室及び測定箇所は「横浜市建築局所管工事揮発性有機化合物(VOC)等の室内濃度測定マニュアル」(平成27年版)による。

17 中間技術検査 中間技術検査を実施する段階 (1.6.2)  
 ・杭工事 ・鉄筋工事 ・コンクリート工事 ・型枠工事  
 ・鉄骨工事 ・基礎コンクリート打設前 ・2階床コンクリート打設前 ・その他 ( )  
 中間技術検査実施回数  
 1回。ただし、施工状況により、追加する場合がある。

18 完成時の提出図書 作成する (完成図書・保全に関する資料の作成は特別仕様書による) (1.7.1)  
 ・作成しない

19 完成図の様式等 原因の作成方法 CAD ・ (1.7.2)  
 CADデータの提出 提出する ・提出しない

20 完成写真 デジタルデータで提出する (提出方法は営繕工事写真撮影要領に準ずる)  
 ○200万画素(キャビネ判)程度以上  
 ・400万画素(A4判)程度以上  
 ・下記のものを監督員に提出する。  
 ・アルバム・300×300(A4判)・黒表紙金文字を3冊提出 (○施設管理者 ○発注者 ○工事担当課 )  

分類・規格	撮影箇所
カラー	外部 4箇所
キャビネ版	内部 ○各室内観

 ・工事用アルバム A4判 冊提出  

分類・規格	撮影箇所
カラー	外部 4箇所
L版	内部

 完成写真の使用については、横浜市(建物所有者)の発行する印刷物等(広報誌など)に限り、使用を認めるものとする。  
 撮影業者  
 監督員の承諾する撮影業者(建築完成写真撮影の実績のあるもの)とする。  
 ・指定しない

21 電子納品 対象工事とする ○工事記録写真 ○施工図 ○完成図 ・製作図  
 ・打合せ記録 ・その他 ( )  
 ・対象工事としない

22 その他

15 技能士 (1.5.2)

適用工事種別	技能検定の職種
鉄筋工事	・鉄筋施工(鉄筋組立作業)
コンクリート工事	・型枠施工
鉄骨工事	・とび
既製コンクリート工事	・ブロック建築
	・エーエルシーパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事業
	・合成ゴム系シート防水工事業
	・ウレタンゴム系塗膜防水工事業
	・シーリング防水工事業
石工事	・石材施工(石張り作業)
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	・建築板金(内外装板金作業)
金属工事	・内装仕上施工(鋼製下地工事業)
左官工事	・左官
建具工事	・サッシ施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工
	・サッシ施工
	・ガラス施工
塗装工事	・塗装(建築塗装作業)
内装工事	・内装仕上施工(カーベット系床仕上げ工事業)
	・内装仕上施工(ボード仕上げ工事業)
	・畳製作
植栽工事	・造園
	・
	・

16 化学物質の濃度測定 実施する ・実施しない (1.5.9)  
 測定対象化学物質、測定方法、測定対象室及び測定箇所は「横浜市建築局所管工事揮発性有機化合物(VOC)等の室内濃度測定マニュアル」(平成27年版)による。

17 中間技術検査 中間技術検査を実施する段階 (1.6.2)  
 ・杭工事 ・鉄筋工事 ・コンクリート工事 ・型枠工事  
 ・鉄骨工事 ・基礎コンクリート打設前 ・2階床コンクリート打設前 ・その他 ( )  
 中間技術検査実施回数  
 1回。ただし、施工状況により、追加する場合がある。

18 完成時の提出図書 作成する (完成図書・保全に関する資料の作成は特別仕様書による) (1.7.1)  
 ・作成しない

19 完成図の様式等 原因の作成方法 CAD ・ (1.7.2)  
 CADデータの提出 提出する ・提出しない

20 完成写真 デジタルデータで提出する (提出方法は営繕工事写真撮影要領に準ずる)  
 ○200万画素(キャビネ判)程度以上  
 ・400万画素(A4判)程度以上  
 ・下記のものを監督員に提出する。  
 ・アルバム・300×300(A4判)・黒表紙金文字を3冊提出 (○施設管理者 ○発注者 ○工事担当課 )  

分類・規格	撮影箇所
カラー	外部 4箇所
キャビネ版	内部 ○各室内観

 ・工事用アルバム A4判 冊提出  

分類・規格	撮影箇所
カラー	外部 4箇所
L版	内部

 完成写真の使用については、横浜市(建物所有者)の発行する印刷物等(広報誌など)に限り、使用を認めるものとする。  
 撮影業者  
 監督員の承諾する撮影業者(建築完成写真撮影の実績のあるもの)とする。  
 ・指定しない

21 電子納品 対象工事とする ○工事記録写真 ○施工図 ○完成図 ・製作図  
 ・打合せ記録 ・その他 ( )  
 ・対象工事としない

22 その他

<p>仮設工事</p> <p>2 監督員事務所</p> <p>3 監督員事務所の設備、備品</p> <p>4 工事標示板</p> <p>5 工事用水</p> <p>6 工事用電力</p> <p>7 仮囲い</p> <p>8 その他</p>	<p>○ 枠組み足場については、特別仕様書による</p> <p>・ 設ける ○ 設けない (2.3.1)</p> <p>監督員事務所の規模</p> <p>・ 10㎡程度 ・ 20㎡程度 ・ 30㎡程度 ・ ㎡程度</p> <p>・ 机 個 ・ いす 個 ・ 書棚 個 ・ 白板 個 (2.3.1)</p> <p>・ 掛時計 個 ・ 寒暖計 個 ・ ゴム長靴 個</p> <p>・ 雨がっぱ 個 ・ 保護帽 個 ・ 懐中電灯 個</p> <p>・ 安全帯 個 ・ 衣類ロッカー 個 ・ 消火器 個</p> <p>・ 湯沸器 個 ・ 掃除機 個 ・ 冷暖房機器 個</p> <p>・ 請負者加入電話の子機 個</p> <p>※工事現場の適切な場所に「特別仕様書」1.21の標示板を設ける。(900mm×180mm、白地にゴシック黒文字) (2.3.1)</p> <p>構内既存施設 ※利用できない ・利用できる(・有償 ・無償)</p> <p>構内既存施設 ※利用できない ・利用できる(・有償 ・無償)</p> <p>○ 位置・仕様については参考図を参照のこと。</p>	<p>6 場所打ちコンクリート杭地業</p> <p>セメントの種類 ※高炉セメントB種 (4.5.4)</p> <p>コンクリートの設計基準強度 (Fc) N/mm2 (4.5.4)</p> <p>コンクリートの種別 ※A種 ・ B種 (4.5.4) (表4.5.1)</p> <p>構造体強度補正值 (S) (4.5.6)に規定する工法を用いる場合は、当該工法による (4.5.4)</p> <p>※3N/mm2</p> <p>鉄筋</p> <p>・ 帯筋の加工及び組立 ※図面による (4.5.4)</p> <p>・ 鉄筋かごの補強 ※図面による</p> <p>・ 鉄筋の最小かぶり厚さ ※図面による</p> <p>工法の適用 (4.5.1)</p> <p>・ アースドリル工法 (※安定液使用 ・ 無水掘削)</p> <p>・ リバース工法</p> <p>・ オールケーシング工法</p> <p>・ 場所打ち鋼管コンクリート杭工法 (4.5.6)</p> <p>・ 掘削工法 (※安定液使用)</p> <p>・ 孔壁の超音波測定器による確認を行う (4.5.5)</p> <p>支持層の位置及び土質 ※図面による (4.5.5)</p> <p>支持層への根入れ長さ ※図面による (4.5.5)</p> <p>水平方向の位置ずれの精度 mm以内 (4.5.5)</p> <p>○ 砂利地業 ※再生クラッシュラン (4.6.2)</p> <p>・ 砂地業 ・ 切込砂利 ・ 切込砕石</p> <p>・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕石</p> <p>※厚み 60mm ○ 100mm (4.6.3)</p> <p>※厚み 50mm (4.6.4)</p> <p>適用範囲 ※図面による (4.6.5)</p> <p>※特別仕様書による (4.3.9) (4.4.7) (4.5.8) (4.6.6)</p>	<p>① コンクリートの強度</p> <p>※普通コンクリート (6.2.2) (表6.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc (N/mm2)</th> <th>スランブ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○21</td> <td>○18</td> <td>土間コン、押えコン</td> </tr> <tr> <td>○24</td> <td>○18</td> <td>躯体</td> </tr> </table> <p>※構造体強度補正は特別仕様書による</p> <p>・ 軽量コンクリート ※1種 ・ 2種 (6.10.1) (表6.10.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc (N/mm2)</th> <th>スランブ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・ 無筋コンクリート (6.14.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度 Fc (N/mm2)</th> <th>スランブ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・15</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・18</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>※I類 ・ II類 (6.2.1)</p> <p>・ 建築基準法第37条第二号に「規定する国土交通大臣の認定を受けたコンクリート</p> <p>・ 合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5) (表6.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○ B種</td> <td>外壁・内壁</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・ コンクリートの仕上りの平たんさ (表6.2.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・ a種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ b種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ c種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>※普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントのA種 (6.3.1)</p> <p>○ 高炉セメントB種</p> <p>高炉セメントB種の適用箇所 (捨てコン)</p> <p>フライアッシュセメントB種の適用箇所 ( )</p> <p>フェロニッケルスラグ細骨材等 ・ 使用する ・ 使用しない</p> <p>砕石等のアルカリシリカ反応による区分 ※A</p>	設計基準強度 Fc (N/mm2)	スランブ	施工箇所	○21	○18	土間コン、押えコン	○24	○18	躯体	設計基準強度 Fc (N/mm2)	スランブ	施工箇所	・	・	・	設計基準強度 Fc (N/mm2)	スランブ	施工箇所	・	・15	・	・	・18	・	種別	施工箇所	・ A種	・	○ B種	外壁・内壁	・ C種	・	種別	施工箇所	・ a種	・	・ b種	・	・ c種	・	<p>⑧ 溶接部の試験</p> <p>AOQL (平均出検品質限界) ※4.0% ・ 2.5% (7.6.12)</p> <p>検査水準 ※第6水準 (7.6.12) (表7.6.2~7.6.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>試験の種類</th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td>※超音波探傷試験</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>※外観検査</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>9 量付付加試験 (7.6.3)</p> <p>10 デッキプレートと鉄骨部材の溶接 (7.7.8)</p> <p>11 塗料の種類 特記により塗装を行う場合等の耐火被覆材の接着面 (7.8.4) に行う錆止め塗料 ( )</p> <p>12 耐火被覆 (7.9.2~7.9.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>性能</th> </tr> <tr> <td>・ ラス張りモルタル塗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火材吹付け</td> <td>・ 乾式吹付ロックウール</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 半乾式吹付ロックウール</td> </tr> <tr> <td>・ 耐火板張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火材巻付け</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 耐火塗料塗</td> <td></td> </tr> </table> <p>⑬ アンカーボルト等 (7.2.4) (7.10.3) (表7.2.3) (表7.10.1)</p> <p>○ 構造用アンカーボルトの種類、形状及び寸法 ※図面による</p> <p>○ 建方用アンカーボルトの種類、保持及び埋込み工法 (・A種 ※B種)</p> <p>○ 公差域クラス、仕上げの程度 ※図面による ・ 表7.2.3による</p> <p>⑭ ターンバックル等 (7.2.6)</p> <p>ターンバックルの種類及びねじの呼び径 ※図面による</p> <p>デッキプレート版の材質、形状及び寸法 (7.2.7) ※図面による</p> <p>⑮ 柱底均しモルタル (7.2.9) (7.10.3) (表7.10.2)</p> <p>工法及びモルタル厚さ</p> <p>※A種 (※50mm )</p> <p>○ B種 (※30mm )</p> <p>・ 無収縮モルタル</p> <p>※7.2.9 (2) による</p> <p>16 融融垂鉛めつき高力ボルト接合 (7.12.5)</p> <p>※摩擦面の処理</p> <p>※プラスト処理 (すべり係数値0.4以上、表面粗度50 μmRz以上)</p> <p>・ りん酸塩処理 (確認方法: )</p> <p>17 その他</p>	試験の種類			※超音波探傷試験			※外観検査			種別	性能	・ ラス張りモルタル塗		・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付ロックウール		・ 半乾式吹付ロックウール	・ 耐火板張り		・ 耐火材巻付け		・ 耐火塗料塗							
設計基準強度 Fc (N/mm2)	スランブ	施工箇所																																																																							
○21	○18	土間コン、押えコン																																																																							
○24	○18	躯体																																																																							
設計基準強度 Fc (N/mm2)	スランブ	施工箇所																																																																							
・	・	・																																																																							
設計基準強度 Fc (N/mm2)	スランブ	施工箇所																																																																							
・	・15	・																																																																							
・	・18	・																																																																							
種別	施工箇所																																																																								
・ A種	・																																																																								
○ B種	外壁・内壁																																																																								
・ C種	・																																																																								
種別	施工箇所																																																																								
・ a種	・																																																																								
・ b種	・																																																																								
・ c種	・																																																																								
試験の種類																																																																									
※超音波探傷試験																																																																									
※外観検査																																																																									
種別	性能																																																																								
・ ラス張りモルタル塗																																																																									
・ 耐火材吹付け	・ 乾式吹付ロックウール																																																																								
	・ 半乾式吹付ロックウール																																																																								
・ 耐火板張り																																																																									
・ 耐火材巻付け																																																																									
・ 耐火塗料塗																																																																									
<p>③ 土工事</p> <p>① 埋戻し及び盛土</p> <p>② 建設発生土の処理</p> <p>③ 山留めの撤去</p> <p>4 その他</p>	<p>種類 ※B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3) (表3.2.1)</p> <p>※指定処分 (幸浦中継所) (3.2.5)</p> <p>・ 確認処分</p> <p>・ 再利用 ( )</p> <p>・ 構内指示の場所に堆積</p> <p>・ 構内指示の場所に敷き均し</p> <p>※存置しない ・ 存置する (3.3.3)</p> <p>抜き跡の処理</p> <p>※地盤の変形を防止する適切な措置を講ずる</p>	<p>⑦ 砂利及び砂地業</p> <p>⑧ 捨コンクリート地業</p> <p>⑨ 床下防湿層</p> <p>⑩ 施工記録</p> <p>11 その他</p> <p>⑤ 鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径</th> </tr> <tr> <td>○ SD295</td> <td>※D16以下</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○ SD345</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td>・ SD390</td> <td>※D29以上</td> </tr> </table> <p>② 溶接金網 形状、寸法及び径 ※図面による (5.2.2)</p> <p>③ 鉄筋の継手 D19mm以上の柱、梁の主筋 (5.3.4)</p> <p>※ガス圧接 ※重ね継手 ・ 機械式継手</p> <p>柱及び梁の主筋重ね継手長さ (5.3.4) (表5.3.2)</p> <p>※耐力壁の場合40dと表5.3.2の重ね継手長さのうち大きい値</p> <p>鉄筋の定着長さ (5.3.4)</p> <p>※表5.3.4による ・ 図面による</p> <p>先組み工法等 (5.3.4)</p> <p>・ 柱、梁の主筋の継手を同一箇所にはける</p> <p>④ 鉄筋の最小かぶり厚さ (5.3.5)</p> <p>※表5.3.6による ・ 図面による</p> <p>塩害を受けるおそれのある部分 mm (5.3.5) (表5.3.6)</p> <p>耐久性上不利な箇所 (5.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表5.3.6の値に加える寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁、壁及び底などの</td> <td>※10</td> </tr> <tr> <td>外気に接する打放し面</td> <td>・ 20</td> </tr> </table> <p>⑤ 帯筋組立の形及び割付け ※図面による (別2.2)</p> <p>⑥ 壁開口部の補強</p> <p>一般壁 (別4.4) (別表4.3) (別表4.4)</p> <p>・ A形 ※B形 ○ 図面による</p> <p>耐震壁 ※図面による</p> <p>⑦ 梁貫通孔の補強形式 ※H形 ・ M形 ・ MH形 (別7.1) (別表7.1~7.3)</p> <p>⑧ 圧接完了後の圧接部の試験 ※外観試験 ※超音波探傷試験 ・ 引張試験 (5.4.10)</p> <p>9 機械式継手</p> <p>・ ねじ節継手 ・ 端部ねじ節継手</p> <p>工法 ( ) ・ 品質の確認方法 ( )</p> <p>施工完了後の継手部の試験</p> <p>※外観試験 ※超音波探傷試験 (5.5.5)</p> <p>不良となった継手の修正方法</p> <p>※ (1.2.2) [施工計画書]による品質計画で定める</p> <p>10 溶接継手</p> <p>工法 ( ) ・ 品質の確認方法 ( ) (5.6.3)</p> <p>施工完了後の溶接部の試験</p> <p>※外観試験 ※超音波探傷試験 (5.6.5)</p> <p>不良となった継手の修正方法</p> <p>※ (1.2.2) [施工計画書]による品質計画で定める</p> <p>11 その他</p>	種類の記号	呼び径	○ SD295	※D16以下	・	・	○ SD345	※D19以上	・ SD390	※D29以上	施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法 (mm)	柱、梁、壁及び底などの	※10	外気に接する打放し面	・ 20	<p>④ セメントの材料</p> <p>⑤ 混和材料</p> <p>混和剤 ※AE剤 ・ AE減水剤 ・ 高性能AE減水剤</p> <p>混和材 ・ フライアッシュ (・ I ・ )</p> <p>・ 高炉スラグ ※監督員の承諾を受ける (6.3.1) (6.3.2)</p> <p>上記以外の混和材</p> <p>⑥ 打継ぎ</p> <p>目地の寸法 (6.6.4)</p> <p>※図面による</p> <p>⑦ 型枠</p> <p>外部に面するコンクリート打放し仕上げの打増し厚さ (6.8.1)</p> <p>※図面による</p> <p>ひび割れ誘発目地 (6.8.1)</p> <p>位置 ※図面による</p> <p>形状及び寸法 ※図面による</p> <p>せき板の材料 ( ) (6.8.2)</p> <p>せき板の材料を合板とした場合の厚み ※12mm (6.8.2)</p> <p>せき板の材料を断熱材を兼用した型枠材 ・ 使用する (6.8.2)</p> <p>MCR工法用シート ・ 使用する (6.8.2)</p> <p>8 その他</p>	<p>① 埋戻し及び盛土 (3.2.3) (表3.2.1)</p> <p>② 建設発生土の処理 (3.2.5)</p> <p>③ 山留めの撤去 (3.3.3)</p> <p>④ 試験杭 (4.2.2)</p> <p>位置、本数及び寸法 ※図面による</p> <p>⑤ 杭の載荷試験 (4.2.3)</p> <p>・ 鉛直載荷試験 ・ 水平載荷試験</p> <p>・ 載荷荷重 MN</p> <p>・ 報告書の記載事項等 ( )</p> <p>⑥ 地盤の載荷試験 (4.2.4)</p> <p>○ 適用する</p> <p>位置及び載荷荷重 ※図面による</p> <p>・ 報告書の記載事項等 ( )</p> <p>○ 試験の方法 (静的貫入試験)</p> <p>⑦ 既製コンクリート杭地業 (4.3.1) (4.3.2)</p> <p>種類、性能及び曲げ強度 ※図面による</p> <p>杭の寸法、継手の箇所数、杭先端部の形状 ※図面による</p> <p>杭頭の処理 ※切断しない (4.3.8)</p> <p>先端部形状 ※開放形 ・ 閉そく平たん形 (4.3.3)</p> <p>工法の適用 (4.3.3~4.3.6)</p> <p>・ 特定埋込杭工法 (建築基準法に基づく埋込杭工法とし、杭材料は指定又は認定条件に適合するもの)</p> <p>・ 水平方向の位置ずれの精度 mm以内</p> <p>・ 支持地盤の位置及び種類 ※図面による</p> <p>杭の継手 ・ アーク溶接</p> <p>・ 機械式継手 ( 工法)</p> <p>・ セメントミルク工法</p> <p>・ 支持地盤の位置、種類及び掘削深さ ※図面による</p> <p>・ 支持地盤への根入れ長さ ※図面による</p> <p>・ 水平方向の位置ずれの精度 mm以内</p> <p>⑧ 鋼杭地業 (4.4.1) (4.4.3) (4.4.5)</p> <p>工法の適用</p> <p>・ 打込み工法 ・ 特定埋込杭工法</p> <p>材料</p> <p>・ SKK400</p> <p>先端部形状 ※開放形</p> <p>継手の工法</p> <p>※アーク溶接</p> <p>・ 機械式継手 ( 工法)</p>																																																					
種類の記号	呼び径																																																																								
○ SD295	※D16以下																																																																								
・	・																																																																								
○ SD345	※D19以上																																																																								
・ SD390	※D29以上																																																																								
施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法 (mm)																																																																								
柱、梁、壁及び底などの	※10																																																																								
外気に接する打放し面	・ 20																																																																								
<p>④ 地業工事</p> <p>1 試験杭</p> <p>2 杭の載荷試験</p> <p>③ 地盤の載荷試験</p> <p>4 既製コンクリート杭地業</p> <p>5 鋼杭地業</p>	<p>① 鉄筋の種類 (5.2.1) (表5.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径</th> </tr> <tr> <td>○ SD295</td> <td>※D16以下</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○ SD345</td> <td>※D19以上</td> </tr> <tr> <td>・ SD390</td> <td>※D29以上</td> </tr> </table> <p>② 溶接金網 形状、寸法及び径 ※図面による (5.2.2)</p> <p>③ 鉄筋の継手 D19mm以上の柱、梁の主筋 (5.3.4)</p> <p>※ガス圧接 ※重ね継手 ・ 機械式継手</p> <p>柱及び梁の主筋重ね継手長さ (5.3.4) (表5.3.2)</p> <p>※耐力壁の場合40dと表5.3.2の重ね継手長さのうち大きい値</p> <p>鉄筋の定着長さ (5.3.4)</p> <p>※表5.3.4による ・ 図面による</p> <p>先組み工法等 (5.3.4)</p> <p>・ 柱、梁の主筋の継手を同一箇所にはける</p> <p>④ 鉄筋の最小かぶり厚さ (5.3.5)</p> <p>※表5.3.6による ・ 図面による</p> <p>塩害を受けるおそれのある部分 mm (5.3.5) (表5.3.6)</p> <p>耐久性上不利な箇所 (5.3.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表5.3.6の値に加える寸法 (mm)</th> </tr> <tr> <td>柱、梁、壁及び底などの</td> <td>※10</td> </tr> <tr> <td>外気に接する打放し面</td> <td>・ 20</td> </tr> </table> <p>⑤ 帯筋組立の形及び割付け ※図面による (別2.2)</p> <p>⑥ 壁開口部の補強</p> <p>一般壁 (別4.4) (別表4.3) (別表4.4)</p> <p>・ A形 ※B形 ○ 図面による</p> <p>耐震壁 ※図面による</p> <p>⑦ 梁貫通孔の補強形式 ※H形 ・ M形 ・ MH形 (別7.1) (別表7.1~7.3)</p> <p>⑧ 圧接完了後の圧接部の試験 ※外観試験 ※超音波探傷試験 ・ 引張試験 (5.4.10)</p> <p>9 機械式継手</p> <p>・ ねじ節継手 ・ 端部ねじ節継手</p> <p>工法 ( ) ・ 品質の確認方法 ( )</p> <p>施工完了後の継手部の試験</p> <p>※外観試験 ※超音波探傷試験 (5.5.5)</p> <p>不良となった継手の修正方法</p> <p>※ (1.2.2) [施工計画書]による品質計画で定める</p> <p>10 溶接継手</p> <p>工法 ( ) ・ 品質の確認方法 ( ) (5.6.3)</p> <p>施工完了後の溶接部の試験</p> <p>※外観試験 ※超音波探傷試験 (5.6.5)</p> <p>不良となった継手の修正方法</p> <p>※ (1.2.2) [施工計画書]による品質計画で定める</p> <p>11 その他</p>	種類の記号	呼び径	○ SD295	※D16以下	・	・	○ SD345	※D19以上	・ SD390	※D29以上	施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法 (mm)	柱、梁、壁及び底などの	※10	外気に接する打放し面	・ 20	<p>⑦ 鉄骨製作工場 (7.1.3)</p> <p>・ 監督員の承諾する製作工場 (7.1.3)</p> <p>※ (株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構が「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(・S ・ H ○ M ○ R ・ J)グレード」として評価し、その評価を基に国土交通大臣が認定した工場</p> <p>⑧ 施工管理技術者 (7.1.4)</p> <p>○ 適用する</p> <p>3 仮組 ・ 実施する (7.3.10)</p> <p>⑨ 工作図 (7.3.2)</p> <p>高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端処理等</p> <p>○ 図面による</p> <p>⑩ 鋼材 (7.2.1)</p> <p>材質、形状及び寸法</p> <p>※図面による</p> <p>・ 板厚方向に引張力を受ける鋼板の材料試験 (JIS G 0901) (7.2.10)</p> <p>開先の形状 ・ 図面による (7.6.4)</p> <p>⑪ エンドタブ (7.6.7) (7.6.7)</p> <p>○ エンドタブの切断</p> <p>適用箇所 (※図面による )</p> <p>※形状は図面による</p> <p>⑫ 高力ボルト (7.2.2) (7.12.4)</p> <p>高力ボルト</p> <p>※トルシア形高力ボルト (7.2.2) (7.12.4)</p> <p>・ JIS形高力ボルト (2種 (F10T))</p> <p>・ 溶接垂鉛めつき高力ボルト (1種 (F8T相当))</p> <p>・ すべり係数試験 (試験方法 (試験片の摩擦面の状態) ) (7.4.2)</p> <p>普通ボルト (7.2.3) (表7.2.3)</p> <p>※ボルト 図面による</p> <p>※ナット 図面による</p> <p>・ 表7.2.3による</p>	<p>⑧ 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) (8.2.3)</p> <p>種類及び正味厚さ ※空洞ブロックC(16)</p> <p>モルタルの割合 (8.2.4)</p> <p>・ 「標仕」表8.2.1による</p> <p>コンクリートの割合 (8.2.4)</p> <p>・ 「標仕」表8.2.2による</p> <p>・ コンクリート設計基準強度 (Fc) ※21N/mm2以上</p> <p>各部の配筋 ※図面による (8.2.5)</p> <p>⑨ コンクリートブロック帳壁及び塀 (8.3.2) (表8.3.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>断面形状及び圧縮強さによる区分</th> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁</td> <td>※空洞ブロックC (16)</td> </tr> <tr> <td>・ 地下二重壁</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 外壁</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 塀</td> <td>・ 化粧無し ※空洞ブロックC (16)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 化粧有り</td> </tr> </table> <p>各部の配筋 ※図面による (8.3.4)</p> <p>⑩ ALCパネル (8.4.2~7) (表8.4.2~4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>単位荷重 (N/m2)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>長さ (mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>取付構法</th> </tr> <tr> <td>・ 外壁パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ 間仕切壁パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ B種</td> </tr> <tr> <td>○ 間仕切壁パネル構法</td> <td>・</td> <td>○100</td> <td>・</td> <td>○1H</td> <td>○C種</td> </tr> <tr> <td>・ 屋根パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ D種</td> </tr> <tr> <td>・ 床パネル構法</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ E種</td> </tr> <tr> <td>○ 床パネル構法</td> <td>・</td> <td>○100</td> <td>・</td> <td>○1H</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・ 外壁パネル構法の採用 (8.4.3)</p> <p>耐風性能 ※図面による</p> <p>○ パネル幅の最小限度 ※300mm</p> <p>・ 出隅、入隅の接合部、他部材との接合部</p> <p>目地幅 mm ・ 図面による</p> <p>○ 伸縮目地に耐火目地材を充填する</p>	適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分	・ 間仕切壁	※空洞ブロックC (16)	・ 地下二重壁	・	・ 外壁	・	・ 塀	・ 化粧無し ※空洞ブロックC (16)		・ 化粧有り	種類	単位荷重 (N/m2)	厚さ (mm)	長さ (mm)	耐火性能	取付構法	・ 外壁パネル構法	・	・	・	・	・ A種	・ 間仕切壁パネル構法	・	・	・	・	・ B種	○ 間仕切壁パネル構法	・	○100	・	○1H	○C種	・ 屋根パネル構法	・	・	・	・	・ D種	・ 床パネル構法	・	・	・	・	・ E種	○ 床パネル構法	・	○100	・	○1H	・
種類の記号	呼び径																																																																								
○ SD295	※D16以下																																																																								
・	・																																																																								
○ SD345	※D19以上																																																																								
・ SD390	※D29以上																																																																								
施工箇所	表5.3.6の値に加える寸法 (mm)																																																																								
柱、梁、壁及び底などの	※10																																																																								
外気に接する打放し面	・ 20																																																																								
適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分																																																																								
・ 間仕切壁	※空洞ブロックC (16)																																																																								
・ 地下二重壁	・																																																																								
・ 外壁	・																																																																								
・ 塀	・ 化粧無し ※空洞ブロックC (16)																																																																								
	・ 化粧有り																																																																								
種類	単位荷重 (N/m2)	厚さ (mm)	長さ (mm)	耐火性能	取付構法																																																																				
・ 外壁パネル構法	・	・	・	・	・ A種																																																																				
・ 間仕切壁パネル構法	・	・	・	・	・ B種																																																																				
○ 間仕切壁パネル構法	・	○100	・	○1H	○C種																																																																				
・ 屋根パネル構法	・	・	・	・	・ D種																																																																				
・ 床パネル構法	・	・	・	・	・ E種																																																																				
○ 床パネル構法	・	○100	・	○1H	・																																																																				
<p>横浜市建築局</p> <p>工事名 (仮称)舞岡墓園管理棟その他新築工事 (建築工事)</p> <p>図面名称 建築工事特記仕様書(その2)</p> <p>年月日 R7.03 縮尺 NO.SCALE</p> <p>設 計 者 株式会社 協和建築設計事務所</p> <p>1級建築士登録第282011号 児嶋 為一</p>		<p>図面番号</p> <p>棟番号</p> <p>完成年度</p> <p>図面種類</p> <p>固有番号</p> <p>図面番号</p> <p>A-03</p>																																																																							

4 押出成形セメント板 (ECP)	(8.5.2~8.5.4) (表8.5.1) (表8.5.2)	<table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>取付工法種別</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td>・外壁パネル工法</td> <td>※フラットパネル ・デザインパネル (図面による) ・タイルベースパネル</td> <td>・50 ・60</td> <td>・A種 ・B種</td> <td>※有り ( ) ・無し</td> </tr> <tr> <td>・間仕切壁パネル工法</td> <td>※フラットパネル ・デザインパネル (図面による) ・タイルベースパネル</td> <td>・60</td> <td>・B種 ・C種</td> <td>※有り ( ) ・無し</td> </tr> </table> <p>・外壁パネル工法の採用 (8.5.3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風圧力に対応した工法 ( )</li> <li>・パネル幅の最小限度 ※300mm</li> <li>・出隅、入隅の接合部、他部材との接合部目地幅 mm 図面による</li> </ul> <p>パネルに欠き込み等を行う場合の限度</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>開口の大きさ</td> <td>切断後のパネルの残り部分の幅</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">パネルに開口を設ける場合</td> <td>短辺</td> <td>※パネル幅の1/2以下かつ300mm以下</td> </tr> <tr> <td>長辺</td> <td>※500mm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">パネルを切り欠く場合</td> <td>短辺</td> <td>※(パネル幅-300mm)以下</td> </tr> <tr> <td>長辺</td> <td>※500mm以下</td> </tr> </table>	施工箇所	表面形状	厚さ (mm)	取付工法種別	耐火性能	・外壁パネル工法	※フラットパネル ・デザインパネル (図面による) ・タイルベースパネル	・50 ・60	・A種 ・B種	※有り ( ) ・無し	・間仕切壁パネル工法	※フラットパネル ・デザインパネル (図面による) ・タイルベースパネル	・60	・B種 ・C種	※有り ( ) ・無し		開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅	パネルに開口を設ける場合	短辺	※パネル幅の1/2以下かつ300mm以下	長辺	※500mm以下	パネルを切り欠く場合	短辺	※(パネル幅-300mm)以下	長辺	※500mm以下	<p>④ 塗膜防水</p> <p>5 ケイ酸質系塗布防水</p> <p>⑥ シーリング</p> <p>7 その他</p>	<p>断熱工法に用いる断熱材 (9.4.2)</p> <p>材質 ※発泡プラスチック (JIS A 9521)</p> <p>厚さ mm</p> <p>(9.5.3) (表9.5.1) (表9.5.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○X-1</td> <td></td> <td>仕上げ塗料塗り</td> </tr> <tr> <td>○X-2</td> <td></td> <td>・シルバー ・カラー</td> </tr> <tr> <td>・Y-1</td> <td>地下外壁防水</td> <td>Y-2工法の保護層</td> </tr> <tr> <td>・Y-2</td> <td>屋内防水</td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> <p>・種別X-1 脱気装置 ・設ける 材質 ( ) 設置数量 ( m当たり1箇所)</p> <p>(9.6.1~9.6.4) (表9.6.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用部位</th> </tr> <tr> <td>※C-SU1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C-SUP</td> <td></td> </tr> </table> <p>・「標仕」9.6.4以外に定める下地処理 (9.6.4) ・行う ( )</p> <p>下表以外は、「標仕」表9.7.11による (9.7.2) (表9.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> </table> <p>目地寸法 (9.7.3) ※「標仕」9.7.3(a)による 接着性試験 (9.7.5) ※簡易接着性試験</p>	種別	施工箇所	備考	○X-1		仕上げ塗料塗り	○X-2		・シルバー ・カラー	・Y-1	地下外壁防水	Y-2工法の保護層	・Y-2	屋内防水	・適用する ・適用しない	種別	適用部位	※C-SU1		・C-SUP		施工箇所	シーリング材の種類(記号)	図示	図示	<p>5 特殊部位の石張り</p> <p>工法 ・湿式工法 ・乾式工法 (10.7.2) (10.7.3)</p> <p>石材の厚さ ・有効厚さ mm以上</p> <p>石裏面処理 ・行う ・行わない</p> <p>裏打ち処理 ・行う ・行わない</p> <p>目地幅 ※6mm以上</p> <p>伸縮調整目地の位置 ※他部位との取り合い部</p> <p>施工箇所 ※図面による</p> <p>⑥ 取付け金物 (10.2.2)</p> <p>外壁湿式工法、内壁空積工法用金物 (10.2.2)</p> <p>○受金物 ※SUS304 L-75*75*6(mm)、100mm又は150mm</p> <p>・図面による</p> <p>・引金物緊結用鉄筋(流し鉄筋) (5.2.1)</p> <p>外壁乾式工法用金物 (10.2.4) 適用する 図面による</p> <p>特殊部位用金物</p> <p>引金物、だば、かすがい (10.2.2 (1))</p> <p>※ファスナー</p> <p>※図面による ・スライド方式 ・ロッキング方式</p> <p>吊金物、化粧吊ボルト、受金物</p> <p>※図面による</p> <p>アンカー</p> <p>外壁湿式工法、内壁空積工法 ※SS400</p> <p>外壁乾式工法、特殊部位 ※ステンレス (SUS304)</p> <p>寸法 ※図面による</p> <p>あと施工アンカー (14.1.3[工法](1))</p> <p>※図面による</p> <p>金物の固定に使用する充填材料 (10.2.3)</p> <p>※石材施工業者の指定する製品</p> <p>7 その他</p>	<p>①一般事項</p> <p>木工事</p> <p>②材料</p> <p>表面仕上げ (12.1.4)</p> <p>プレーナー加工のうえ超自動機械かんな、サンダー等により、使用箇所、樹種、仕上げ等に適したものとす</p> <p>適用箇所 図面による</p> <p>含水率 ※A種 ・B種 (12.2.1) (表12.2.1)</p> <p>製材 (12.2.1(2))</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>JAS1083 (製材) による製材</p> <p>・下地用針葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状 (耳付材・押角)</th> <th>含水率 (%)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> </table> <p>・造作用針葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状 (板類・角類)</th> <th>含水率 (%)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・上小節 ・小節以上</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> </table> <p>・広葉樹製材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>保存処理及び材面の寸法</th> <th>含水率 (%)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> <td></td> <td>※10% ・</td> </tr> </table> <p>JAS1083 (製材) 以外の製材</p> <p>・下地、造作及び仕上げ用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率 (%)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> </table> <p>○造作材の品質 (表12.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>部材名称</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>生地のまま又は透明塗料塗り</td> <td>枠、額縁、敷居、かもし、かまちの類</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>不透明塗料塗り</td> <td>押入、戸棚等の内面造作の類</td> <td>小節</td> </tr> </table> <p>造作用集成材 (12.2.1(3))</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <p>・造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>見付け材面数</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> </tr> </table> <p>・化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>樹種 (化粧薄板・芯材)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> </tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <p>・造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> <p>・化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種 (化粧薄板・芯材)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> <p>造作用単板積層材 (12.2.1(4))</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>・JAS0701 (単板積層材) による造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	樹種	寸法 (mm)	等級	形状 (耳付材・押角)	含水率 (%)			※2級		※A種 ・B種	樹種	寸法 (mm)	等級	形状 (板類・角類)	含水率 (%)			・上小節 ・小節以上		※A種 ・B種	樹種	寸法 (mm)	等級	保存処理及び材面の寸法	含水率 (%)			※1等		※10% ・	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率 (%)					※A種 ・B種	使用箇所	部材名称	種別	生地のまま又は透明塗料塗り	枠、額縁、敷居、かもし、かまちの類	※A種 ・B種	不透明塗料塗り	押入、戸棚等の内面造作の類	小節	品名	樹種	見付け材面数	寸法 (mm)	見付け材面の品質					※1等	品名	樹種 (化粧薄板・芯材)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	寸法 (mm)	見付け材面の品質						※1等	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率				※15%以下	樹種 (化粧薄板・芯材)	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率					※15%以下	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	備考					
	施工箇所	表面形状	厚さ (mm)	取付工法種別	耐火性能																																																																																																																																																									
・外壁パネル工法	※フラットパネル ・デザインパネル (図面による) ・タイルベースパネル	・50 ・60	・A種 ・B種	※有り ( ) ・無し																																																																																																																																																										
・間仕切壁パネル工法	※フラットパネル ・デザインパネル (図面による) ・タイルベースパネル	・60	・B種 ・C種	※有り ( ) ・無し																																																																																																																																																										
	開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅																																																																																																																																																												
パネルに開口を設ける場合	短辺	※パネル幅の1/2以下かつ300mm以下																																																																																																																																																												
	長辺	※500mm以下																																																																																																																																																												
パネルを切り欠く場合	短辺	※(パネル幅-300mm)以下																																																																																																																																																												
	長辺	※500mm以下																																																																																																																																																												
種別	施工箇所	備考																																																																																																																																																												
○X-1		仕上げ塗料塗り																																																																																																																																																												
○X-2		・シルバー ・カラー																																																																																																																																																												
・Y-1	地下外壁防水	Y-2工法の保護層																																																																																																																																																												
・Y-2	屋内防水	・適用する ・適用しない																																																																																																																																																												
種別	適用部位																																																																																																																																																													
※C-SU1																																																																																																																																																														
・C-SUP																																																																																																																																																														
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																																																																																																																													
図示	図示																																																																																																																																																													
樹種	寸法 (mm)	等級	形状 (耳付材・押角)	含水率 (%)																																																																																																																																																										
		※2級		※A種 ・B種																																																																																																																																																										
樹種	寸法 (mm)	等級	形状 (板類・角類)	含水率 (%)																																																																																																																																																										
		・上小節 ・小節以上		※A種 ・B種																																																																																																																																																										
樹種	寸法 (mm)	等級	保存処理及び材面の寸法	含水率 (%)																																																																																																																																																										
		※1等		※10% ・																																																																																																																																																										
樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率 (%)																																																																																																																																																										
				※A種 ・B種																																																																																																																																																										
使用箇所	部材名称	種別																																																																																																																																																												
生地のまま又は透明塗料塗り	枠、額縁、敷居、かもし、かまちの類	※A種 ・B種																																																																																																																																																												
不透明塗料塗り	押入、戸棚等の内面造作の類	小節																																																																																																																																																												
品名	樹種	見付け材面数	寸法 (mm)	見付け材面の品質																																																																																																																																																										
				※1等																																																																																																																																																										
品名	樹種 (化粧薄板・芯材)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	寸法 (mm)	見付け材面の品質																																																																																																																																																									
					※1等																																																																																																																																																									
樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																											
			※15%以下																																																																																																																																																											
樹種 (化粧薄板・芯材)	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																										
				※15%以下																																																																																																																																																										
品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	備考																																																																																																																																																										
5 その他																																																																																																																																																														

⑨ 防水工事	(9.2.2) (9.2.3) (表9.2.3~表9.2.8)	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○E-2</td> <td>トイレ床</td> </tr> </table> <p>押え金物 (9.2.2)</p> <p>材質 ※アルミニウム製</p> <p>形状寸法 ※L-30×15×2.0(mm) 図面による</p> <p>屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材 (9.2.2)</p> <p>材質 ※押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA (スキム層付き) (JIS A 9521)</p> <p>厚さ mm</p> <p>屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材 (9.2.2)</p> <p>材質 ※発泡プラスチック (JIS A 9521)</p> <p>厚さ mm</p> <p>絶縁用シート (9.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>材料</th> </tr> <tr> <td>屋根保護防水密着工法</td> <td>・「リフレノム」(厚さ0.15mm以上) ・「リフレノ」 ・「リフレ」等を平織りしたフラットクロス (70g/m程度)</td> </tr> <tr> <td>屋根保護防水絶縁工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋根保護防水密着断熱工法</td> <td>※「リフレノ」 ・「リフレ」等を平織りしたフラットクロス (70g/m程度)</td> </tr> <tr> <td>屋根保護防水絶縁断熱工法</td> <td></td> </tr> </table> <p>立上り部の保護工法 図面による (9.2.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乾式保護材の材料 ( ) (9.2.5)</li> <li>・屋上排水溝の設置 図面による (9.2.5)</li> </ul>	種別	施工箇所	○E-2	トイレ床	工法	材料	屋根保護防水密着工法	・「リフレノム」(厚さ0.15mm以上) ・「リフレノ」 ・「リフレ」等を平織りしたフラットクロス (70g/m程度)	屋根保護防水絶縁工法		屋根保護防水密着断熱工法	※「リフレノ」 ・「リフレ」等を平織りしたフラットクロス (70g/m程度)	屋根保護防水絶縁断熱工法		<p>①天然石張り</p> <p>石材の割付 ※「標仕」10.1.3 (10.1.3)</p> <p>石材の加工 ・粗面仕上げ (10.1.3)</p> <p>石の種類・形状・寸法・表面仕上げ (10.2.1) (表10.2.1) (表10.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>表面仕上げ</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td>図示</td> <td>※正方形に近い矩形</td> <td>※0.8㎡以下</td> <td>・粗磨き ・水磨き ○本磨き</td> </tr> </table> <p>外壁乾式工法の場合 幅及び高さ ※1,200mm以下 重量 ※70kg以下</p> <p>種石の種類 ※大理石 (10.2.1)</p> <p>大きさ ※1.5~12mm (10.2.1)</p> <p>テラゾブロック (10.2.1) (表10.2.2)</p> <p>形状・寸法</p> <p>仕上げ面</p> <p>表面仕上げ ・粗磨き ・水磨き ・本磨き</p> <p>テラゾタイル (10.2.1) (表10.2.2)</p> <p>寸法</p> <p>表面仕上げ ・粗磨き ・水磨き ・本磨き</p> <p>③壁の石張り工法</p> <p>外壁石張り (10.2.2) (10.2.3) (10.3.2) (10.3.3) (10.5.2) (10.5.3)</p> <p>○石裏面処理を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・裏打ち処理を行う</li> </ul> <p>○外壁湿式工法</p> <p>ドレンパイプの材質</p> <p>石材の厚さ ※25mm以上</p> <p>石裏面処理 ・行う ・行わない</p> <p>裏打ち処理 ・行う ・行わない</p> <p>下地ごしらえ (※流し筋工法)</p> <p>目地幅 ※6mm以上 ○5mm</p> <p>シーリング材による目地仕上げ ※「標仕」9章7節による</p> <p>伸縮調整目地の位置 図面による</p> <p>目地幅 ※「標仕」表11.1.1による</p> <p>シーリング材による目地寸法 ※「標仕」9.7.3(a) (3)による</p> <p>・外壁乾式工法</p> <p>石材の厚さ ・30mm以上</p> <p>裏打ち処理 ・行う ・行わない</p> <p>だば穴の位置 ※「標仕」10.5.2 図面による</p> <p>目地幅 ※8mm以上</p> <p>シーリング材による目地仕上げ ※「標仕」9章7節による</p> <p>内壁石張り (10.2.2) (10.4.2) (10.4.3)</p> <p>・内壁空積工法</p> <p>石材の厚さ ※20mm以上</p> <p>下地ごしらえ ※あと施工アンカー ・横筋流し工法</p> <p>あと施工アンカー工法</p> <p>目地幅 ※6mm以上</p> <p>シーリング材による目地仕上げ ※「標仕」9章7節による</p> <p>伸縮調整目地の位置 図面による ※6m程度ごと</p> <p>シーリング材による目地寸法 ※「標仕」9.7.3(a) (3)による</p> <p>石材の厚さ (10.6.2) (10.6.3)</p> <p>浸透性吸水防止剤の塗布 ・行う ・行わない (10.6.2) (10.6.3)</p> <p>石裏面処理 ・行う ・行わない (10.6.2) (10.6.3)</p> <p>裏打ち処理 ・行う ・行わない (10.6.2) (10.6.3)</p> <p>目地幅 屋外※4mm以上 屋内 mm</p> <p>伸縮調整目地の位置 ※「標仕」10.6.2 (10.6.2) (10.6.3)</p>	施工箇所	種類	形状	寸法	表面仕上げ	図示	図示	※正方形に近い矩形	※0.8㎡以下	・粗磨き ・水磨き ○本磨き	<p>7 その他</p> <p>①一般事項</p> <p>伸縮調整目地 ※「標仕」表11.1.1 (11.1.3) (表11.1.1)</p> <p>ひび割れ誘発目地 ※「標仕」表11.1.1 (9.7.3)</p> <p>タイルの種類 (11.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td>図示</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>役物：標準的な曲がり(小口平、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする</p> <p>見本焼き ・行う ・行わない(※外壁タイル) (11.1.4)</p> <p>試験張り ・行わない ・行う(※外壁タイル) (11.1.4)</p> <p>内装タイル ・密着張り ○改良圧着張り (11.2.6) (表11.2.3)</p> <p>外装タイル ・密着張り ・改良圧着張り (11.2.6) (表11.2.3)</p> <p>内装タイル以外のユニット張り ・マスク張り</p> <p>モザイクタイル張り</p> <p>下地処理 ・行う (11.2.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MCR工法(6章8節[型枠])</li> <li>・目荒らし工法(「標仕」15.3.4[下地処理](4))</li> </ul> <p>施工範囲 ※図面による</p> <p>タイルの種類 (11.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>うわぐすり</th> <th>役物</th> <th>色</th> <th>耐凍害性</th> <th>耐滑り性</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </table> <p>役物：標準的な曲がり(小口平、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする</p> <p>見本焼き ・行う ・行わない(※外壁タイル) (11.1.4)</p> <p>試験張り ・行わない ・行う(※外壁タイル) (11.1.4)</p> <p>有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量 (11.3.3)</p> <p>※F☆☆☆☆ ( )</p> <p>シーリング材 (11.3.4)</p> <p>・ポリウレタン系シーリング ・シリコーン系シーリング</p> <p>内装タイル ※内装壁タイル接着剤張り (11.3.5) (表11.3.2)</p> <p>外装タイル ※外装壁タイル接着剤張り ( )</p> <p>(裏あし高さ0.9mm以下、そり±0.7mm以下)</p> <p>・外装壁タイル接着剤張り ( )</p> <p>目地詰め ※行う ・行わない</p> <p>内装タイル以外のユニットタイル</p> <p>※外装壁タイル接着剤張り (裏あし高さ0.9mm以下、そり±0.7mm以下)</p> <p>・外装壁タイル接着剤張り ( )</p> <p>下地処理 ・行う (11.3.5)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・MCR工法(6章8節[型枠])</li> <li>・目荒らし工法(「標仕」15.3.4[下地処理](4))</li> </ul> <p>施工範囲 ※図面による</p> <p>4 その他</p>	施工箇所	形状寸法 (mm)	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性	図示	図示	○	○	○	○	○	施工箇所	形状寸法 (mm)	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性			○	○	○	○	○	<p>①一般事項</p> <p>木工事</p> <p>②材料</p> <p>表面仕上げ (12.1.4)</p> <p>プレーナー加工のうえ超自動機械かんな、サンダー等により、使用箇所、樹種、仕上げ等に適したものとす</p> <p>適用箇所 図面による</p> <p>含水率 ※A種 ・B種 (12.2.1) (表12.2.1)</p> <p>製材 (12.2.1(2))</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>JAS1083 (製材) による製材</p> <p>・下地、造作及び仕上げ用製材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>材面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率 (%)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> </table> <p>○造作材の品質 (表12.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>使用箇所</th> <th>部材名称</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td>生地のまま又は透明塗料塗り</td> <td>枠、額縁、敷居、かもし、かまちの類</td> <td>※A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>不透明塗料塗り</td> <td>押入、戸棚等の内面造作の類</td> <td>小節</td> </tr> </table> <p>造作用集成材 (12.2.1(3))</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <p>・造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>見付け材面数</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> </tr> </table> <p>・化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>樹種 (化粧薄板・芯材)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等</td> </tr> </table> <p>「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材</p> <p>・造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> <p>・化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <tr> <th>樹種 (化粧薄板・芯材)</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> <p>造作用単板積層材 (12.2.1(4))</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>・JAS0701 (単板積層材) による造作用単板積層材</p> <table border="1"> <tr> <th>品名</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率 (%)					※A種 ・B種	使用箇所	部材名称	種別	生地のまま又は透明塗料塗り	枠、額縁、敷居、かもし、かまちの類	※A種 ・B種	不透明塗料塗り	押入、戸棚等の内面造作の類	小節	品名	樹種	見付け材面数	寸法 (mm)	見付け材面の品質					※1等	品名	樹種 (化粧薄板・芯材)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	寸法 (mm)	見付け材面の品質						※1等	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率				※15%以下	樹種 (化粧薄板・芯材)	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率					※15%以下	品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	備考					
	種別	施工箇所																																																																																																																												
○E-2	トイレ床																																																																																																																													
工法	材料																																																																																																																													
屋根保護防水密着工法	・「リフレノム」(厚さ0.15mm以上) ・「リフレノ」 ・「リフレ」等を平織りしたフラットクロス (70g/m程度)																																																																																																																													
屋根保護防水絶縁工法																																																																																																																														
屋根保護防水密着断熱工法	※「リフレノ」 ・「リフレ」等を平織りしたフラットクロス (70g/m程度)																																																																																																																													
屋根保護防水絶縁断熱工法																																																																																																																														
施工箇所	種類	形状	寸法	表面仕上げ																																																																																																																										
図示	図示	※正方形に近い矩形	※0.8㎡以下	・粗磨き ・水磨き ○本磨き																																																																																																																										
施工箇所	形状寸法 (mm)	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性																																																																																																																								
図示	図示	○	○	○	○	○																																																																																																																								
施工箇所	形状寸法 (mm)	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑り性																																																																																																																								
		○	○	○	○	○																																																																																																																								
樹種	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理	含水率 (%)																																																																																																																										
				※A種 ・B種																																																																																																																										
使用箇所	部材名称	種別																																																																																																																												
生地のまま又は透明塗料塗り	枠、額縁、敷居、かもし、かまちの類	※A種 ・B種																																																																																																																												
不透明塗料塗り	押入、戸棚等の内面造作の類	小節																																																																																																																												
品名	樹種	見付け材面数	寸法 (mm)	見付け材面の品質																																																																																																																										
				※1等																																																																																																																										
品名	樹種 (化粧薄板・芯材)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面数	寸法 (mm)	見付け材面の品質																																																																																																																									
					※1等																																																																																																																									
樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																											
			※15%以下																																																																																																																											
樹種 (化粧薄板・芯材)	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																										
				※15%以下																																																																																																																										
品名	寸法 (mm)	表面の品質	防虫処理	備考																																																																																																																										



<p>5 樹脂製建具</p> <p>外部に面する建具 (16.3.2) (16.3.4) (表16.3.1) (表16.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>下地</th> <th>種別</th> <th>耐風圧性</th> <th>気密性</th> <th>水密性</th> <th>枠見込み(mm)</th> </tr> <tr> <td>コンク</td> <td>・A種</td> <td>※S-4</td> <td>※A-4</td> <td>※W-4</td> <td>・( )</td> </tr> <tr> <td>リート系</td> <td>・B種</td> <td>※S-5</td> <td>・</td> <td>※W-5</td> <td>・( )</td> </tr> <tr> <td>及び鉄骨</td> <td>・C種</td> <td>※S-6</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・( )</td> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>・D種</td> <td>※S-2</td> <td>※A-4</td> <td>※W-3</td> <td>・( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・E種</td> <td>※S-3</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・( )</td> </tr> </table> <p>防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級 (16.3.2)</p> <p>・適用する(遮音性の等級: T-1 ~ T-2)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級 (16.3.2)</p> <p>・適用する(断熱性の等級: H-4 ~ H-5 ~ H-6 ~ H-7 ~ H-8)</p> <p>外部に面する建具の日射熱取得性の等級 (16.3.2)</p> <p>・適用する(日射熱取得性の等級: N-1 ~ N-2 ~ N-3)</p> <p>防虫網 (16.3.3)</p> <p>網の種類 ※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製</p> <p>・ステンレス製 (SUS316)</p> <p>線径 ※0.25mm以上</p> <p>網目 ※16~18メッシュ</p> <p>防鳥網</p> <p>・適用する</p> <p>ガラス ※複層ガラス (16.3.3)</p> <p>建具の枠の見込み寸法(外部に面する建具を除く) (16.3.4)</p> <p>(mm)</p> <p>表面色 ・標準色 ・特注色 (16.3.4)</p> <p>水切り板、ぜん板等の加工及び組立 (16.3.5)</p> <p>( )</p> <p>・外部に面する内付け建具の止水処理(木下地のみ) (16.3.5)</p> <p>6 鋼製建具</p> <p>簡易気密型ドアセット性能値 (16.4.2) (表16.4.1)</p> <p>○A-3 ○W-1</p> <p>外部に面する鋼製建具の耐風圧性 (16.4.2) (表16.2.1)</p> <p>○S-4 ・S-5 ○S-6</p> <p>・等級を超える風圧力の場合 風圧力( )</p> <p>防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級 (16.4.2) (表16.2.2)</p> <p>○適用する(遮音性の等級: T-3)</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級 (16.4.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(断熱性の等級: )</p> <p>耐震ドアセットの適用及び面内変形追従性の等級 (16.4.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(面内変形追従性の等級: )</p> <p>点検口の材料 (16.4.3)</p> <p>※図面による</p> <p>鋼板類の厚さ (16.4.4) (表16.4.2)</p> <p>※「標仕」表16.4.2による</p> <p>7 鋼製軽量建具</p> <p>簡易気密型ドアセット性能値 (16.5.2)</p> <p>※A-3(適用場所は建具表による)</p> <p>防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級 (16.5.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(遮音性の等級: )</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級 (16.5.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(断熱性の等級: )</p> <p>耐震ドアセットの適用及び面内変形追従性の等級 (16.5.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(面内変形追従性の等級: )</p> <p>鋼板 (16.5.3)</p> <p>種類 ・溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>めっきの付着量 ・Z06 ・F06 ・E24</p> <p>ビニル被覆鋼板 (16.5.3)</p> <p>被覆原板の種類 ・SG ・SE</p> <p>めっきの付着量 ・Z06 ・F06 ・E24</p> <p>カラー鋼板 (16.5.3)</p> <p>種類 ・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>ステンレス鋼板 (16.5.3)</p> <p>・SUS304 ・SUS430JIL ・SUS443J1</p> <p>召合せ、縦小口包み板等の材質 (16.5.3)</p> <p>※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金押出型材</p> <p>鋼板類の厚さ (16.5.4) (表16.5.1)</p> <p>※「標仕」表16.5.1による</p> <p>8 ステンレス製建具</p> <p>簡易気密型ドアセット性能値 (16.6.2) (表16.4.1)</p> <p>○A-3 ○W-1</p> <p>外部に面する鋼製建具の耐風圧性 (16.6.2) (表16.2.1)</p> <p>○S-4 ・S-5 ○S-6</p> <p>・等級を超える風圧力の場合 風圧力( )</p> <p>防音ドアセット、防音サッシの適用及び遮音性の等級 (16.6.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(遮音性の等級: )</p> <p>断熱ドアセット、断熱サッシの適用及び断熱性の等級 (16.6.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(断熱性の等級: )</p> <p>耐震ドアセットの適用及び面内変形追従性の等級 (16.6.2) (表16.2.2)</p> <p>・適用する(面内変形追従性の等級: )</p>	下地	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)	コンク	・A種	※S-4	※A-4	※W-4	・( )	リート系	・B種	※S-5	・	※W-5	・( )	及び鉄骨	・C種	※S-6	・	・	・( )	木部	・D種	※S-2	※A-4	※W-3	・( )		・E種	※S-3	・	・	・( )	<p>9 木製建具</p> <p>ステンレス鋼板 (16.6.3)</p> <p>○SUS304 ・SUS430JIL ・SUS443J1</p> <p>表面仕上げ ※HL仕上げ ・鏡面仕上げ (16.6.4)</p> <p>曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ (16.6.5)</p> <p>建具材の種類 (16.7.2)</p> <p>※A種 ・B種</p> <p>フラッシュ戸の表面材の種類及び品質等 (16.7.2) (表16.7.2)</p> <p>種類 ※図面による</p> <p>品質 ※「標仕」表16.7.2(2)(イ)による</p> <p>・MDF 表表面の状態 ※図面による</p> <p>曲げ強さ ※図面による</p> <p>接着剤 ※図面による</p> <p>難燃性 ※図面による</p> <p>かまち戸の樹種 (16.7.2)</p> <p>かまち( ) 鏡板( )</p> <p>ふすまの材料種別 ・I型 ・II型 (16.7.2) (表16.7.3)</p> <p>ふすまの上張り (16.7.2) (表16.7.3)</p> <p>※新鳥の子またはビニル紙程度(押入等の裏面は除く)</p> <p>・鳥の子</p> <p>接着剤のホルムアルデヒド放散量 (16.7.2)</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>枠及びくつずりの材料( ) (16.7.2)</p> <p>フラッシュ戸の表面材の厚さ (16.7.3) (表16.7.6)</p> <p>※「標仕」表16.7.6による</p> <p>フラッシュ戸及び木製建具の見込み寸法 (16.7.3) (表16.7.7)</p> <p>※「標仕」表16.7.5及び表16.7.7による</p> <p>ふすまの緑の仕上げ ( ) (16.7.4)</p> <p>10 建具用金物</p> <p>※建具金物の種類等は建具表によるほか (16.8.1~16.8.3)</p> <p>「標仕」表16.8.2による</p> <p>マスターキー ・製作する (16.8.4)</p> <p>鍵の本数 ※3本1組 (16.8.4)</p> <p>11 自動ドア開閉装置</p> <p>自動ドア開閉装置 (16.9.2) (表16.9.1) (表16.9.2) (表16.9.3)</p> <p>駆動装置の性能値(一般)</p> <p>※「標仕」表16.9.1による</p> <p>駆動装置の性能値(多機能トイレ出入口)</p> <p>※「標仕」表16.9.2による</p> <p>検出装置の性能値</p> <p>※「標仕」表16.9.3による</p> <p>機構 (16.9.3) (表16.9.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>戸の開閉方式</th> <th>引き戸用検出装置の種類</th> </tr> <tr> <td>※引き戸</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・凍結防止措置 ( )</p> <p>性能 (16.10.3)</p> <p>※「標仕」表16.10.1による</p> <p>12 自閉式上り引戸装置</p> <p>13 重量シャッター</p> <p>種類</p> <p>・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター</p> <p>・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター</p> <p>管理用シャッター及び外壁用防火シャッターの耐風圧強度( ) (16.11.2)</p> <p>開閉方式 (16.11.2) (表16.11.1)</p> <p>※上部電動式(手動併用) ・上部手動式</p> <p>電動式シャッター (16.11.2)</p> <p>急降下停止装置等の設置箇所 ( )</p> <p>障害物感知装置の設置箇所 ( )</p> <p>感知器運動機構又は手動閉鎖式シャッター等(16.11.2)</p> <p>危害防止機構の設置箇所 ( )</p> <p>・安全保護装置の設置 (16.11.2)</p> <p>・シャッターケースの設置 (16.11.2) (表16.11.3)</p> <p>鋼板の種類 ・溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>めっきの付着量 ・Z12 ・F12</p> <p>スラット用鋼板の種類 (16.11.3)</p> <p>鋼板の種類 ・溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>めっきの付着量 ・Z12 ・F12</p> <p>14 軽量シャッター</p> <p>開閉方式 (16.12.2) (表16.12.1)</p> <p>※手動式 ・上部電動式(手動併用)</p> <p>耐風圧強度 ( ) (16.12.2)</p> <p>スラット</p> <p>材質 (16.12.3)</p> <p>・塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯</p> <p>・Z06 ・F06 ・A290</p> <p>形状 (16.12.4)</p> <p>・インターロッキング形</p> <p>・オーバーラッピング形</p>	戸の開閉方式	引き戸用検出装置の種類	※引き戸	・	・	・	<p>15 オーバーヘッドドア</p> <table border="1"> <tr> <th>セクション材料</th> <th>開閉方式</th> <th>収納形式</th> <th>ガイドレール</th> </tr> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>※バラン</td> <td>・スタンダード形</td> <td>※溶融亜鉛め</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローヘッド形</td> <td>つき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラストタイプ</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td>・ステンレス鋼板(SUS304)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・パーチャル形</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐風圧性能による区分 ・50 ・75 ・100 ・125</p> <p>16 ガラス</p> <p>ガラス及びガラスブロックは建具表による (16.14.1~16.14.5)</p> <p>17 ガラス留め材及び溝</p> <p>ガラス留め材 (16.14.2) (表9.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td>※シーリング材</td> </tr> <tr> <td>樹脂製</td> <td>・ガスケット(FIX部分はシーリング)</td> </tr> <tr> <td>鋼製及び軽量鋼製</td> <td>※シーリング材</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>※シーリング材</td> </tr> </table> <p>溝の大きさ (16.14.3) (表16.14.1)</p> <p>※建具の製造所の仕様による</p> <p>・ガラスブロック積み (16.14.5)</p> <p>・図面による</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>張り面</th> <th>性能値</th> </tr> <tr> <td>※ガラス飛散防止フィルム止</td> <td>第2種</td> <td>※内張り</td> <td>飛散防止率D1</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td>※外張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>品質 JIS A 5759 による</p> <p>18 ガラス用フィルム</p> <p>19 ①メタルカーテンウォール</p> <p>設計図書による規定のほか、特記なき事項は一般社団法人日本建築学会JASS14による。 (17.2.2)</p> <p>材料の種類 (17.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>○アルミニウム製</td> <td>※「標仕」表16.2.3のアルミニウム製建具の材料による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>カーテンウォール方式</p> <p>○方立方式</p> <p>シーリング材及びガラス取付け材料</p> <p>下記以外は「標仕」表9.7.1による (17.2.2) (9.7.2) (表9.7.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>被着体の組合せ</th> <th>シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <td>記号</td> <td>主成分による区分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>耐久性による区分</td> </tr> <tr> <td>金属</td> <td>ガラス</td> </tr> <tr> <td></td> <td>石、タイル</td> </tr> <tr> <td>ガラス</td> <td>ガラス</td> </tr> </table> <p>構造ガasket (17.2.2)</p> <p>○適用(施工箇所: 図面による)</p> <p>断熱材 (17.2.2)</p> <p>・適用(種類: 厚さ(mm): 施工箇所 図面による)</p> <p>製品の寸法許容差 (17.2.3) (表17.2.1)</p> <p>※「標仕」表17.2.1による</p> <p>見え掛り部分の仕上げ( ) (17.2.3)</p> <p>ガラス溝の寸法、形状等 (17.2.3)</p> <p>※カーテンウォールの製作所の仕様による</p> <p>躯体付け金物の取付位置の寸法許容差 (17.2.5)</p> <p>※「標仕」表17.2.2による</p> <p>カーテンウォール部材の取付位置の寸法許容差 (17.2.5)</p> <p>※「標仕」表17.2.3による</p> <p>ガラスの取付け方法 ※図面による (17.2.6)</p> <p>耐風圧性能 (17.1.3)</p> <p>性能値 ※建築基準法施行令第87条および建設省告示第1454号に定められた風圧力に対して安全であること</p> <p>○正圧2000N/m<sup>2</sup>以上及び負圧N/m<sup>2</sup>以上に対して安全であること</p> <p>主要部材のたわみ (h=支点間距離)</p> <table border="1"> <tr> <th>支点間距離(h)</th> <th>たわみ量</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td>※4m以下</td> <td>※±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下</td> <td>※残留変形及び有害な変形が起らないこと</td> </tr> <tr> <td>○4mを超える</td> <td>○1/200×h</td> <td></td> </tr> </table> <p>耐震性能 (17.1.3)</p> <p>設計用震度 水平方向(KH) ※1.0</p> <p>垂直方向(KV) ・0.5</p> <table border="1"> <tr> <th>建物の構造</th> <th>層間変位位置</th> <th>状態</th> </tr> <tr> <td>鉄骨造</td> <td>※±(1/150)×h以上</td> <td>※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らないこと</td> </tr> <tr> <td>鉄筋コンクリート造</td> <td>※±(1/200)×h以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄骨鉄筋コンクリート造</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・水密性 (17.1.3)</p> <p>○グレード1 ・グレード2 ・グレード3</p> <p>・気密性 (17.1.3)</p> <p>○グレード1 ・グレード2 ・グレード3</p> <p>・耐火性能 (17.1.3)</p> <p>・時間、施工箇所: 図示</p> <p>耐温度差性 (17.1.3)</p> <p>遮音性 (17.1.3)</p> <p>断熱性 (17.1.3)</p>	セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール	※スチールタイプ	※バラン	・スタンダード形	※溶融亜鉛め	・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	つき鋼板	・ファイバーグラストタイプ	・電動式	・ハイリフト形	・ステンレス鋼板(SUS304)			・パーチャル形		建具の種類	材質	アルミニウム製	※シーリング材	樹脂製	・ガスケット(FIX部分はシーリング)	鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材	ステンレス製	※シーリング材	名称	種類	張り面	性能値	※ガラス飛散防止フィルム止	第2種	※内張り	飛散防止率D1	・		※外張り		・				種類	規格等	○アルミニウム製	※「標仕」表16.2.3のアルミニウム製建具の材料による	・	・	被着体の組合せ	シーリング材の種類	記号	主成分による区分		耐久性による区分	金属	ガラス		石、タイル	ガラス	ガラス	支点間距離(h)	たわみ量	状態	※4m以下	※±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下	※残留変形及び有害な変形が起らないこと	○4mを超える	○1/200×h		建物の構造	層間変位位置	状態	鉄骨造	※±(1/150)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らないこと	鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上		鉄骨鉄筋コンクリート造			<p>2 PCカーテンウォール</p> <p>設計図書による規定のほか、特記なき事項は(社)日本建築学会JASS14による (17.3.2)</p> <p>コンクリートの種類 (17.3.2)</p> <p>・普通コンクリート(「標仕」表6.3.1による)</p> <p>・軽量コンクリート(「標仕」表6.10.1の1種)</p> <p>コンクリートの品質 (17.3.2)</p> <p>※「標仕」表17.3.2による</p> <p>・下表による。下表以外は「標仕」表17.3.2による</p> <table border="1"> <tr> <th>設計基準強度(Fc)</th> <th>所要スランプ</th> <th>単位水量</th> </tr> <tr> <td>※30N/mm<sup>2</sup></td> <td>※12cm</td> <td>※185kg/m<sup>3</sup>以下</td> </tr> </table> <p>鉄筋 ※SD295A (17.3.2)</p> <p>補強鉄線の寸法 径( ) 網目( ) (17.3.2)</p> <p>シーリング材料 (17.3.2) (9.7.2) (表9.7.1)</p> <p>下記以外は「標仕」表9.7.1による</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類</th> </tr> <tr> <td>カーテンウォール板間目地</td> <td>記号</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主成分による区分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>耐久性による区分</td> </tr> </table> <p>耐火材料 (17.3.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工部位</th> <th>種類</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・ファスナー部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・取付けブラケット</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・パネル目地部</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・層間ふさぎ</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>断熱材 (17.3.2)</p> <p>・適用(種類: 厚さ(mm): 施工箇所 図面による)</p> <p>仕上げ材、建具枠、ゴンドラ用ガイドレール等 (17.3.2)</p> <p>( )</p> <p>製品見え掛り部の寸法許容差 (17.3.3) (表17.3.1)</p> <p>※「標仕」表17.3.1による</p> <p>・製造所標準製作規定寸法許容差</p> <p>仕上げ ( ) (17.3.3)</p> <p>構造ガasketを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差( ) (17.3.3)</p> <p>鉄筋の配筋 ※計算書による (17.3.4)</p> <p>躯体付け金物の取付位置の寸法許容差 (17.3.5) (表17.2.5)</p> <p>※「標仕」表17.2.2による</p> <p>カーテンウォール部材の取付位置の寸法許容差 (17.3.5)</p> <p>※「標仕」表17.3.2による</p> <p>構造ガasketを用いるガラスの取付け (17.3.6)</p> <p>( )</p> <p>3 その他</p> <p>18 ①材料</p> <p>ホルムアルデヒド放散量</p> <p>※F☆☆☆☆</p> <p>・防火材料</p> <p>・指定する 施工箇所( ) (図面による) (18.1.3)</p> <p>2 ②素地ごしらえ</p> <p>木部の素地ごしらえの種類 (18.2.2)</p> <p>○A種 ○B種</p> <p>鉄鋼面の素地ごしらえの種類 (18.2.3)</p> <p>・A種 ・B種 ※C種 ただしDPの場合はB種</p> <p>亜鉛めっき面の素地ごしらえの種類 (18.2.4) (表18.2.3) (表18.3.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工部位</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>鋼製建具等</td> </tr> </table> <p>その他の素地ごしらえの種類</p> <p>※「標仕」表18.2.2から18.2.7(18.2.4除く)による。</p> <p>・施工箇所( )</p> <p>下地材( )</p> <p>種別( ) (種)</p> <p>モルタル面及びせつこうプラスター面の素地ごしらえの種類 (18.2.5) (表18.2.4)</p> <p>※B種 ・A種</p> <p>コンクリート面及びALCパネル面の素地ごしらえの種類 (18.2.6)</p> <p>※B種 ・A種 (表18.2.5) (表18.2.6)</p> <p>せつこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえ (18.2.7) (表18.2.7)</p> <p>の種別</p> <p>※A種 ・B種</p>	設計基準強度(Fc)	所要スランプ	単位水量	※30N/mm <sup>2</sup>	※12cm	※185kg/m <sup>3</sup> 以下	施工箇所	シーリング材の種類	カーテンウォール板間目地	記号		主成分による区分		耐久性による区分	施工部位	種類	規格等	・ファスナー部			・取付けブラケット			・パネル目地部			・層間ふさぎ			種類	施工部位	・A種		・B種	鋼製建具等	<p>横浜市建築局</p> <p>工事名 (仮称)舞岡墓園管理棟その他新築工事(建築工事)</p> <p>図面名称 建築工事特記仕様書(その5)</p> <p>年月日 R7.03 縮尺 NO.SCALE</p> <p>設計者 有限会社 協和建築設計事務所</p> <p>1級建築士登録 第282011号 児嶋 為一</p> <p>図面番号 A-06</p>
下地	種別	耐風圧性	気密性	水密性	枠見込み(mm)																																																																																																																																																																	
コンク	・A種	※S-4	※A-4	※W-4	・( )																																																																																																																																																																	
リート系	・B種	※S-5	・	※W-5	・( )																																																																																																																																																																	
及び鉄骨	・C種	※S-6	・	・	・( )																																																																																																																																																																	
木部	・D種	※S-2	※A-4	※W-3	・( )																																																																																																																																																																	
	・E種	※S-3	・	・	・( )																																																																																																																																																																	
戸の開閉方式	引き戸用検出装置の種類																																																																																																																																																																					
※引き戸	・																																																																																																																																																																					
・	・																																																																																																																																																																					
セクション材料	開閉方式	収納形式	ガイドレール																																																																																																																																																																			
※スチールタイプ	※バラン	・スタンダード形	※溶融亜鉛め																																																																																																																																																																			
・アルミニウムタイプ	・チェーン式	・ローヘッド形	つき鋼板																																																																																																																																																																			
・ファイバーグラストタイプ	・電動式	・ハイリフト形	・ステンレス鋼板(SUS304)																																																																																																																																																																			
		・パーチャル形																																																																																																																																																																				
建具の種類	材質																																																																																																																																																																					
アルミニウム製	※シーリング材																																																																																																																																																																					
樹脂製	・ガスケット(FIX部分はシーリング)																																																																																																																																																																					
鋼製及び軽量鋼製	※シーリング材																																																																																																																																																																					
ステンレス製	※シーリング材																																																																																																																																																																					
名称	種類	張り面	性能値																																																																																																																																																																			
※ガラス飛散防止フィルム止	第2種	※内張り	飛散防止率D1																																																																																																																																																																			
・		※外張り																																																																																																																																																																				
・																																																																																																																																																																						
種類	規格等																																																																																																																																																																					
○アルミニウム製	※「標仕」表16.2.3のアルミニウム製建具の材料による																																																																																																																																																																					
・	・																																																																																																																																																																					
被着体の組合せ	シーリング材の種類																																																																																																																																																																					
記号	主成分による区分																																																																																																																																																																					
	耐久性による区分																																																																																																																																																																					
金属	ガラス																																																																																																																																																																					
	石、タイル																																																																																																																																																																					
ガラス	ガラス																																																																																																																																																																					
支点間距離(h)	たわみ量	状態																																																																																																																																																																				
※4m以下	※±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下	※残留変形及び有害な変形が起らないこと																																																																																																																																																																				
○4mを超える	○1/200×h																																																																																																																																																																					
建物の構造	層間変位位置	状態																																																																																																																																																																				
鉄骨造	※±(1/150)×h以上	※部材の脱落、ガラスの破損および主要部材に有害な歪が起らないこと																																																																																																																																																																				
鉄筋コンクリート造	※±(1/200)×h以上																																																																																																																																																																					
鉄骨鉄筋コンクリート造																																																																																																																																																																						
設計基準強度(Fc)	所要スランプ	単位水量																																																																																																																																																																				
※30N/mm <sup>2</sup>	※12cm	※185kg/m <sup>3</sup> 以下																																																																																																																																																																				
施工箇所	シーリング材の種類																																																																																																																																																																					
カーテンウォール板間目地	記号																																																																																																																																																																					
	主成分による区分																																																																																																																																																																					
	耐久性による区分																																																																																																																																																																					
施工部位	種類	規格等																																																																																																																																																																				
・ファスナー部																																																																																																																																																																						
・取付けブラケット																																																																																																																																																																						
・パネル目地部																																																																																																																																																																						
・層間ふさぎ																																																																																																																																																																						
種類	施工部位																																																																																																																																																																					
・A種																																																																																																																																																																						
・B種	鋼製建具等																																																																																																																																																																					

③ 錆止め塗料塗り (18.3.2~18.3.3)(表18.3.1~18.3.6)

塗装面	塗料種別	工程種別	備考
鉄鋼面	屋外 A種	○A種 ○B種	
	屋内 A種・B種		
	DP 1回目 C種 (標18.3.4)		
	EP-G A種 B種		
亜鉛めつき面	屋外 A種・B種	○A種 ○B種	
	屋内 A種・B種		
	DP B種 (標18.3.6)		
	EP-G C種	○A種 ○B種	
	鋼製 A種・B種	A種・B種	
	建具面		

耐火材吹付けなど、被覆材が接着する面への塗装 (7.8.3)  
 ・行わない  
 ・行う  
 適用箇所 図面による ( )  
 塗料の種類 「標仕」18.3.2表18.3.1( )種  
 「標仕」18.3.2表18.3.1( )種

④ 塗装 (18.4.2)

合成樹脂調合ペイント塗りの塗料の種類 (18.4.2) 1種

(18.4.2~18.12.2)(表18.4.1~18.12.1)

塗装の種類	塗装面	種別
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部	・A種・B種
・クリアラッカー塗り(CL)	鉄鋼面	・A種 B種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)	木部	・A種 B種
・コンクリート面モルタル面	コンクリート面	・A種 B種
・耐候性塗料塗り(DP)	コンクリート面、押出成形セメント板面	・A種・B種 ・C種
○つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面	・A種 B種
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	鉄鋼面	・A種 B種
	コンクリート面、モルタル面、せっこうプラスター面、せっこうボード面、その他ボード面	・A種 B種
○ウレタン樹脂ニス塗り(UC)	木部(屋内)	・A種 B種
・ピグメントステイン塗り	木部	(表18.11.1)
・オイルステイン塗り(OS)	木部	
・木材保護塗料塗り(WP)	木部(屋外)	・A種 B種

⑤ 防塵用塗料塗り  
 材質 ・水性アクリル系樹脂塗料  
 ○水性ウレタン系樹脂塗料  
 表面仕上げ ・平滑 ・防滑

①① ビニル床シート張り (19.2.2)

種類	JISの記号	色柄	厚さ(mm)
○発泡層のないもの	FS	無地	2.0
○発泡層のあるもの	・	・マーブル柄 ・柄物	・

工法 熱溶接工法 ・突付け工法 (19.2.3)  
 (施工箇所: )

② ビニル床タイルおよびゴム床タイル張り (19.2.2)

種類	JISの記号	厚さ(mm)	備考
コンポジションビニル床タイル(半硬質)	KT	2.0	
・コンポジションビニル床タイル(軟質)	KT	・	
・単層ビニル床タイル	TT	・	
・複層ビニル床タイル	FT	・	
・ゴム床タイル	・	・	

ホルムアルデヒド放散量(接着剤含む) F (19.2.2)

③ 特殊機能床材張り (19.2.2)

種類	厚さ(mm)	性能
コンポジションビニル床タイル	2	体積抵抗値(JIS K6911による)1.0×10 <sup>9</sup> 以上
・単層ビニル床タイル	4.0	下または漏洩抵抗値
・複層ビニル床タイル	又は	(JIS A1454による)
・	4.5	1.0×10 <sup>9</sup> 10 未満

② 視覚障害者誘導用床タイル (19.2.2)

箇所	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内	・塩化ビニル製 ・磁器又はせり器質タイル	300×300	7
	・レジンコンクリート製	300×300	30
屋外	・	・	・

ブロックパターンは JIS T9251による。

④ ビニル幅木 (19.2.2)

種類	厚さ(mm)	備考
・	・	・
・	・	・

⑤ 耐動荷重性床シート (19.2.2)

種類	厚さ(mm)	性能
・	・	・
・	・	・

⑥ 防滑性床シート、床タイル (19.2.2)

種類	厚さ(mm)	性能
・	・	・
・	・	・

(19.2.2)

材質	厚さ(mm)	高さ(mm)
軟質	1.5以上	60・75・100
硬質	・	・

⑦ 織じゅうたん (19.3.1~3)(表19.3.1~2)

種類	パイル形状	色柄等	帯電性	工法
・A種	・カットパイル	・単一色(無地)	・人体帯電圧3kV以下	・グリッパー工法(下敷き材共)
・B種	・ループパイル	・柄物(標準品)	・	・
・C種	・カット、ループ併用	・	・	・

⑧ タフテッドカーペット (19.3.1)(19.3.2)(表19.3.2)

パイル形状	パイル(mm)長	帯電性	工法
・カットパイル	5~7	・人体帯電圧3kV以下	・全面接着工法 ・グリッパー工法(下敷き材共)
・マルチレペルループ	4~6	・	・
・レベルループパイル	4	・	・
・カット、ループ併用	・	・	・

⑨ タイルカーペット (19.3.2)(表19.3.2)

種類	パイル形状	電気抵抗値( )	寸法	総厚さ
第一種	ループパイル	適用しない	500mm角	6.5mm
第二種	・カットパイル	・10 <sup>9</sup> 以下	・	・

⑩ タイルカーペットの敷き方 (19.3.3)

平場	市松敷き
・	・
・階段部分	・模様流し

⑪ 下敷き材(JIS L 3204) 第2種2号 呼び厚さ 8mm (19.3.2)

⑫ 見切り、押え金物の材質、種類及び形状 図面による (19.3.2)

⑬ ホルムアルデヒド放散量(接着剤含む) F (19.3.2)

⑭ 厚膜型塗床材 (19.4.2)(19.4.3)(表19.4.1~19.4.8)

種類	仕上げの種類
・弾性ウレタン樹脂系塗床材	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ仕上げ(平滑・防滑) ・厚膜流しのべ仕上げ(平滑・防滑) ・樹脂モルタル仕上げ(平滑・防滑)

⑮ 薄膜型塗床材

種類	仕上げの種類
・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ仕上げ(平滑)

⑯ 単層フローリング (19.5.2~19.5.6)(表19.5.1~19.5.6)

品名	樹種	厚さ(mm)	大きさ(mm)	工法
・フローリングボード1等	・なら	15	幅75長さ400以上	・乾式 ・釘留め工法(根太張り工法)
・フローリングプロック1等	・なら	15	303×303	・釘留め工法(直張り工法) ・接着工法

⑰ 天然木化粧複合フローリング (19.5.2~19.5.5)(表19.5.1~19.5.6)

品名	樹種	防湿処理	工法	種別
・複合フローリング	・なら	・行う	・乾式 ・釘留め工法(根太張り工法) ・釘留め工法(直張り工法) ・接着工法	・A種 ・B種 ・C種

⑱ フローリング裏面の緩衝材(接着工法) 合成樹脂発泡シート (19.5.5)

置の種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 (19.6.2)(表19.6.1)  
 (畳床:KT- )

⑳ 衝撃緩和型畳畳表区分 ・C1 ・C2 (19.6.2)

(19.7.2)(表19.7.1)

種類	JISの記号	厚さ(mm)、規格等
・硬質木毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25
・普通木毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25
○けい酸カルシウム板		タイプ2(無石綿) ・5 ○6 ・8 ・10 ・12
○ロックウール化粧吸音板	DR	フラットタイプ ( 9 ○12 ) ・凹凸タイプ ( 12・15・19 )
・ロックウール化粧吸音板(軒天井用)		フラットタイプ((個)不燃) ・凹凸タイプ ( 12・15 ) (個)不燃
○せっこうボード	GB-R	12.5(不燃)
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	9.5(不燃) 化粧無(下地張り用) 化粧有(トラバーチン模様)
○シージングせっこうボード	GB-S	12.5(不燃)
○強化せっこうボード	GB-F	・12.5(不燃) ・15.0(不燃) ○21.0(不燃)
・せっこうラスボード	GB-L	9.5
・化粧せっこうボード(木目)	GB-D	12.5(不燃) 幅440mm程度 模様( 証目・板目) 専用下地材付き
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903による 厚さ1.2
・ミディアムデンシティファイバボード	MDF	・
・パーティクルボード		・

・ボードの重ね貼り(種別: )

種類	表板の樹種名	板面の品質	防虫処理	厚さ(mm)	接着の程度
○普通合板	○ワワン		・行う ・行わない	○5.5 ・9	・1類 ・2類
	・しな			・	・1類 ・2類
○構造用合板	○針葉樹		・行う ・行わない	・9 ○12	・1類 ・2類
・天然木化粧合板			・行う ・行わない	・3.2 ・4.2 ・6.0	・1類 ・2類

・張付け(・A種 B種)

⑳ 特殊加工化粧合板

種類	化粧加工の方法	表面性能	防虫処理	厚さ(mm)	接着の程度
・特殊加工化粧合板	・オーバーレイ ・プリント ・塗装			・5.5 ・	・1類 ・2類

・その他(・難燃処理 防炎処理)

⑳ 軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 (19.7.2)(表9.7.1)

・アクリル系 ・ウレタン系  
 ・ジョイントコンパウンド  
 せっこうボードの目地工法等 (表19.7.5)

目地工法の種類	せっこうボードのエッジの種類
○縫目処理工法	テーパエッジ、ベベルエッジ
・突付け工法	・
・目透し工法	ベベルエッジ、スクエアエッジ

㉑ 壁紙張り (19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類	防火性能の級別	品質等
内壁	紙	・不燃 ○準不燃	・
	織物	・難燃	・
	ビニル	・不燃 ・準不燃 ・難燃	・
	化学繊維	・不燃 ・準不燃 ・難燃	・
	無機質	・不燃 ・準不燃 ・難燃	・
		・不燃 ・準不燃 ・難燃	・

壁紙のホルムアルデヒド放散量 (19.8.2)

素地ごしらえ (19.8.3)(表18.2.4)(表18.2.5)(表18.2.7)

・モルタル、せっこうプラスター面  
 B種 (施工箇所: )  
 ○せっこうボード面、けい酸カルシウム板面  
 B種 (施工箇所: )  
 ・コンクリート面  
 B種 (施工箇所: )

㉒ 断熱・防露 (19.9.2)(19.9.3)

種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板	・1号 ・2号	・25	特定フロンを使用しないもの
○押出法ポリスチレンフォーム保温板	2種b 3種b(スキン層付)	・25 ○30 ○50	特定フロンを使用しないもの
○硬質ウレタンフォーム保温板	・1種 ・2種2号	・25	特定フロンを使用しないもの
・フェノールフォーム保温板	・1種 号	・25	特定フロンを使用しないもの

㉓ 断熱材現場発泡工法 (19.9.3)

種類	施工箇所	厚さ(mm)	品質等
・吹付け硬質ウレタンフォーム	・A種1 ・A種1H	・15	特定フロンを使用しないもの 難燃性 3級 ・2級

㉔ フリーアクセスフロア (20.2.2)

施工箇所	構法	仕上り高(mm)	適用地震時水平力	耐荷重性能	表面仕上げ材
	・パネル工法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・パネル工法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・パネル工法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット
	・パネル工法 ・溝構法		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット

表面仕上げ材の品質・規格等は、「標仕」19章内装工事によるスロープおよびポーター 製造所の標準仕様 図面によるコンセント等の取付け対応 製造所の標準仕様(コンセント本体は別途設備工事) ・コンセントの箇所数は図面による

配線用取り出しパネル  
 配線取り出し開口: パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1か所以上  
 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 20~30パーセント

空調用吹き出しパネル  
 無し  
 ・あり( 固定式 ・可変式 : 施工箇所は図面による)

<p>2 可動間仕切 (20.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>構造形式</th> <th>パネル部の総厚さ(mm)</th> <th>表面材種厚さ(mm)</th> <th>表面仕上げ</th> <th>不燃材の認定</th> </tr> <tr> <td>・パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式</td> <td>・</td> <td>※鋼板 ※0.6 ・0.8</td> <td>※焼付塗装</td> <td>・あり</td> </tr> </table> <p>品質 JIS A 6512によるもの ・製造所の仕様による ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	不燃材の認定	・パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・	※鋼板 ※0.6 ・0.8	※焼付塗装	・あり	<p>3 移動間仕切(上吊パネル式間仕切) (20.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>遮音性能による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面材</th> <th>表面仕上げ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・一般タイプ</td> <td>・</td> <td>※鋼板</td> <td>※焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・遮音タイプ</td> <td>・</td> <td>※鋼板</td> <td>※焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td></td> </tr> </table> <p>・製造所の仕様による</p>	遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	施工箇所	・一般タイプ	・	※鋼板	※焼付塗装 ・壁紙張り		・遮音タイプ	・	※鋼板	※焼付塗装 ・壁紙張り		<p>14 カーテンレール (20.2.16)</p> <p>レール及びブラケットの強さ ※10-90 材種 ※アルミニウム製 形式 ・片引き ・引分け(暗幕用は300mm以上の召合せ重ね掛け) ・シングル ・ダブル 仕上げ ※アルマイト・図面による 形状 ※角形 フック (ひるかん) ※鋼製 樹脂製</p>	<p>15 プレキャストコンクリート工事 (20.3.2)</p> <p>補強鉄線の径 (mm) コンクリートの設計基準強度 ※「標仕」20.3.3による ・設計基準強度 Fc (N/mm2) 配筋 ※図面による 取付け方法 ※図面による</p>	<p>22 舗装工事</p> <p>①盛土に用いる材料 (22.2.3) (表3.2.1) ・A種 ※B種 ・C種 ・D種</p> <p>②路床材料 (22.2.2) (22.2.3) (表22.2.1) ・凍上抑制層 厚さ mm ・透水性舗装 フィルター層の厚さ0.5mm ※添加材料による路床安定処理 種類 ※高炉セメントB種 ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( ) ・消石灰( ) 添加量 kg/m<sup>3</sup> (目標CBR ※5以上 )</p>	<p>23 植栽工事</p> <p>①植木の植栽基盤整備 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>適用</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>※行う ・行わない</td> <td>※20 ・30</td> <td>※B種 ・</td> <td>※図面に よる ・</td> </tr> </table> <p>樹木 (23.2.2) (23.2.3) (表23.2.1) (表23.2.2)</p> <table border="1"> <tr> <th>樹木の樹高(m)</th> <th>有効土層の厚さ(cm)</th> <th>工法</th> <th>整備範囲</th> </tr> <tr> <td>・12以上</td> <td>※100</td> <td>※A種</td> <td>※図面に よる</td> </tr> <tr> <td>・7以上~12未満</td> <td>※80</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・3以上~7未満</td> <td>※60</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・3未満</td> <td>※50</td> <td>※A種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>工法D種以外の工法で、現状地盤高と計画地盤高が同一でない場合は、計画地盤高から有効土層とする。ただし、計画地盤高が現状地盤高より高い場合は、計画地盤高まで植込み用土で盛土を行う。</p>	適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	※行う ・行わない	※20 ・30	※B種 ・	※図面に よる ・	樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲	・12以上	※100	※A種	※図面に よる	・7以上~12未満	※80	※A種	・	・3以上~7未満	※60	※A種	・	・3未満	※50	※A種	・	<p>②植込み用土 (23.2.3) ・現場発生土の良質土 ・客土(黒土 ・真砂土)</p> <p>3 土壌改良材 (23.2.2) (23.2.3) (23.2.4) 適用する 施工箇所 ※図面による 土壌改良材 ※下水汚泥コンポスト ・バーク堆肥</p> <p>④樹木 (23.3.2) 樹木の樹種、寸法、株立数及び刈込みの並びに数量 ※図面による</p> <p>⑤支柱材 (23.3.2) ※丸太( ) ・竹 防腐処理方法は、加圧式防腐処理とする。</p> <p>6 幹巻き用材料 (23.3.2) ※幹巻き用テープ ・わら ・こも</p> <p>⑦新植樹木の枯補償期間 (23.3.4) 引渡しの日から ※1年 ・年</p> <p>8 移植樹木の枯損処置 (23.3.6) 引渡しの日から ※1年 ・年</p> <p>⑨芝張り (23.4.2) (23.4.2) 種類 ※コウライシバ ・ノシバ 吹付けは種用種子 ・種子の種類 ※洋芝類 ・種子の量( )</p> <p>地被類 (23.4.3) 芝張りの工法 ・目地張り ・べた張り</p>
構造形式	パネル部の総厚さ(mm)	表面材種厚さ(mm)	表面仕上げ	不燃材の認定																																																							
・パネル式 ・スタッド式 ・スタッドパネル式	・	※鋼板 ※0.6 ・0.8	※焼付塗装	・あり																																																							
遮音性能による区分	厚さ(mm)	表面材	表面仕上げ	施工箇所																																																							
・一般タイプ	・	※鋼板	※焼付塗装 ・壁紙張り																																																								
・遮音タイプ	・	※鋼板	※焼付塗装 ・壁紙張り																																																								
適用	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																																																								
※行う ・行わない	※20 ・30	※B種 ・	※図面に よる ・																																																								
樹木の樹高(m)	有効土層の厚さ(cm)	工法	整備範囲																																																								
・12以上	※100	※A種	※図面に よる																																																								
・7以上~12未満	※80	※A種	・																																																								
・3以上~7未満	※60	※A種	・																																																								
・3未満	※50	※A種	・																																																								
<p>4 トイレブース (20.2.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>表面仕上げ材</th> <td>・メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き)</td> </tr> <tr> <th>脚部</th> <td>※幅木タイプ ・足金物タイプ</td> </tr> </table> <p>○製造所の仕様による ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p>	表面仕上げ材	・メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き)	脚部	※幅木タイプ ・足金物タイプ	<p>5 手すり (20.2.6)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料の種類</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>手すり</td> <td>・ステンレス SUS304 ・鉄 ・アルミ</td> <td>・HL程度 ・鏡面程度 ・垂鉛めっき 外部 ※C種</td> </tr> </table>	種類	材料の種類	表面処理	手すり	・ステンレス SUS304 ・鉄 ・アルミ	・HL程度 ・鏡面程度 ・垂鉛めっき 外部 ※C種	<p>16 間知石およびコンクリート間知ブロック積み (20.4.2)</p> <p>間知石の材種 ・間知石 ・コンクリート間知ブロック (種類及び質量区分 ※図面による)</p> <p>地業 ※砂地業 (4.6.3) 積み方 ※谷積み ・布積み (20.4.3) ・目塗りを行う 伸縮調整目地</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <td>・エラストイト</td> </tr> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <td>・10</td> </tr> </table>	材質	・エラストイト	厚さ(mm)	・10	<p>17 その他</p>	<p>3 路床土の支持力比(CBR)試験 (22.2.5) ・行う (※乱した土 ・乱さない土)</p> <p>4 路床締固め度の試験 (22.2.5) ・行う</p> <p>⑤路盤材料 (22.3.2) (22.3.3) (表22.3.1) ※再生クラッシュラン(RC-40) ・クラッシュラン(C-40) ・クラッシュラン鉄鋼スラグ(CS-40) 厚さ mm</p>	<p>6 アスファルト舗装 (22.4.2) (22.4.3) アスファルト 厚さ mm ※再生アスファルト ・ストレートアスファルト 加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4) (表22.4.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>表層 ※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)</td> <td>※図面による</td> </tr> </table> <p>・アスファルト混合物の抽出試験を行う (22.4.6)</p>	種類	施工箇所	表層 ※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	※図面による	<p>⑦コンクリート舗装 (22.5.2) (22.5.3) コンクリートの種類 厚さ ※70mm ※普通コンクリート ※「標仕」22.5.5による ・寒冷期の施工 ・早強セメントを用いる (22.5.3) (表22.5.2) 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・高弾性タイプ (22.5.3) (表22.5.2) 溶接金網 ※あり 径 ※6mm ・ mm 網目寸法 ※150mm ・ mm ・無し</p> <p>8 カラー舗装 (22.6.2) (22.6.3) 車道部の基層 ※無し ・あり カラー舗装の種類 ・加熱系混合物 ・構成 ・厚さ ・種類 ・常温系混合物 ・着色部の下部(アスファルト舗装 ・コンクリート舗装) ・工法(ニート工法 ・塗布工法)</p>																																			
表面仕上げ材	・メラミン樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き) ・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コーナーエッジ付き)																																																										
脚部	※幅木タイプ ・足金物タイプ																																																										
種類	材料の種類	表面処理																																																									
手すり	・ステンレス SUS304 ・鉄 ・アルミ	・HL程度 ・鏡面程度 ・垂鉛めっき 外部 ※C種																																																									
材質	・エラストイト																																																										
厚さ(mm)	・10																																																										
種類	施工箇所																																																										
表層 ※密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	※図面による																																																										
<p>6 階段滑り止め (20.2.7)</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <td>○ステンレスSUS304</td> </tr> <tr> <th>形状</th> <td>ビニルタイヤ (有 ・無)</td> </tr> <tr> <th>幅(mm)</th> <td>約35mm</td> </tr> <tr> <th>取付け工法</th> <td>※ 接着工法 ・埋込み工法</td> </tr> </table>	材種	○ステンレスSUS304	形状	ビニルタイヤ (有 ・無)	幅(mm)	約35mm	取付け工法	※ 接着工法 ・埋込み工法	<p>7 黒板 (20.2.9)</p> <p>・黒板 JIS S 6007</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <td>※焼付け</td> </tr> <tr> <th>色</th> <td>※緑</td> </tr> </table>	種類	※焼付け	色	※緑	<p>21 ①屋外雨水排水工事 (21.2.1) (21.2.2) ※図面および横浜市環境創造局「横浜市排水設備要覧」による</p> <p>・マンホール側塊 ・排水枿 ・枿ふた ・グレーチング(ボルト固定(有 ・無) ※材質、寸法、適用荷重、その他の仕様は図示による</p> <p>○現場打ちコンクリート(※普通コンクリート)</p> <p>②排水管材料 (21.2.1) (21.2.2) ・鉄筋コンクリート管 ・硬質ポリ塩化ビニル管(VP ・VU) ○リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管(RS-VU)</p> <p>③排水管の布設 (21.2.2) ○塩化ビニル管の基礎指定 ※有( )</p> <p>④排水管の地業材料 (21.2.1) ○砂地業の砂 ・シルト ・川砂 ・砕砂 ※再生クラッシュラン ・切込砂利 ・切込碎石 ・粒度 ○C-40 ・C-30 ・C-20</p> <p>⑤街きよ、縁石及び側溝 (21.3.1) (表21.3.1) ○プレキャスト製品 ・縁石 ・L型側溝(無筋 ・有筋) ○U型側溝 ・U型側溝ふた ○現場打ちコンクリート(※普通コンクリート)</p>	<p>9 透水性アスファルト舗装 (表22.7.1) (表22.7.2) ※再生アスファルト ・ストレートアスファルト ・アスファルト混合物の抽出試験を行う (22.7.6) (22.4.6)</p> <p>⑩ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1) (施工箇所: 図面による)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>目地材</th> </tr> <tr> <td>・普通平板(N) ・カラー平板(G) ・流出平板(W) ・擬石平板(S)</td> <td>・300角</td> <td>※60</td> <td>※砂 ・モルタル</td> </tr> </table> <p>○インターロッキングブロック舗装 (22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1) (施工箇所: 図面による)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>色彩及び表面加工等</th> </tr> <tr> <td>※標準ブロック ○透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック</td> <td>車道部 ※80 歩道部 ※60</td> <td>※標準品 ・誘導、注意喚起用は黄色とする</td> </tr> </table> <p>製造所 ※監督員の承諾する製造所 (22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1)</p> <p>・舗石舗装 (22.8.2) (22.8.3) (表22.8.1) (施工箇所: 図面による)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> </tr> <tr> <td>※小舗石(花こう岩)</td> <td>※80-100</td> <td></td> <td>※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装</td> </tr> </table>	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	・普通平板(N) ・カラー平板(G) ・流出平板(W) ・擬石平板(S)	・300角	※60	※砂 ・モルタル	種類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等	※標準ブロック ○透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック	車道部 ※80 歩道部 ※60	※標準品 ・誘導、注意喚起用は黄色とする	種類	厚さ(mm)	施工方法	基層	※小舗石(花こう岩)	※80-100		※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装	<p>⑪砂利敷き (22.9.2) (表22.9.1) ・通路 ※A種 ・建物周囲 ・A種 ※B種</p> <p>12 その他</p>	<p>10 屋上緑化 (23.5.2) (23.5.3) 植栽基盤 土壌層の厚さ ・図面による 材料 [屋上緑化システム] ・排水層 ・軽量骨材 ・透水排水管 ・板状成形品 土壌層 植込み用土 ※改良土 ・人工軽量土</p> <p>屋上緑化軽量システム 樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数並びに刈り込みものの適用及び数量 ・図面による 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・図面による</p> <p>工法 (23.5.4) 固定方法 支柱の設置及び形式 かん水装置の設置及び種類 ・図面による</p>																				
材種	○ステンレスSUS304																																																										
形状	ビニルタイヤ (有 ・無)																																																										
幅(mm)	約35mm																																																										
取付け工法	※ 接着工法 ・埋込み工法																																																										
種類	※焼付け																																																										
色	※緑																																																										
種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材																																																								
・普通平板(N) ・カラー平板(G) ・流出平板(W) ・擬石平板(S)	・300角	※60	※砂 ・モルタル																																																								
種類	厚さ(mm)	色彩及び表面加工等																																																									
※標準ブロック ○透水性ブロック ・誘導、注意喚起用ブロック ・植生ブロック	車道部 ※80 歩道部 ※60	※標準品 ・誘導、注意喚起用は黄色とする																																																									
種類	厚さ(mm)	施工方法	基層																																																								
※小舗石(花こう岩)	※80-100		※コンクリート舗装 ・アスファルト舗装																																																								
<p>8 表示標識 (20.2.11)</p> <p>○衝突防止表示 ※図面による (市販品 ※ステンレス製 径約30mm) ・誘導標識 ・図面による ・非常用進入口表示 ・図面による ○室名札 ○ピクトグラフ ・案内板 形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付形式 (※図面による)</p>	<p>9 タラップ (20.2.12)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料の種類</th> <th>表面処理</th> </tr> <tr> <td>タラップ</td> <td>※ステンレス SUS304 ・鉄</td> <td>※研磨なし ・垂鉛めっき 内外部 ※C種</td> </tr> </table>	種類	材料の種類	表面処理	タラップ	※ステンレス SUS304 ・鉄	※研磨なし ・垂鉛めっき 内外部 ※C種	<p>6 その他</p>	<p>11 その他</p>	<p>11 その他</p>	<p>11 その他</p>																																																
種類	材料の種類	表面処理																																																									
タラップ	※ステンレス SUS304 ・鉄	※研磨なし ・垂鉛めっき 内外部 ※C種																																																									
<p>11 ブラインド (20.2.14)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラットの幅(mm)</th> <th>ヘッドボックス、ボトムレールの材質</th> </tr> <tr> <td>・横型</td> <td>※ギア式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> </tr> <tr> <td>・縦型</td> <td>・1本操作コード ※2本操作コード</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・</td> <td>・アルミニウム合金製</td> </tr> </table>	形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	ヘッドボックス、ボトムレールの材質	・横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・縦型	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・	・アルミニウム合金製	<p>10 煙突ライニング (20.2.13) 煙突用成形ライニング材 安全使用温度 ※650℃ 製造所 評価名簿による キャスト耐火材 (20.2.13) 安全使用温度 ※400℃ 製造所 監督員の承諾する製造所 工法 ※図面による (20.2.13)</p>	<p>12 その他</p>	<p>12 その他</p>	<p>12 その他</p>	<p>12 その他</p>																																							
形式	種類	スラットの材質	スラットの幅(mm)	ヘッドボックス、ボトムレールの材質																																																							
・横型	※ギア式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製																																																							
・縦型	・1本操作コード ※2本操作コード	・アルミスラット ・クロススラット	・	・アルミニウム合金製																																																							
<p>12 ロールスクリーン (20.2.15)</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>装置</th> <th>生地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>ひだの種類</th> </tr> <tr> <td>図示</td> <td>図示</td> <td>幅 高さ その他</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> </table>	施工箇所	形式	装置	生地の種類、品質、特殊加工等	ひだの種類	図示	図示	幅 高さ その他	図示	図示	<p>13 カーテン (20.2.16) (表20.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>装置</th> <th>生地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>ひだの種類</th> </tr> <tr> <td>片引 引分</td> <td>電動 ひも引 手引</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・図面による</p>	形式	装置	生地の種類、品質、特殊加工等	ひだの種類	片引 引分	電動 ひも引 手引			<p>12 その他</p>	<p>12 その他</p>	<p>12 その他</p>	<p>12 その他</p>																																				
施工箇所	形式	装置	生地の種類、品質、特殊加工等	ひだの種類																																																							
図示	図示	幅 高さ その他	図示	図示																																																							
形式	装置	生地の種類、品質、特殊加工等	ひだの種類																																																								
片引 引分	電動 ひも引 手引																																																										

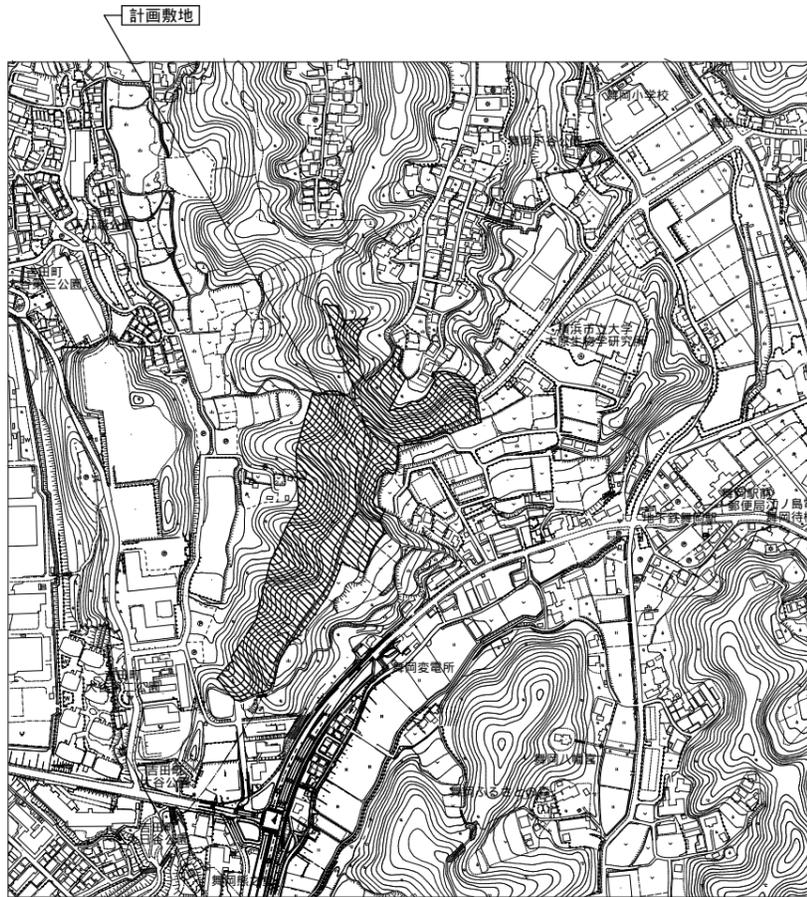
工事概要	敷地概要
管理棟新築工事	所在地 戸塚区吉田町1653番1ほか
外構工事	主要用途 管理事務所(納骨堂含む)
植栽工事	用途地域 市街化調整区域
	防火地域 指定無し
	高度地区
	敷地面積 46,920.93㎡
	建築面積 406.03㎡
	延床面積 593.98㎡
	建ぺい率 0.86% < 50.00%
	容積率 1.27% < 80.00%

建物概要

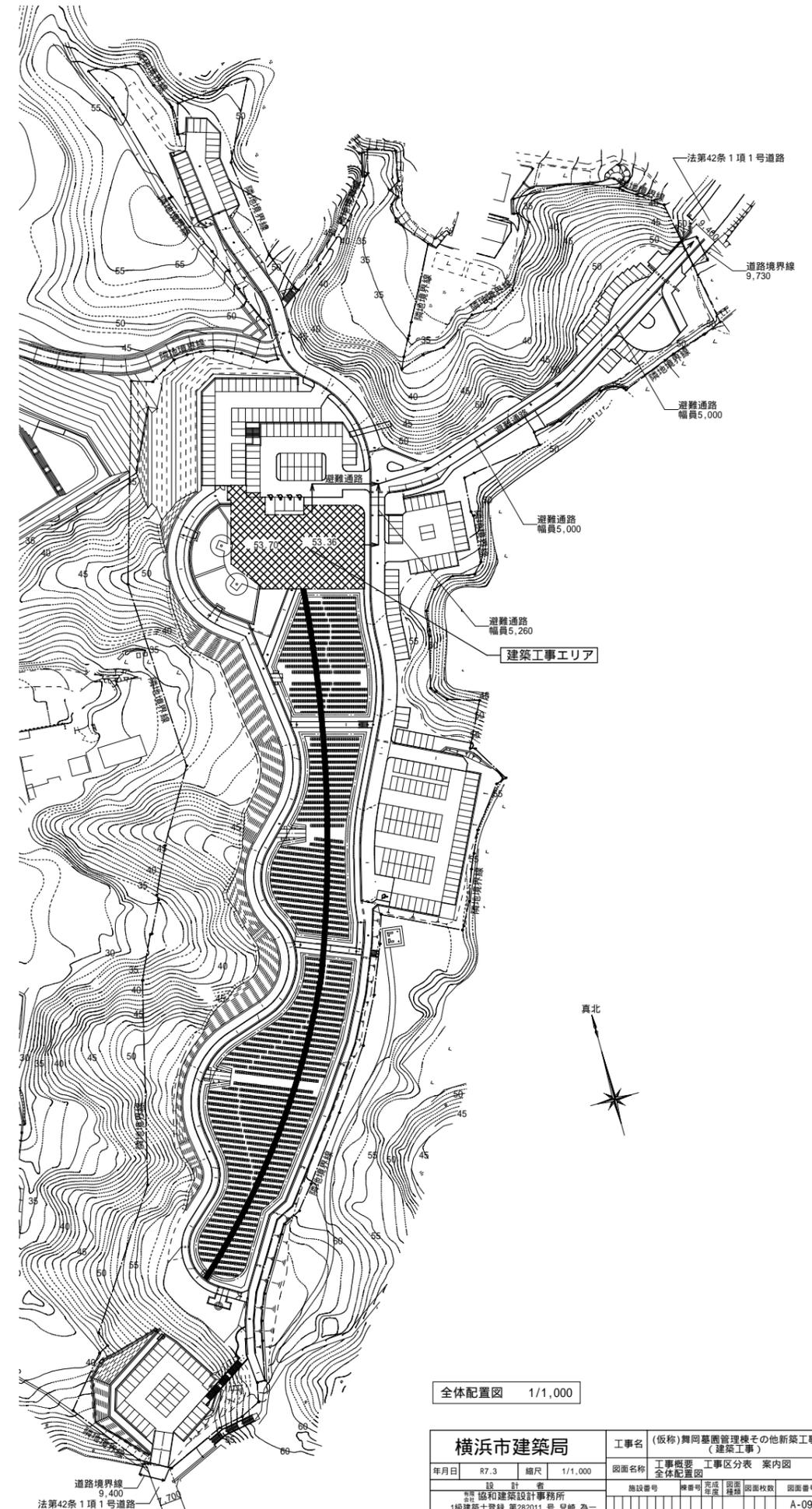
	建物用途	構造	耐火性能	建築面積(㎡)	床面積(㎡)			最高高さ(m)	最高軒高さ(m)
					地階	1階	延床面積		
納骨堂	納骨堂	鉄筋コンクリート造	耐火建築物	59.63	260.90	33.86	294.76	4.815	4.315
管理棟	管理事務所	鉄骨造	その他	346.40		299.22	299.22	6.641	5.773
	合計			406.03			593.98		
	敷地面積(㎡)			建ぺい率(%)		容積率(%)			
	46920.93			0.87		1.27			

工事区分表

工事項目	建築工事	電気設備工事	空調衛生設備工事	別途	備考
(外構工事関係)					
雨水排水経路(U字溝・集水溝)					蓋共
雨水排水最終排出暗渠工事					接続側の雨水樹は別途工事
雨水縦樋工事					
雨水縦樋からU字溝への配管接続工事					
屋外排水工事(汚水系統)					最終接続側の汚水樹は別途工事
汚水樹用化粧蓋			位置確認		樹本体の防臭蓋は空調衛生設備工事
献花台用排水金物(共栓付)及び、オーバーフロー配管					
献花台用給水栓及び給排水配管工事					
(設備配管関係)					
配管、ダクト施工時の下地補強		位置要出	位置要出		
空調換気機器設置用補強工事			位置要出		
点検口取付		位置要出	位置要出		
同上補強					
ベントキャップ(換気用・通気用)					
同上開口部シーリング					
スリーブ入れ(本工事分)					
スリーブ入れ(別途散水設備工事分)				位置確認	
スリーブ補強工事					
(衛生設備関係)					
給排水配管の新設					
衛生器具類の新設		位置要出			
別途工事直結給水管からの取出し、延長配管工事					
散水設備配管・自動給水ポンプ共					
散水設備受水構築造					
散水設備用直結給水配管、器具類					
直結給水管引込工事					
量水器築造工事					
基礎系統給水設備(配管、器具とも)					
(空調・換気設備関係)					
EHP空調機器					屋内機コントローラー共
空調屋外機コンクリート基礎工事					
空調配管工事(冷媒管・ドレン管)					
空調用二次側配線工事					
空調用屋内機コントローラー用配線					
空調用屋内機コントローラー配線用配管工事					真ボックス共
空調機用一時側電源供給					
密付換気扇・有圧換気扇(付属品共)					シックハウス用24時間運転換気扇共
同上用電源供給					スイッチ共
全熱交換形換気扇					コントローラー共
同上用電源供給					
外壁取付ガラリ(給気・排気共)			位置確認		
ドアガラリ等(給気用)			位置確認		
吹出、吸込、給排気口(取付ボックス共)		位置確認			
(電気設備関係)					
照明器具、電灯分電盤、動力制御盤の新設					
埋込照明器具設置用補強工事		位置要出			
配線器具、弱電機器の新設					
非常警報設備の新設					管理棟のみ設置
自動ドア 操作器及び二次側配管配線					
同上用一時側電源工事					
散水ポンプ制御盤の新設及び二次側配管配線工事					
同上用一時側電源工事					
機械警備機器の取付及び配線工事					
同上用配管工事					
事務室組合屋の新設					
電力及び電話引込工事					
(その他)					
消火器					設置位置、数量は所轄消防署との協議とする。
養生材処分					
内外足場及び安全設備					共通仮設
仮設電源設備・同保守					



案内図 © 横浜市(加工) 縮尺: NS

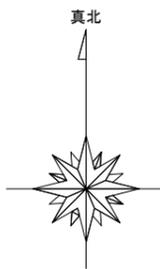
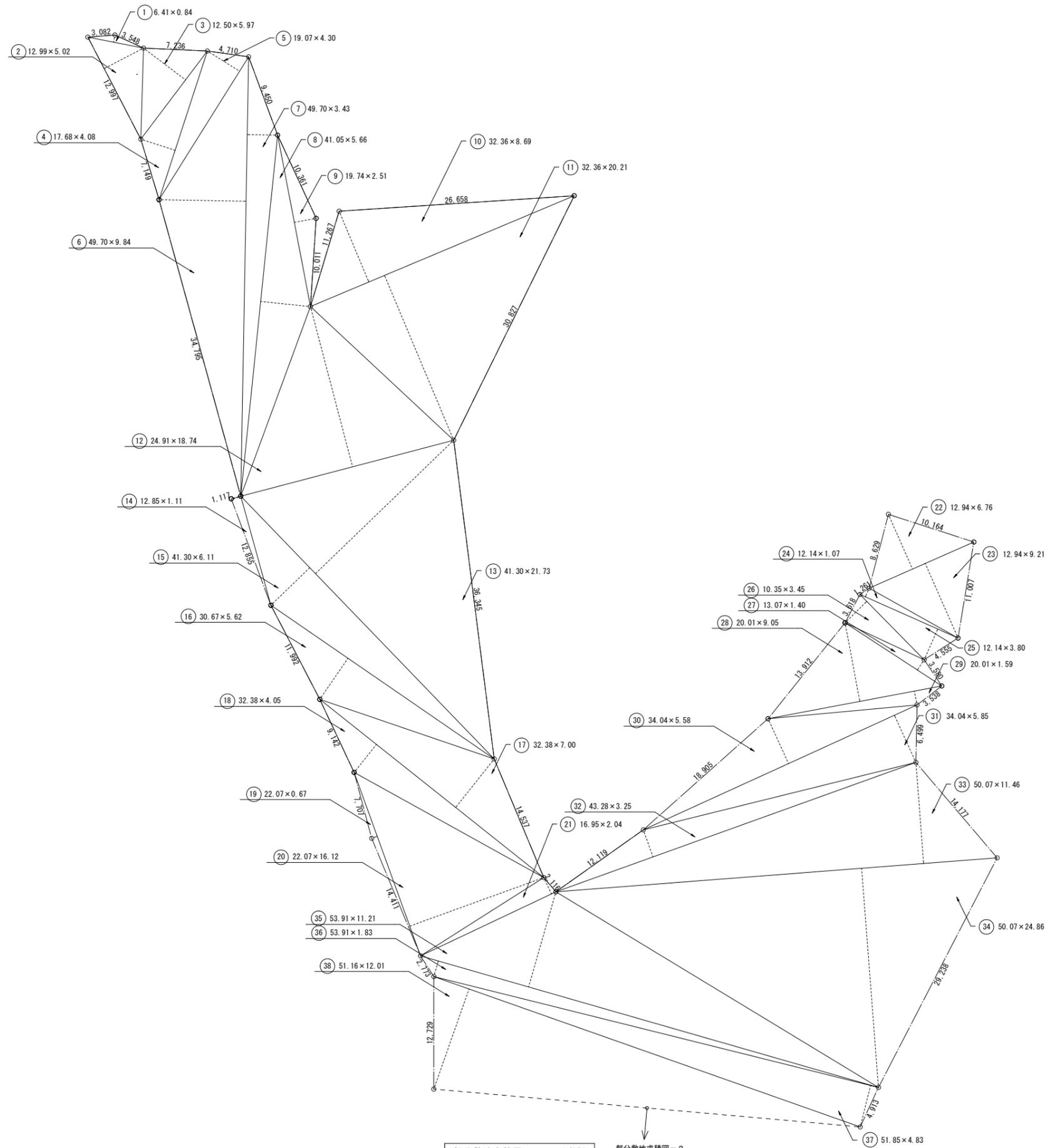


全体配置図 1/1,000

横浜市建築局			工事名 (仮称)興岡墓園管理棟その他新築工事 (建築工事)		
年月日 R7.3	縮尺 1/1,000	図面名称	工事概要	工事区分表	案内図
設計者 協和建築設計事務所	施設番号	標準	完成	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 兒嶋 為一					A-09





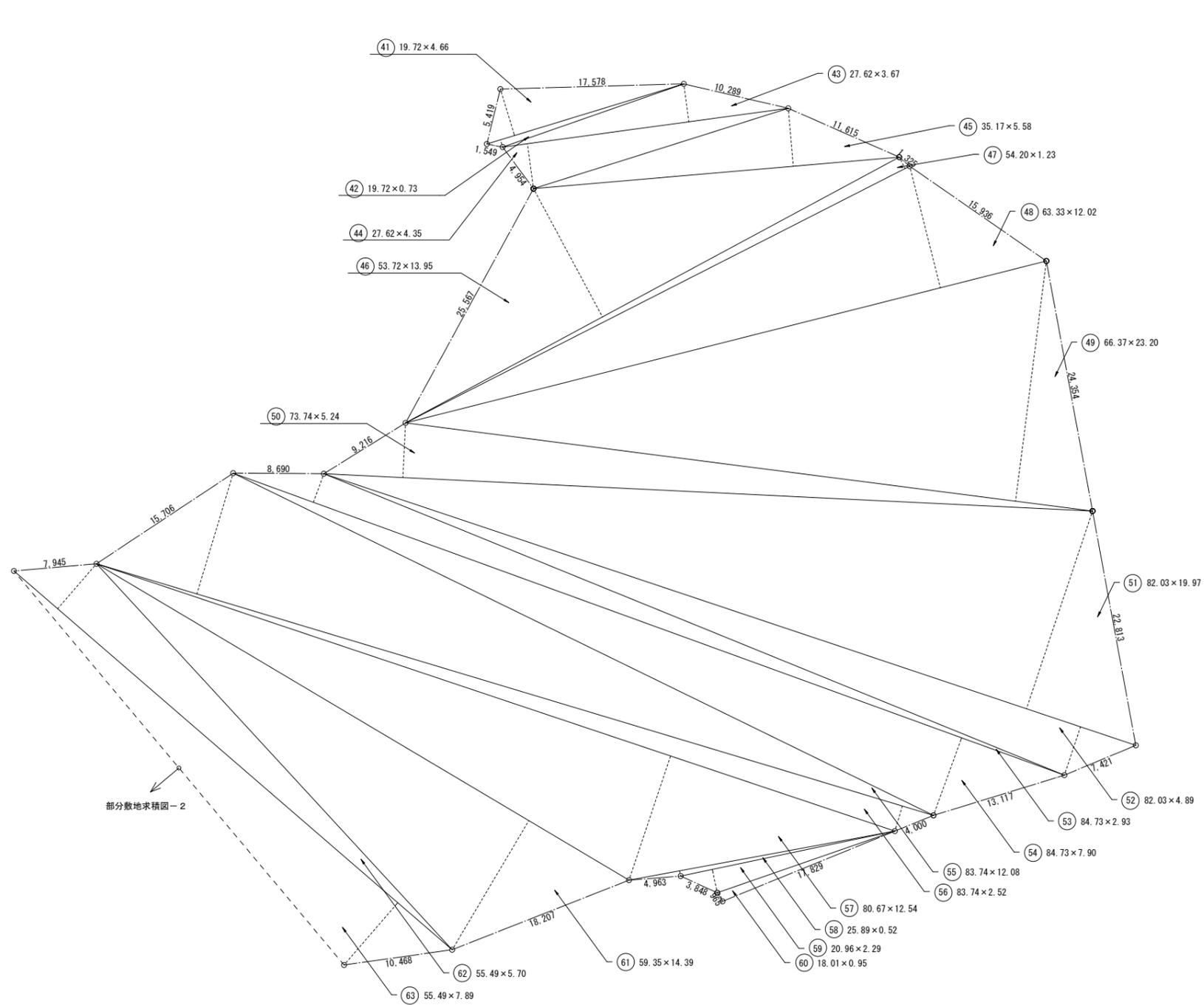


部分敷地求積図-1 1/250

部分敷地求積図-2

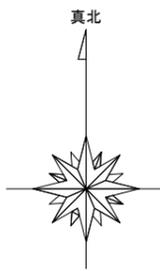
横浜市建築局				工事名	(仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/250	図面名称	部分敷地求積図-1			
設計者	協和建築設計事務所			地積番号	種別	完成年度	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 蛸崎 為一								A-12



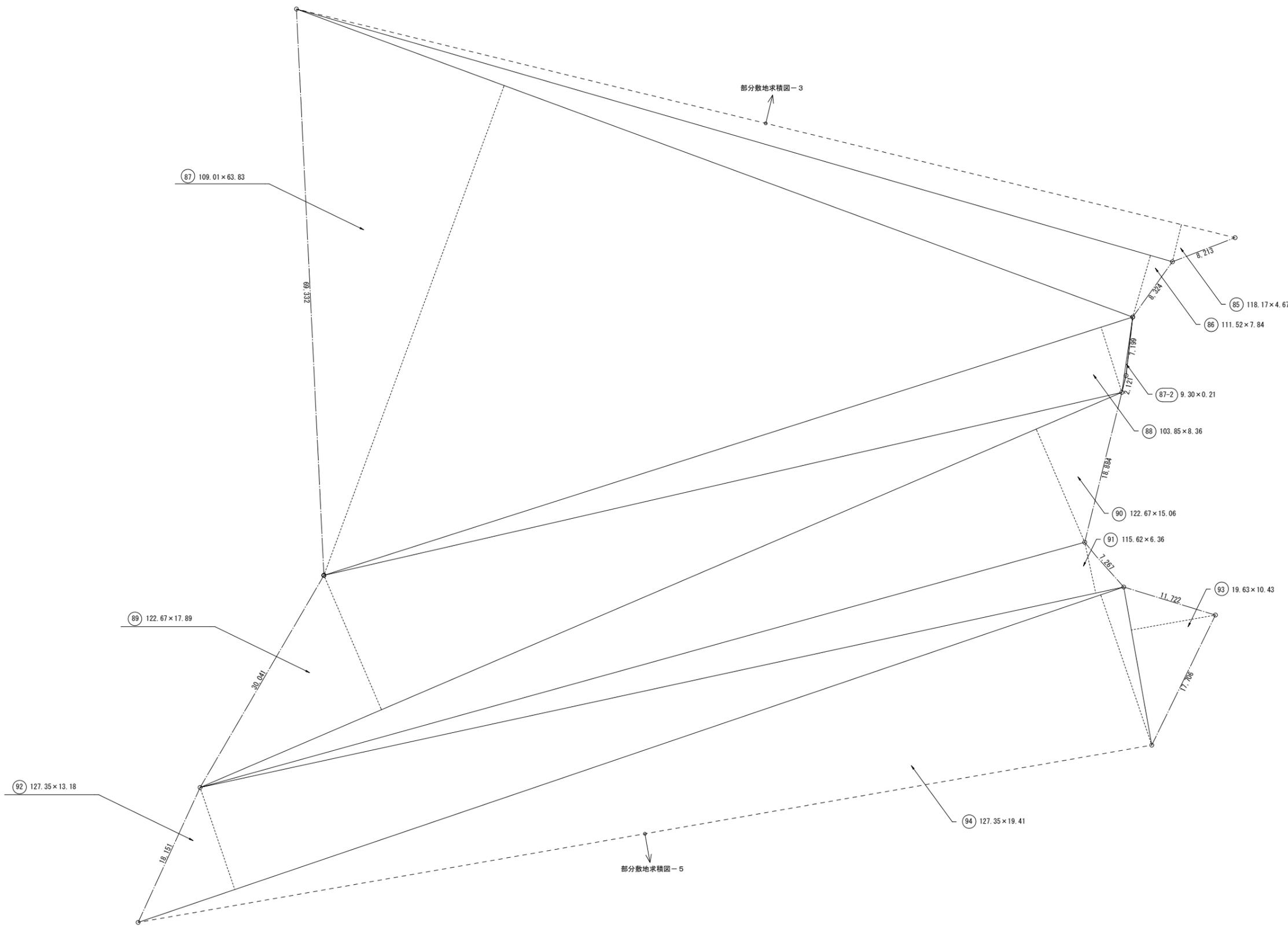
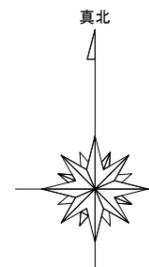


部分敷地求積図-2

部分敷地求積図-3 1/250

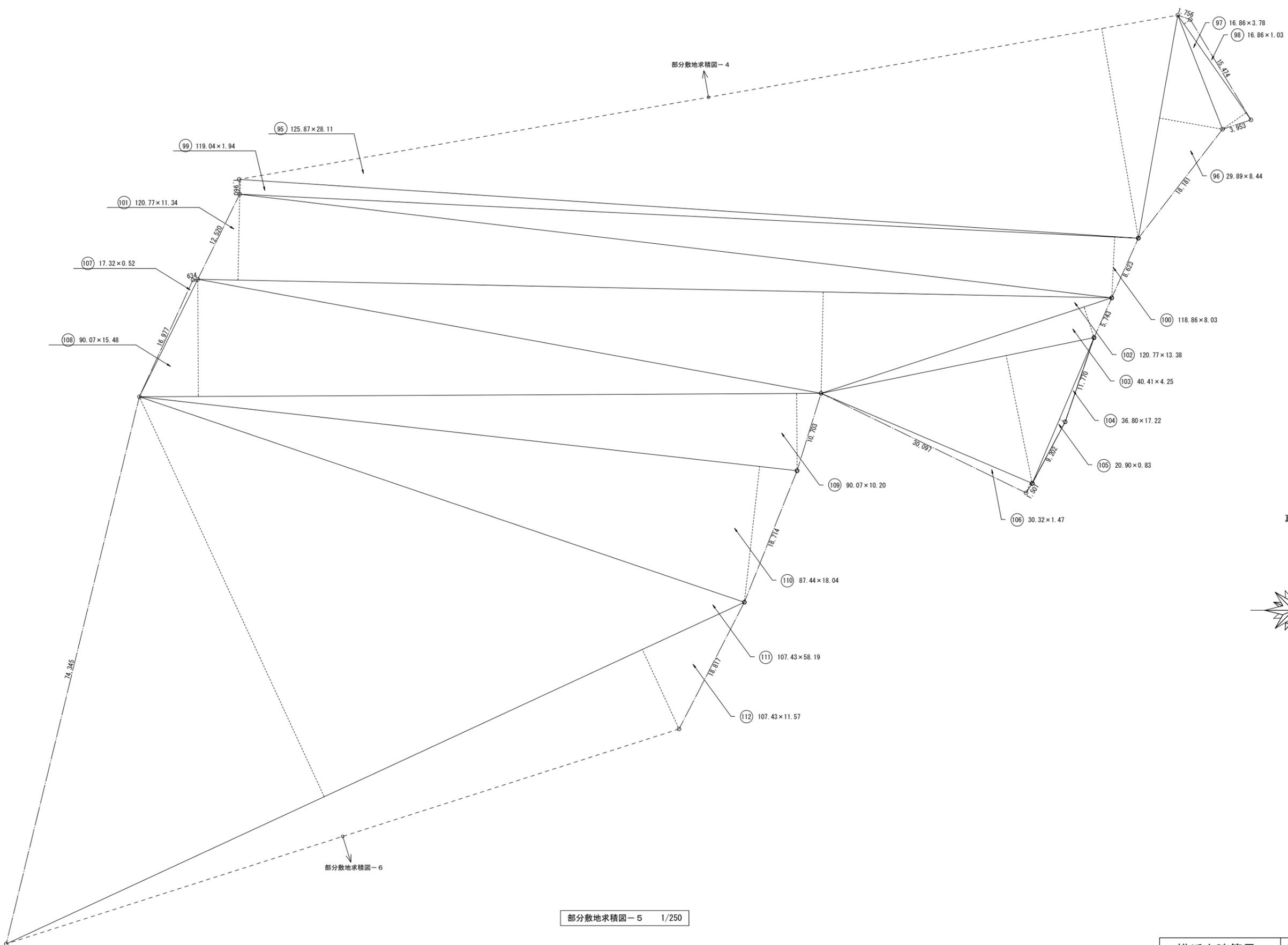


横浜市建築局				工事名	(仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/250	図面名称	部分敷地求積図-3			
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	棟番号	完成年度	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 泉崎 為一								A-14



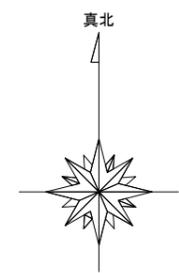
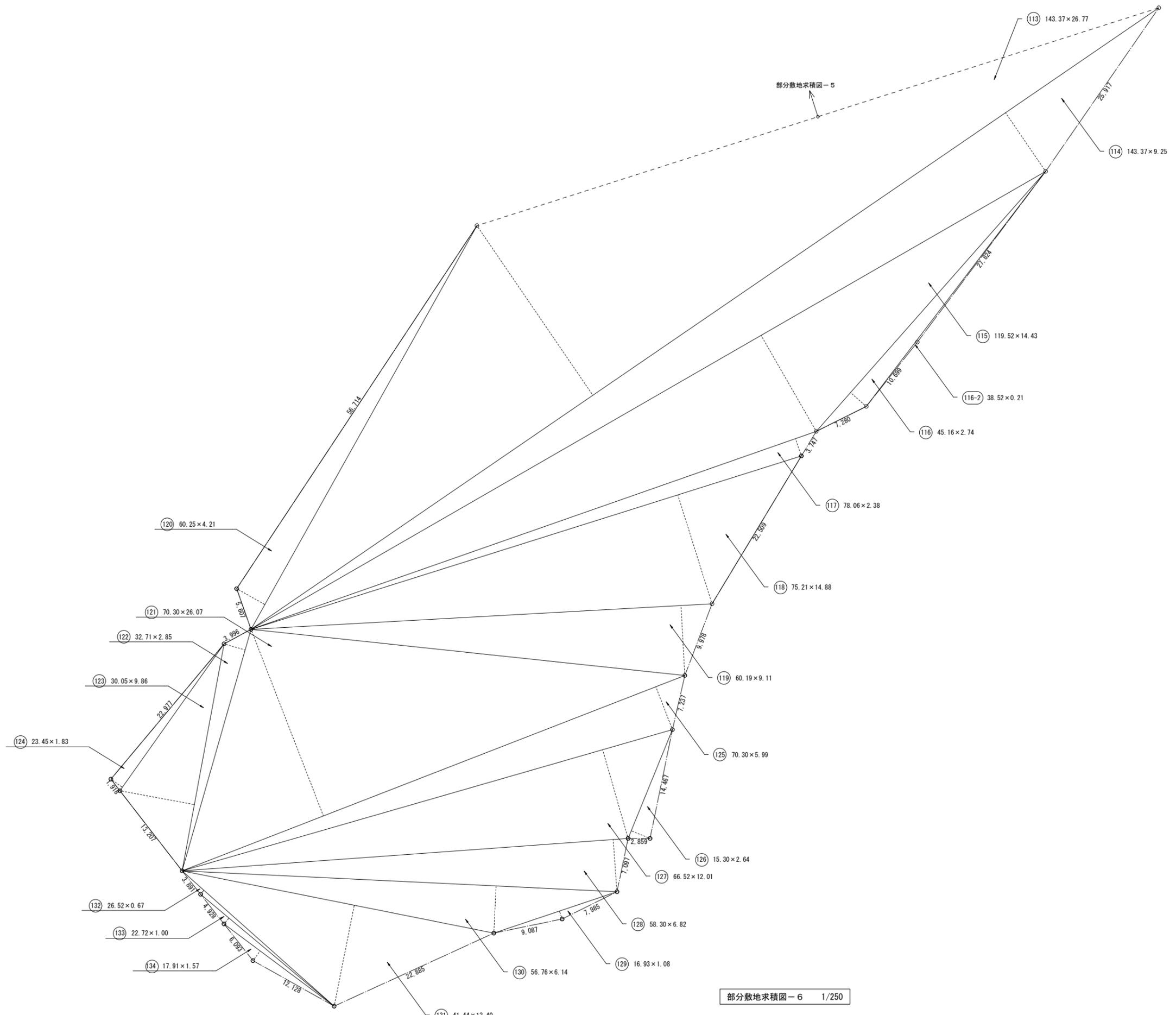
部分敷地求積図-4 1/250

横浜市建築局				工事名	(仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/250	図面名称	部分敷地求積図-4			
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	棟番号	完成年度	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 蛭崎 為一								A-15



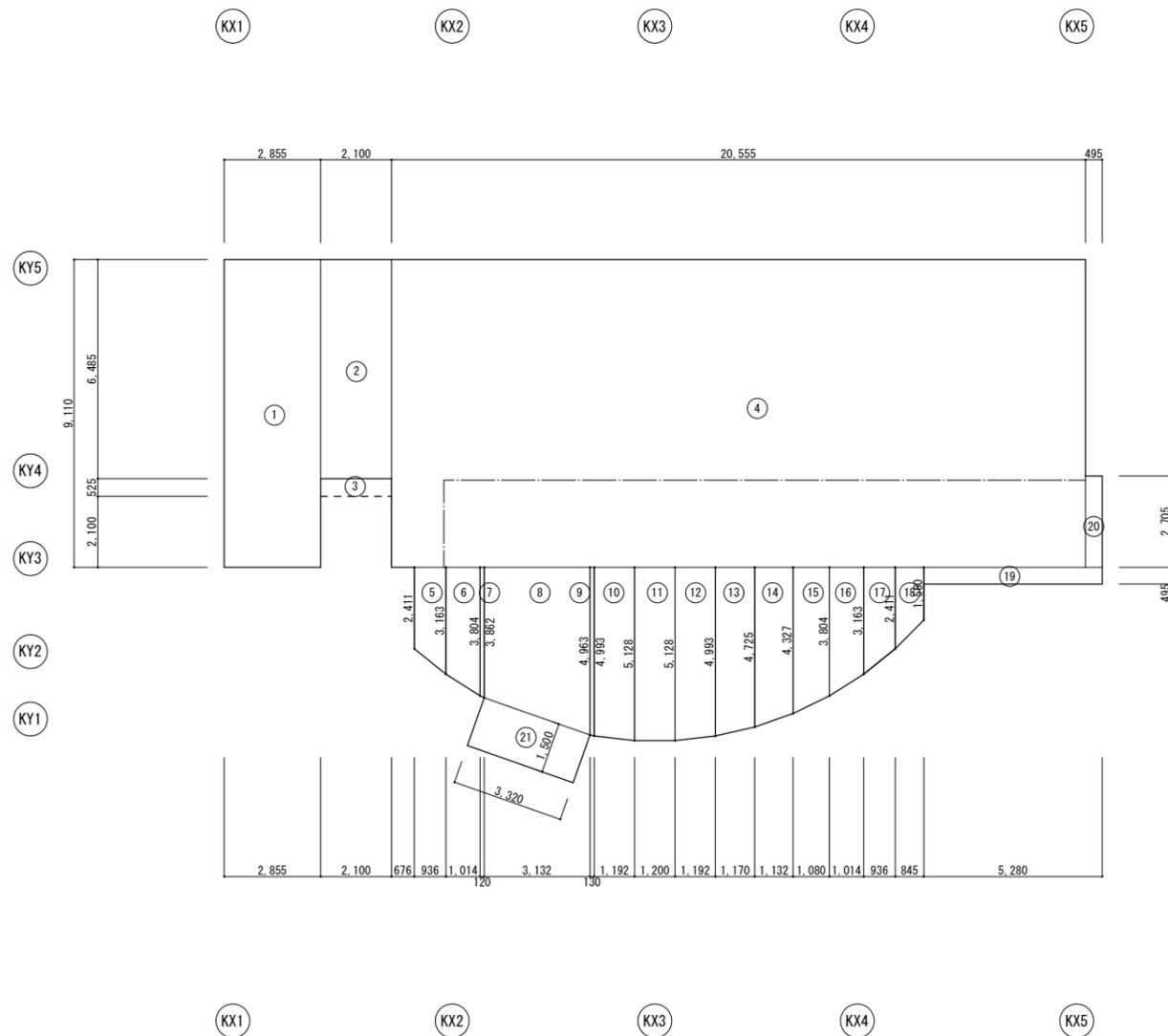
部分敷地求積図-5 1/250

横浜市建築局				工事名	(仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/250	図面名称	部分敷地求積図-5			
設計者	協和建築設計事務所			地設番号	欄番号	完成年度	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 岩崎 為一								A-16



部分敷地求積図-6 1/250

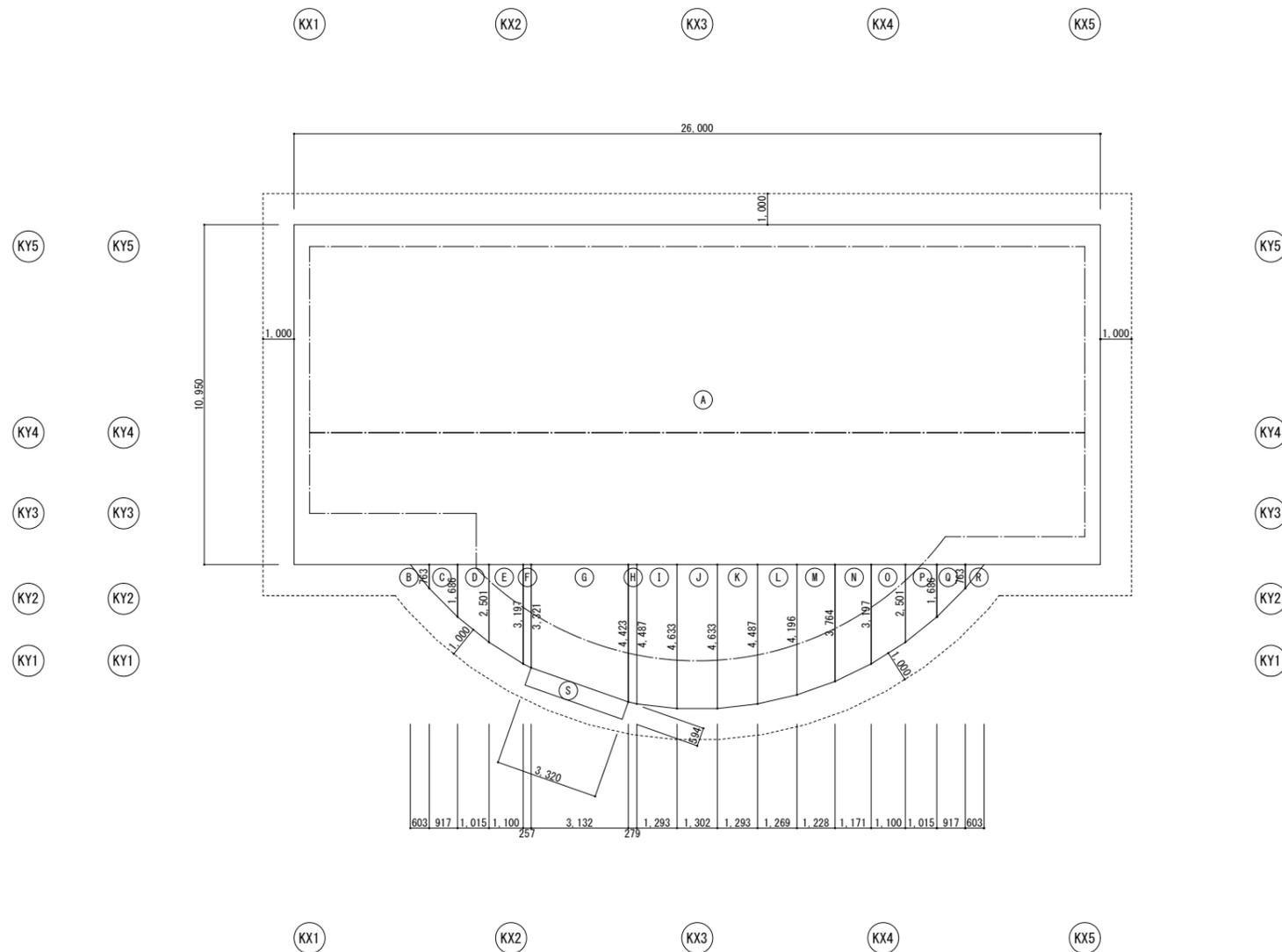
横浜市建築局				工事名	(仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/250	図面名称	部分敷地求積図-6			
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	種別	完成年度	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 蛸崎 為一								A-17



管理棟 床面積求積図 1/100

管理棟 床面積求積表

1	2.855 × 9.110	=	26.009
2	2.100 × 6.485	=	13.619
3	2.100 × 0.525	=	1.103
4	20.555 × 9.110	=	187.256
5	0.936 × ( 2.411 × 3.163 )/2	=	2.609
6	1.014 × ( 3.163 × 3.804 )/2	=	3.532
7	0.120 × ( 3.804 × 3.862 )/2	=	0.46
8	3.132 × ( 3.862 × 4.963 )/2	=	13.82
9	0.130 × ( 4.963 × 4.993 )/2	=	0.647
10	1.192 × ( 4.993 × 5.128 )/2	=	6.032
11	1.200 × 5.128	=	6.154
12	1.192 × ( 5.128 × 4.993 )/2	=	6.032
13	1.170 × ( 4.993 × 4.725 )/2	=	5.685
14	1.132 × ( 4.725 × 4.327 )/2	=	5.123
15	1.080 × ( 4.327 × 3.804 )/2	=	4.391
16	1.014 × ( 3.804 × 3.163 )/2	=	3.532
17	0.936 × ( 3.163 × 2.411 )/2	=	2.609
18	0.845 × ( 2.411 × 1.560 )/2	=	1.678
19	5.280 × 0.495	=	2.614
20	0.495 × 2.705	=	1.339
21	3.320 × 1.500	=	4.98
			299.22



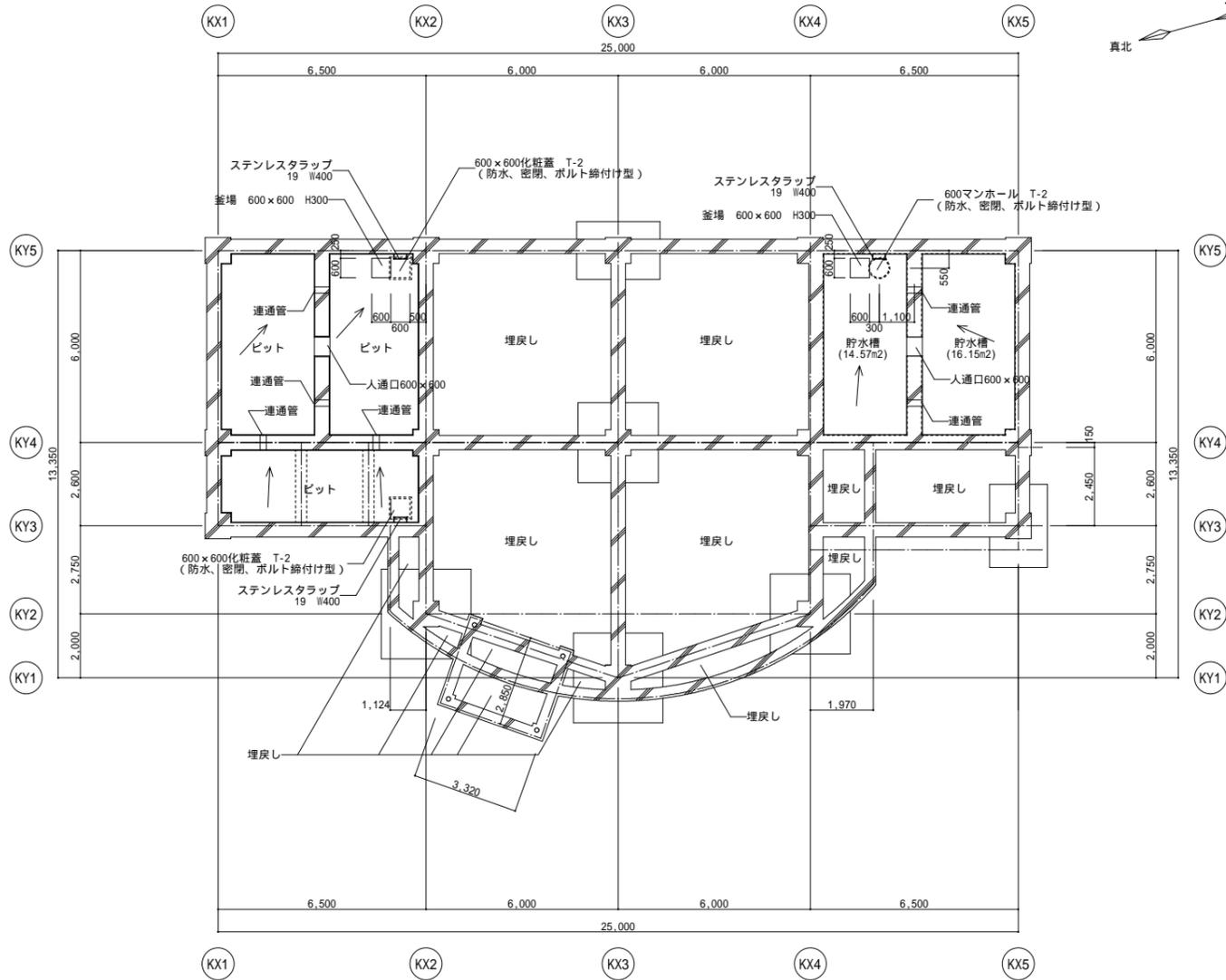
管理棟 建築面積求積図 1/100

管理棟 建築面積求積表

A	26.000 × 10.950	=	284.7
B	0.603 × 0.763 /2	=	0.23
C	0.917 × ( 0.763 × 1.686 )/2	=	1.123
D	1.015 × ( 1.686 × 2.501 )/2	=	2.125
E	1.100 × ( 2.501 × 3.197 )/2	=	3.134
F	0.257 × ( 3.197 × 3.321 )/2	=	0.838
G	3.132 × ( 3.321 × 4.423 )/2	=	12.127
H	0.279 × ( 4.423 × 4.487 )/2	=	1.243
I	1.293 × ( 4.487 × 4.633 )/2	=	5.896
J	1.302 × 4.633	=	6.032
K	1.293 × ( 4.633 × 4.487 )/2	=	5.896
L	1.228 × ( 4.487 × 4.196 )/2	=	5.509
M	1.228 × ( 4.196 × 3.764 )/2	=	4.887
N	1.171 × ( 3.764 × 3.197 )/2	=	4.076
O	1.100 × ( 3.197 × 2.501 )/2	=	3.134
P	1.015 × ( 2.501 × 1.686 )/2	=	2.125
Q	0.917 × ( 1.686 × 0.763 )/2	=	1.123
R	0.603 × 0.763 /2	=	0.23
S	3.320 × 0.594	=	1.972
			346.40

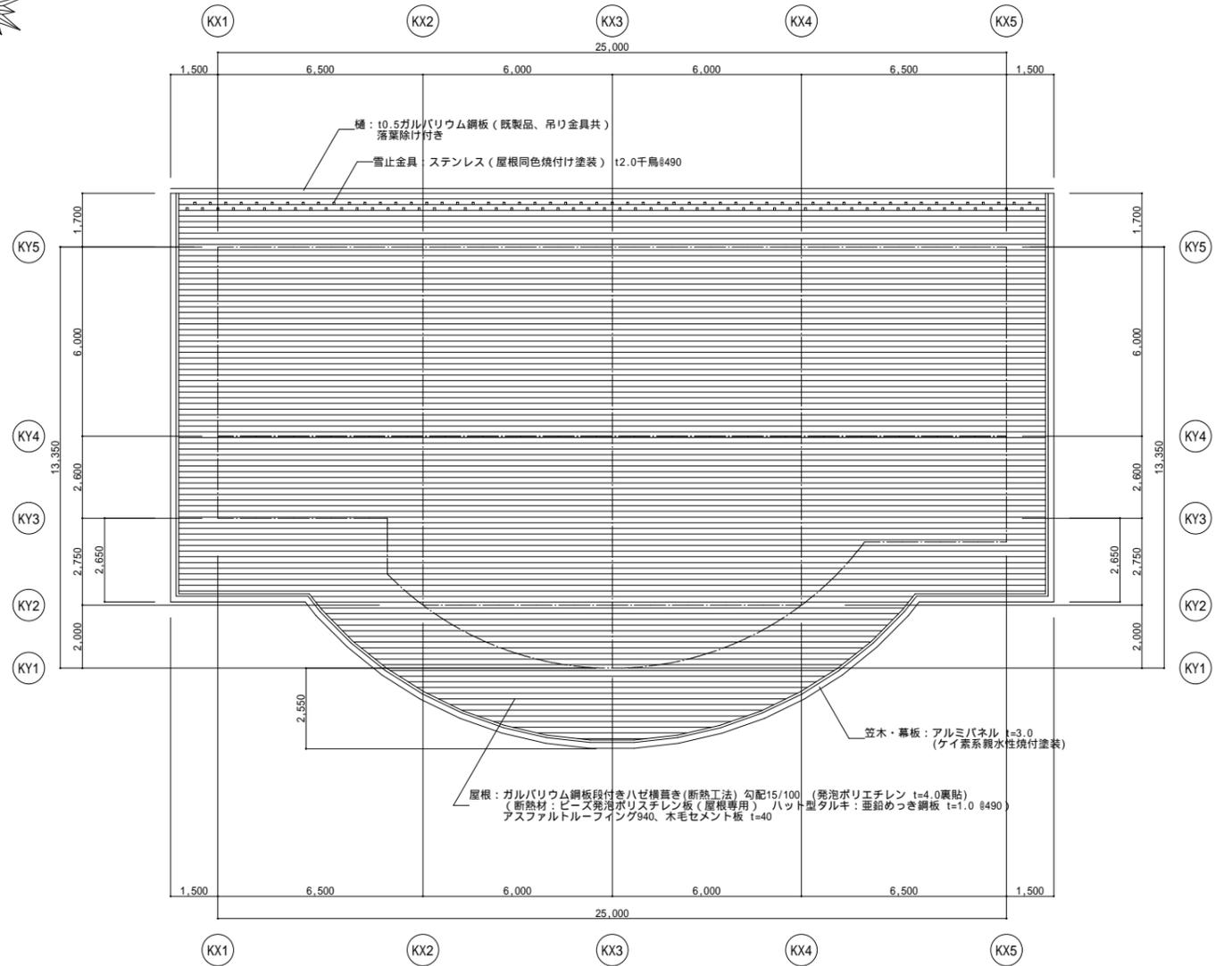




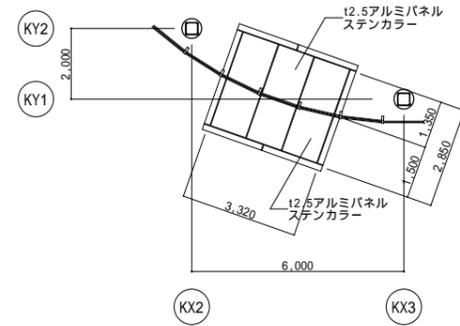


ピット平面図 1/100

特記事項  
 連通管：200(半割)、床面に設置する  
 貯水槽：容量：45.46m<sup>3</sup>



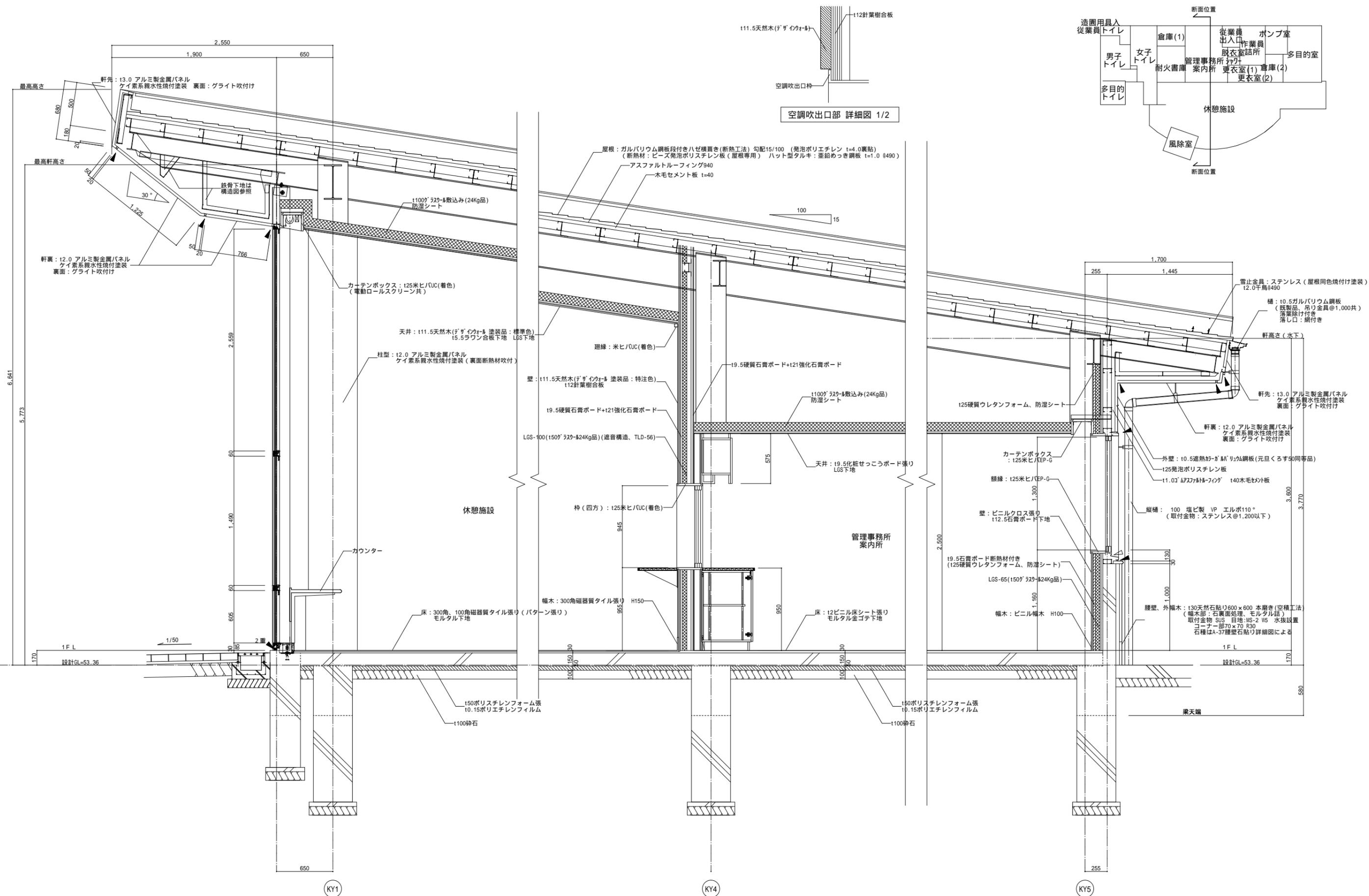
屋根伏図 1/100



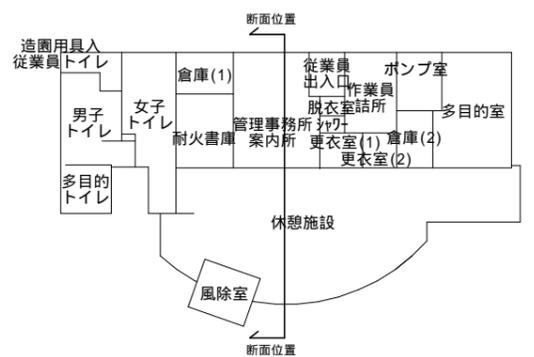
風除室屋根伏図 1/100

横浜市建築局			工事名 (仮称) 共同基盤管理棟その他新築工事 (建築工事)		
年月日	R7.03	縮尺	1/100	図面名称	【管理棟】ピット平面図 屋根伏図
設計	協和建築設計事務所	施設番号		標準	完成
1級建築士登録 第282011号 兒崎 為一		図面枚数		図面種類	図面番号
					A-21





空調吹出口部 詳細図 1/2



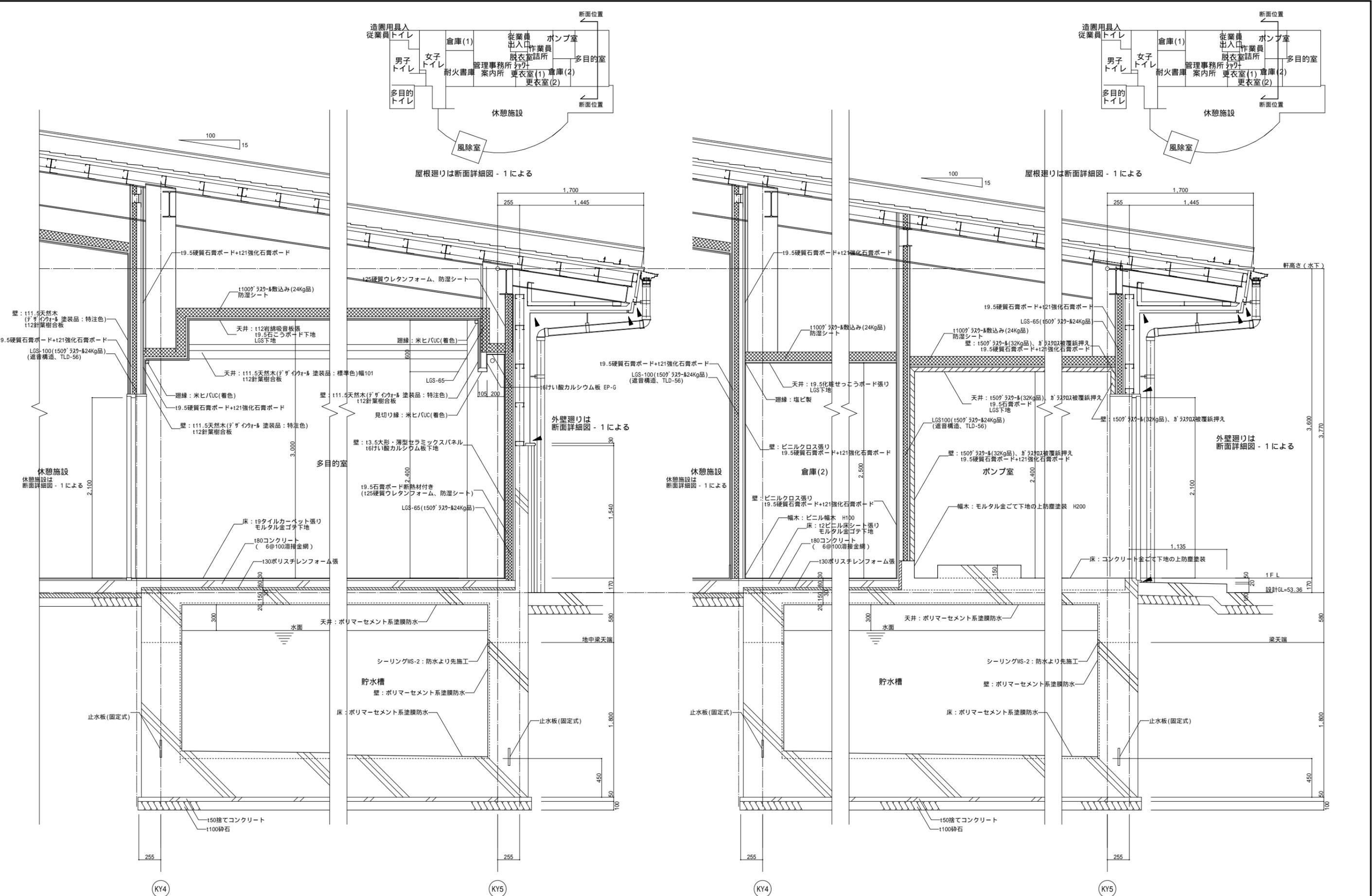
断面詳細図 1/20

KX3通り

凡例  
 ▲ シーリングPS-2  
 ▼ シーリングMS-2

横浜市建築局		工事名 (仮称)興同基園管理棟その他新築工事 (建築工事)	
年月日	R7.03	縮尺	1/20
設計者 協和建築設計事務所		【管理棟】断面詳細図 - 1	
1級建築士登録 第282011号 見崎 為一	施設計号	標準	完成
	図面枚数	図面種類	図面番号
			A-23





凡 例  
 シーリングPS-2  
 シーリングMS-2

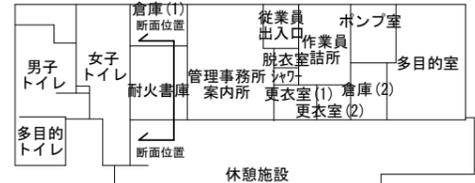
断面詳細図 1/20

ポリマーセメント系塗膜防水は  
 日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工法指針(案)  
 PB-1仕様 平均厚み1.1mm  
 とする

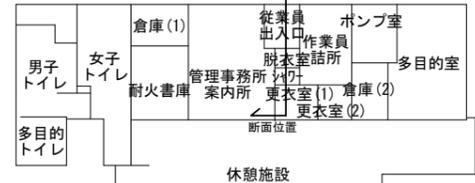
断面詳細図 1/20

ポリマーセメント系塗膜防水は  
 日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工法指針(案)  
 PB-1仕様 平均厚み1.1mm  
 とする

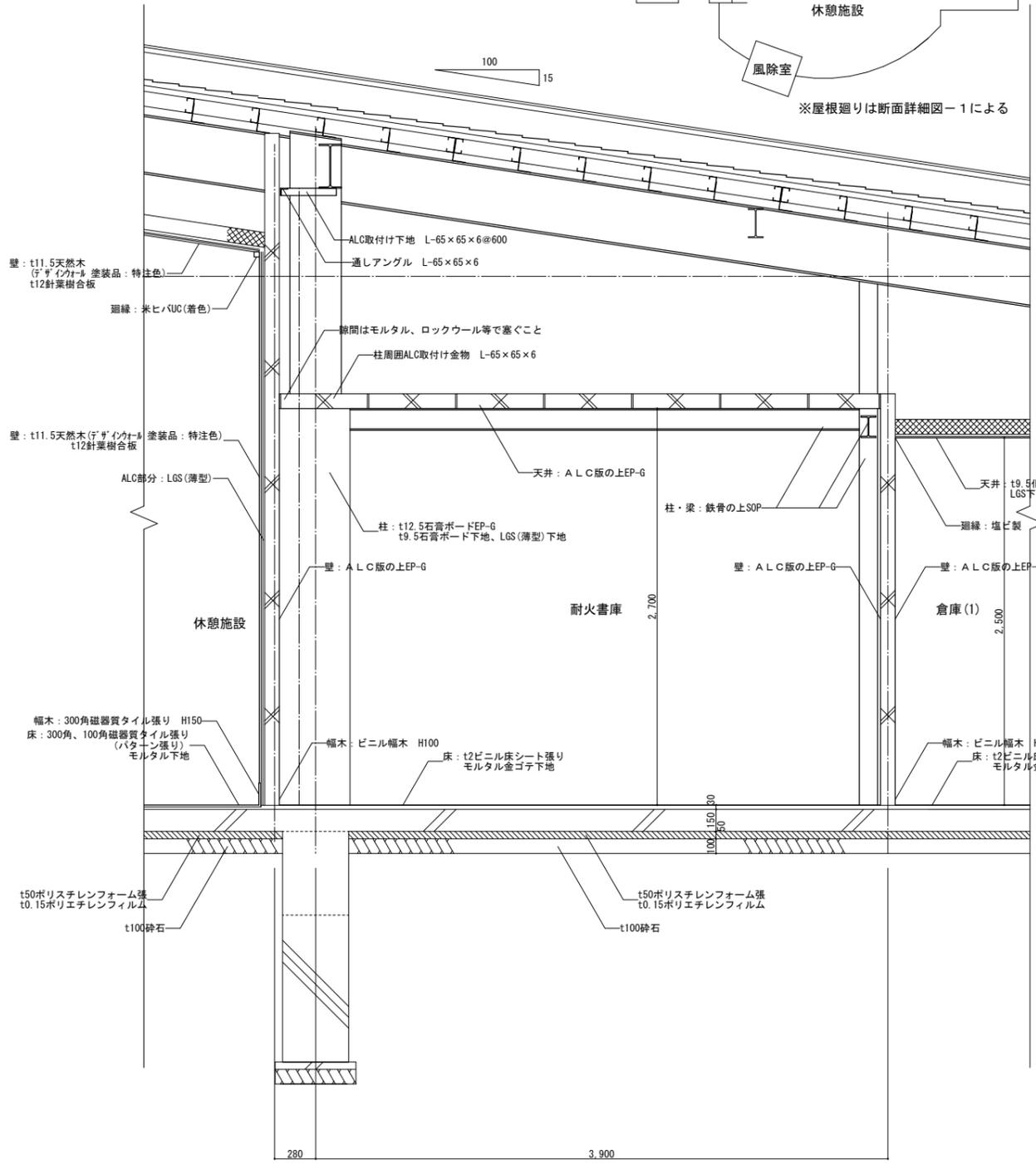
横浜市建築局				工事名 (仮称)興南基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/20	図面名称	【管理棟】断面詳細図 - 3		
設計	協和建築設計事務所	施設計号		標準	完成	図面	図面枚数
1級建築士登録 第282011号 見崎 為一							A-25



※屋根廻りは断面詳細図-1による

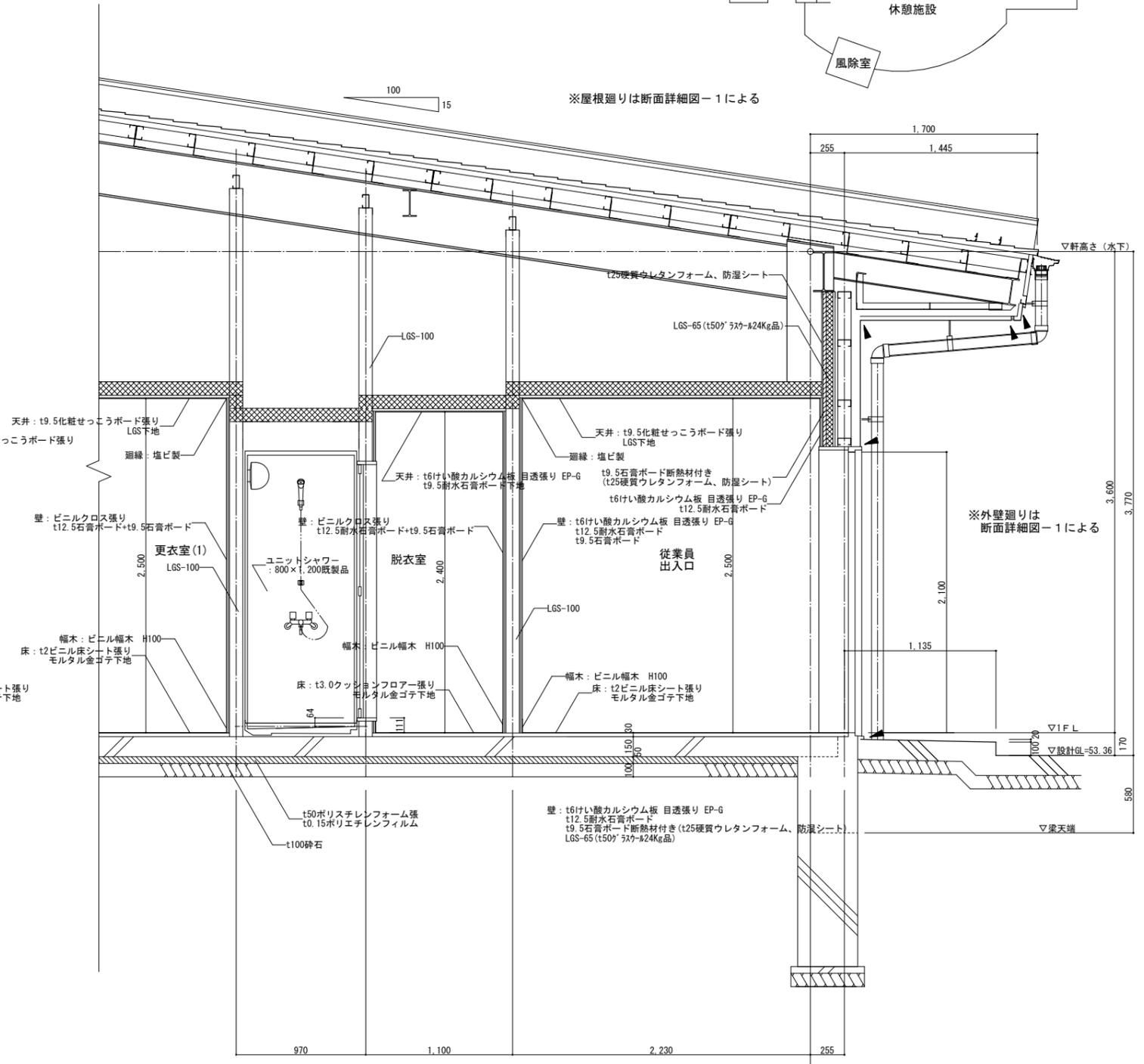


※屋根廻りは断面詳細図-1による



KY4

断面詳細図 1/20

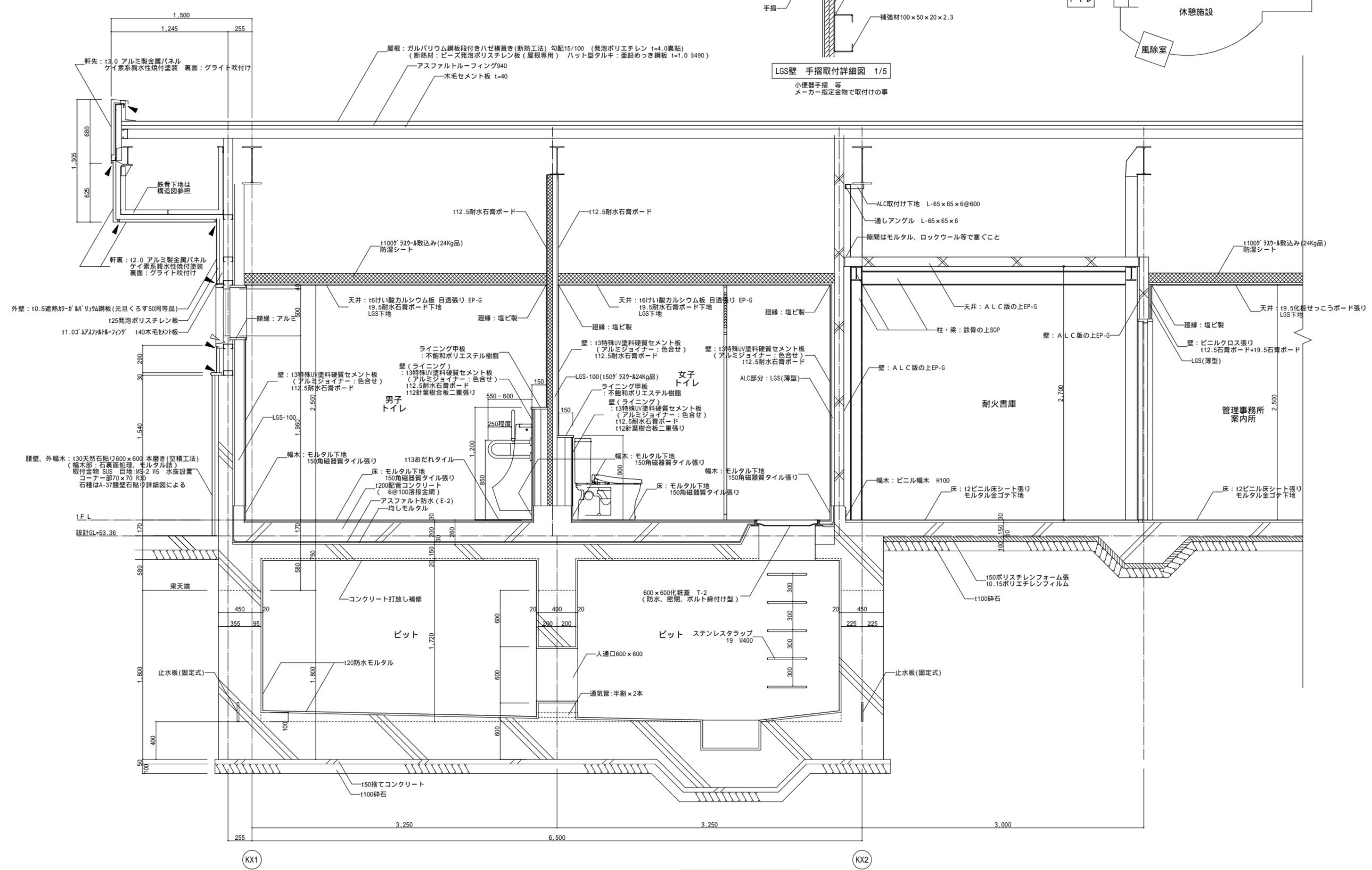
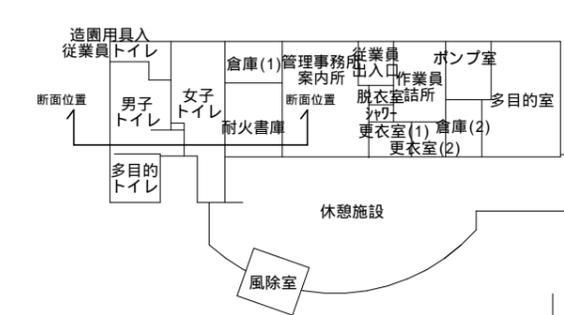
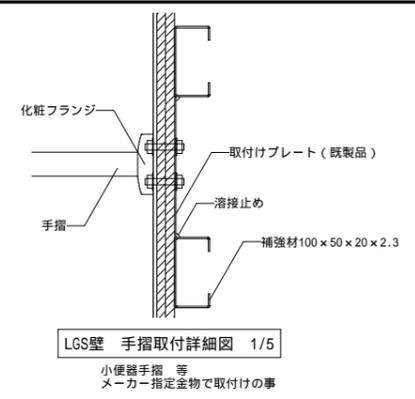


KY5

断面詳細図 1/20

- 凡例
- ▲ シーリングPS-2
  - ▲ シーリングMS-2

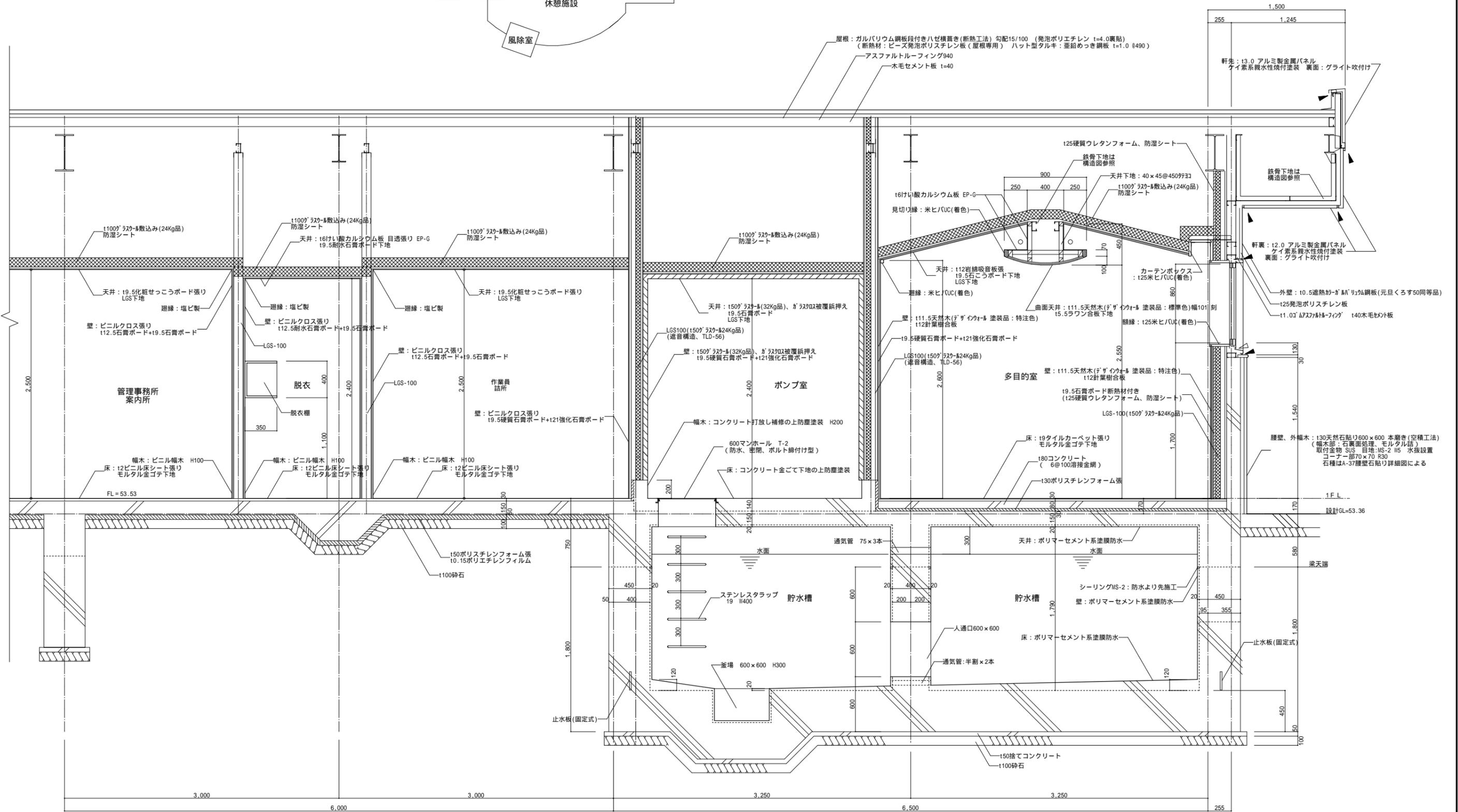
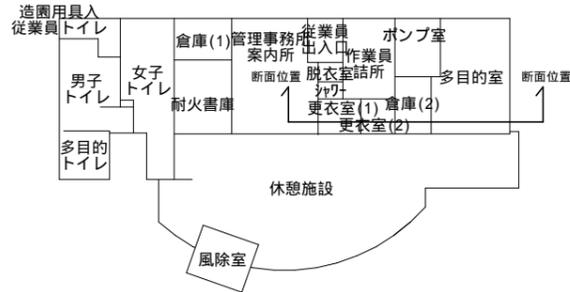
横浜市建築局				工務名 (仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/20	図面名称	【管理棟】断面詳細図-4		
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	完成年度	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 児嶋 為一				A-26			



断面詳細図 1/20

- 凡 例
- ▲ シーリングPS-2
  - ▲ シーリングMS-2

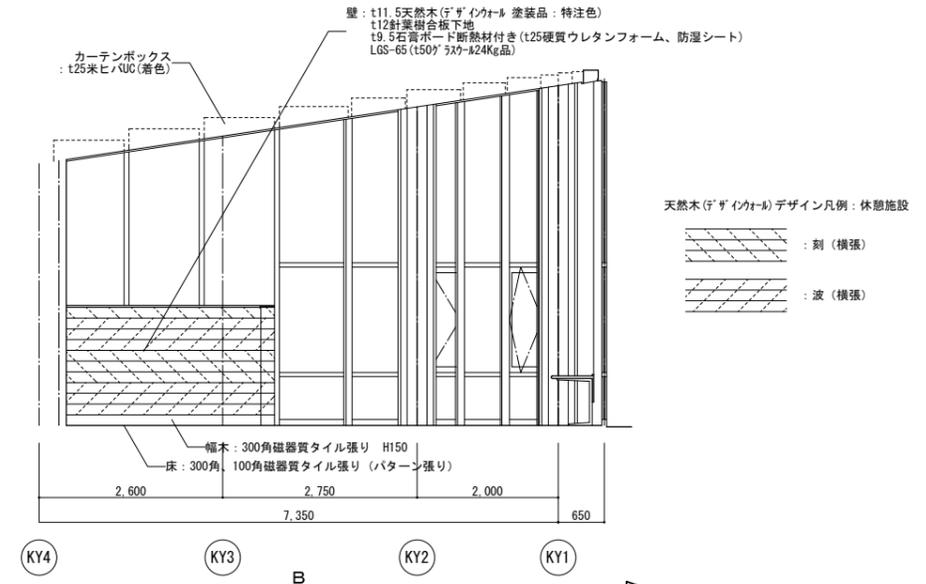
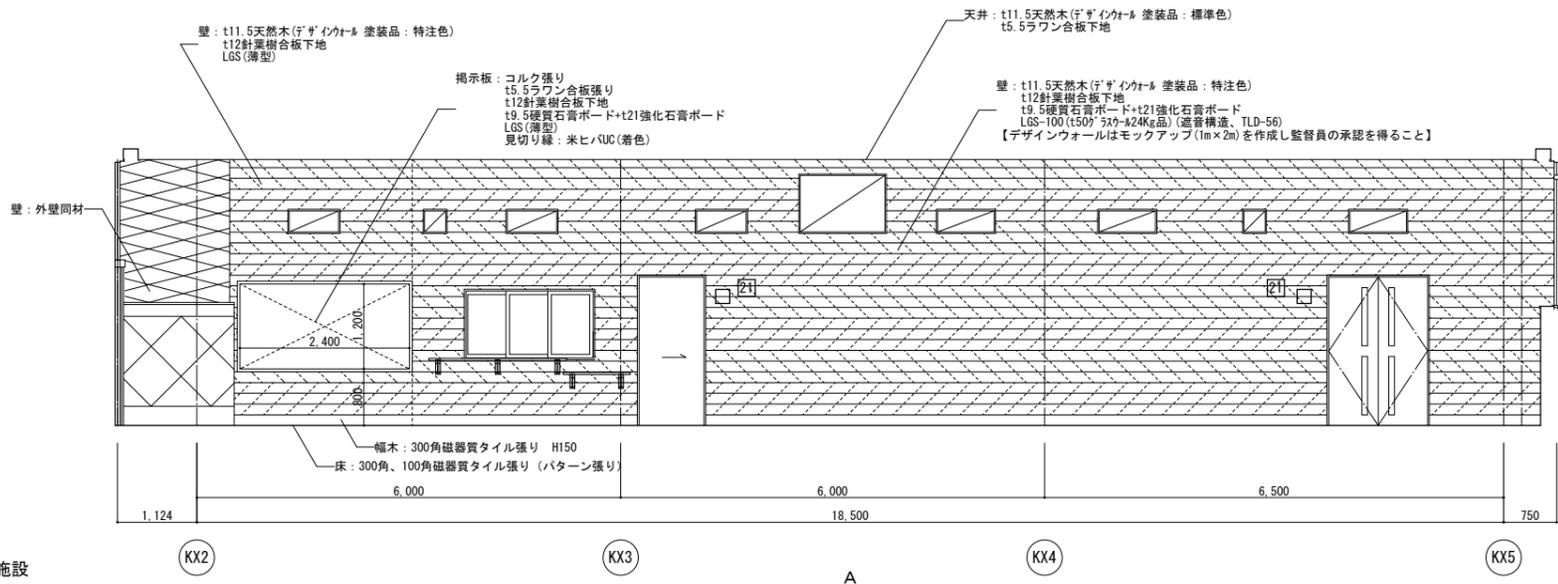
横浜市建築局		工事名 (仮称) 共同基盤管理棟その他新築工事 (建築工事)	
年月日	R7.03	縮尺	1/5 1/20
図面名称 【管理棟】 断面詳細図 - 5		図面枚数	5
設計	協和建築設計事務所	図面種類	断面図
1級建築士登録 第282011号 兒嶋 為一		図面枚数	5
		図面番号	A-27



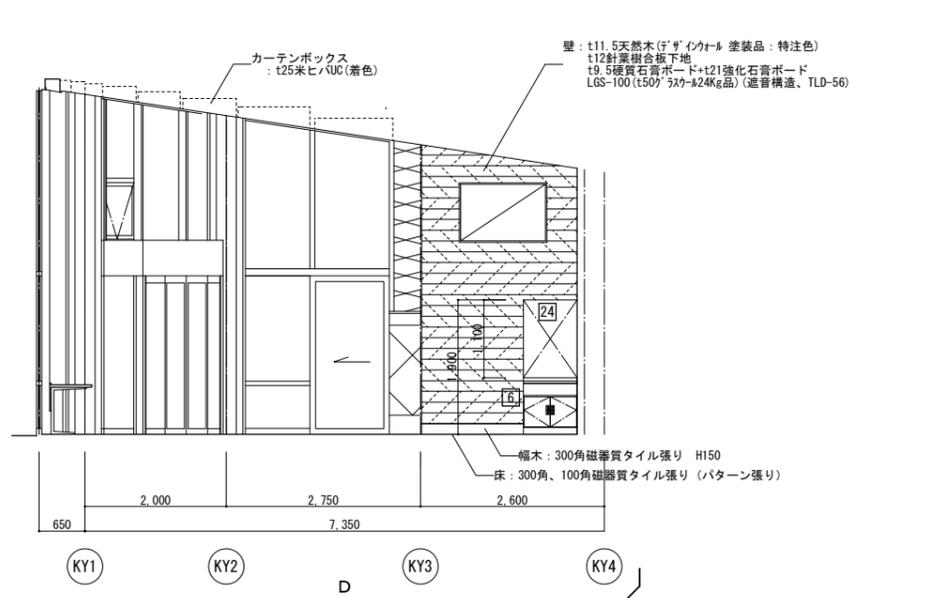
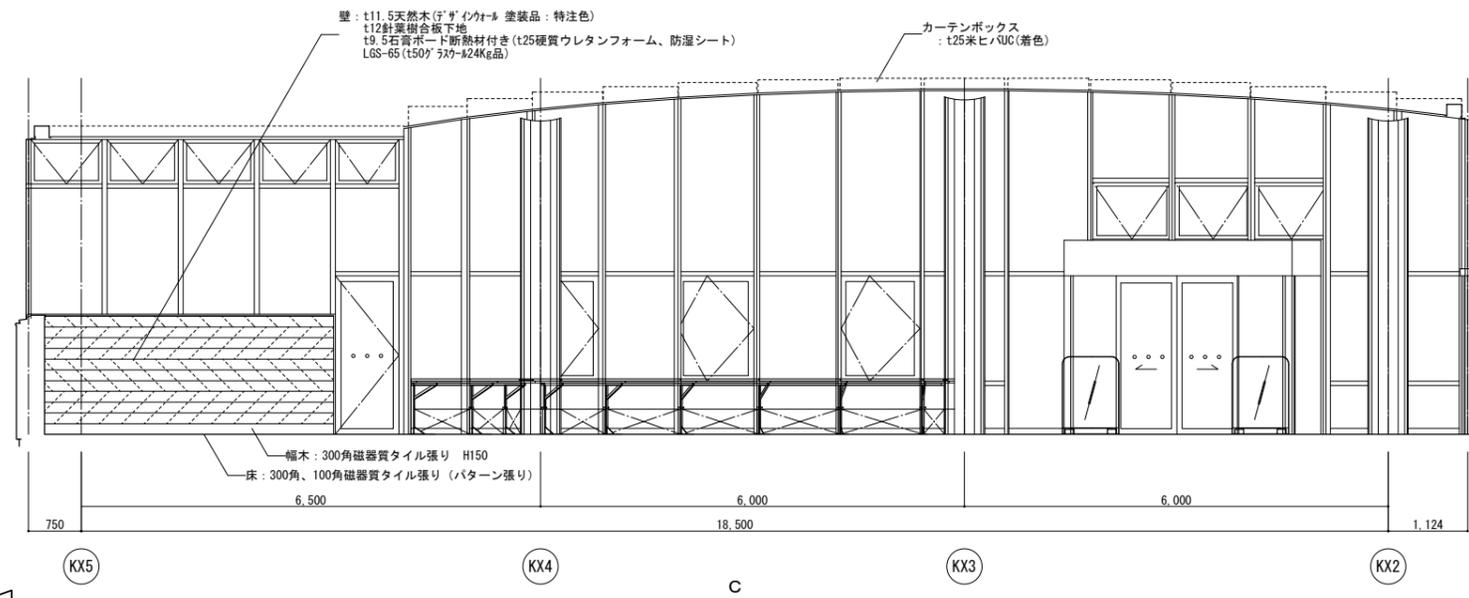
凡例  
 シーリングPS-2  
 シーリングMS-2

断面詳細図 1/20  
 ポリマーセメント系塗膜防水は  
 日本建築学会 ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針 (案)  
 PB-1仕様 平均厚み1.1mm  
 とする

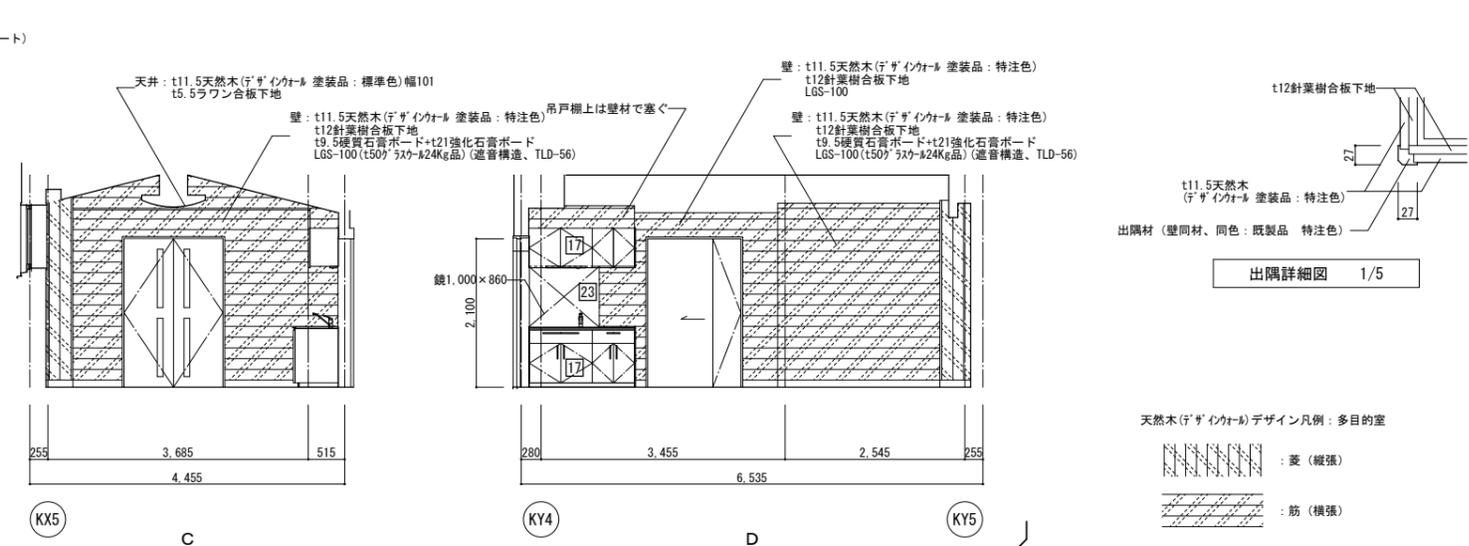
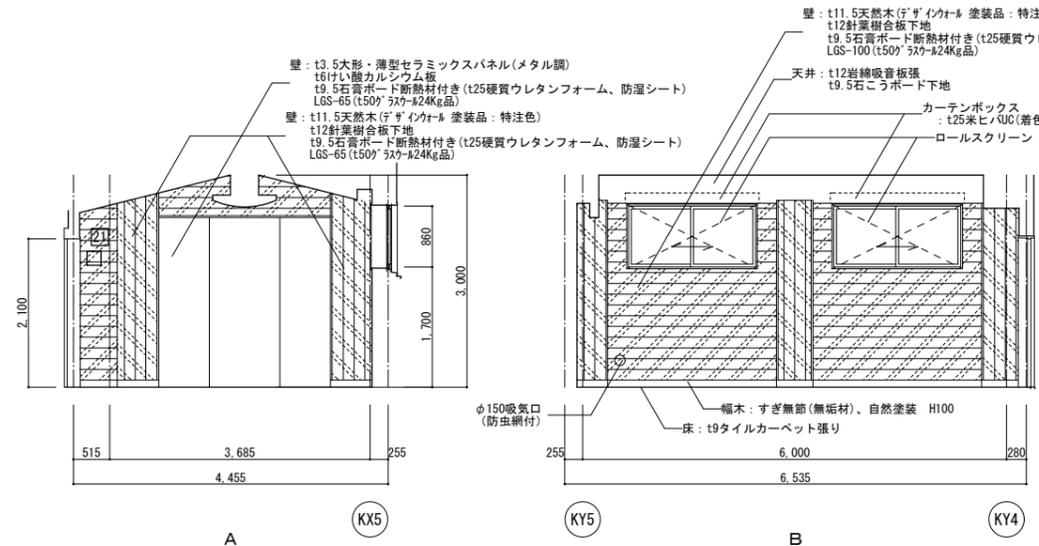
横浜市建築局		工事名 (仮称)興南基礎管理棟その他新築工事 (建築工事)	
年月日 R7.03	縮尺 1/20	図面名称	【管理棟】断面詳細図 - 6
設計 協和建築設計事務所	審査 協和建築設計事務所	施設計号	図面枚数
1級建築士登録 第282011号 兒嶋 為一	図面種類	図面枚数	図面番号
			A-28



休憩施設

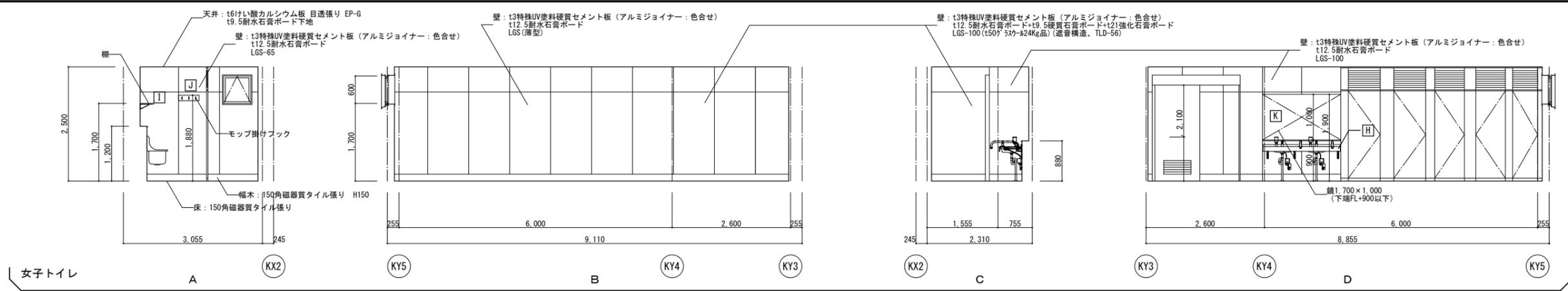


休憩施設

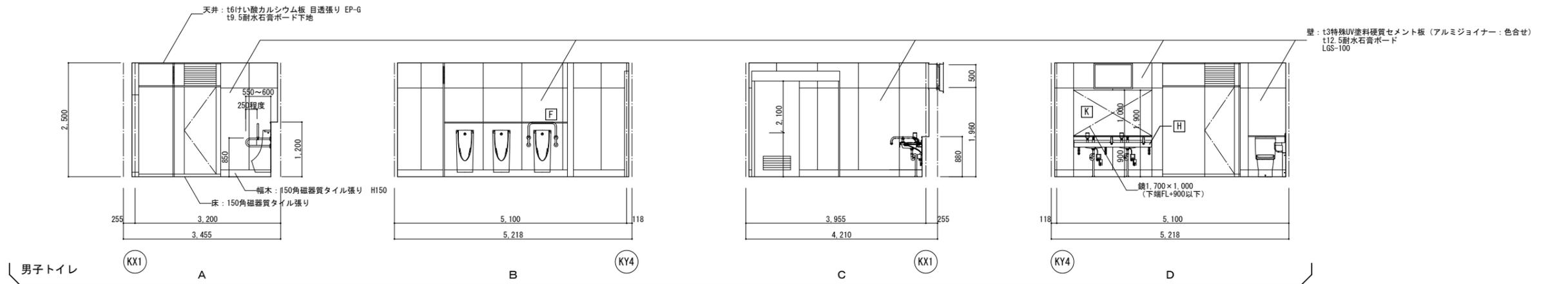


多目的室

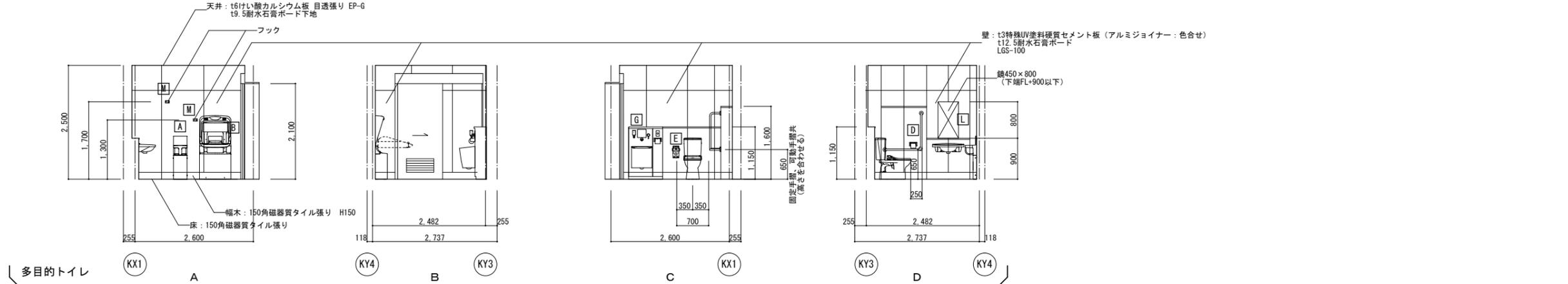
横浜市建築局				工事名 (仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/5 1/50	図面名称	【管理棟】展開図-1		
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	構番号	完成年度	図面枚数
〒105-8501 東京都港区赤坂1-1-1 協和ビル				1級建築士登録 第282011号 岩崎 為一			図面番号 A-29



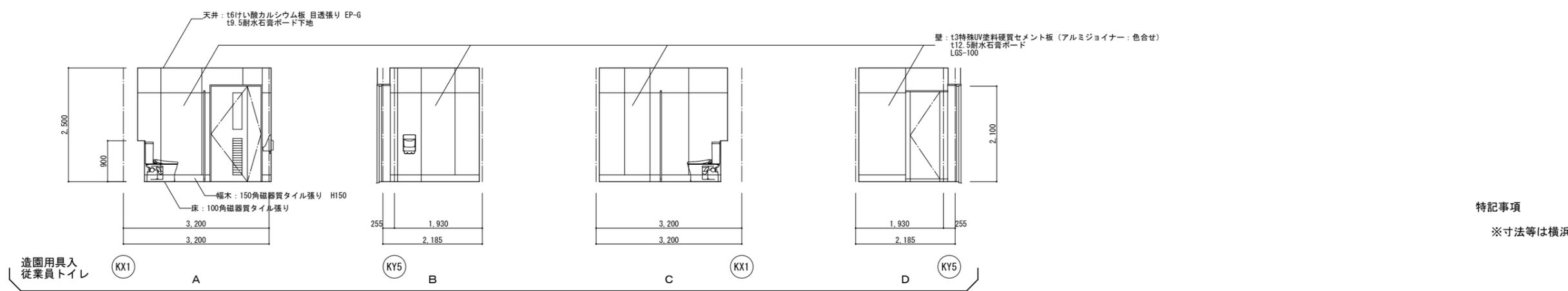
女子トイレ



男子トイレ



多目的トイレ

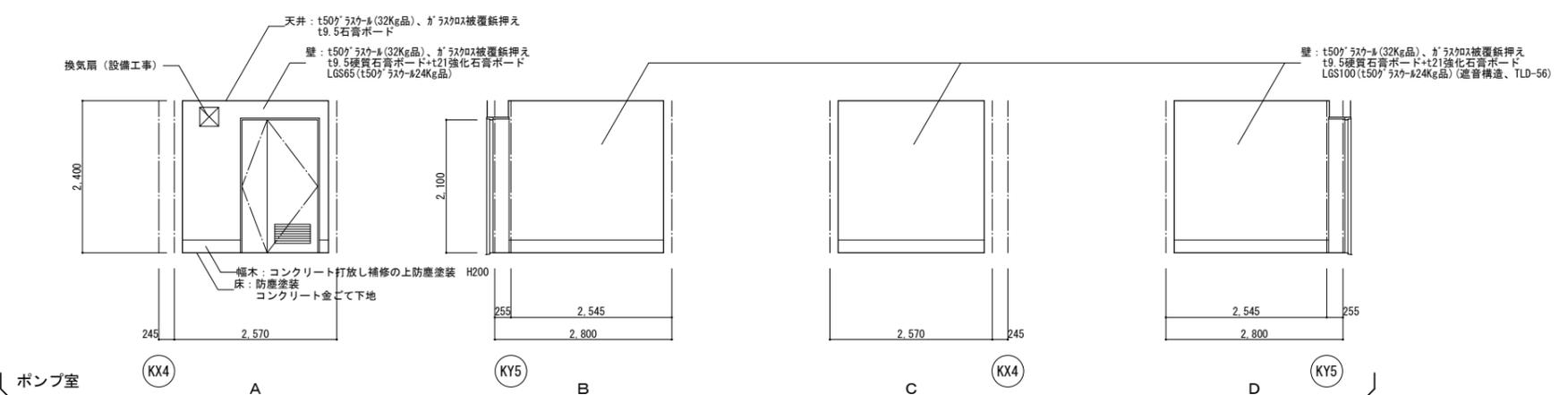
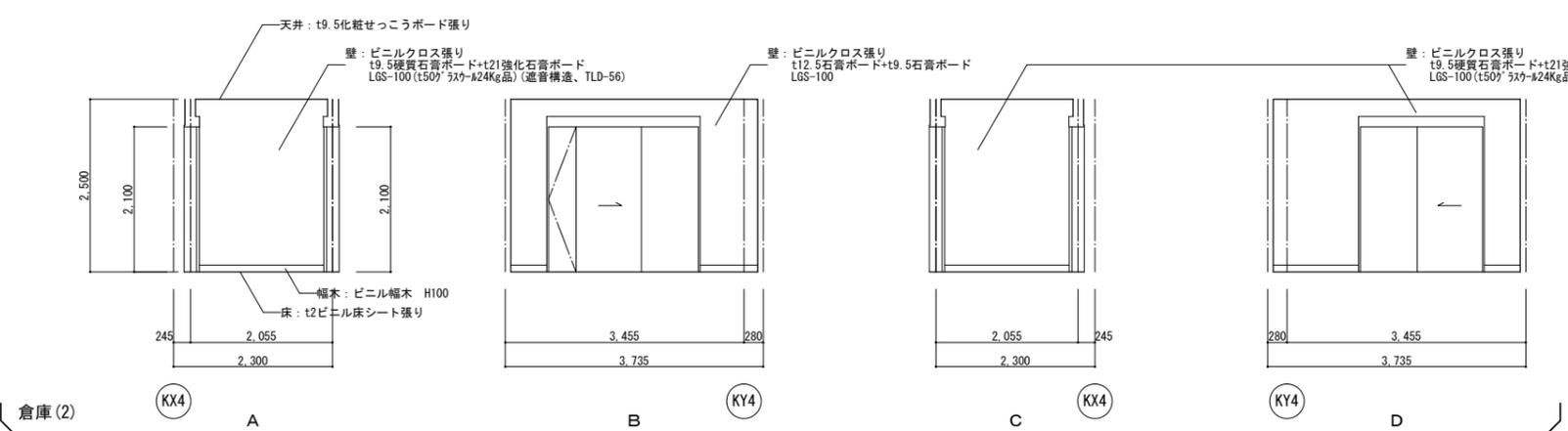
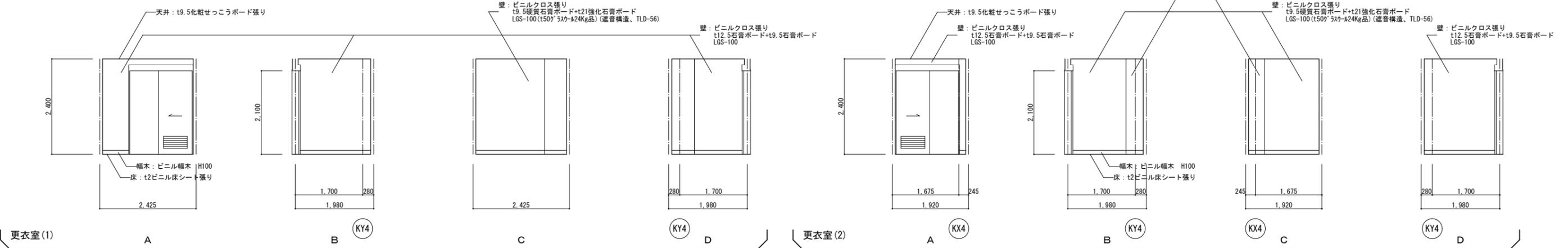
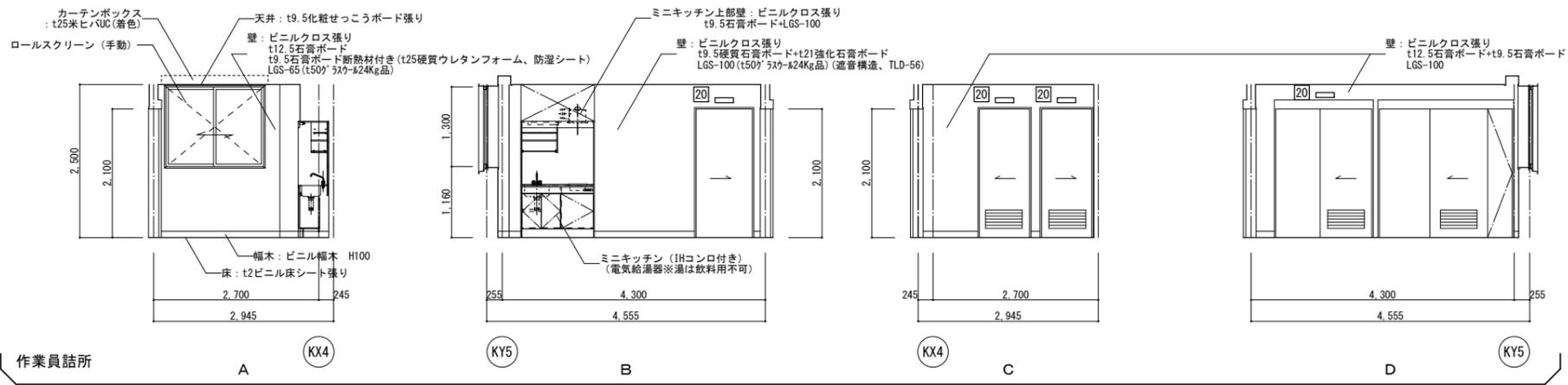


造園用具入従業員トイレ

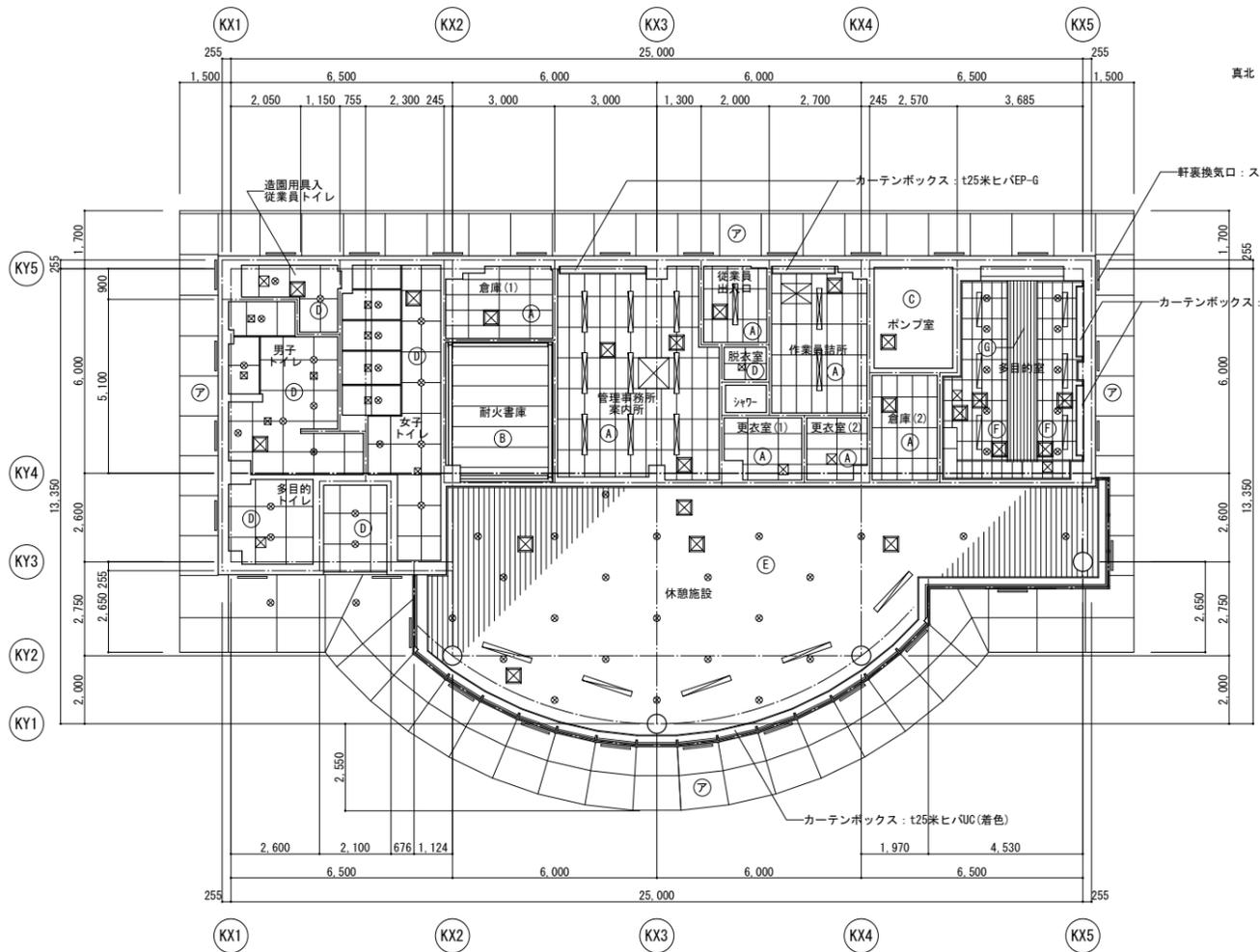
特記事項  
※寸法等は横浜市福祉のまちづくり条例による

横浜市建築局				工事名 (仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/50	図面名称 【管理棟】展開図-2			
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	種別	完成年度	図面枚数
1級建築士登録 第282011号 蛸崎 為一							図面番号 A-30

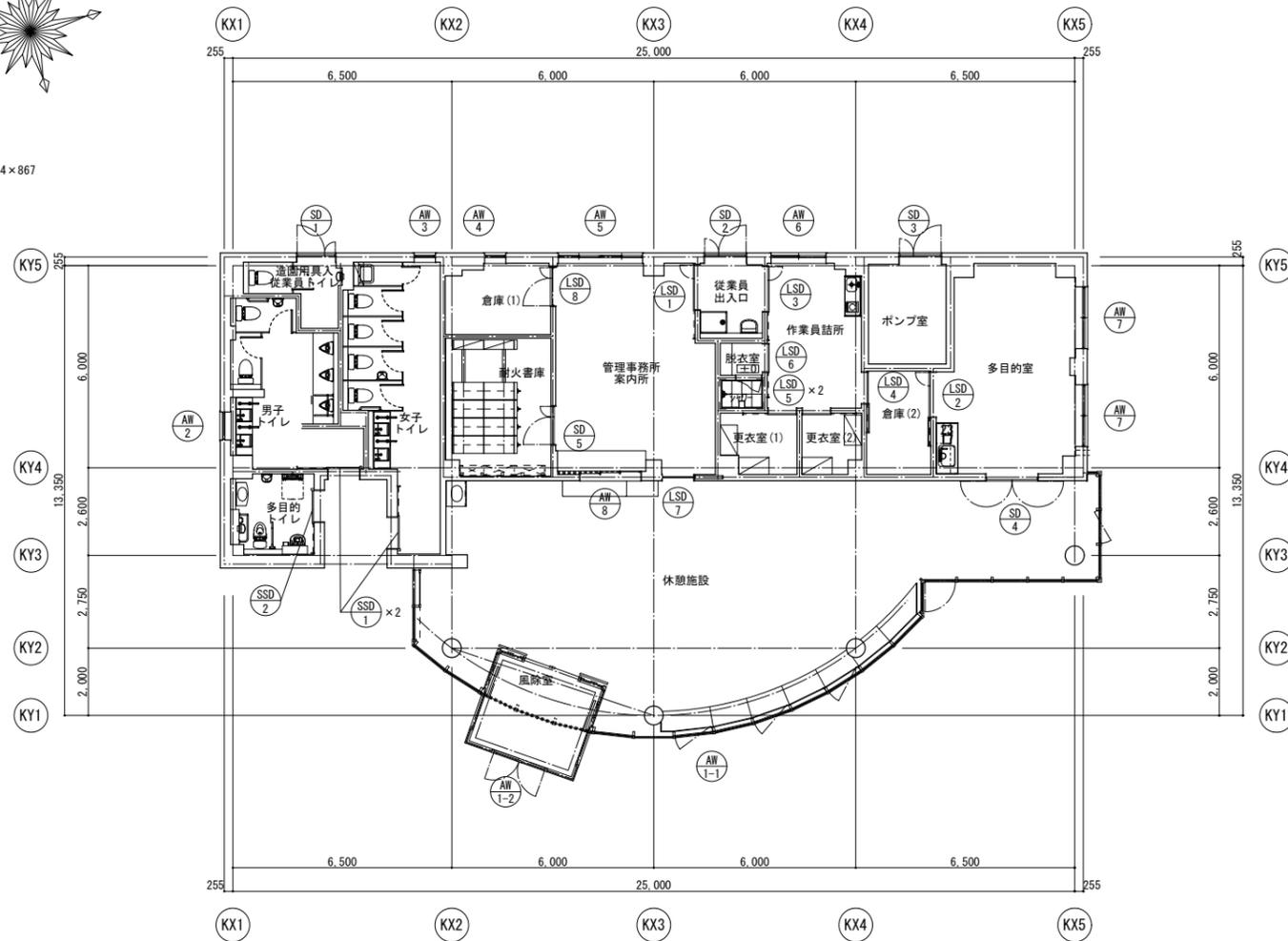




横浜市建築局				工事名 (仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/50	図面名称 【管理棟】展開図-4			
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	標準	完成	図面枚数
1級建築士登録 第282011号 尾崎 為一				標準	程度	種別	図面番号
							A-32

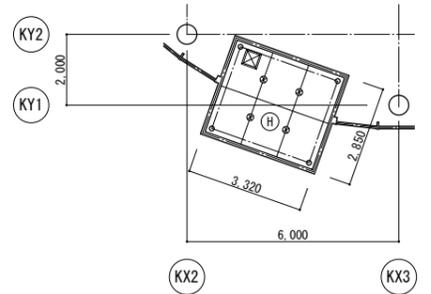


天井伏図 1/100



建具キープラン 1/100

※複層ガラスは室外側をLowガラスとすること。  
※Low-Eは日射遮蔽型 (日射熱取得率0.4以下)



風除室天井伏図 1/100

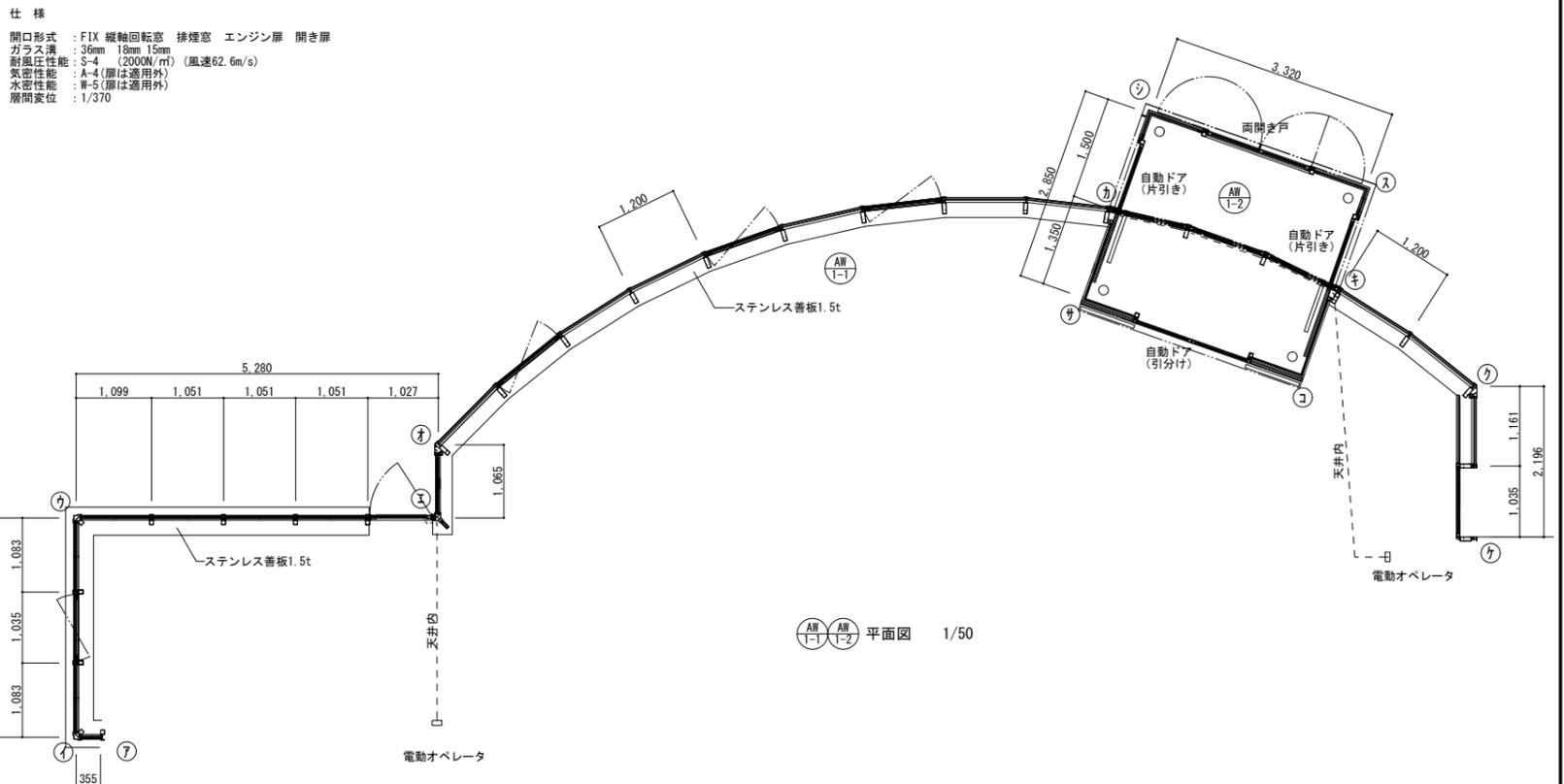
凡例

- Ⓐ t9.5化粧せこうボード張り
- Ⓑ A L C 版の上EP-G
- Ⓒ t50g' スカム (32g品)、タ' スカム被覆紙伸え t9.5石膏ボード
- Ⓓ t6けい酸カルシウム板 目透張り EP-G t9.5耐水石膏ボード下地
- Ⓔ t11.5天然木 (デ' インカール 塗装品: 標準色) : 刻 t5.5ラワン合板下地
- Ⓕ t12岩綿吸音板張 t9.5石膏ボード下地
- Ⓖ t11.5天然木 (デ' インカール 塗装品: 標準色) 幅101 : 刻 t5.5ラワン合板下地
- Ⓗ t2.5アルミ型材 (ステンカラー)
- ⑦ t2.0 アルミ製金属パネル ケイ素系親水性焼付塗装 (裏面断熱材吹付)
- ☒ アルミ特点検口450x450
- ▨ エアコン切込み補強
- ☒ 天井換気扇切込み補強
- ☒ 照明器具切込み補強

記号・数量	SSD 1 2か所	SSD 2 1か所
名称	ハンガー片引き戸	ハンガー片引き戸
断面		
取付場所	男子トイレ・女子トイレ	多目的トイレ
仕上・見込	射-スチルスバ' プレシジョン仕上 (特共) 戸: 36 枠: 80	同左
硝子		
金物	シリンダー引戸錠 (サムターン付) ドアストッパー・ステンレスガイドローラー 三方ステンレス枠・ハンガー金物一式 (ストッパー付) ステンレス大型取手 (両側)・付属金物一式	錠 (表示装置、非常開放装置、内部大型サムターン付) ドアストッパー・ステンレスガイドローラー 三方ステンレス枠・ハンガー金物一式 (自閉装置付) ステンレス大型取手 (両側)・付属金物一式
備考	ガラリ (ステンレス防虫網付)	同左

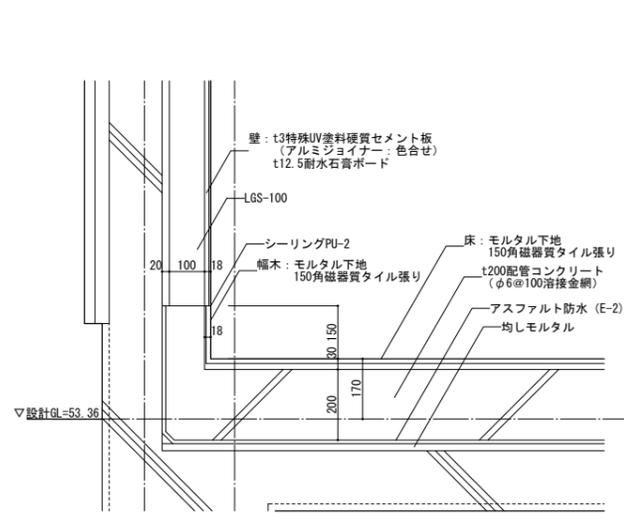
記号・数量	AW 1-1	1か所
名称	カーテンウォール	
図面		
取付場所	休憩施設	
仕上・見込	アルミ・ステンカラー	
硝子	【斜線部】t5.0 Low-E(透明)・A8・t6.0フロートガラス(透明) 複層ガラス 【その他】t5.0 Low-E(透明)・A8・t5.0フロートガラス(透明) 複層ガラス ※複層ガラスは室外側をLowガラスとすること。 ※Low-Eは日射遮蔽型(日射熱取得率0.4以下)	
金物	開戸：レバーハンドル付きシリンダー錠(サムターン付)・ステンレス下枠・ドアチェック(ストッパー付)・アームストッパー・ステンレスT番 引戸：シリンダー引戸錠(サムターン付)・ドアストッパー・ステンレスガイドローラー・ハンガー金物一式(自閉装置付、ストッパー付)・ステンレス取手(両側) クレセント・縦線アングル・衝突防止シール・電動オペレータ(排煙窓)・付属金物一式	
備考	耐風圧性能：2000N/m <sup>2</sup> 以上 網戸(網：合成樹脂製)	

記号・数量	AW 1-2	1か所
名称	カーテンウォール(風除室)	
図面		
取付場所	風除室	
仕上・見込	アルミ・ステンカラー	
硝子	【斜線部】t8.0強化ガラス(透明) 【その他】t5.0強化ガラス(透明)	
金物	開戸：シリンダー錠(サムターン付、ハンドル無し)・ステンレス下枠・ドアチェック(ストッパー付)・アームストッパー・ステンレスT番・フランシ落し 引戸：シリンダー錠(サムターン付)・自動ドア装置一式 衝突防止シール・付属金物一式	
備考	風除室 屋根・天井部材共(詳細図参照) 耐風圧性能：2000N/m <sup>2</sup> 以上	

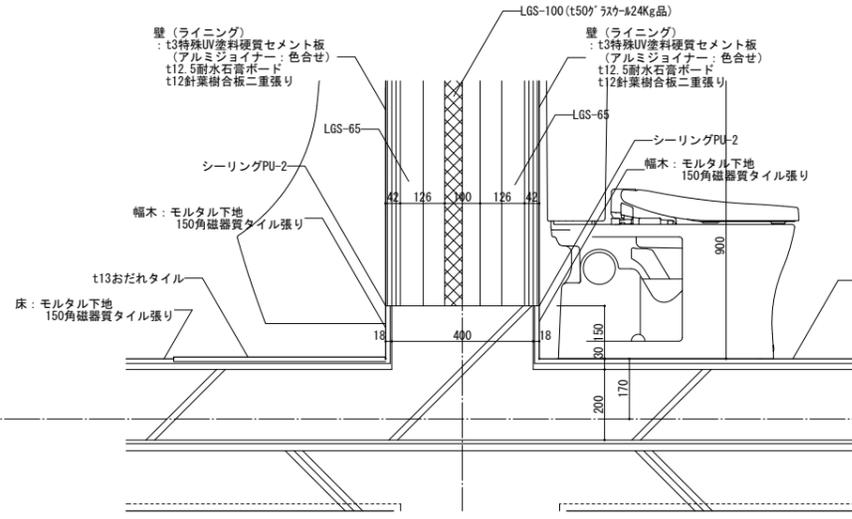


横浜市建築局		工事名	(仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)
年月日	R7.03	縮尺	1/50
設計者	【管理棟】建具表-2		
図面番号	AW 1-1	図面種類	図面枚数
1級建築士登録 第282011号 尾崎 為一		図面枚数	図面番号
			A-34

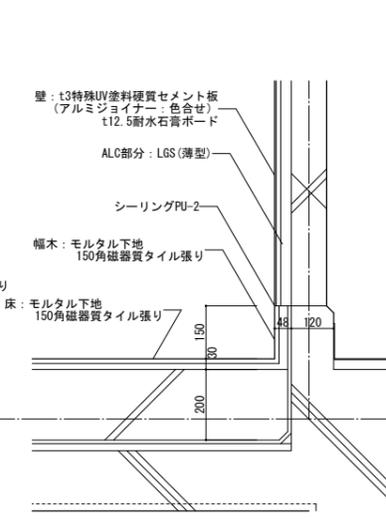
記号・数量	AN 2	1か所	AN 3	1か所	AN 4	1か所	AN 5	1か所	AN 6	1か所	AN 7	2か所	AN 8	1か所		
名称	F1X窓		突出し窓		突出し窓		2連引違い窓		引違い窓		引違い窓					
図																
取付場所	男子トイレ		女子トイレ		倉庫(1)		管理事務所・案内所		作業員詰所		多目的室		管理事務所・案内所			
仕上・見込	アルミ・ステンカラー 70		同左		同左		同左		同左		同左		アルミ・ステンカラー 105			
硝子	t4.0型板ガラス		同左		t5.0Low-E(透明)・A6・t4.0型板ガラス 複層ガラス ※複層ガラスは室外側をLowガラスとすること。 ※Low-Eは日射遮蔽型(日射熱取得率0.4以下)		t5.0Low-E(透明)・A6・t5.0フロートガラス(透明) 複層ガラス ※複層ガラスは室外側をLowガラスとすること。 ※Low-Eは日射遮蔽型(日射熱取得率0.4以下)		同左		同左		同左		t5.0強化ガラス(透明)	
金物	アルミ額縁(外内共) 付属金物一式		クレセント・アルミ額縁(外内共) 付属金物一式		クレセント・アルミ額縁(外)・額縁アングル 付属金物一式		クレセント・アルミ額縁(外)・額縁アングル 障子落下防止金物(上下)・付属金物一式		同左		同左		同左		シリンダー引戸錠・連動装置・額縁アングル 障子落下防止金物(上下)・付属金物一式	
備考							網戸(網:合成樹脂製)		同左		同左		同左		室内用	
記号・数量	SD 1	1か所	SD 2	1か所	SD 3	1か所	SD 4	1か所	SD 5	1か所			LSD 8	1か所		
名称	親子開き戸		親子開き戸		親子開き戸		両開き戸 ※防音 T-3		親子開き戸 ※特別防火設備				親子開き戸			
図																
取付場所	造園用具入・従業員トイレ		従業員出入口		ポンプ室		多目的室		耐火書庫				倉庫(1)			
仕上・見込	スチール・工場焼付塗装(枠共) 枠:100mm 戸:40mm		同左		同左		スチール・不燃化粧シート張(枠共) 枠:100mm 戸:45mm		スチール・工場焼付塗装(枠共) 枠:100mm 戸:40mm				スチール・工場焼付塗装(枠共) 枠:80mm 戸:36mm			
硝子	t4.0強化ガラス(型板)		同左		同左		t8.0強化ガラス(透明)・着色フィルム張り t3ステンレスガラス止め枠									
金物	レバーハンドル付きシリンダー箱錠(サムターン付) ステンレス下枠・三方スチール額縁 ドアチェック(ストッパー付)・アームストッパー ステンレス丁番・上下フランス落し・付属金物一式		同左		同左		シリンダー箱錠(サムターン付)・スプリア大型引棒(両扉・両面) ステンレス番指・三方スチール額縁 ドアチェック(ストッパー付)(2ヶ所)・アームストッパー ピボットヒンジ・上下フランス落し・付属金物一式		レバーハンドル付きシリンダー箱錠(サムターン付) ステンレス番指・三方スチール額縁 ドアチェック(ストッパー付)・アームストッパー ステンレス丁番・上下フランス落し・付属金物一式				レバーハンドル付きシリンダー箱錠(サムターン付) ステンレス番指・三方スチール額縁 ドアチェック(ストッパー付)・アームストッパー ステンレス丁番・上下フランス落し・付属金物一式			
備考	ガラリ(ステンレス防虫網付)		同左		同左								軽量仕様			
記号・数量	LSD 1	1か所	LSD 2	1か所	LSD 3	1か所	LSD 4	1か所	LSD 5	2か所	LSD 6	1か所	LSD 7	1か所		
名称	子扉付きハンガー片引き戸		子扉付きハンガー片引き戸		子扉付きハンガー片引き戸		ハンガー片引き戸 ※セミエアタイト		ハンガー片引き戸		ハンガー片引き戸		ハンガー片引き戸(戸袋付)			
図																
取付場所	管理事務所・案内所		多目的室		作業員詰所		倉庫(2)		更衣室(1)・(2)		脱衣室		管理事務所・案内所			
仕上・見込	スチール・工場焼付塗装(枠共) 枠:80mm 戸:36mm		多目的室側:スチール・不燃化粧シート張(枠共) 倉庫側:スチール・工場焼付塗装(枠共) 枠:80mm 戸:36mm		スチール・工場焼付塗装(枠共) 枠:80mm 戸:36mm		同左		同左		同左		休憩施設側:スチール・不燃化粧シート張(枠共) 事務所側:スチール・工場焼付塗装(枠共) 枠:80mm 戸:36mm			
硝子																
金物	シリンダー引戸錠(サムターン付) ハンガーレール・ガイドローラー・ステンレス番指 ステンレス取手(両側)・ステンレス丁番・上下フランス落し 三方スチール額縁・付属金物一式		同左		同左		シリンダー引戸錠(サムターン付) ハンガーレール・ガイドローラー・ステンレス番指 ステンレス取手(両側)・下部遮断装置 三方スチール額縁・付属金物一式		同左		シリンダー表示錠(サムターン付) ハンガーレール・ガイドローラー・ステンレス番指 ステンレス取手(両側) 三方スチール額縁・付属金物一式		シリンダー引戸錠(サムターン付) ハンガーレール・ガイドローラー・ステンレス番指 ステンレス取手(両側) 三方スチール額縁・付属金物一式			
備考	軽量仕様・外れ止め機能付		同左		軽量仕様・外れ止め機能付・ガラリ		同左		同左		同左		同左			



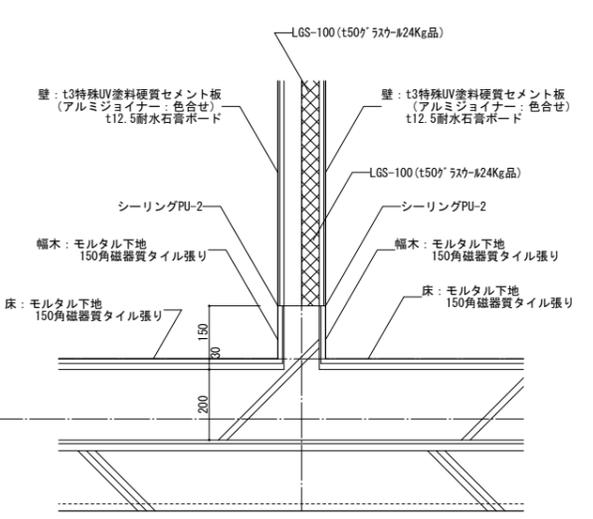
A-A断面図 1/10



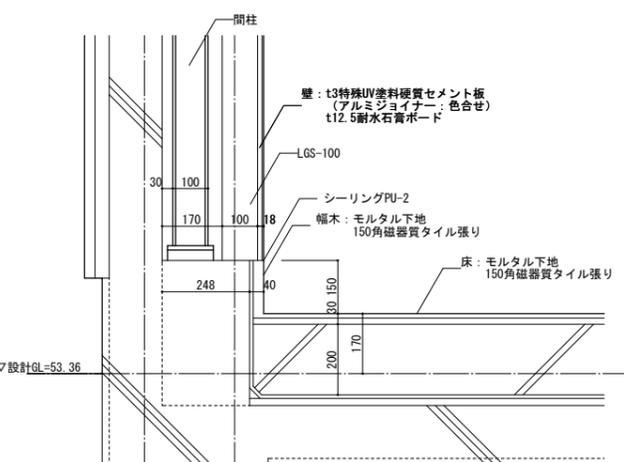
B-B断面図 1/10



C-C断面図 1/10

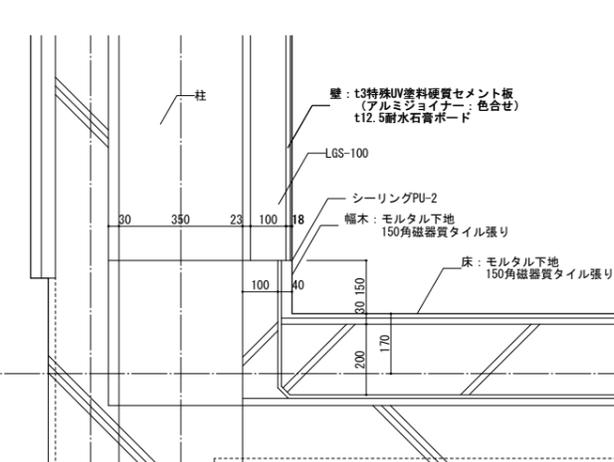


D-D断面図 1/10



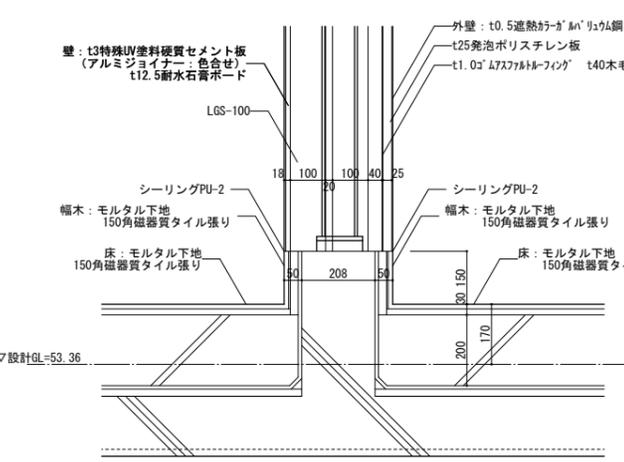
E-E断面図 1/10

間柱部分



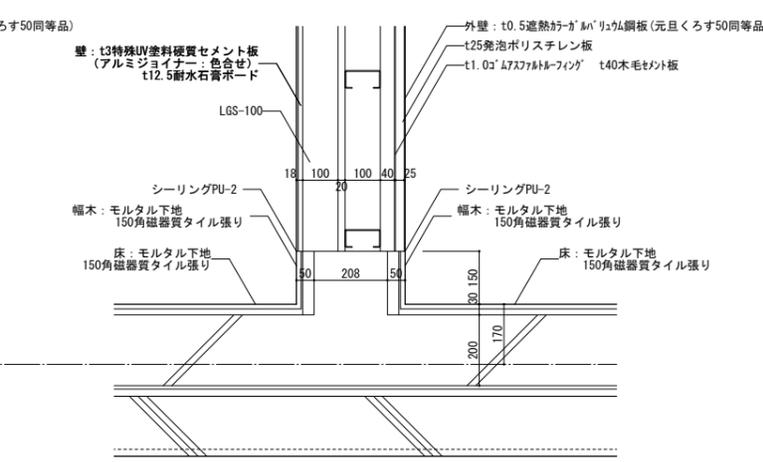
F-F断面図 1/10

柱部分

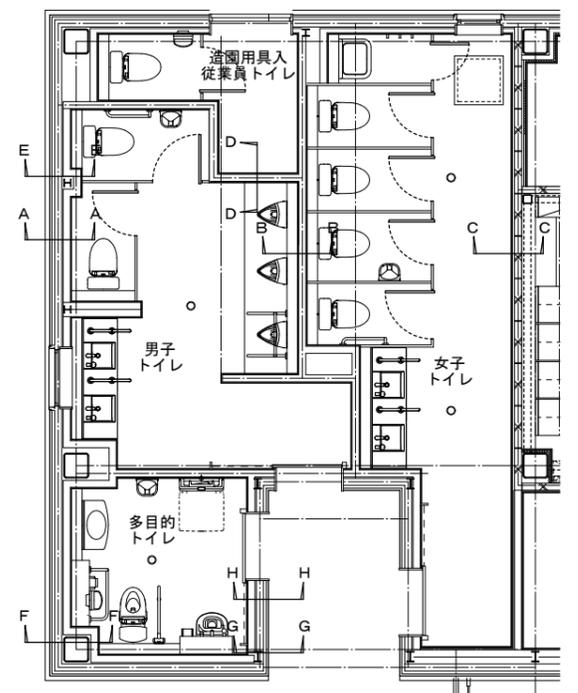


G-G断面図 1/10

間柱部分



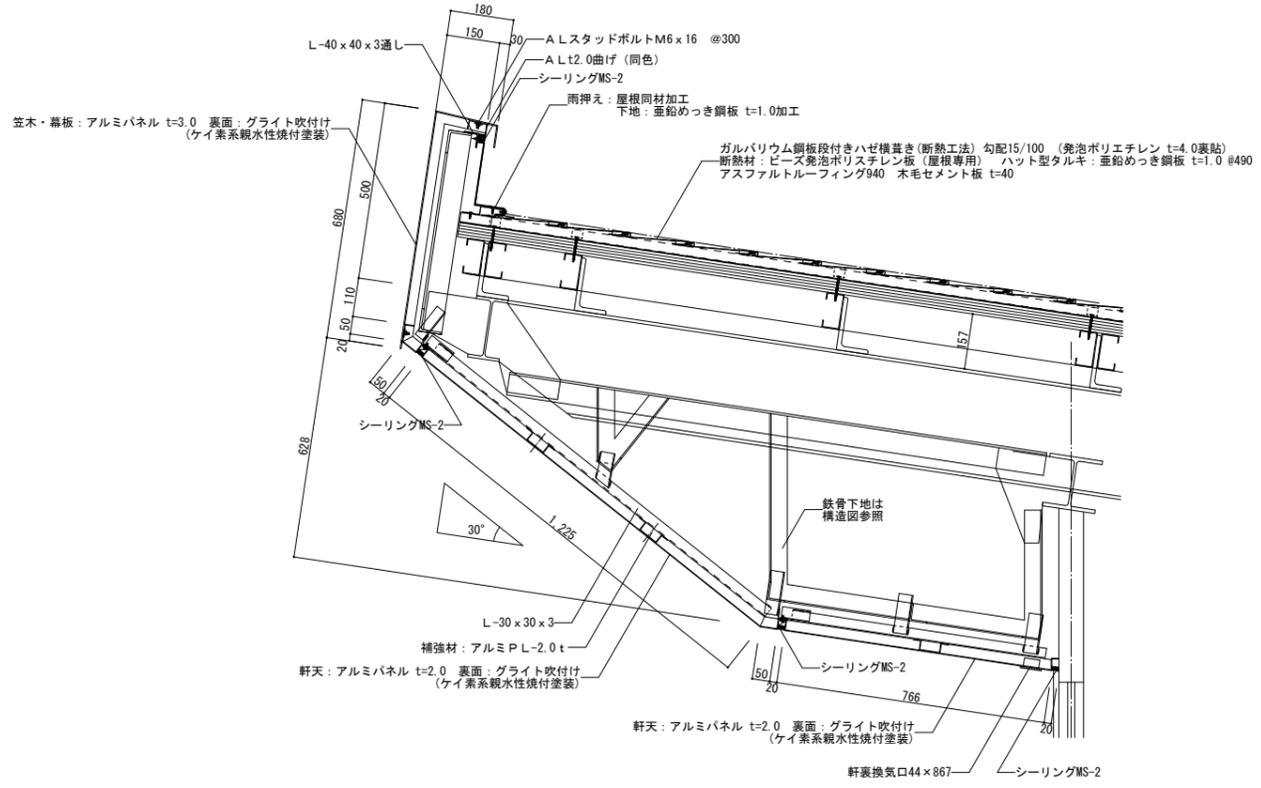
H-H断面図 1/10



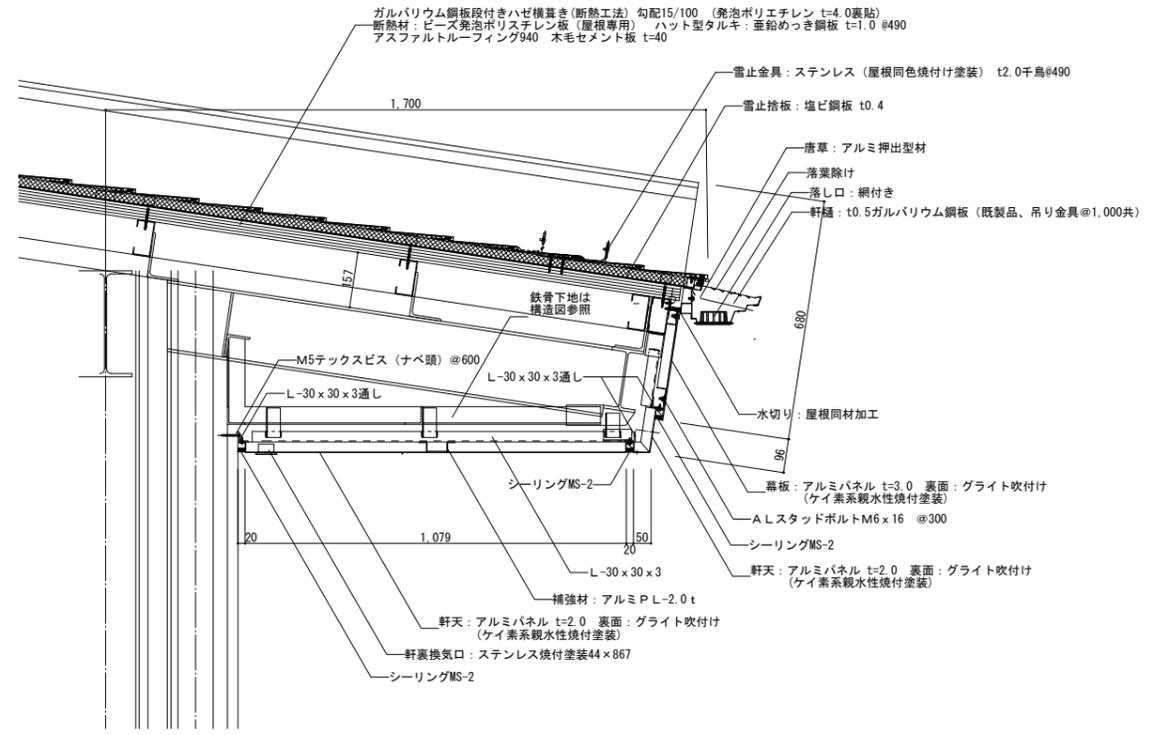
トイレ詳細図キープラン 1/50

横浜市建築局		工事名 (仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)	
年月日 R7.03	縮尺 1/10 1/50	図面名称 【管理棟】トイレ床廻り詳細図	
設計者 協和建築設計事務所	地設番号	標準号	図面枚数
1級建築士登録 第282011号 岩崎 為一		完成 程度	図面番号 A-36

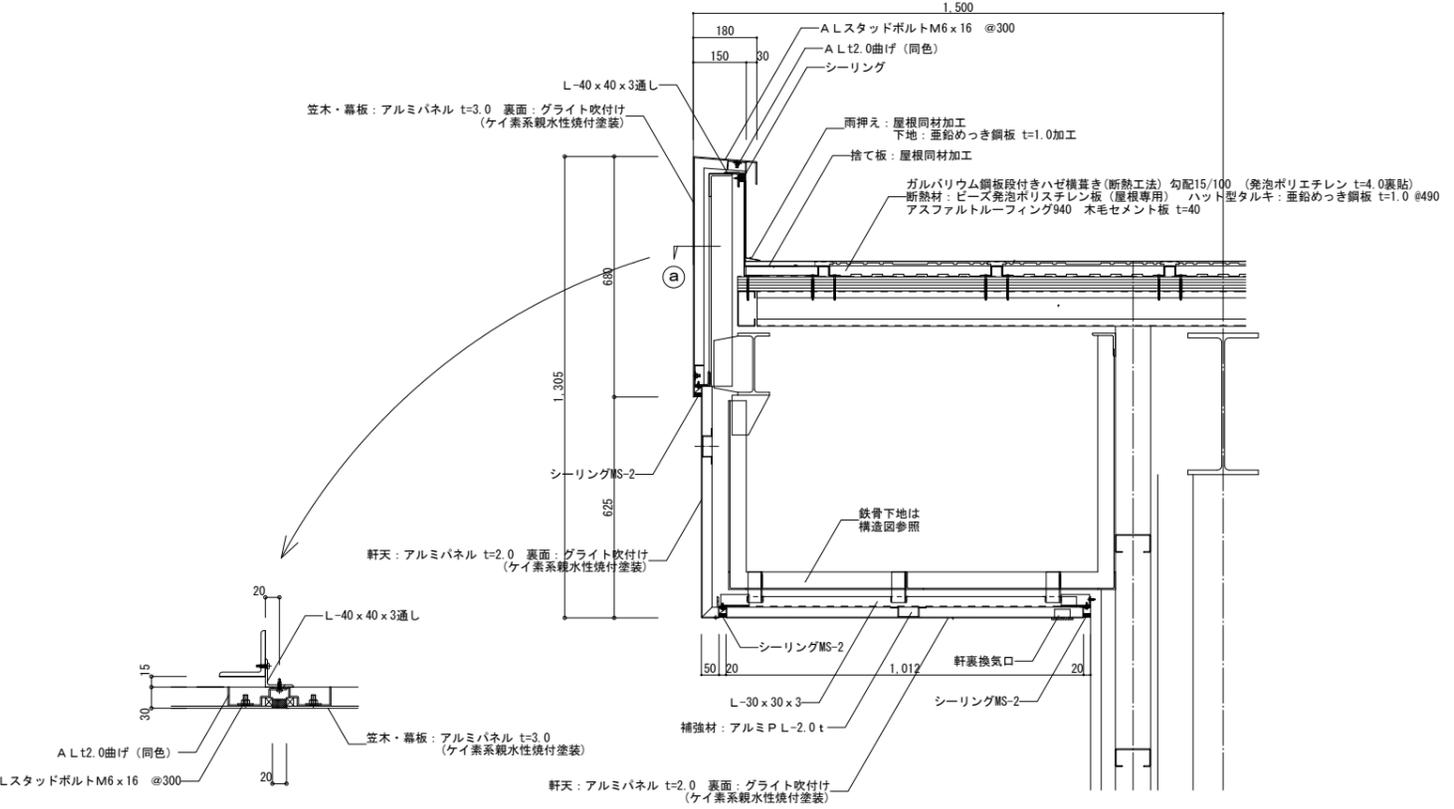




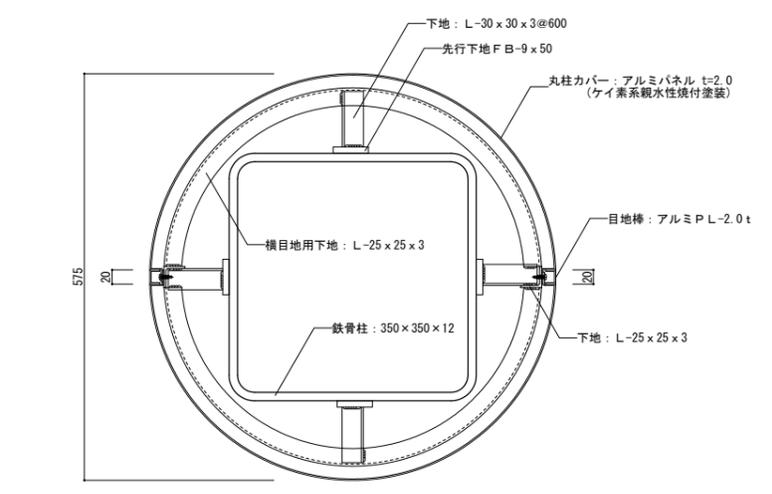
水上詳細図 1/10



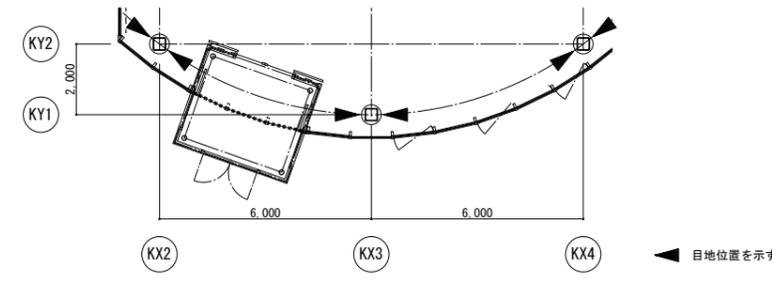
水下詳細図 1/10



ケラバ詳細図 1/10



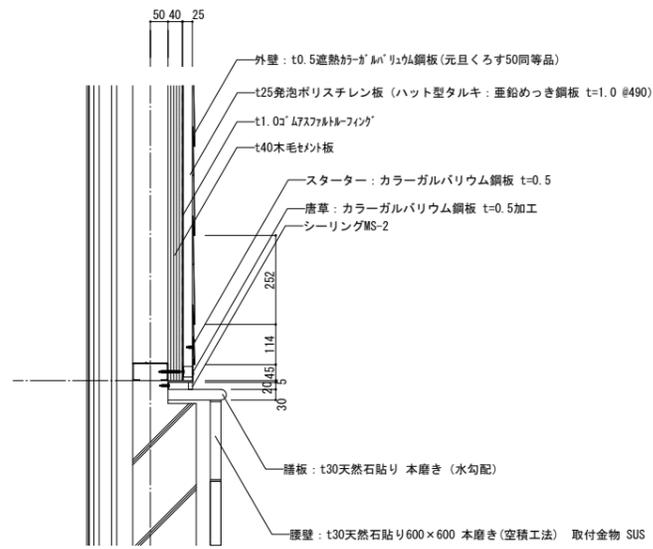
丸柱平面詳細図 1/5



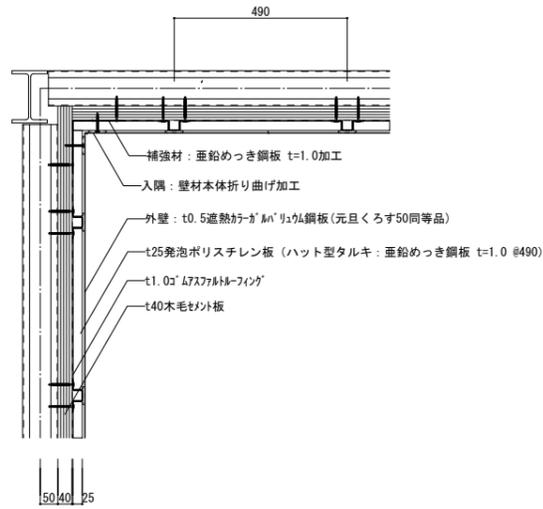
丸柱目地位置図 1/100

部幕板パネル平面詳細図 1/5

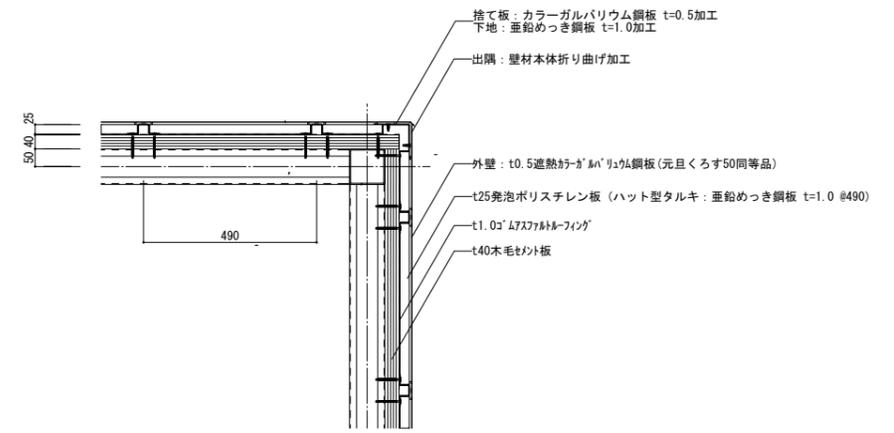
横浜市建築局				工事名 (仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/5, 1/10	図面名称	【管理棟】	屋根廻り	丸柱パネル詳細図
設計者	協和建築設計事務所			地設番号	標準	完成	図面枚数
1級建築士登録 第282011号 蛸崎 為一	1級建築士登録 第282011号 蛸崎 為一			標準	完成	図面枚数	図面番号
				A-38			



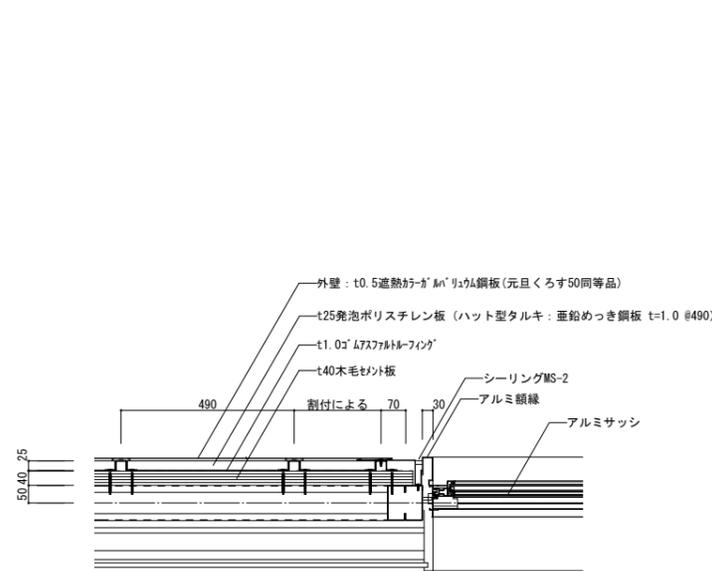
外壁～腰壁詳細図 1/10



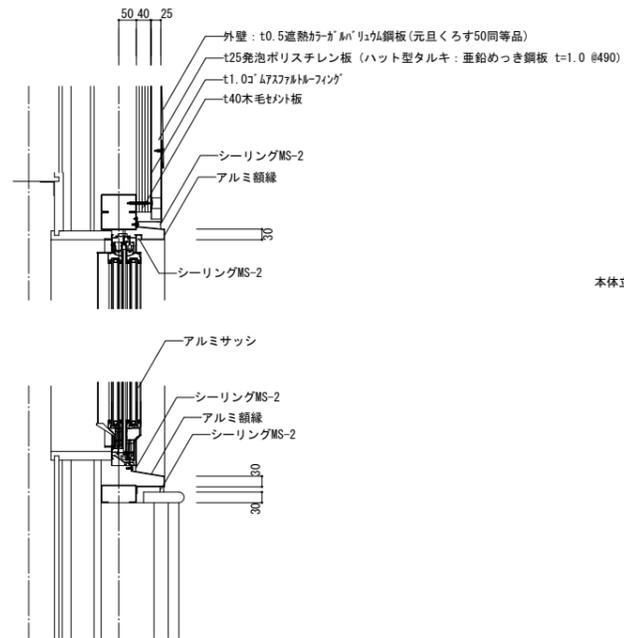
外壁(入隅)詳細図 1/10



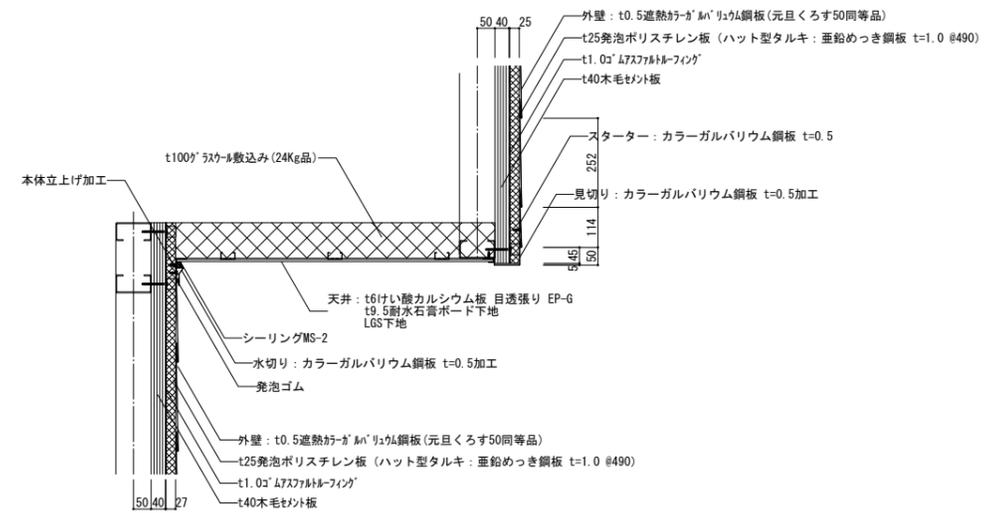
外壁(出隅)詳細図 1/10



外壁(開口部廻り)詳細図 1/10

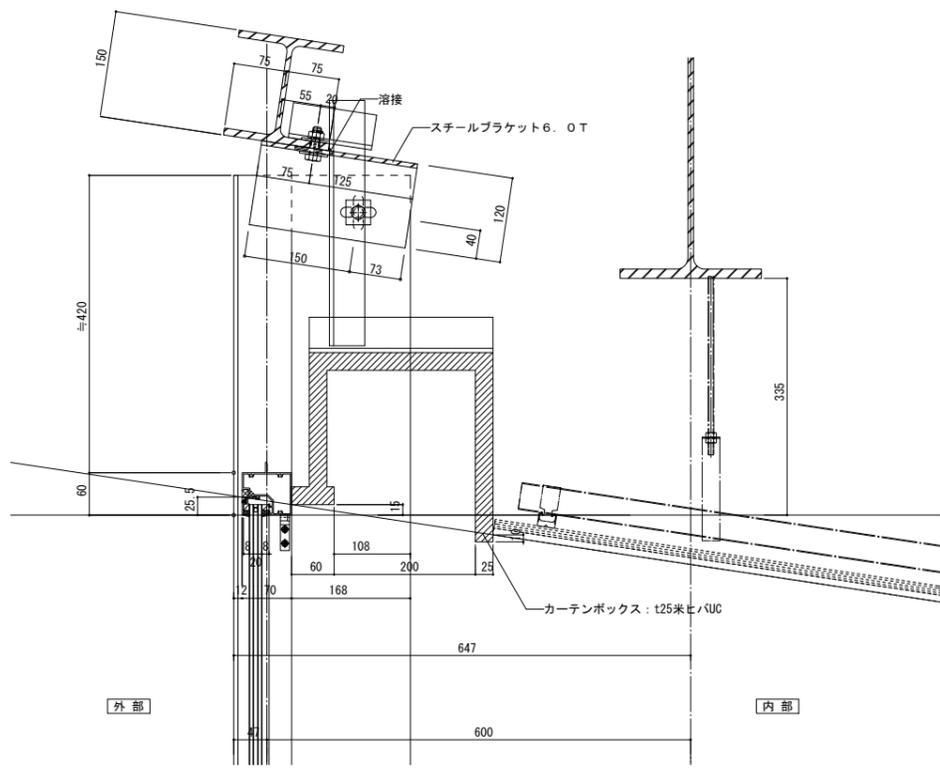


外壁(開口部廻り)詳細図 1/10

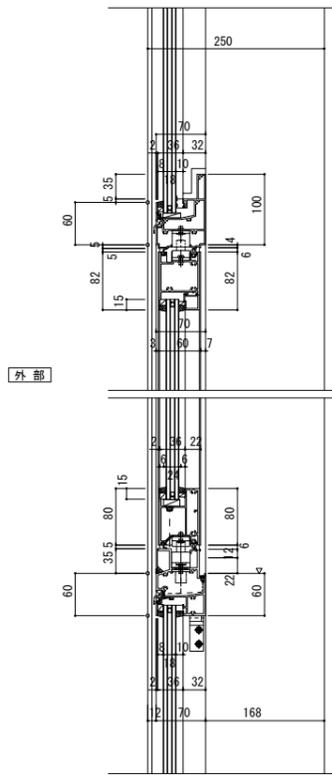


外壁(下り壁)～軒裏詳細図 1/10

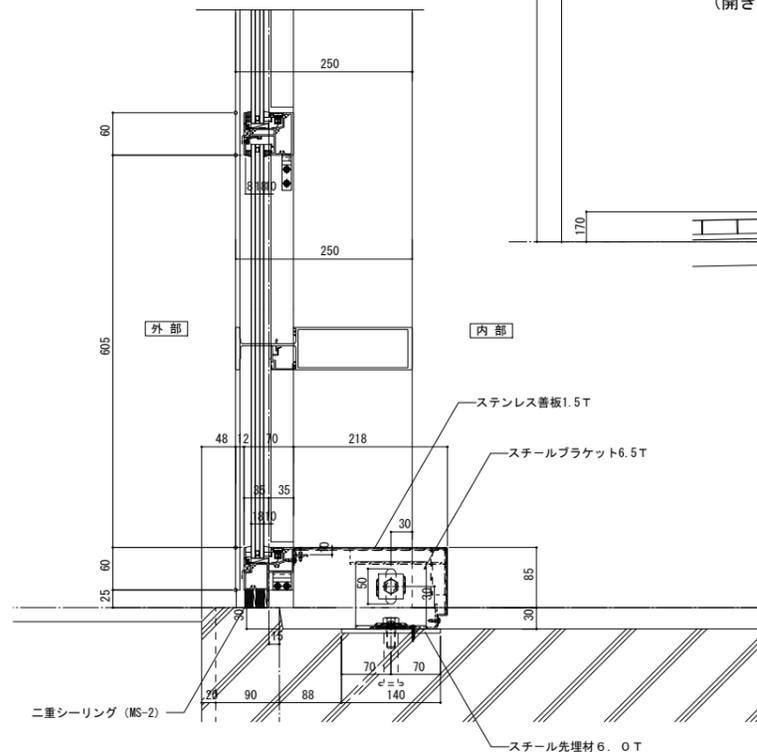
横浜市建築局				工事名	(仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)		
年月日	R7.03	縮尺	1/10	図面名称	【管理棟】外壁詳細図		
設計者	協和建築設計事務所 1級建築士登録 第282011号 尾崎 為一			地設番号	標準	完成	図面枚数
							図面番号
							A-39



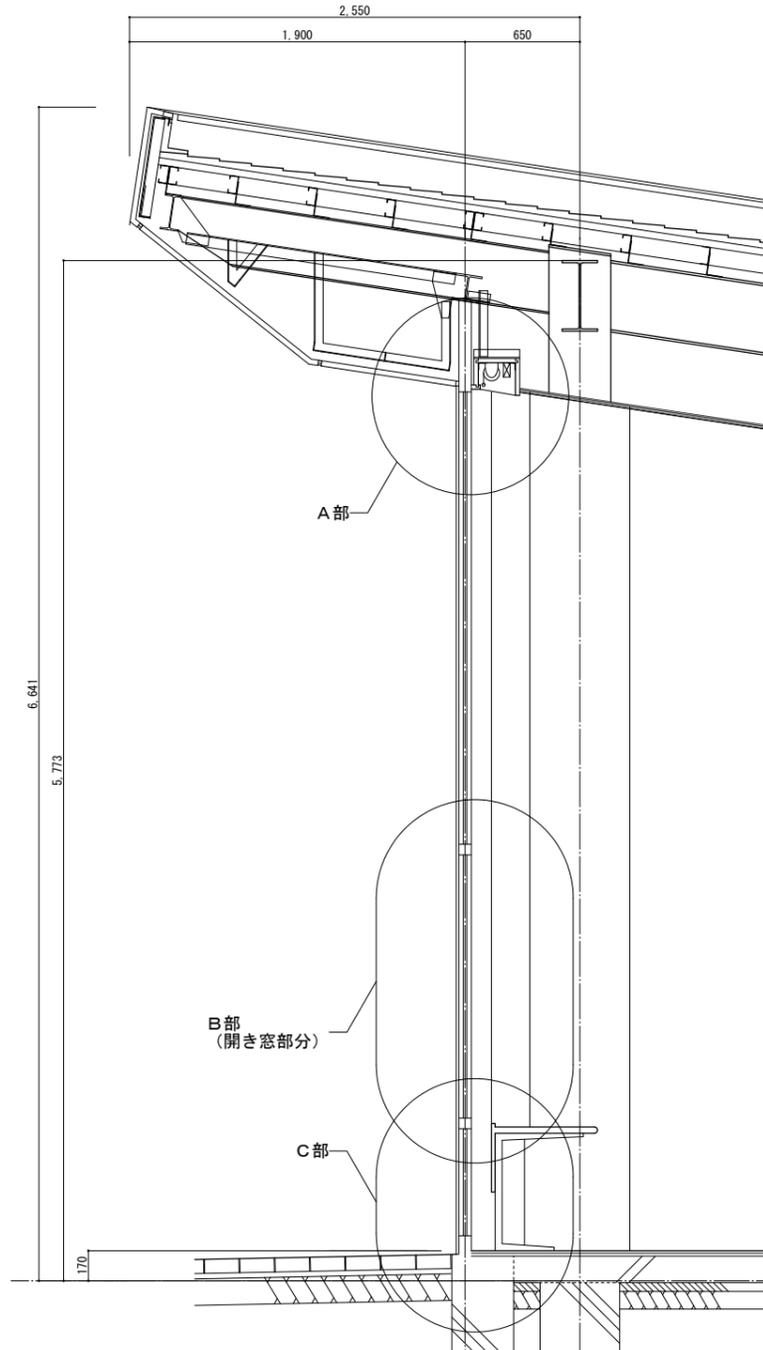
A部詳細図 1/5



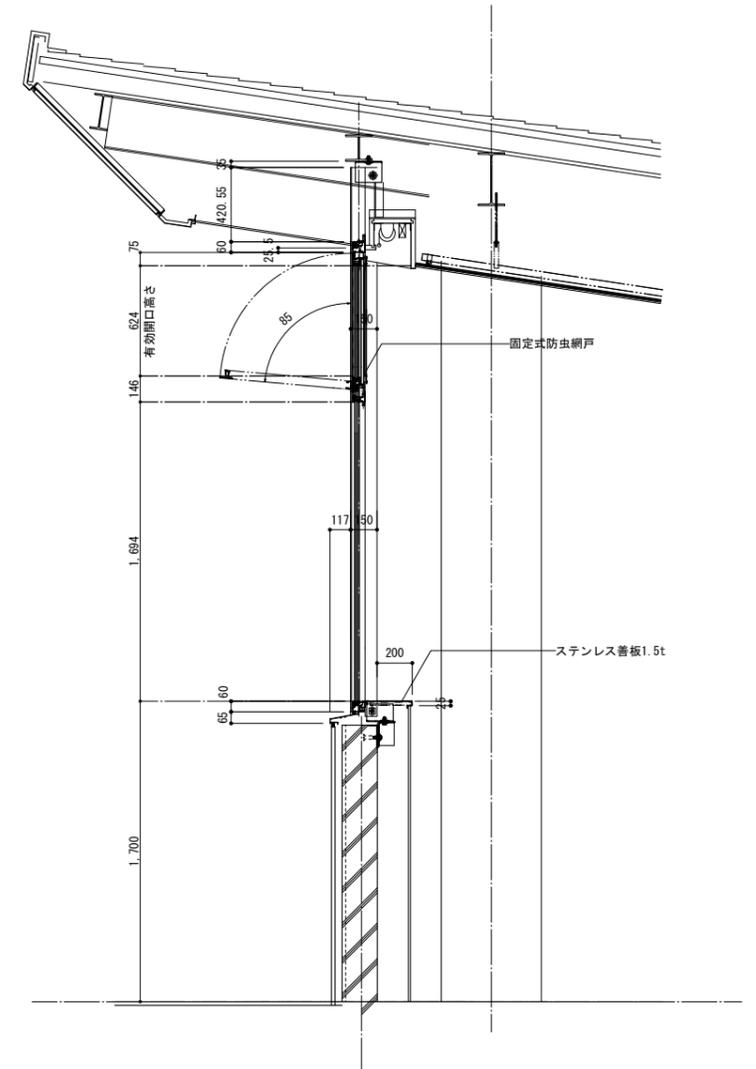
B部詳細図 1/5  
(開き窓部分)



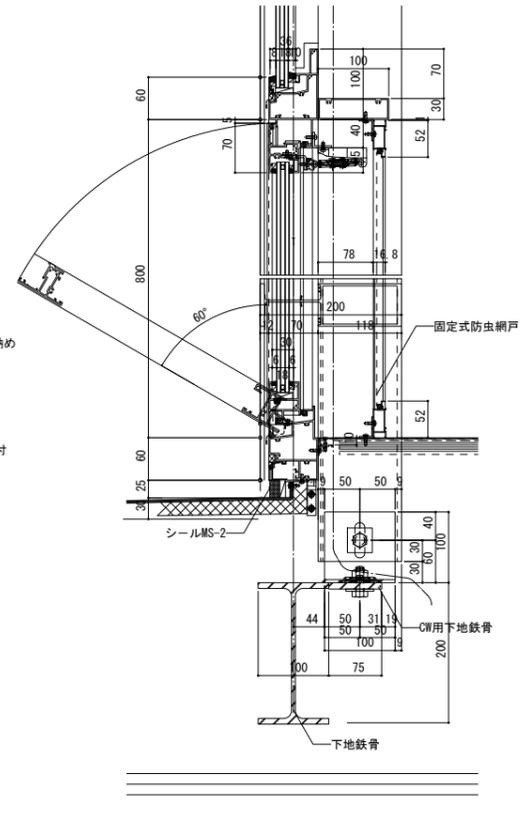
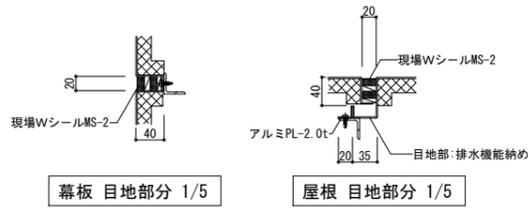
C部詳細図 1/5



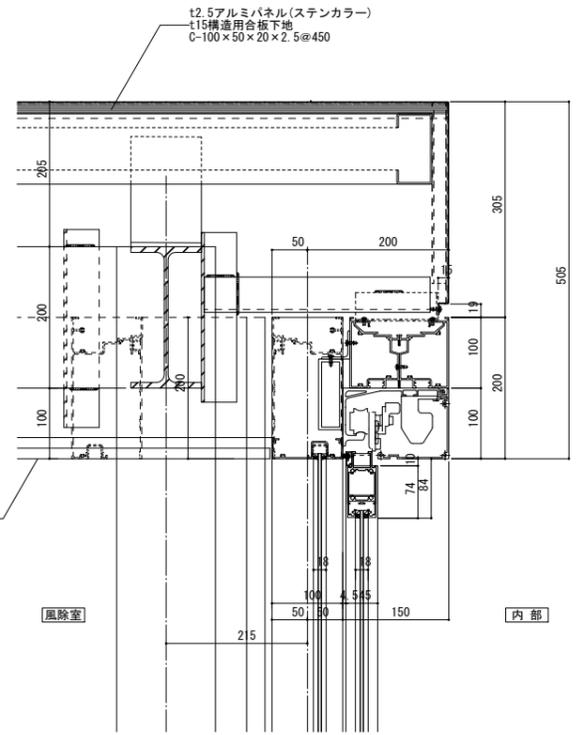
カーテンウォール断面図 1/20



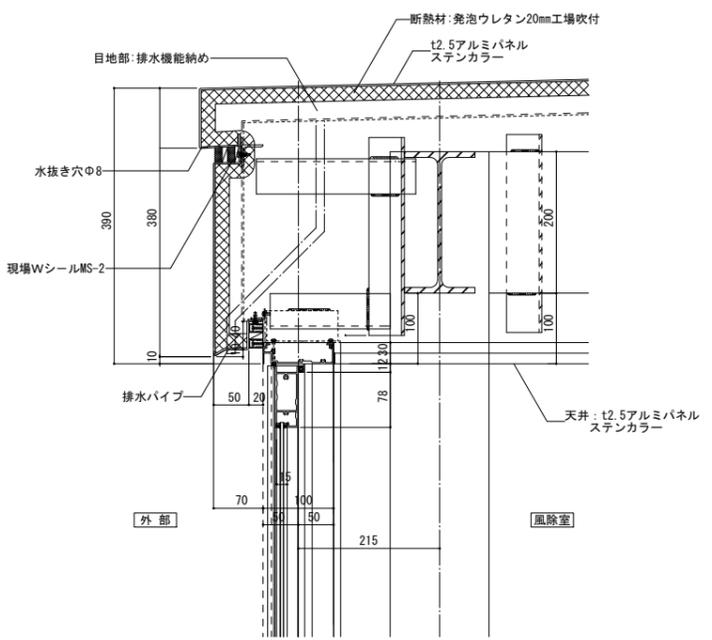
横浜市建築局			工事名 (仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)	
年月日	R7.03	縮尺	1/5 1/20	図面名称
設計者	協和建築設計事務所		図面種類	【管理棟】 カーテンウォール詳細図-1
1級建築士登録 第282011号 尾崎 為一	施設番号	標準号	完成年度	図面枚数
				図面番号 A-40



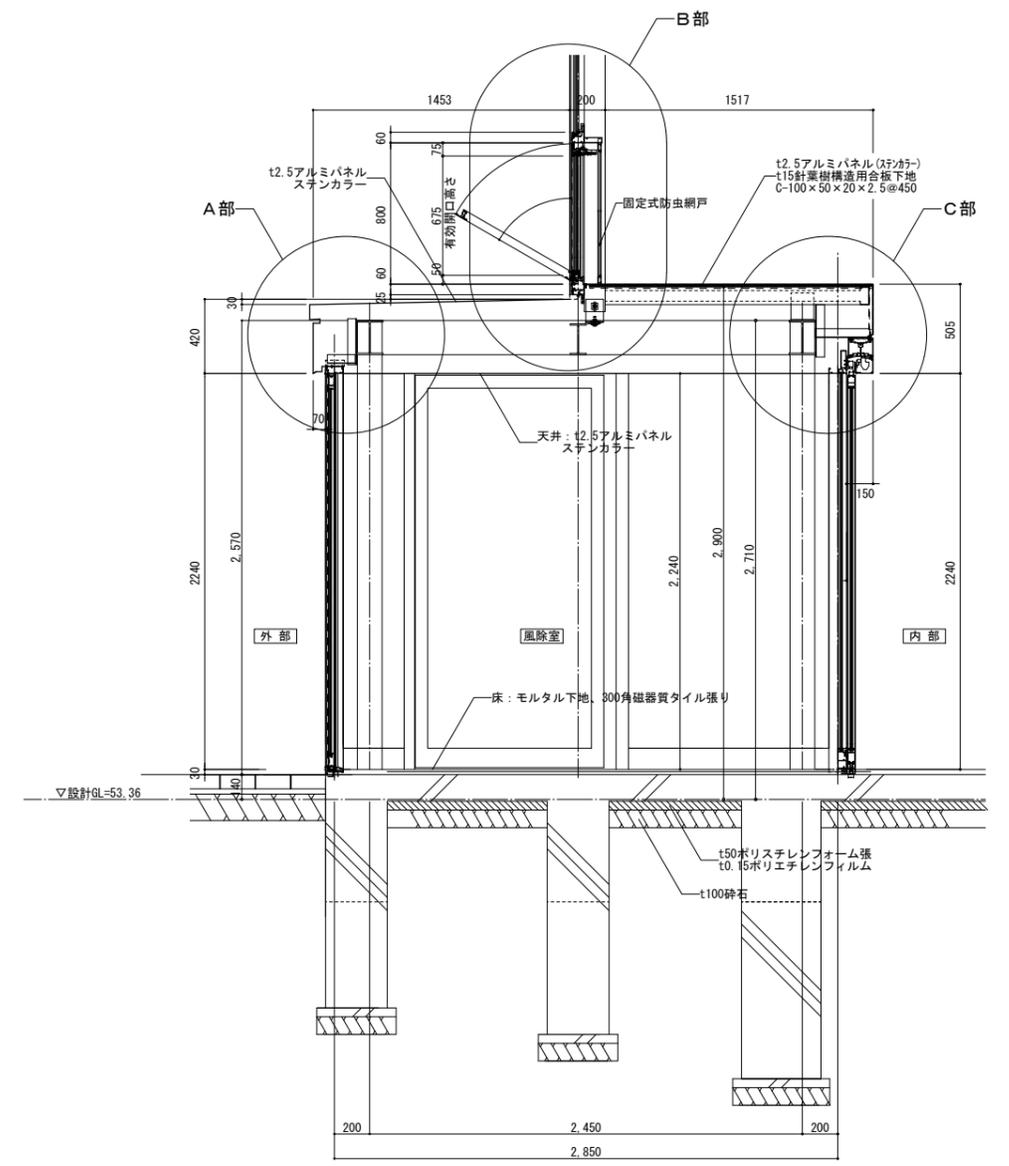
B部詳細図 1/5



C部詳細図 1/5



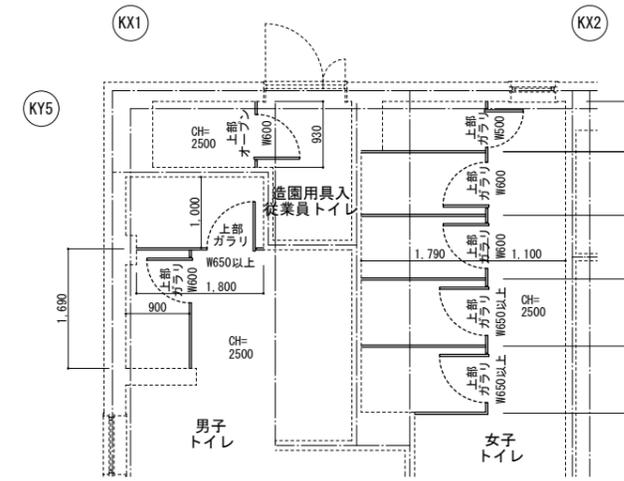
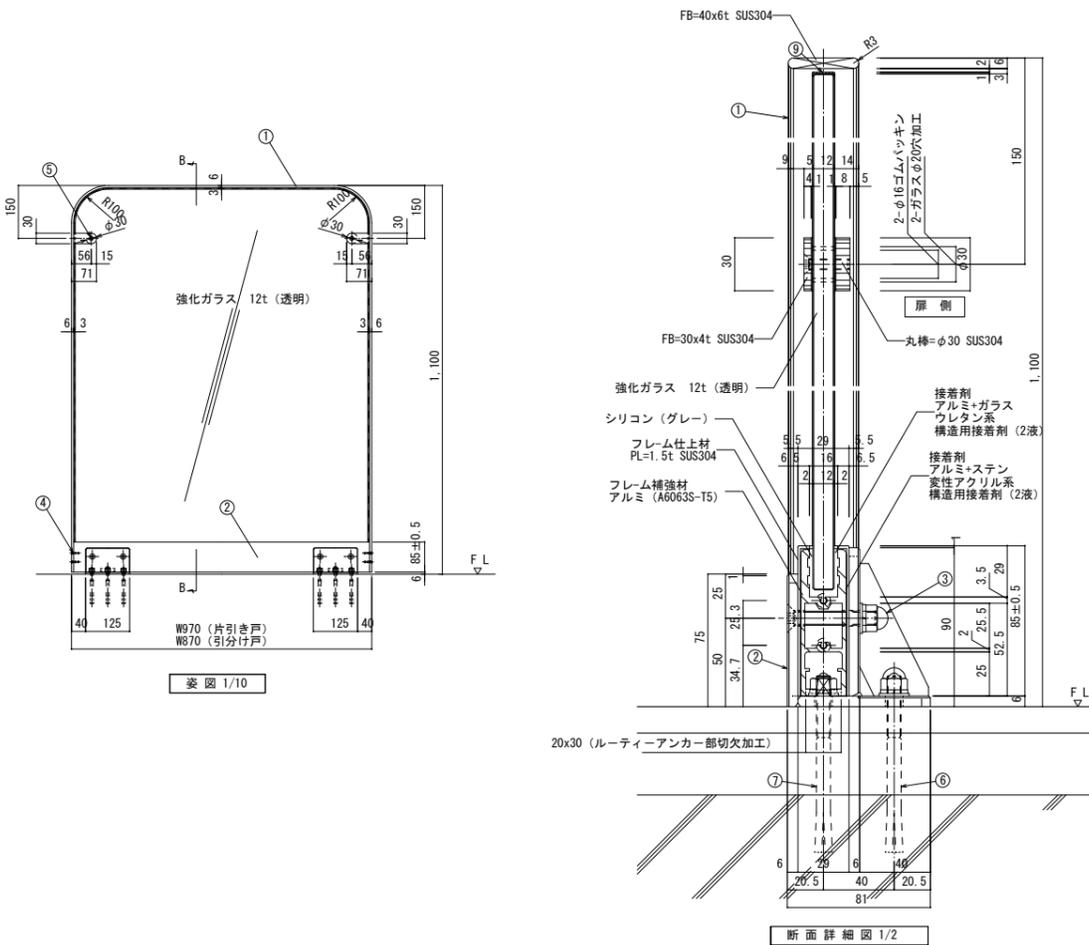
A部詳細図 1/5



風除室断面図 1/20

横浜市建築局			工事名 (仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)		
年月日	R7.03	縮尺	1/5 1/20	図面名称	【管理棟】カーテンウォール詳細図-2
設計者	協和建築設計事務所		施設番号	完成年度	図面枚数
1級建築士登録 第282011号 岩崎 為一					図面番号 A-41

品名	番号	材質 仕上げ	備考
ガード本体	①	ステンレス (SUS304) ヘアライン仕上又は鏡面仕上	
下部取付ブラケット	②	ステンレス (SUS304) ヘアライン仕上	
ガード本体・下部取付ブラケット組立ボルト (六角穴付皿ボルト M8x50)	③	ステンレス (SUS304) 素地又は鏡面仕上	バネ・平座金・六角袋ナット (2形) (下部取付ブラケット仕上に準ずる)
組立ボルト (六角穴付皿ボルト M4x20)	④	SUSXM7 ボルト頭: 素地又は鏡面仕上	
面材固定ボルト (六角穴付皿ボルト M6x25)	⑤	SUSXM7 ボルト頭: 素地又は鏡面仕上	
取付施工用ルーティアンカー SCタイプ (M8x100)	⑥	ステンレス 素地	バネ・平座金・六角袋ナット (2形) (下部取付ブラケット仕上に準ずる)
取付施工用ルーティアンカー SCタイプ (M6x100)	⑦	ステンレス 素地	バネ・平座金・六角ナット (1種)
PRO (プロ)	⑧	硬質PVC+軟質PVC 色: 黒	



トイレブーススキープラン 1/50

トイレブース 天井ランマ仕様

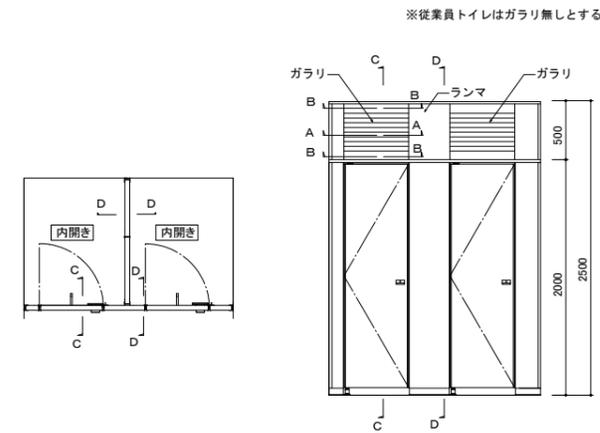
表面材	芯材	パネル厚	ブース高	エッジ	ヒンジ	巾木	その他 金物
特殊UV塗料硬質セメント板 公称3mm	LVL (F☆☆☆☆) パーティクルボード (F☆☆☆☆) ペーパーコア (厚のみ)	公称 30mm	2000mm (笠木上端) + 500mm (ランマH)	アルミ型材 ステンカラー 仕上げ	床付ヒンジ (C-32)	ステンレス SUS-304 ヘアライン 仕上げ	戸当り帽子掛け 表示ラッチ錠 L型ストライク 非常時外開き開放機構付き 非常解放木戸当たり

キープラン

1/30

断面詳細図

1/2



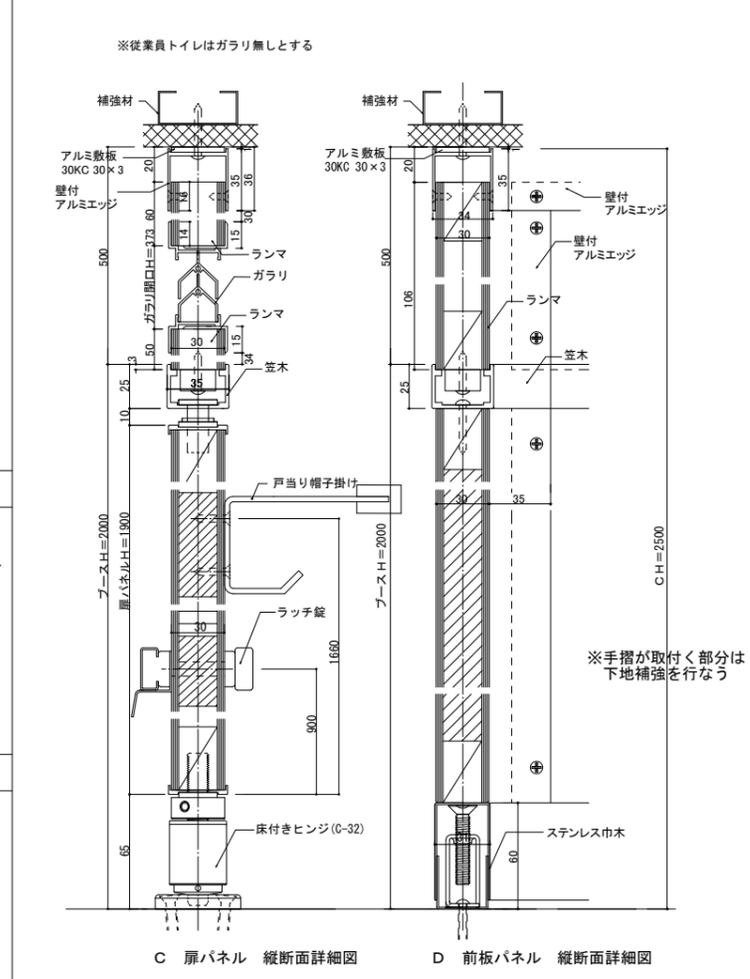
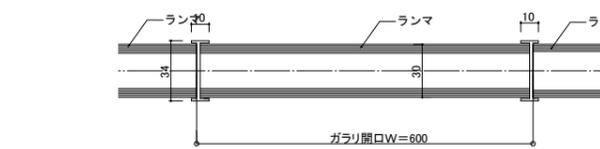
A 扉上部 ガラリ横断面詳細図

1/2



B 扉上部 ランマ横断面詳細図

1/2

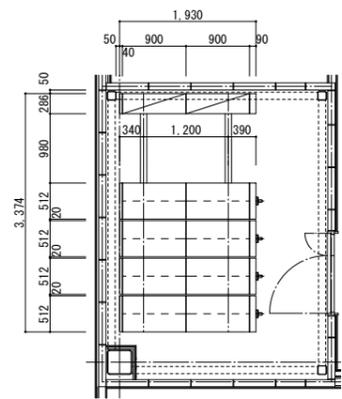


C 扉パネル 縦断面詳細図

D 前板パネル 縦断面詳細図

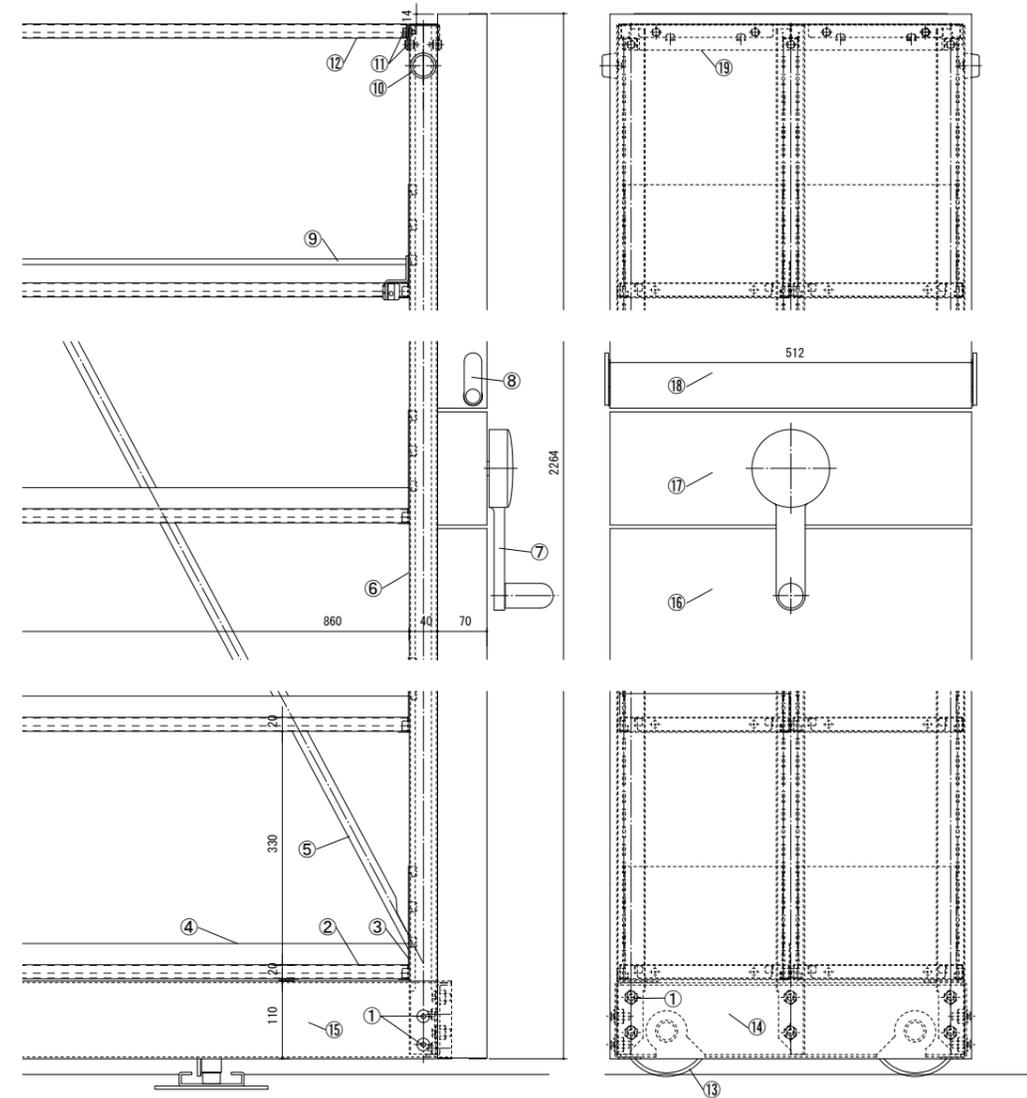
横浜市建築局				工事名 (仮称) 舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/20 1/30 1/50	図面名称	【管理棟】自動ドアガード トイレブース詳細図		
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	標準	完成	図面枚数
1級建築士登録 第282011号 蛸崎 為一	1級建築士登録 第282011号 蛸崎 為一			標準	完成	図面枚数	図面番号
				A-42			



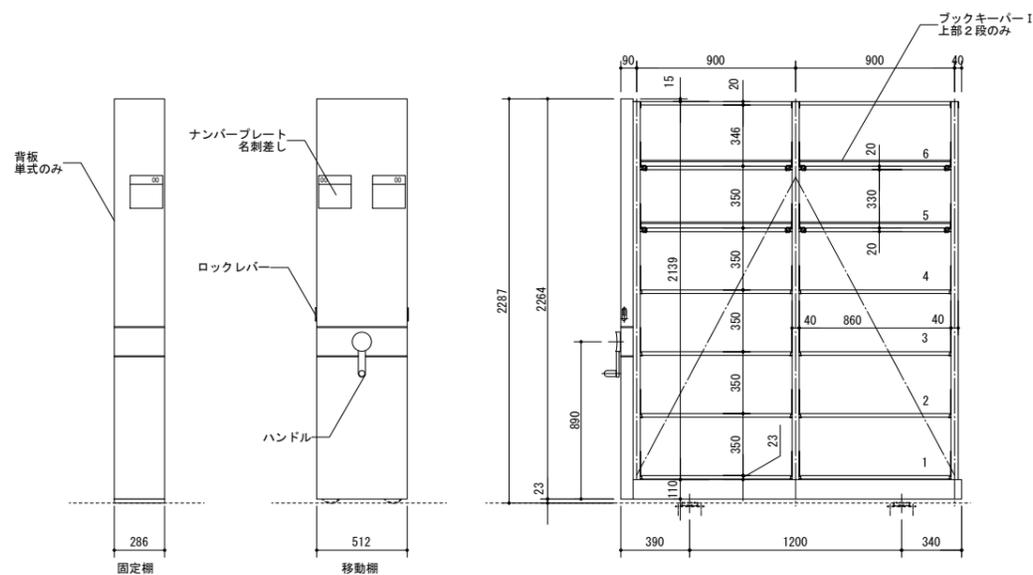


可動棚配置図 1/50

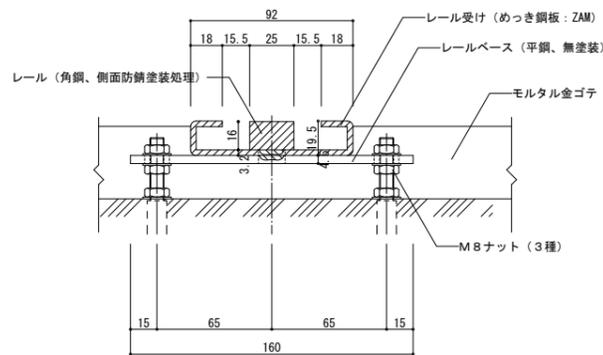
種別	棚段数	連数	台数	備考
単式固定	6	2	1	
複式移動	6	2	4	
仕様				
最大積載質量	棚板1段当り 最大40kg 但し複式1連当り 600kg			
駆動方式	全輪駆動方式			
操作方式	ワンウェイクラッチハンドル(自動クラッチ内蔵)			
移動距離	100mm/ハンドル1回転			
安全対策	安全ロック(ゲートロック機構)・下部転倒防止装置・脱線防止(フランジ車輪)			
レール形式	埋込式			
塗色	シルキーアイボリー			
建築床への負荷	積載質量	40kg/段		
	自重	115kg/複式1連		
	総重量	535kg		
	レール1m当りの最大質量	1163kg		
付属品	複式棚:各段背当り付(共通)			
	単式棚:背板付 フックキーパー付(上部2段のみ)			



詳細図 1/5



可動棚姿図 1/20



レール断面図 1/2

名称	部材	JIS記号	名称	部材	JIS記号
①六角穴付きボルト	M10×20		⑪ボルト	M6×10	
②棚板	t1	SPCC	⑫天板	t1	SPCC
③棚受	t1.6	SPHC	⑬車輪	φ118機械構造用炭素鋼	SPCC
④背当り	t0.8	SPCC	⑭台枠(縦)	t3.2	SPHC
⑤筋がい	t3	SS-400	⑮台枠(前後)	t2.3	SPHC
⑥支柱	t1.6	SPHC	⑯上化粧側板	t1.0	SPCC
⑦ハンドル	亜鉛ダイキャスト		⑰中化粧側板	t1.0	SPCC
⑧ロックレバー	亜鉛ダイキャスト		⑱下化粧側板	t1.0	SPCC
⑨回転式落下防止バー	φ8みがき丸棒	SS-D	⑲柱つなぎ	t1.6	SPHC
⑩当りゴム	φ40硬質ゴム	CR			

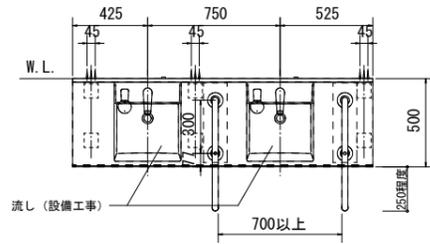
横浜市建築局				工事名 (仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/2 1/5 1/20 1/50	図面名称	【管理棟】可動棚詳細図		
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	標準	完成	図面枚数
1級建築士登録 第282011号 蛭崎 為一				標準	完成	図面枚数	図面番号
							A-44

<p>共通仕様</p> <p>造作家具 共通仕様 「特記なき場合は下記仕様とする」</p> <table border="1"> <tr><td>天板</td><td>メラミン化粧板（木目調） 木口：神奈川県産ヒノキくんえん乾燥材挽板貼</td></tr> <tr><td>本体・主材</td><td>ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り</td></tr> <tr><td>扉・引違戸</td><td>メラミン化粧板（木目調）</td></tr> <tr><td>引手</td><td>神奈川県産ヒノキくんえん乾燥材</td></tr> <tr><td>棚板</td><td>ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り</td></tr> <tr><td>側板</td><td>ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り</td></tr> <tr><td>背板</td><td>ポリエステル化粧合板</td></tr> <tr><td>地板</td><td>ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り 本体内部に配管用工事が付く場合はビス留めにする。</td></tr> <tr><td>支輪・台輪</td><td>ポリエステル化粧合板</td></tr> <tr><td>塗装</td><td>UC：ウレタン塗装仕上げF☆☆☆☆</td></tr> <tr><td>接着剤</td><td>※接着剤・塗料は厚生労働省より室内濃度指針値が出された物質の基準値を満たしたものとす。</td></tr> </table>	天板	メラミン化粧板（木目調） 木口：神奈川県産ヒノキくんえん乾燥材挽板貼	本体・主材	ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り	扉・引違戸	メラミン化粧板（木目調）	引手	神奈川県産ヒノキくんえん乾燥材	棚板	ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り	側板	ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り	背板	ポリエステル化粧合板	地板	ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り 本体内部に配管用工事が付く場合はビス留めにする。	支輪・台輪	ポリエステル化粧合板	塗装	UC：ウレタン塗装仕上げF☆☆☆☆	接着剤	※接着剤・塗料は厚生労働省より室内濃度指針値が出された物質の基準値を満たしたものとす。	<p>※ 施工前に家具施工団を作成し監督者に提出、承認を受けた後、制作、施工すること。      ※ 神奈川県産ヒノキくんえん乾燥材の出荷証明書等は施工前に監督者に提出する。      ※ 製作については品質確保のためISO9001認定取得の国内工場とする。      ※ 造作家具の神奈川県産ヒノキ材については、以下の条件を満たすものとする。      ※ 生木製材からロット番号管理を行い、含水率の推移を記録した乾燥履歴を保管すること。      ※ 乾燥工程では、全乾重量法に基づいた含水率計測を行うこと。      ※ 抜けそう節（抜け節）はあらかじめ除去し、無垢材によって埋め木処理を行うこと。      ※ 写真で工程を説明できる資料と、埋め木材と乾燥材のサンプルを速やかに提出できること。      ※ 乾燥工程は品質確保のため、以下の要領によって行われていること。      ・約40～50℃の中低温のくんえん乾燥にて予備乾燥を行う。      ・次に約65℃前後で蒸気乾燥炉にて約一週間温度調整し、含水率を10%前後にする。      ・湿度調整後に養生期間を設けて含水率を12%程度まで戻した後、含水率を保持するためビニールで梱包する。      ・くんえん乾燥には天然木を燃焼させて発生させた煙を利用すること。      ※ メーカー選定の際には、仕様通りの実物サンプルを提出し、監督者承認後決定とする。</p>	<p>※ 本体各部分の接合に関しては、いたずら防止と強度確保のため、部外者が安易に外せるロックダウン金物の使用は禁止とする。      ※ 造作家具は危険防止のため、床または壁面に取付・固定すること。      ※ 本体は、フィラー、支輪の現場加工取付込みとする。</p>	<p>握り込み引手</p>	<p>ステンレス製耐震棚受・棚柱</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・可動棚板および棚柱と棚受けについて下記の条件を満たすものとする。</li> <li>・震度6以上（JMA神戸波）を想定した特定地震波による30加震レベル100%の振動試験において、加震後、異常がなかったものとする。</li> <li>・上記の振動試験において可動棚板の落下が無かったことについて加震後の状況写真が確認できるものとする。</li> <li>・上記の振動試験について、第三者品質性能証明機関による試験報告書の複製が提出できるものとする。</li> </ul>
天板	メラミン化粧板（木目調） 木口：神奈川県産ヒノキくんえん乾燥材挽板貼																									
本体・主材	ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り																									
扉・引違戸	メラミン化粧板（木目調）																									
引手	神奈川県産ヒノキくんえん乾燥材																									
棚板	ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り																									
側板	ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り																									
背板	ポリエステル化粧合板																									
地板	ポリエステル化粧合板 木口：同色樹脂テープ貼り 本体内部に配管用工事が付く場合はビス留めにする。																									
支輪・台輪	ポリエステル化粧合板																									
塗装	UC：ウレタン塗装仕上げF☆☆☆☆																									
接着剤	※接着剤・塗料は厚生労働省より室内濃度指針値が出された物質の基準値を満たしたものとす。																									

<p>受付カウンター</p>	<p>受付収納戸棚</p>
----------------	---------------

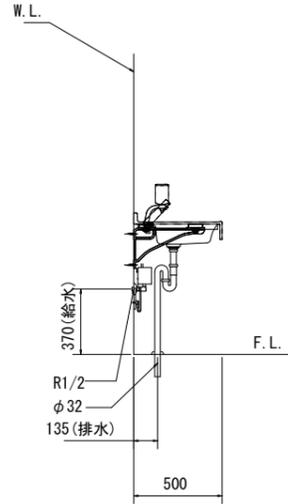
<p>カーテンウォールカウンター</p>	<p>手洗いカウンター</p>	<p>洗面台</p>
----------------------	-----------------	------------

<b>横浜市建築局</b>		工事名	(仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)	
年月日	R7.03	縮尺	1/20	
図面名称	【管理棟】家具詳細図-1			
設計者	協和建築設計事務所	建築士登録	第282011号	図面番号
図面枚数	1	図面種類	家具詳細図	図面番号
図面番号	A-45	図面枚数	1	図面種類



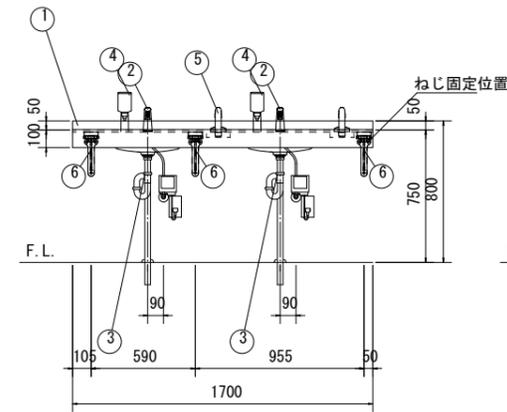
平面図 1/20

No.	品名	数量	備考
1	カウンター	1	人造大理石 (※リスタ系樹脂)
2	AC100V式自動単水栓	2	銅合金・ニッケルクロムメッキ
3	排水金具	2	黄銅鍍物・ニッケルクロムメッキ
4	水石けん入れ	2	350CC
5	手すり	1	芯材:ステンレス・樹脂被覆・2本1組
6	固定用ブラケット	3	7&S鍍物

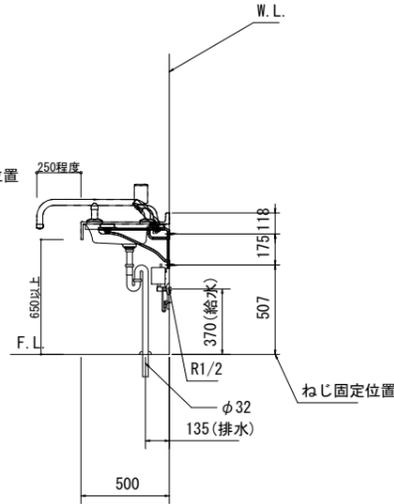


断面図 1/20

手摺無し

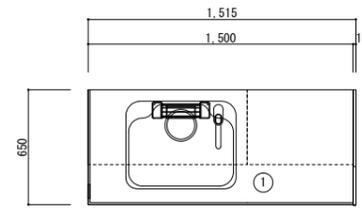


正面図 1/20

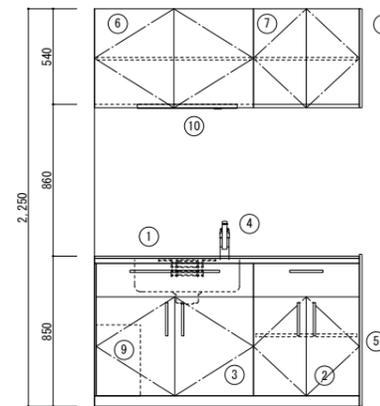


断面図 1/20

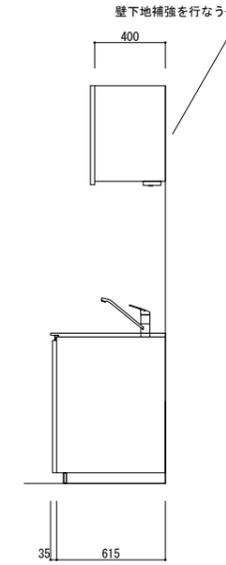
手摺有り



平面図



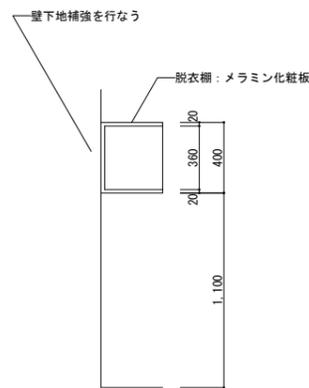
展開図



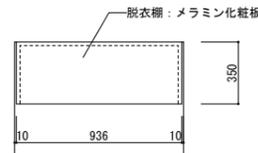
断面図

品名	備考
1 キッチンカウンター	人造大理石
2 フロアキャビネット	1段引出、開き扉 (木目調)
3 シンク	小物、開き扉 (木目調)
4 シングルレバー水栓	
5 エンドパネル	フロア用 (木目調)
6 ウォールキャビネット	開き扉 (木目調)
7 ウォールキャビネット	開き扉 (木目調)
8 エンドパネル	ウォール用 (木目調)
9 給湯用電気給湯器	12L (100V用)
10 LEDスリムライト	

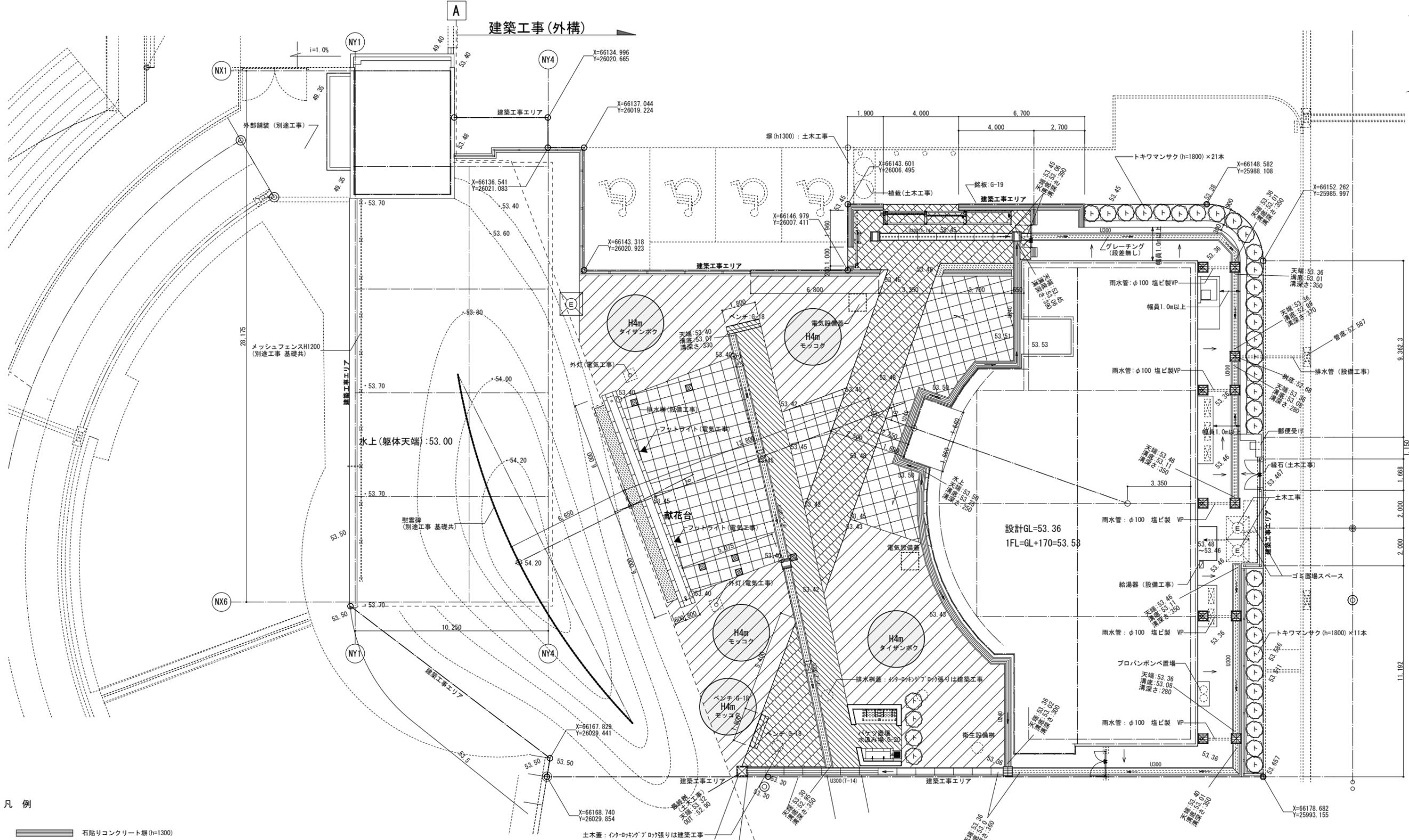
※TOTO システムキッチン ザ・クラッソ同等品以上



断面図 1/20



平面図 1/20



- 石張りコンクリート (h=1300)
- 6654 ダークグレー系御影石 長巻 JB仕上げ 300x300x160 (歩行者使用) 馬目地張
- A. 透水性自然石洗い出し(インタロック)舗装 範囲 フリカ目地 (ベージュ系3色組合せ) 100x200 t60
- B. 透水性自然石洗い出し(インタロック)舗装 範囲 フリカ目地 (ベージュ系3色組合せ) 100x200 t60
- 砂利舗装 6605 白系御影石 φ20~30 t70
- 高麗芝 (省管理型TM9)

- G-07 U側溝W300 (インタロック)用 SUS7レーシングW350蓋 T-14 (細目ノリツブ)・騒音防止・ボルト固定)
- G-09 U側溝W240 (インタロック)用 SUS7レーシングW300蓋 歩行用(細目ノリツブ)・騒音防止・連結クランプ)
- G-10 U側溝W300 (インタロック)用 スリット溝蓋 T-14 (細目ノリツブ)
- G-11 U側溝W300 グレーシングW344蓋 歩行用(細目ノリツブ)・騒音防止・鎖φ6(L=500)両端ツケ付)
- G-12A 雨水枡450x450 普通目ノリツブ (特記なき限り泥溜150) SUS7レーシング500x500(ボルト固定)
- G-13 雨水枡450x450 (特記なき限り泥溜150) SUS7レーシング540x540 (インタロック)用 スリット溝蓋 歩行用 細目ノリツブ・騒音防止)
- G-14 450x450 石張り・インターロック型化粧用鉄蓋 (スライド開閉式)
- 掃除口: U側溝W300 (インタロック)用)

建築物(外構)

外構平面図 1/100

外構共通仕様  
 ※ステンレスは全てSUS304とする。  
 ※コンクリート強度は下記による。  
 積てコンクリート : 高炉、F<sub>c</sub>=18N/mm<sup>2</sup>、スランプ 8cm、構造体強度補正値 無  
 躯体コンクリート : 普通、F<sub>c</sub>=21N/mm<sup>2</sup>、スランプ 15cm、構造体強度補正値 有  
 塀等基礎 : 普通、F<sub>c</sub>=21N/mm<sup>2</sup>、スランプ 15cm、構造体強度補正値 有

樹木名称	種別	形状寸法		数量	単位	支柱
		樹高(m)	幹周(φ) 枝張(m)			
タイサンボク	T2	4.0	0.6 3.0	2	本	3脚馬鹿 肥料=450g 圆形(まるやま3号)
モッコク	T2	4.0	0.6 3.0	3	本	3脚馬鹿 肥料=450g 圆形(まるやま3号)
トキワマンサク(白)	T3	1.8	0.5	32	本	布掛け 肥料=180g(まるやま3号) 竹1本支柱
トキワマンサク(白)	T3	1.8	0.5	4	本	肥料=180g(まるやま3号)
高麗芝(省管理型TM9)				250	m <sup>2</sup>	肥料=100g/m <sup>2</sup> (まるやま1号)

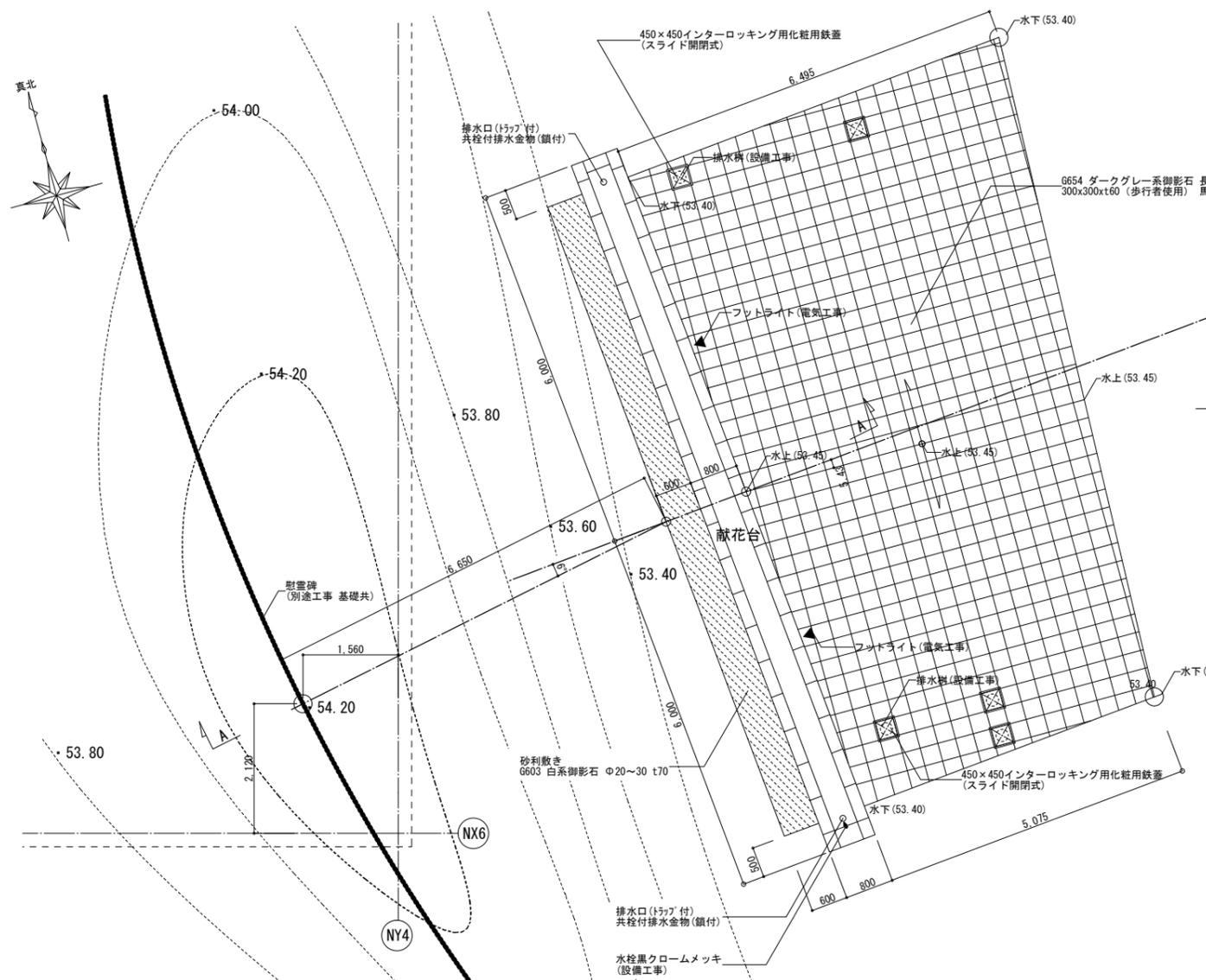
横浜市建築局

工務名 (仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)

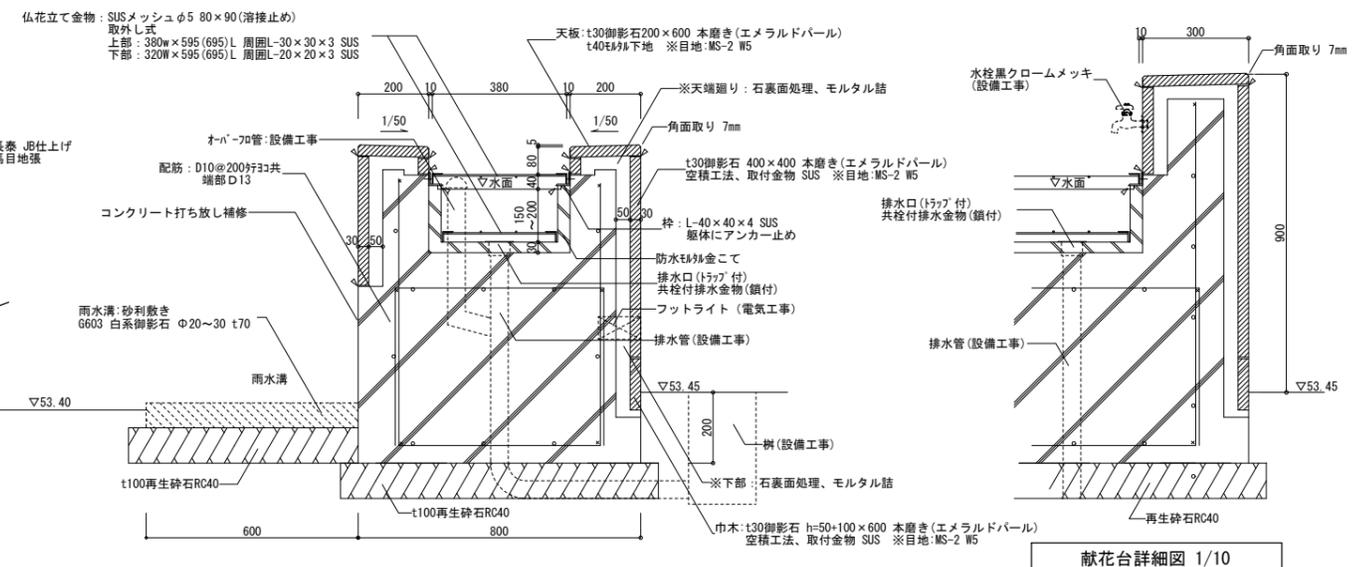
年月日 R7.03 縮尺 1/100 図面名称 外構平面図

設計者 株式会社 協和建築設計事務所 1級建築士登録 第282011号 蛭橋 為一

図面番号 A-47

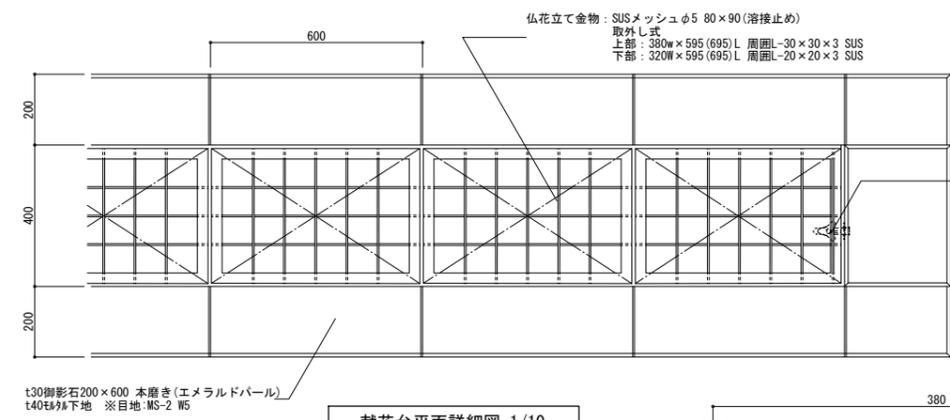


平面図 1/50

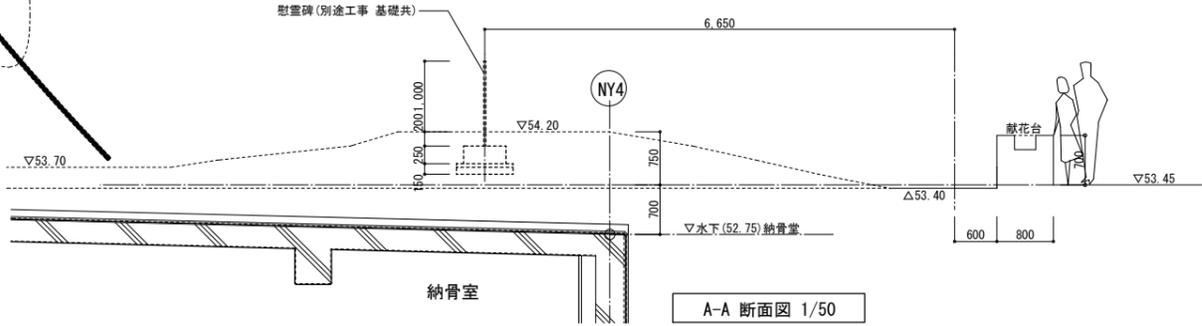


献花台(メイン)詳細図 1/10

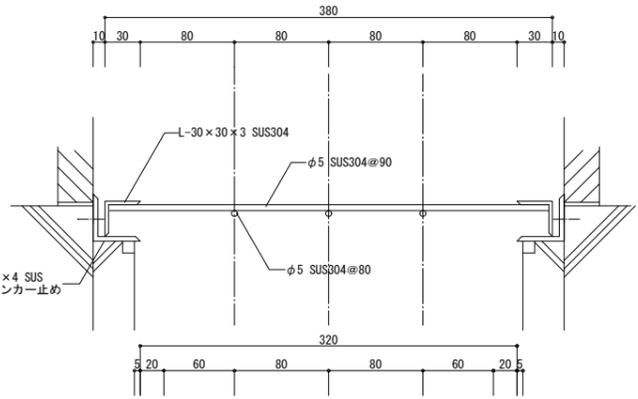
献花台詳細図 1/10



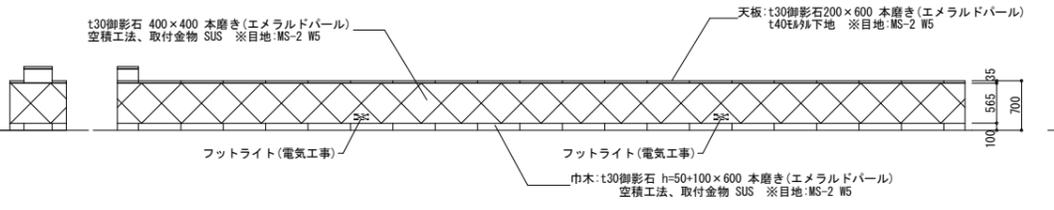
献花台平面詳細図 1/10



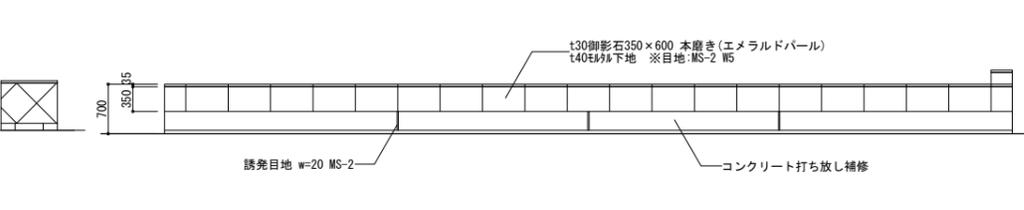
A-A断面図 1/50



献花台断面図 1/3

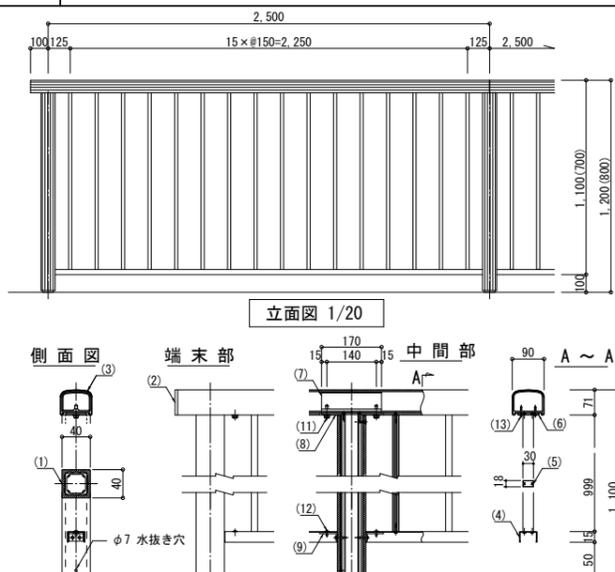
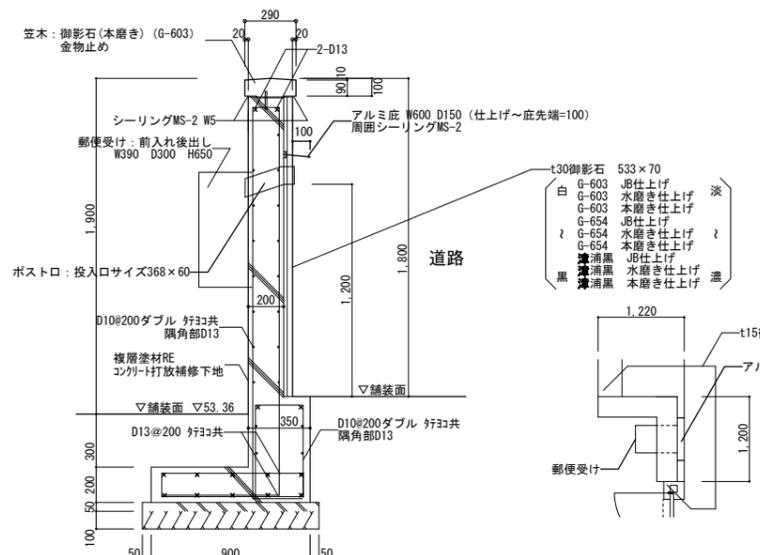
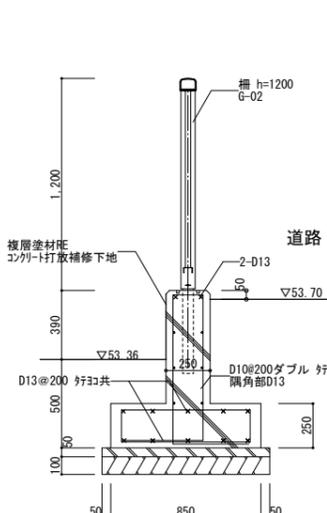
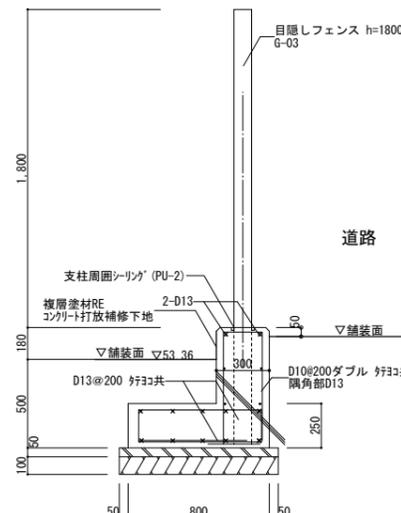
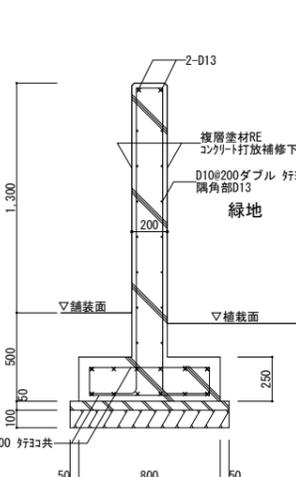
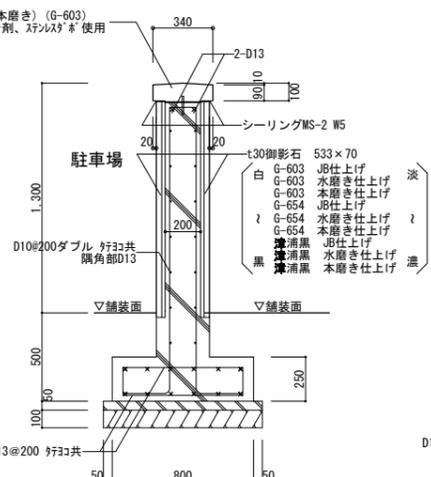
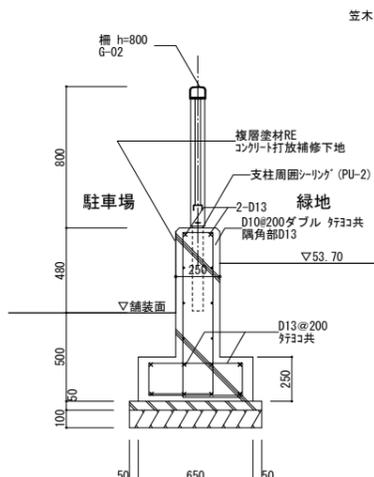
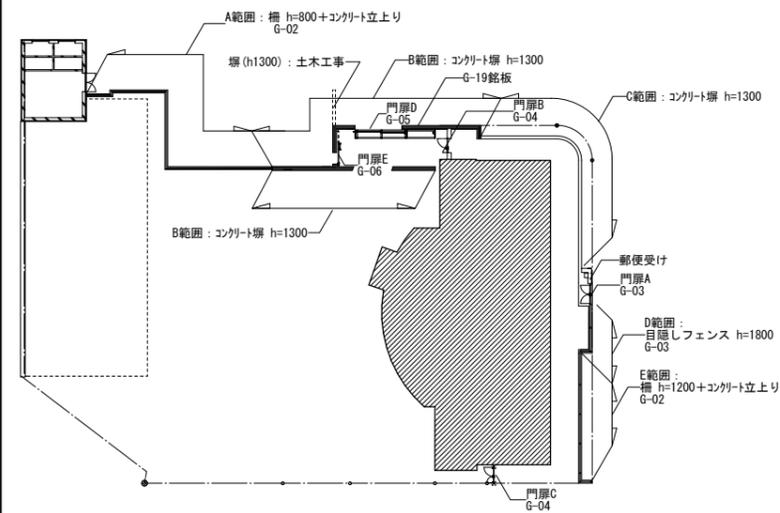


献花台正面図 1/50



献花台裏面図 1/50

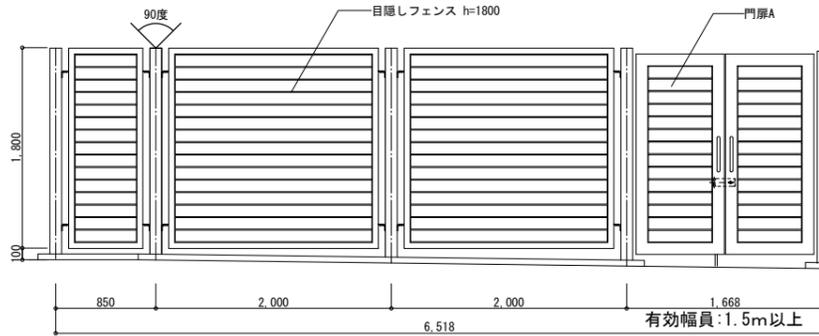
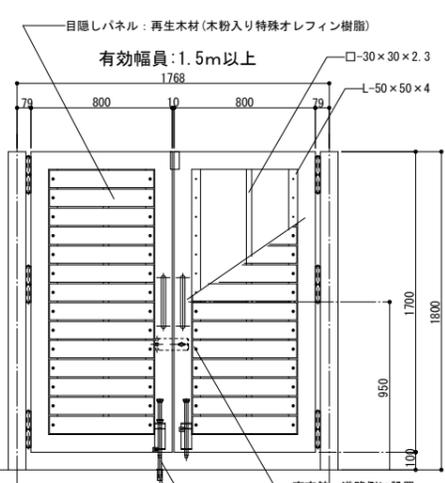
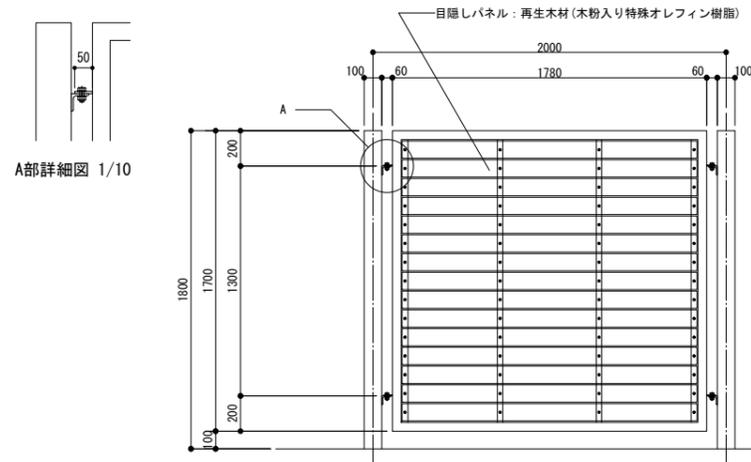
横浜市建築局		工事名 (仮称) 舞岡墓園管理棟その他新築工事 (建築工事)	
年月日 R7.03	縮尺 1/10 1/50	図面名称	献花台 詳細図
設計者		地設番号	
協和建築設計事務所		標準号	
1級建築士登録 第282011号 岩崎 為一		完成年度	
		図面枚数	
		図面番号	A-48



部番	名称	形状	材質	表面仕上
(1)	支柱	□60×60×3.5t	AGN01S-T5	JIS H 8602 陽極酸化塗装複合皮膜 (MB色)
(2)	支柱化粧材	□80×80	再生木材	サンディング仕上 (ダークカラー)
(3)	笠木端キャップ	90×71×8.0t	再生木材	再生木材表面 サンディング仕上
(4)	下横	50×30×2.0t	A6063S-T5	JIS H 8602 陽極酸化塗装複合皮膜 (MB色)
(5)	格子	30×18		
(6)	格子レール	60×6×2.0t	ADC	ポリエステル系粉体塗装 (マットブラウン色)
(7)	インナースリーブ	L = 170		
(8)	笠木クリップ	170×55×5.0t	SUS	ブロンズ色
(9)	下横クリップ	L50×25×4.0t		
(10)	ベースボックス	150×120	SUS	ブロンズ色
(11)	六角ボルト	M8×30 B.W.SW		
(12)	トラスビス	M5×12 B		
(13)	ピアスビス (ナベ)	φ4×25 B		
(14)	六角穴付止ネジ	M8×10 B		
(15)	アンカーボルト	M12×100		

※ 製品は、メーカーの指定する損害賠償責任保険に加入しているものとする。

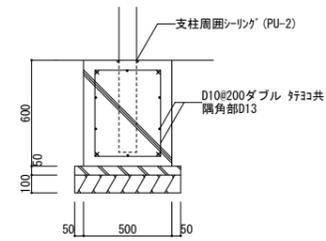
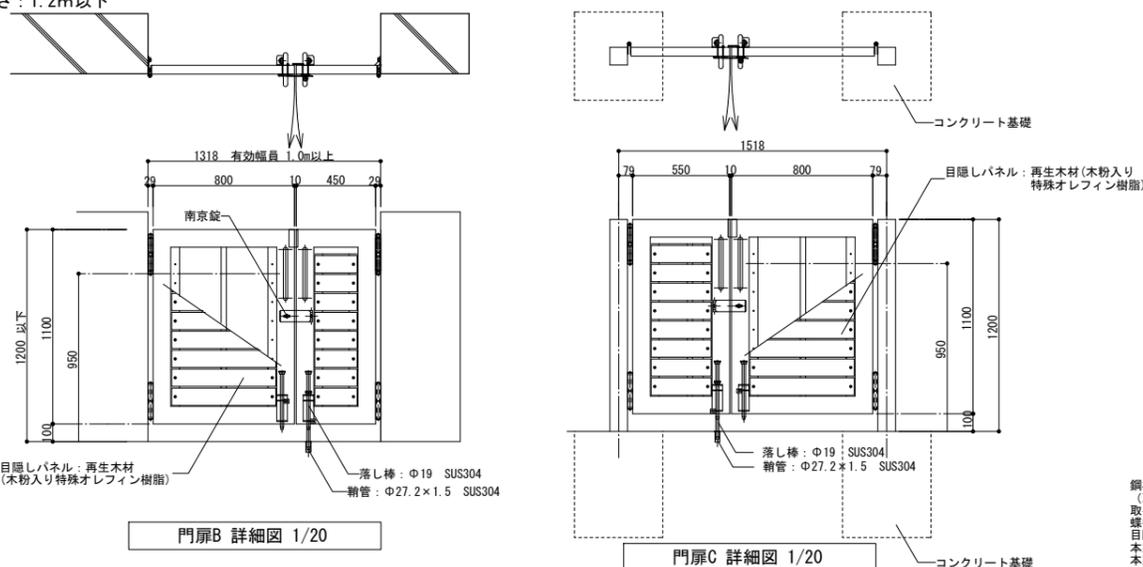
※有効幅員：1.5m以上



鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、見え掛かり部はアクリル樹脂塗料焼付塗装仕上げとする。  
 (取手・打掛金具・落し棒・緩衝・ボルト・ナット類を除く)  
 取手・打掛金具は、#400研磨仕上げとする。落し棒は電解研磨仕上げとする。  
 緩衝はヘアライン仕上げとする。ボルト・ナット類はステンレス製とする。  
 目隠しパネルの再生木材は木粉入り特殊オレフィン樹脂とする。  
 本製品は、(一社)日本公園施設業協会会員の製品とする。  
 本製品は、(一社)日本公園施設業協会の賠償責任保険加入製品とする。

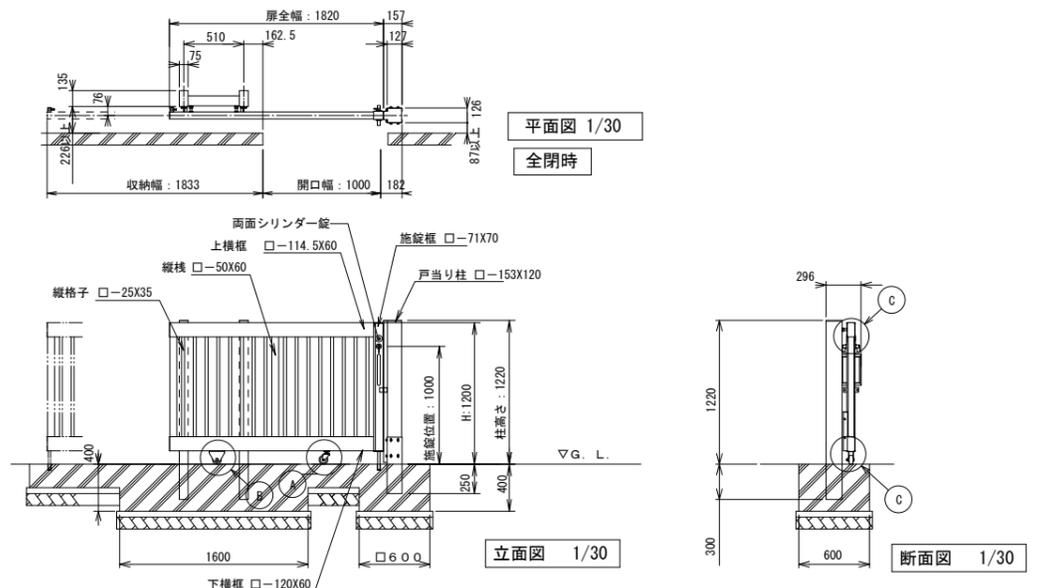
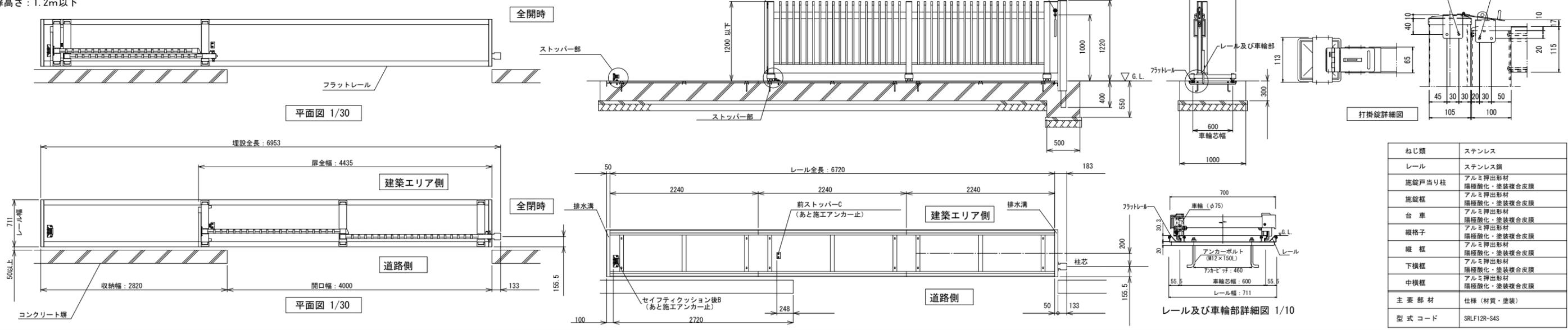
横浜市建築局				工事名 (仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/10 1/20 1/30 1/300	図面名称	外構詳細図-1		
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	完成年度	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 蛭崎 為一				A-49			

※有効幅員：1.0m以上  
扉高さ：1.2m以下

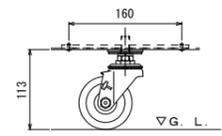


鋼材は、電気亜鉛メッキ処理の上、見え掛かり部はアクリル樹脂塗料焼付塗装仕上げとする。  
(取手・打掛金具・落棒・蝶番・ボルト・ナット類を除く)  
取手・打掛金具は、#400研磨仕上げとする。落棒は電解研磨仕上げとする。  
蝶番はヘアライン仕上げとする。ボルト・ナット類はステンレス製とする。  
目隠しパネルの再生木材は本粉入り特殊オレフィン樹脂とする。  
本製品は、(一社)日本公園施設業協会会員の製品とする。  
本製品は、(一社)日本公園施設業協会の賠償責任保険加入製品とする。

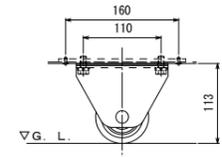
※有効幅員：1.5m以上  
扉高さ：1.2m以下



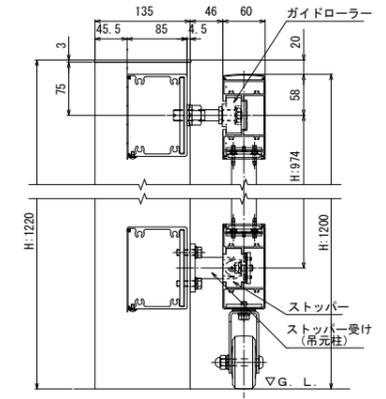
(A) 自在キャスター部詳細図 (S=1/5)

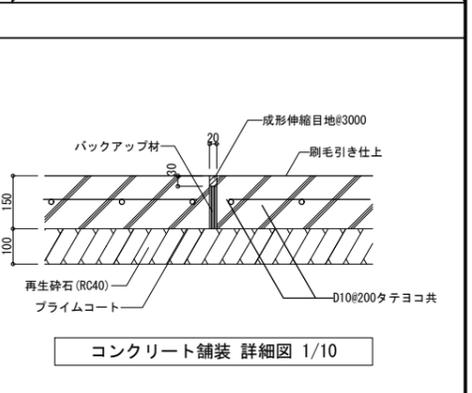
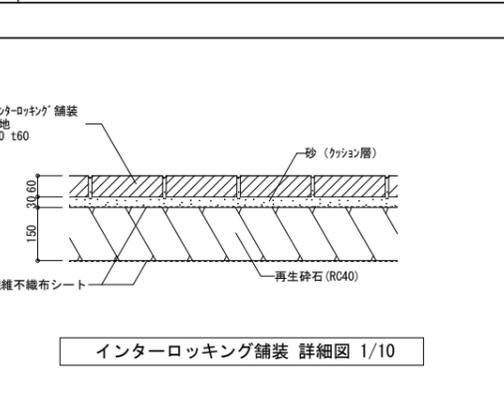
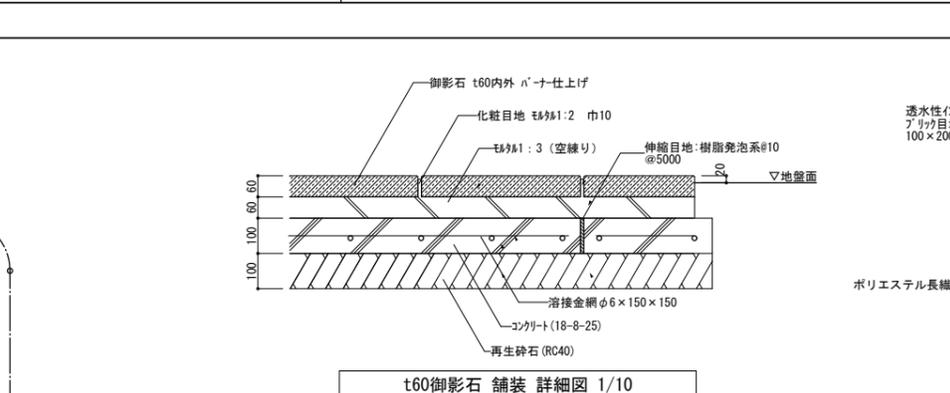
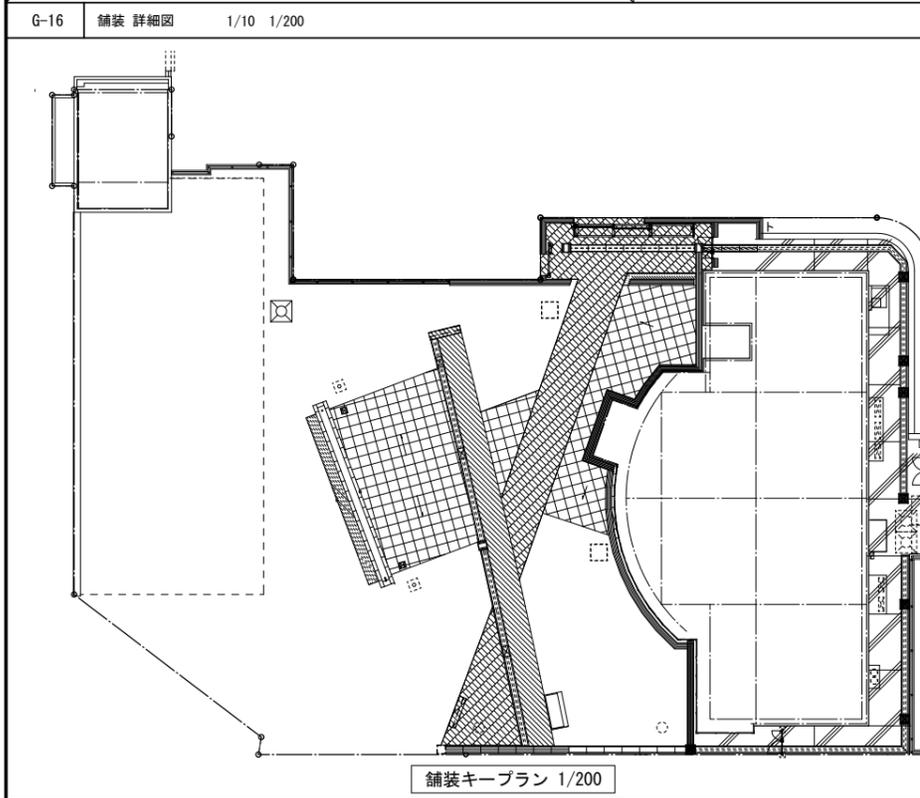
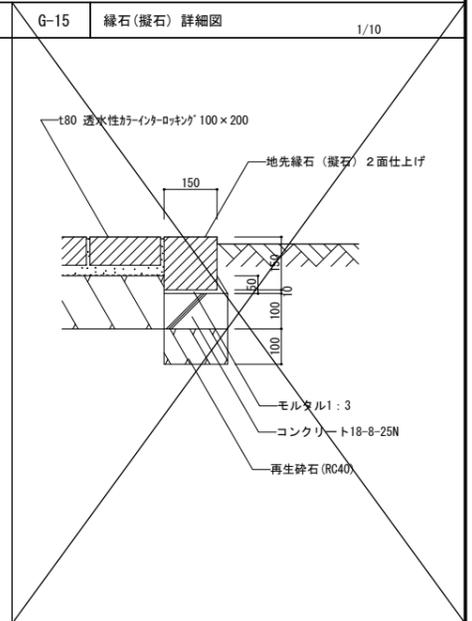
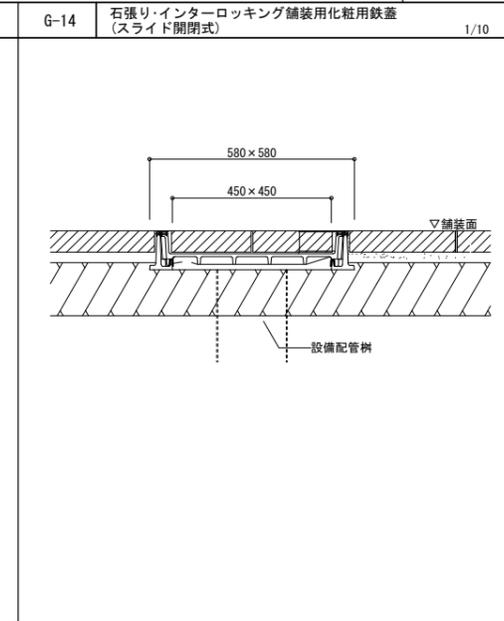
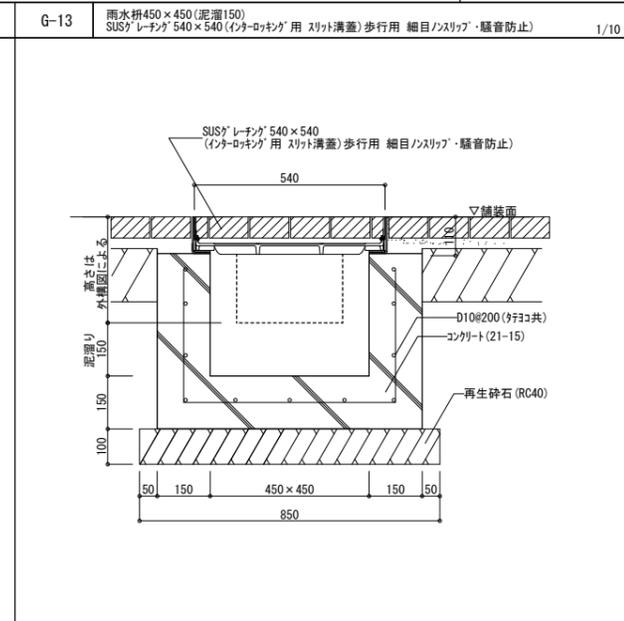
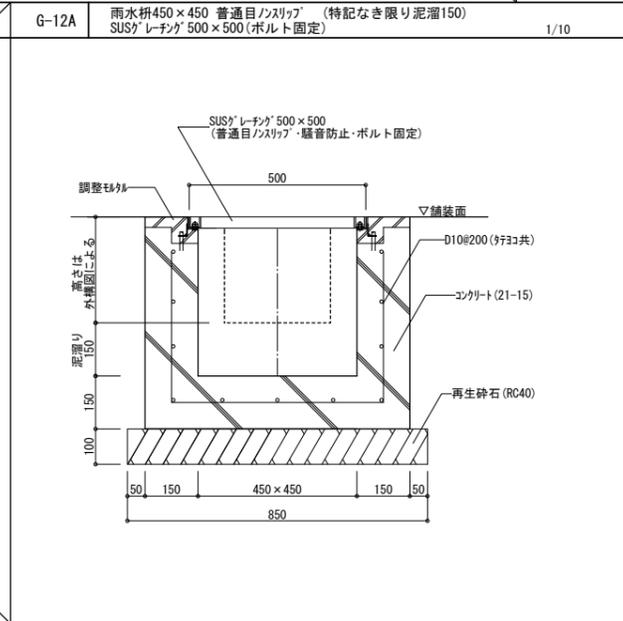
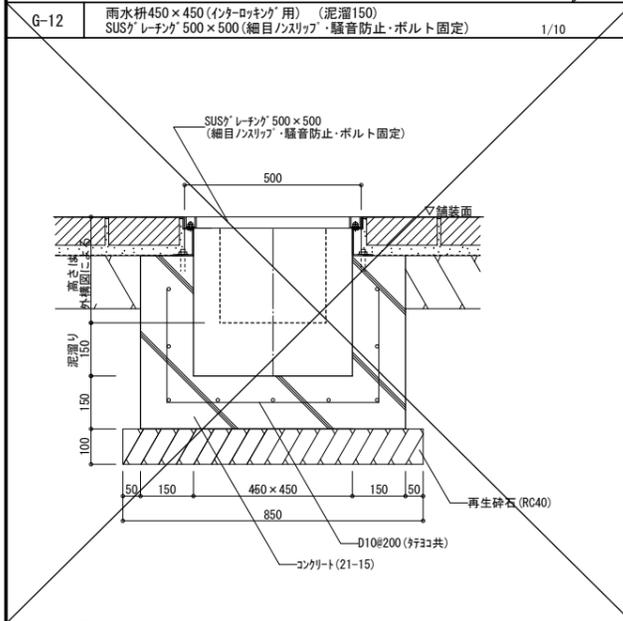
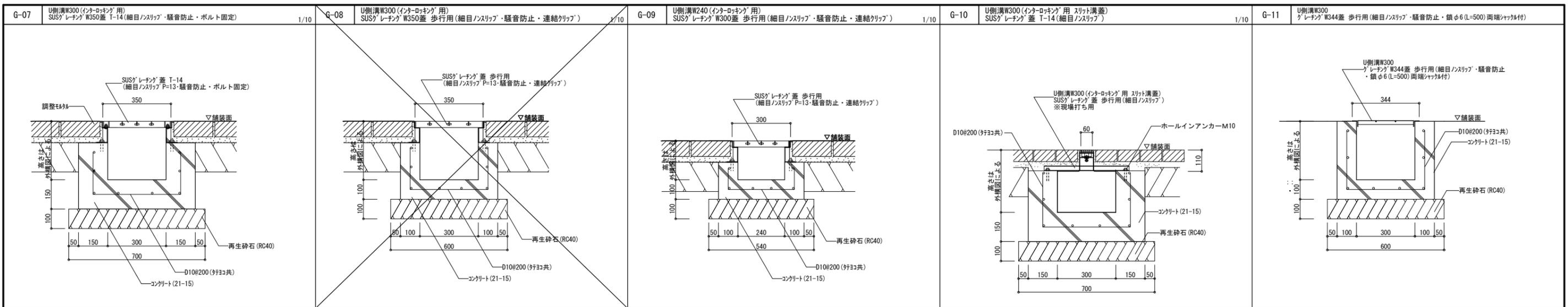


(B) 固定キャスター部詳細図 (S=1/5)



(C) 吊元柱部詳細図 (S=1/5)



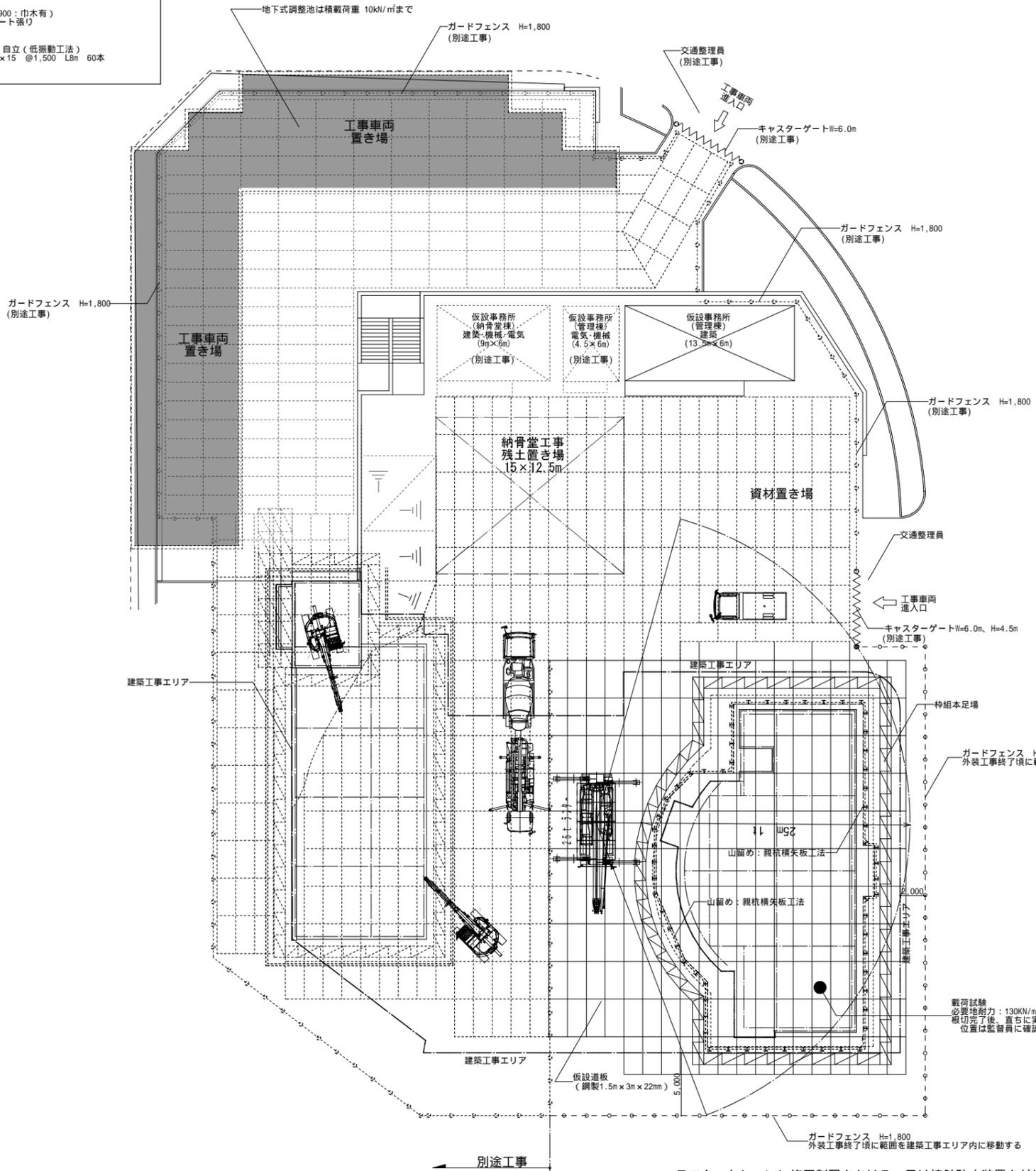


- 凡例
- G654 ダークグレー系御影石 長泰 JB仕上げ 300x300xt60 馬目地張
  - A. 透水性自然石洗出しインターロッキング舗装 範囲 フリック目地(ベージュ単色) 100x200 t60
  - B. 透水性自然石洗出しインターロッキング舗装 範囲 フリック目地(ベージュ系3色組合せ) 100x200 t60
  - 砂利舗装 G603 白系御影石 Φ20~30 t70 t100再生砕石
  - コンクリート舗装: t150 コンクリート金ごて範囲 D10#200タテヨコ共普通セメント、Fc=21N/mm2、スランプ 18cm 路盤10cm(RC40)

横浜市建築局		工事名 (仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)	
年月日 R7.03	縮尺 1/10 1/200	図面名称 外構詳細図-3	
設計者 協和建築設計事務所	地設番号	補遺 完成 図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 蛭崎 為一			A-51



- 凡例
- 仮設道板 (鋼製1.5m x 3m x 22mm)
  - ガードフェンス H=1,800  
外装工事終了頃に範囲を建築工事エリア内に移動する  
交通整理員
  - キャストゲートW=6.0m
  - 手摺先行枠組本足場 (W=900:巾木有)  
外装改修用ネット養生シート張り
  - 山留め: 親杭横矢板工法 自立 (低振動工法)  
H=300 x 300 x 10 x 15 @1,500 L8m 60本  
頭つなぎ共



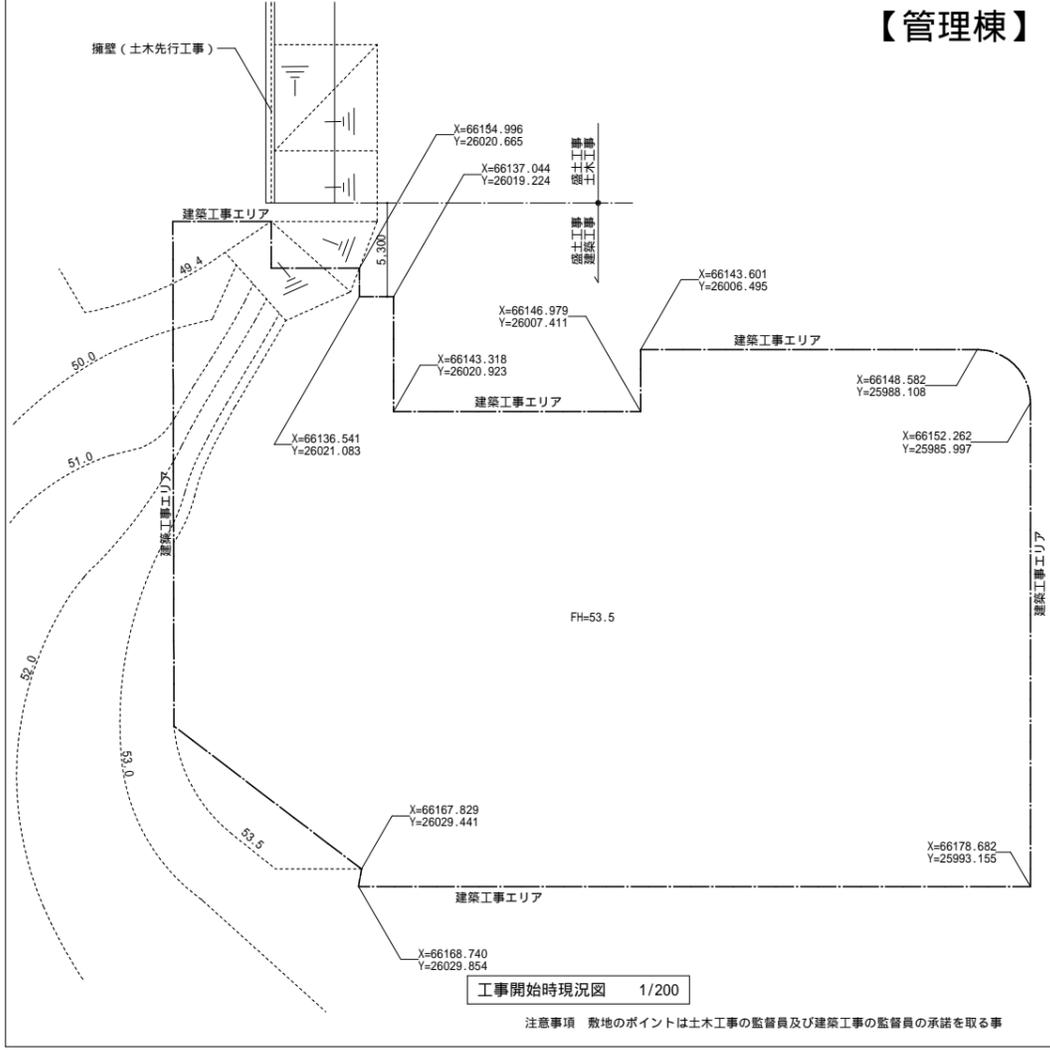
仮設計画図 1/200

ラフタークレーンに旋回制限をかける。又は接触防止装置を付けるなど関連工事(別途工事)と協議を行い、安全に十分配慮して仮設計画をたてること。

仮設鉄板敷・仮囲い・仮設事務所の設置および他墓園内残土仮置き場の設定については土木工事(別途工事)および納骨堂新築工事(別途工事)の監督員および施工者と協議を行い、設置位置・期間等を調整のこと。

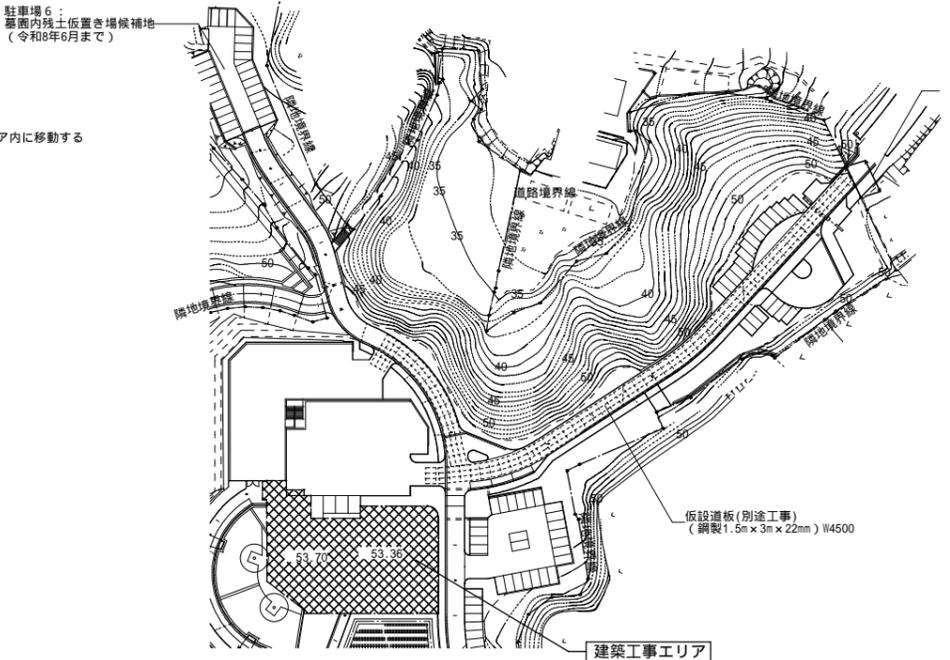
山留時に打設した鋼材は極力抜くものとし、引き抜き困難箇所は上部-1.0m程度を切断し埋戻しを行う、残置したものは図面等に記載し保管すること。但し、屋外排水経路等に影響する部分については、衛生設備業者等と協議し、撤去範囲を決定のこと。

【管理棟】



工事開始時現況図 1/200

注意事項 敷地のポイントは土木工事の監督員及び建築工事の監督員の承諾を取る



仮設計画図(広域) 1/1,000

横浜市建築局				工事名 (仮称) 共同墓園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/200	図面名称	【管理棟】工事開始時現況図 仮設計画図(参考図)	施設番号	
設計	協和建築設計事務所	審査		図面枚数		図面番号	
1級建築士登録 第282011号 兒嶋 為一		完成		図面枚数		図面番号	A-53



# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (1)

## 1. 一般事項

- 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- 記号
  - d...異形棒鋼の呼びに用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径
  - o...間隔 r...半径 Q...中心線 l...部材の内法距離 h...部材の内法高さ
  - ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S...HOOP...補強帯筋 φ...直径又は丸鋼

## 2. 鉄筋加工、かぶり ※JASS5(2003)による。

### (1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ筋、壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込む形およびL形変形キャップタイにのみ用いる。
図				
鉄筋の寸法	4d以上	6d以上(※4d以上)	8d以上(※4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上				

### (2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の種類	鉄筋の種類	鉄筋の折曲げの内法寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スパイラル筋	SR235、SR295 SD295A、SD295B SD345	16φ以下 D16 19φ以上 D19
	筋記以外の鉄	SD295A、SD295B SD345 SD390	D16以下 D19-D25 D29-D41

### (3) 鉄筋の定着及び重ね手長さ

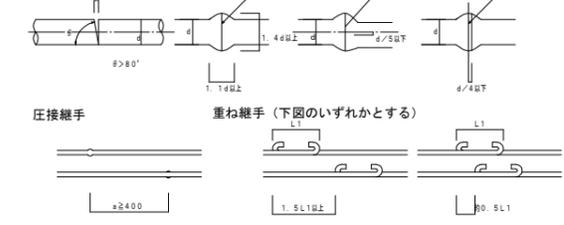
鉄筋の種類	普通、経量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm <sup>2</sup> )	定着の長さ			特別の定着及び重ね手の長さ(L1)
		一般(L2)	下ばり(L3)		
SR235	21、24	35dフック付き	25dフック付き	スラブ	35dフック付き
				小梁	45dフック付き
SD295A SD295B	24~36	30dまたは20dフック付き	40dまたは25dフック付き	スラブ	35dまたは25dフック付き
				小梁	40dまたは30dフック付き
SD345	19d以下	40dまたは30dフック付き	20φまたは15φフック付き	スラブ	45dまたは35dフック付き
				小梁	35dまたは25dフック付き
SD390	30~36	25dまたは35dフック付き	40dまたは30dフック付き	スラブ	30dまたは40dフック付き
				小梁	45dまたは35dフック付き

(注) 許容応力度計算、許容応力度等計算、(ルート1)、その他構造計算を要さない小規模建築物の場合は、梁主筋の柱への定着長40dとする

## 継手

- 末端のフックは、定着および重ね手の長さに含まない
- 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
- 直径の異なる鉄筋の重ね手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
- D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね手としてはならない
- 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

## ガス圧接形状



## (4) かぶり厚さ (単位: mm)

部位	設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)	
埋設スラブ	層内	30	20
	層外	40	30
埋設梁	層内	40	30
	層外	50	40
柱・はり・スラブ・耐力壁	層内	50	40
	層外	70	60

- 耐久性及び有効応力上げのある場合、工事管理者の承認を受けて30mmとすることができる。
- 耐久性及び有効応力上げのある場合、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
- コンクリートの品質及び施工方法に応じ、工事管理者の承認を受けて40mmとすることができる。
- 経量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
- 内は仕上げがある場合。
- 土に接する部分のかぶりは増加する厚さを打ち増しとする。

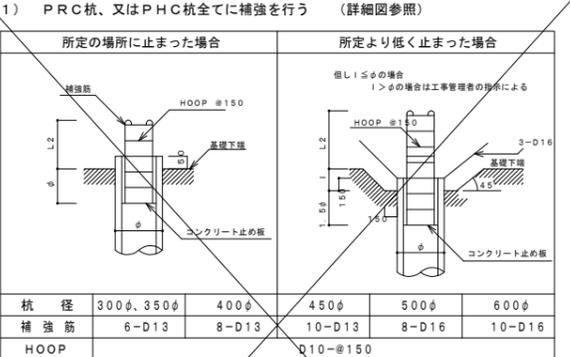
## (5) 鉄筋のあき



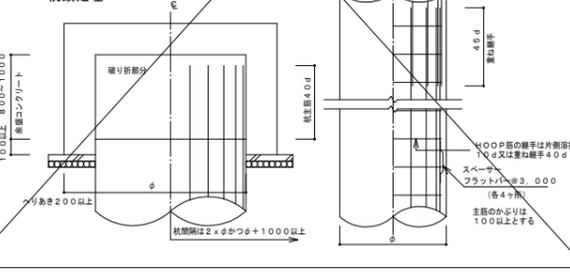
## (6) 鉄筋のフック

- 丸鋼
- あばら筋、帯筋
- 煙突の鉄筋
- 柱、梁(基礎梁を除く)の出す部分の鉄筋(右図参照)
- 単純梁の下端筋
- その他、本配筋標準に記載する箇所

## 3. 杭 (地震力等の水平力を考慮する必要がある場合は、別途検討すること。)



## (2) 現場打ちコンクリート杭 杭頭処理

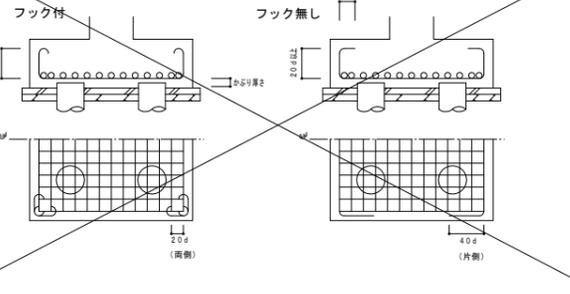


## 4. 基礎

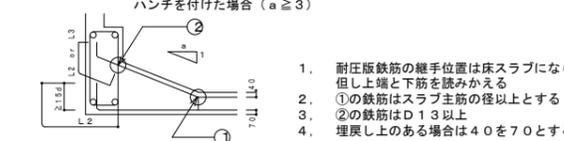
### (1) 直接基礎



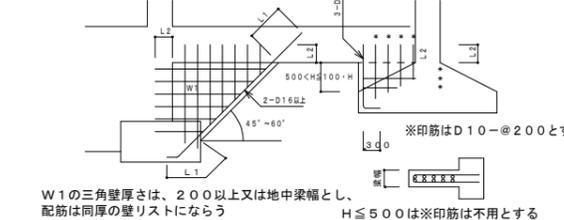
### (2) 杭基礎



## (3) べた基礎

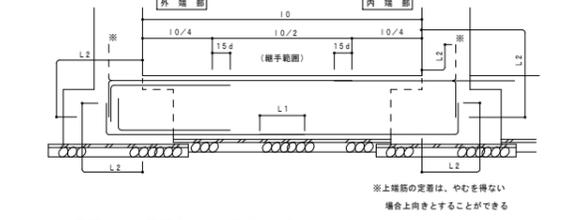


## (4) 基礎接合部の補強

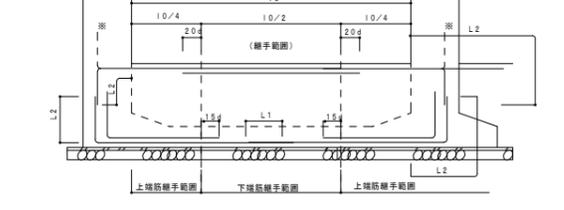


## 5. 地中梁

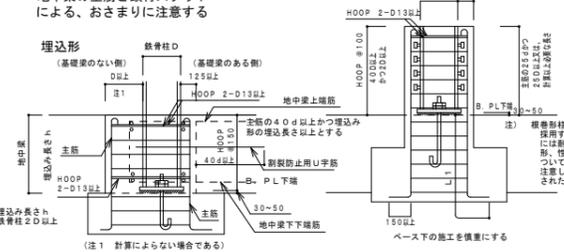
### (1) 独立基礎、杭基礎の場合(定着、継手)



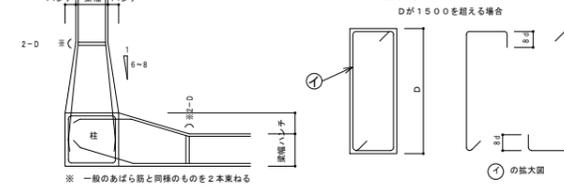
### (2) 布基礎、べた基礎の場合(定着、継手)



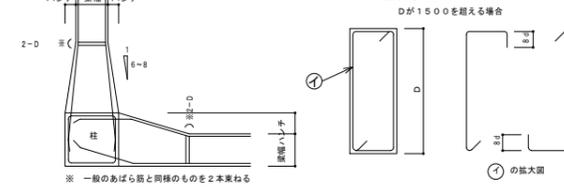
### (3) 小規模鉄骨構造の柱脚固定の配筋



### (4) 水平ハンチの場合のあばら筋加工要領

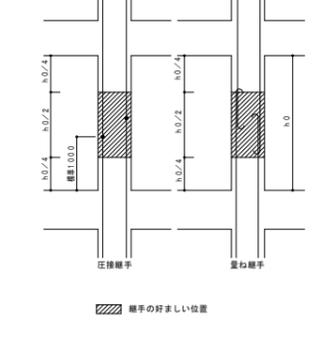


### (5) せいの高い梁のあばら筋加工要領

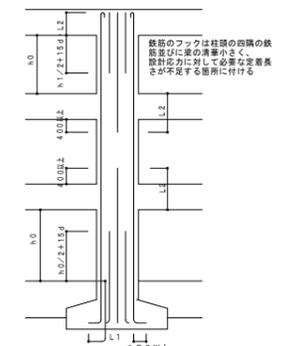


## 6. 柱

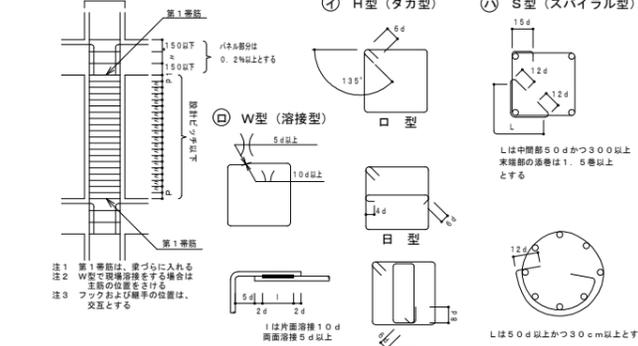
### (1) 柱主筋の継手



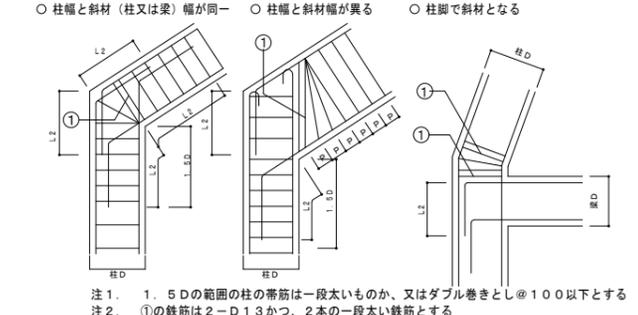
### (2) 柱主筋の定着



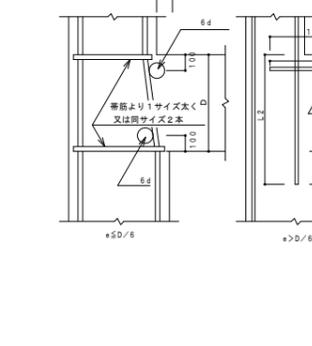
### (3) 帯筋



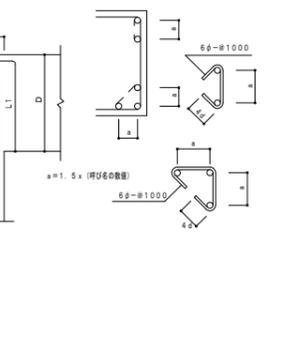
### (4) 斜め柱・斜め梁



### (5) 絞り



### (6) 二段筋の保持

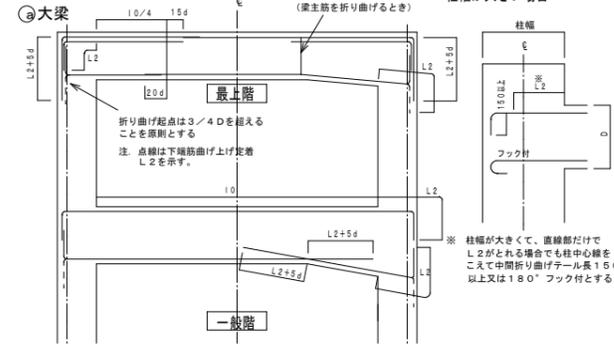


# 鉄筋コンクリート構造配筋標準図 (2)

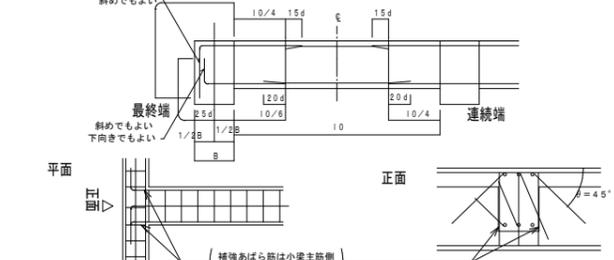
L=鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)の2-(3)による。

## 7. 大梁、小梁、片持梁

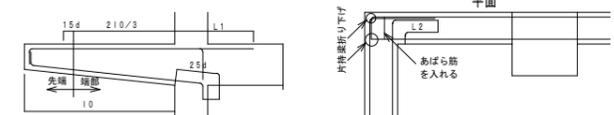
### (1) 定着



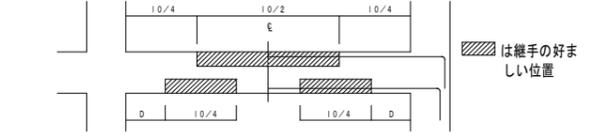
### ④ 小梁の定着



### ⑤ 片持梁の定着



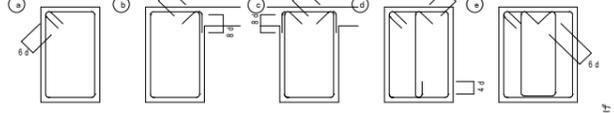
### (2) 大梁主筋の継手



### (3) あばら筋、腹筋、幅止めの配置



### (4) あばら筋の型 (注、床板がない場合は135°以上のフックとする)

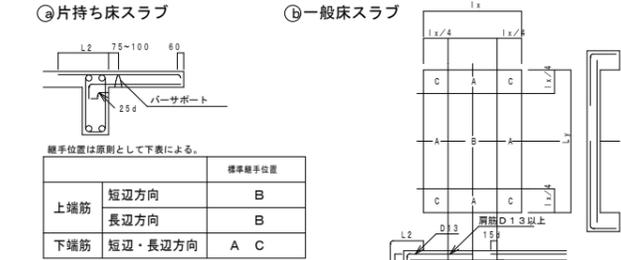


### (5) 幅止め筋の本数、加工

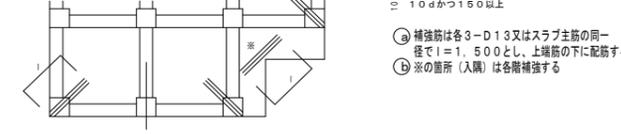
幅止め筋	D < 600 不要
腹筋	600 ≤ D < 900 2-D10 (9φ) 1段
	900 ≤ D < 1200 4-D10 (9φ) 2段
	1200 ≤ D D10 (9φ) #300以内
幅止め筋	D10 (9φ) @1000以内で割り付ける

## 8. 床板

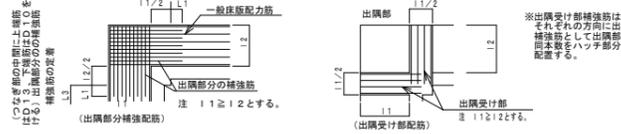
### (1) 定着および継手



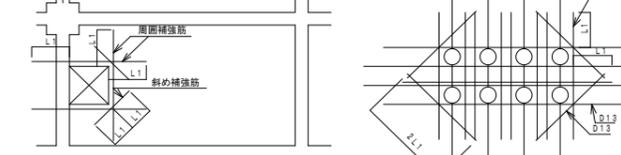
### (2) 屋根スラブの補強



### (3) 片持ちスラブ出隅部補強



### (4) 床板開口部の補強 (開口の径500程度の場合)



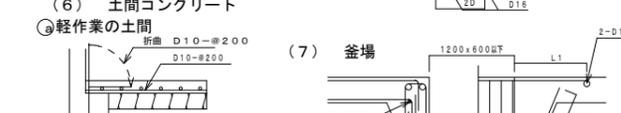
### (5) 床板段差



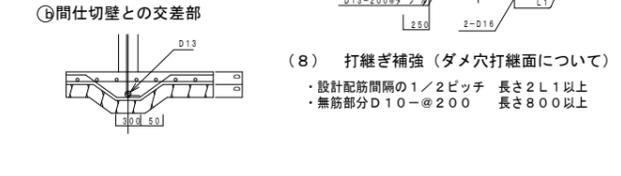
### (6) 土間コンクリート



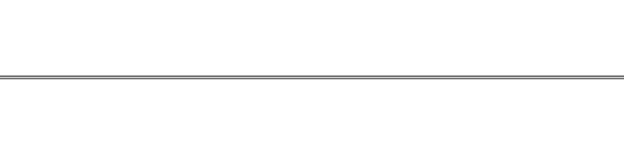
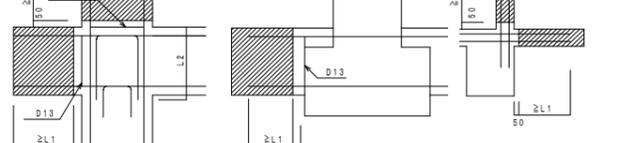
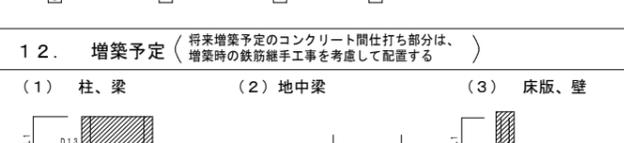
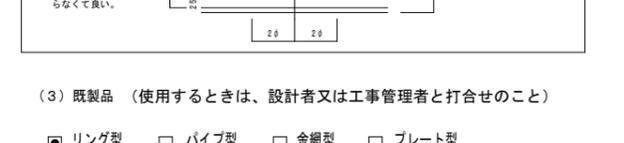
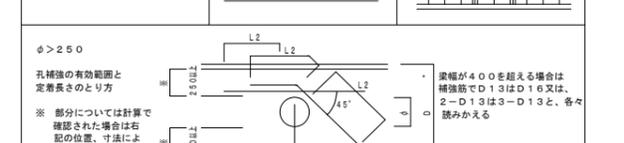
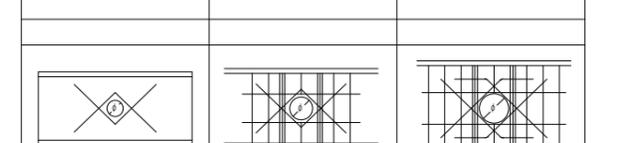
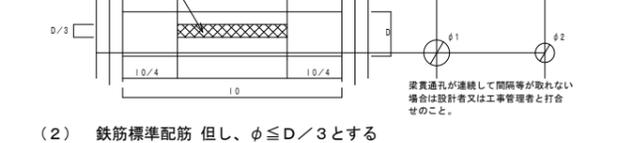
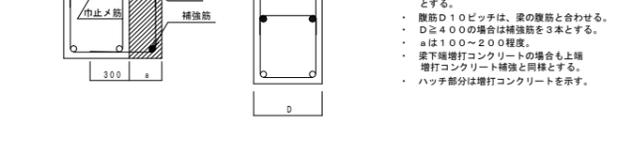
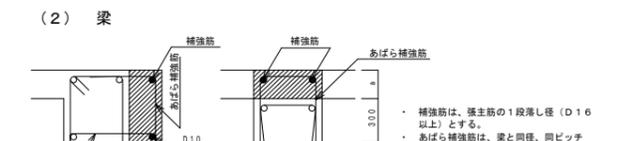
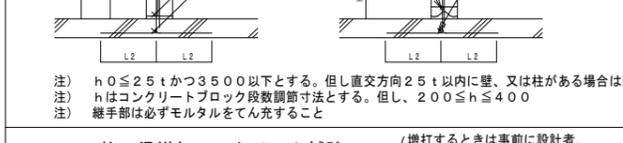
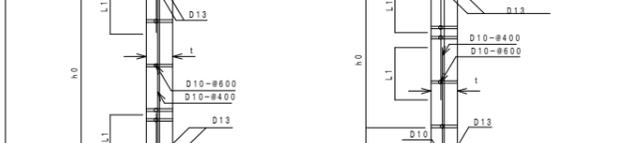
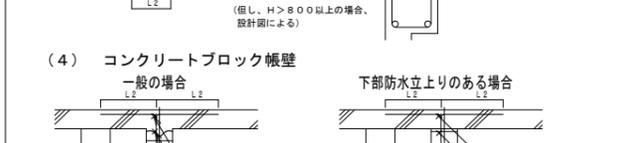
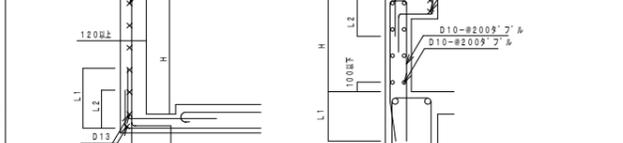
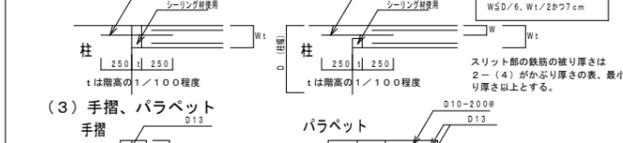
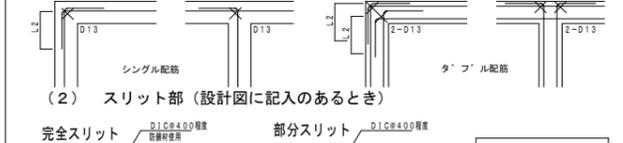
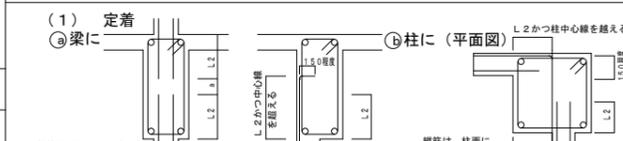
### (7) 釜場



### (8) 間仕切壁との交差部



## 9. 壁



横浜市建築局		工事名称	(仮称)舞岡公園管理棟その他新築工事 (建築工事)
年月日	R7.03	縮尺	-
図面名称	【管理棟】RC構造配筋標準図(2)	図面枚数	
設計者	協和建築設計事務所	図面種類	
1級建築士登録 第282011号 登録 為一		図面番号	S-13



### 1. 工法概要

#### 1.1 構成部材

- ① アンカーボルト
- ② 注入座金
- ③ Mナット
- ④ Dナット
- ⑤ Dナット(S)
- ⑥ ベースパックグラウト(グラウト材)
- ⑦ 定着座金
- ⑧ テンプレート
- ⑨ フレームポスト
- ⑩ フレームベース
- ⑪ ステコンアンカー(コンクリートアンカー)
- ⑫ ベースプレート

(注)上記①～⑫の構成部材はベースパック構成部品として供給される。  
(注)上記⑧～⑫は現場状況により仕様異なる場合がある。  
(注)アンカーボルト12本の場合はつなぎプレートが取り付く。

#### 1.2 柱脚の定着方法概要

グラウト材  
注入座金  
注入栓(様本等)

### 2. 柱

F値(N/mm <sup>2</sup> )	鋼種	採用
235	BCP235	
	STKR400	
295	BCR295	
	JBCR295	
	TSC295	

採用	ベースパック 記号	柱		材質	形状	ベースプレート					アンカーボルト		標準 アンカーボルト タイプ	コンクリート柱型				フレームベース		フレームポスト間		最低 h寸法	J寸法		
		外径 (mm)	板厚 (mm)			a	t	l1	l2	l3	d	本数		呼び	基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	寸法 D(mm)	配筋	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	寸法 W(mm)	寸法 x(mm)	標準フレーム			特C	標準フレーム
○	35-16R	□-350×350	t≤16	SN490B	(ハ)	630	45	65	85	330	φ70	8-D38	390	C	800	840	12-D25	D13@100	21以上	380	590	250	450	750	180
	35-19R	□-350×350	t≤19	BT-HT440B-SP	(ハ)	630	44	65	85	330	φ70	8-D38	390	C	800	840	12-D25	D13@100	21以上	380	590	250	450	750	180
	35-22R	□-350×350	t≤22	BT-HT440B-SP	(ハ)	630	44	65	85	330	φ75	8-D41	390	C	800	830	16-D22	D13@100	21以上	380	590	250	450	800	190
	35-25R	□-350×350	t≤25	BT-HT440B-SP	(ニ)	650	48	75	85	165	φ70	12-D38	390	C	850	-	16-D25	D13@100	21以上	380	-	250	-	800	180
	40-16R	□-400×400	t≤16	BT-HT440B-SP	(ハ)	700	44	65	85	400	φ75	8-D41	390	C	870	910	12-D25	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	190
	40-19R	□-400×400	t≤19	BT-HT440B-SP	(ハ)	700	48	65	85	400	φ75	8-D41	390	C	870	900	16-D22	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	190
	40-22R	□-400×400	t≤22	BT-HT440B-SP	(ニ)	700	48	65	85	200	φ70	12-D38	390	C	900	910	16-D25	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	180
	40-25R	□-400×400	t≤25	BT-HT440B-SP	(ニ)	710	48	70	85	200	φ75	12-D41	390	C	900	910	16-D25	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	190
	45-19R	□-450×450	t≤19	BT-HT440B-SP	(ニ)	750	48	65	85	225	φ70	12-D38	390	C	950	960	16-D25	D13@100	21以上	500	710	370	570	800	180
	45-22R	□-450×450	t≤22	BT-HT440B-SP	(ニ)	750	52	65	85	225	φ75	12-D41	390	C	1000	1000	20-D25	D13@100	21以上	500	710	370	570	800	190
	45-25R	□-450×450	t≤25	BT-HT440B-SP	(ニ)	750	52	65	85	225	φ75	12-D41H	490	C	1000	1000	24-D25	D13@100	24以上	500	710	370	570	850	200
	45-28R	□-450×450	t≤28	BT-HT440B-SP	(ニ)	770	60	75	110	200	φ75	12-D51	390	C	1000	-	24-D25	D13@100	24以上	460	-	330	-	950	230
	50-19R	□-500×500	t≤19	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	52	65	85	260	φ75	12-D41	390	C	1000	1030	20-D25	D13@100	21以上	570	780	440	640	800	190
	50-22R	□-500×500	t≤22	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	65	85	260	φ75	12-D41H	490	C	1050	1050	24-D25	D16@100	21以上	570	780	440	640	850	200
	50-25R	□-500×500	t≤25	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	75	110	225	φ75	12-D51	390	C	1050	1050	24-D25	D16@100	24以上	510	750	380	610	950	230
	50-28R	□-500×500	t≤28	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	75	110	225	φ75	12-D51H	490	C	1140	-	32-D25	D16@100	24以上	510	-	380	-	1050	235
	55-19R	□-550×550	t≤19	BT-HT440B-SP	(ニ)	840	52	65	85	270	φ75	12-D41H	490	C	1100	1100	24-D25	D16@100	24以上	590	800	460	660	850	200
	55-22R	□-550×550	t≤22	BT-HT440B-SP	(ニ)	900	60	65	85	300	φ75	12-D41H	490	C	1100	1120	24-D25	D16@100	24以上	650	860	520	720	850	200
	55-25R	□-550×550	t≤25	BT-HT440B-SP	(ニ)	900	60	75	110	265	φ75	12-D51	390	C	1100	1100	32-D25	D16@100	24以上	590	830	460	690	950	230
	55-28R	□-550×550	t≤28	BT-HT440B-SP	(ニ)	900	65	75	110	265	φ75	12-D51H	490	C	1150	-	36-D25	D16@100	24以上	590	-	460	-	1050	235

### 3. 構成部材・寸法

#### 3.1 ベースプレート

●材質  
SN490B【JIS G 3136】  
BT-HT440B-SP【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】  
(建築構造用高強度高性能590N/mm<sup>2</sup>鋼材)

#### 3.2 アンカーボルト (Dアンカーボルト)

【建築基準法第37条第二号に基づく国土交通大臣認定材料】

呼び	L	b	端部φ	基準強度(N/mm <sup>2</sup> )
D38	850	46	M33	390
D41	900	49	M36	390
D41H	995	49	M36	490
D51	1110	57	M45	390
D51H	1215	57	M45	490

#### 3.7 アンカーフレーム形状および据付け時諸寸法

●ベースパックの据付け高さ(h寸法)はフレームベース下端からコンクリート柱型上端までを示す。据付けに最低限必要な高さ(最低h寸法)は下表に記載の値とする。

< Cタイプ >      < 特Cタイプ >

※杭頭納まり及び配筋状況に合わせて特Cタイプを選択できる。

採用	ベースパック 記号	柱		材質	形状	ベースプレート					アンカーボルト		コンクリート柱型				フレームベース		フレームポスト間		最低 h寸法	J寸法			
		外径 (mm)	板厚 (mm)			a	t	l1	l2	l3	d	本数	呼び	基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	寸法 D(mm)	配筋	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	寸法 W(mm)	寸法 x(mm)	標準フレーム			特C	標準フレーム	特C
○	35-16R	□-350×350	t≤16	SN490B	(ハ)	630	45	65	85	330	φ70	8-D38	390	C	800	840	12-D25	D13@100	21以上	380	590	250	450	750	180
	35-19R	□-350×350	t≤19	BT-HT440B-SP	(ハ)	630	44	65	85	330	φ70	8-D38	390	C	800	840	12-D25	D13@100	21以上	380	590	250	450	750	180
	35-22R	□-350×350	t≤22	BT-HT440B-SP	(ハ)	630	44	65	85	330	φ75	8-D41	390	C	800	830	16-D22	D13@100	21以上	380	590	250	450	800	190
	35-25R	□-350×350	t≤25	BT-HT440B-SP	(ニ)	650	48	75	85	165	φ70	12-D38	390	C	850	-	16-D25	D13@100	21以上	380	-	250	-	800	180
	40-16R	□-400×400	t≤16	BT-HT440B-SP	(ハ)	700	44	65	85	400	φ75	8-D41	390	C	870	910	12-D25	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	190
	40-19R	□-400×400	t≤19	BT-HT440B-SP	(ハ)	700	48	65	85	400	φ75	8-D41	390	C	870	900	16-D22	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	190
	40-22R	□-400×400	t≤22	BT-HT440B-SP	(ニ)	700	48	65	85	200	φ70	12-D38	390	C	900	910	16-D25	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	180
	40-25R	□-400×400	t≤25	BT-HT440B-SP	(ニ)	710	48	70	85	200	φ75	12-D41	390	C	900	910	16-D25	D13@100	21以上	450	660	320	520	800	190
	45-19R	□-450×450	t≤19	BT-HT440B-SP	(ニ)	750	48	65	85	225	φ70	12-D38	390	C	950	960	16-D25	D13@100	21以上	500	710	370	570	800	180
	45-22R	□-450×450	t≤22	BT-HT440B-SP	(ニ)	750	52	65	85	225	φ75	12-D41	390	C	1000	1000	20-D25	D13@100	21以上	500	710	370	570	800	190
	45-25R	□-450×450	t≤25	BT-HT440B-SP	(ニ)	750	52	65	85	225	φ75	12-D41H	490	C	1000	1000	24-D25	D13@100	24以上	500	710	370	570	850	200
	45-28R	□-450×450	t≤28	BT-HT440B-SP	(ニ)	770	60	75	110	200	φ75	12-D51	390	C	1000	-	24-D25	D13@100	24以上	460	-	330	-	950	230
	50-19R	□-500×500	t≤19	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	52	65	85	260	φ75	12-D41	390	C	1000	1030	20-D25	D13@100	21以上	570	780	440	640	800	190
	50-22R	□-500×500	t≤22	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	65	85	260	φ75	12-D41H	490	C	1050	1050	24-D25	D16@100	21以上	570	780	440	640	850	200
	50-25R	□-500×500	t≤25	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	75	110	225	φ75	12-D51	390	C	1050	1050	24-D25	D16@100	24以上	510	750	380	610	950	230
	50-28R	□-500×500	t≤28	BT-HT440B-SP	(ニ)	820	60	75	110	225	φ75	12-D51H	490	C	1140	-	32-D25	D16@100	24以上	510	-	380	-	1050	235
	55-19R	□-550×550	t≤19	BT-HT440B-SP	(ニ)	840	52	65	85	270	φ75	12-D41H	490	C	1100	1100	24-D25	D16@100	24以上	590	800	460	660	850	200
	55-22R	□-550×550	t≤22	BT-HT440B-SP	(ニ)	900	60	65	85	300	φ75	12-D41H	490	C	1100	1120	24-D25	D16@100	24以上	650	860	520	720	850	200
	55-25R	□-550×550	t≤25	BT-HT440B-SP	(ニ)	900	60	75	110	265	φ75	12-D51	390	C	1100	1100	32-D25	D16@100	24以上	590	830	460	690	950	230
	55-28R	□-550×550	t≤28	BT-HT440B-SP	(ニ)	900	65	75	110	265	φ75	12-D51H	490	C	1150	-	36-D25	D16@100	24以上	590					

・本仕様書は別紙「NDコア設計・施工標準仕様書【柱・はり組合せ編】」と合わせて使用する。  
 ・本仕様書に記載の無い事項は、「NDコアカタログ」の他、日本建築学会「建築工事標準書・同解説 JASS6鉄骨工事」(一財)日本建築センター「2018年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」および関連規準に従うこと。

### 1. NDコア仕様

部材記号	長さ(mm)	設計記号 <sup>※1</sup>	数量(個)	斜め切断(勾配)
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 ■ND350 □ND400	510	ND350-510	15	■斜め切断 (15/100)度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ( )度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ( )度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ( )度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ( )度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ( )度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ( )度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ( )度、寸
□ND150 □ND175 □ND200 □ND250 □ND300 □ND350 □ND400				□斜め切断 ( )度、寸

※1 設計記号は、部材記号-長さ(mm)で記入する。(例)ND300-600、ND200-550

#### (1) NDコアの形状寸法および重量

部材記号	外径B <sup>※2</sup>		公差	板厚t	単位質量	長さ範囲 <sup>※3</sup>		材質	断面形状 <sup>※4※5</sup>
	(mm)	(mm)				(mm)	(mm)		
ND150	152	16.5	±0.0	16.5	69.8	150~	+3.0	SN490B-ND <sup>※6</sup>	ND150~ND200
ND175	177	17.0	-2.0	17.0	85.1		-0		
ND200	202	22.0		22.0	124				
ND250	252	24.0		24.0	184				
ND300	302	29.0		29.0	265				
ND350	352	33.8		33.8	360				
ND400	402	38.6		38.6	470				

※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。

※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。

※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするかもしくははりウェブを切り欠くなど適切に処置すること

※5 NDコアの角部に突起が生じてはり干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。

※6 SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には 適合していないが、当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質 10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。

※7 NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりと溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

#### (2) 適用する柱およびはり材

a) 適用する柱材の材質および規格

- ・建築構造用冷間成形角形鋼管 BCR295
- ・一般構造用角形鋼管(JIS G 3466) SKR400

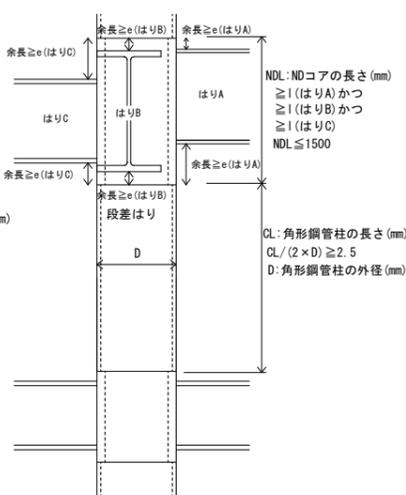
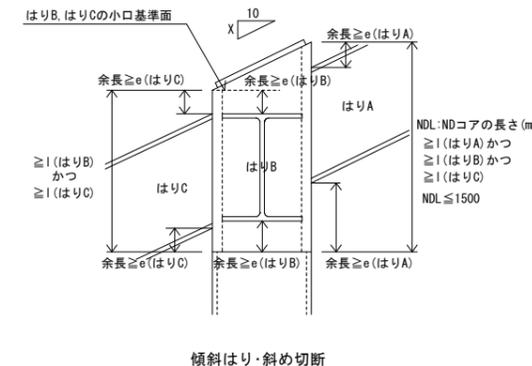
b) 適用するはり材の材質および規格: 下記規格のH形鋼

- ・建築構造用圧延鋼材(JIS G 3136) SN400B, C
- ・一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101) SS400
- ・溶接構造用圧延鋼材(JIS G 3106) SM400A, B

### 2. NDコア仕様の決め方

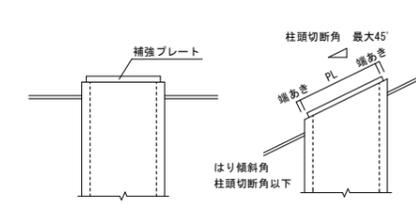
#### (1) NDコア長さLの設定方法と注意点

- NDコアの長さLは、取付く各はり(最大で4方向)全てに対して、最小余長eを確保し、かつ最小長さl以上となるようにする。  
 最小余長e、最小長さlは柱はりの組合せで決まっている寸法であり「設計・施工標準仕様書【柱はり組合せ編】」を参照する。
- はりに傾斜がある場合には、はり取り付け部の長さの増加を加えてNDコア長さを設定すること。
- 柱頭部上部を斜め切断仕様とする場合は、それぞれの接合面に対応する小口において、最小余長e、最小長さlを確保する。  
 小口が傾斜している面では、低い位置を基準として最小余長e、最小長さlを確保する。
- 柱頭部の斜め切断の勾配は45°(10寸勾配)以下とする。(斜め切断は一方のみとし、部分切断は不可)
- NDコアは厚肉鋼管のため角形鋼管柱より剛性が大きい特徴があります。層に占めるNDコア全長の割合が大きい場合、曲げとせん断力の比率に応じ、柱の変形性能が変わります。そのため評定CBLSS08-19の適用範囲において柱せん断スパン比は2.5以上、NDコアの長さは1500mm以下となっております。



#### (2) 柱頭部仕様

- 柱頭部では、NDコア小口面に下表に示す補強プレートを取り付けること。
- 柱頭部を斜め切断する場合は、片流れの切断とし、切断角度は45°以下とする。  
(斜め切断は一方のみとし、部分切断は不可)
- どぶ付けめっきのため補強プレートに開口を設ける場合は、断面欠損を考慮し、板厚を割増すことが望ましい。

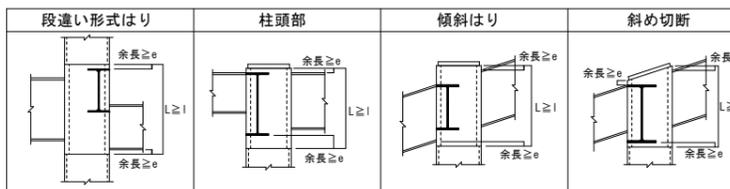


#### 補強プレート仕様

NDコア部材記号	斜め切断無し		斜め切断有り	
	寸法(mm)	板厚(mm)	寸法(mm)	板厚(mm)
ND150	130×130	≥6	130×PL	≥6
ND175	155×155	≥6	155×PL	≥6
ND200	170×170	≥9	170×PL	≥9
ND250	220×220	≥9	220×PL	≥9
ND300	270×270	≥12	270×PL	≥12
ND350	310×310	≥12	310×PL	≥12
ND400	360×360	≥16	360×PL	≥16

材質: SN400A, B, C, SS400, SM400A, B, C

#### 【NDコア長さLの採り方例】



### 3. 鉄骨躯体の設計方法

- NDコアは柱・はり組合せ表の範囲において柱、はりに対して、許容応力度設計、保有耐力接合条件を満足しており、あらかじめ接合部の検討は不要である(【柱はり組合せ編】参照)。
- NDコアを用いた柱はり接合部では、通しダイヤフラム形式の架構と同様に節点を剛とし、柱およびはりを線材置換して、鉄骨フレームの設計を行うことができる。
- NDコアを用いた柱およびはり等の鉄骨フレームの設計については、下記の規準等によるものとし、通常の設計フローに従って、部材の設計、架構解析、耐力の確認等を行う。ただし、ルート3を用いて設計をする場合、NDコアは適用範囲においてパネル崩壊とならないため、柱はり耐力比から崩壊形を判定して保有耐力の検討を行う。  
 ・平成20年5月23日施行改正建築基準法  
 ・平成19年国土交通省告示第593号、第594号、第595号、第596号  
 ・(一財)日本建築センター「2020年版建築物の構造関係技術基準解説書」  
 ・同「2018年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」

ルート1-1	通しダイヤフラム形式のBCR295と同様にフレーム設計が可能。
ルート1-2	
ルート2	
ルート3	通しダイヤフラム形式のBCR295と同様にフレーム設計が可能。ただし、NDコア使用部においてパネル崩壊が生じないため、柱・はり耐力から崩壊形を判定して、フレーム設計を行う。崩壊形の判定に影響しない、柱頭部については、特別な検討は不要である。

### 4. NDコア鉄骨製作要領

#### (1) 鉄骨製作方法

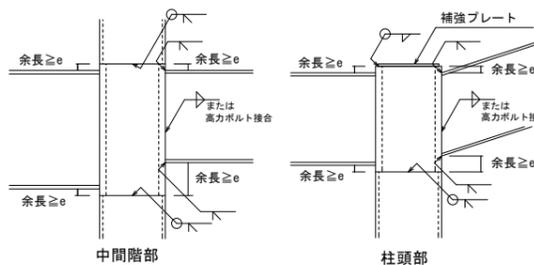
- NDコアと柱およびはりとの接合は鉄骨製作者が行い、施工管理は鉄骨製作者に属する鉄骨製作管理技術者が行う。鉄骨製作に関し特に確認すべき事項については「NDコア鉄骨加工要領書」に示す。
- 記載なき事項については、(一社)日本建築学会「建築工事標準仕様書・同解説 JASS6鉄骨工事」、同「鉄骨工事技術指針」、および(一財)日本建築センター「2018年版冷間成形角形鋼管設計・施工マニュアル」による。

#### (2) 接合方法

- NDコアと柱およびはりフランジとの接合は完全溶け込み溶接とし、NDコアとはりウェブとの接合は隅肉溶接または高力ボルト接合とする。
- NDコアとはりの接合はNDコア小口面から余長e以上を確保して接合する。余長eは別紙「柱はり対応表」にて特記の無い限りは25mmとする。
- NDコアは、NDコア小口面から余長eを除いた全ての部分ではりの取り付けが可能だが、はり外面合せの場合、NDコアの角部分と裏当て金に隙間が生じたときは、隙間を溶接で埋めて本溶接を行う等適切に処置する。
- NDコアとはりとの接合の際、NDコア製作時の溶接余盛とはりが接触する場合は、グラインダで平滑に仕上げる等適切に処置する。

#### (3) 柱頭部補強プレート取り付け方法

- 柱頭部は、NDコア小口面に右表に示す仕様の補強プレートを全周隅肉溶接により取り付ける。
- 全周隅肉溶接は右表に示す溶接サイズで、490N級の溶接ワイヤを用いて行う。
- 柱頭部を斜め切断すると、NDコア小口面の長さが増加するため、右図を参考に、実状に合わせて補強プレートを準備する。



#### 補強プレート取り付け仕様

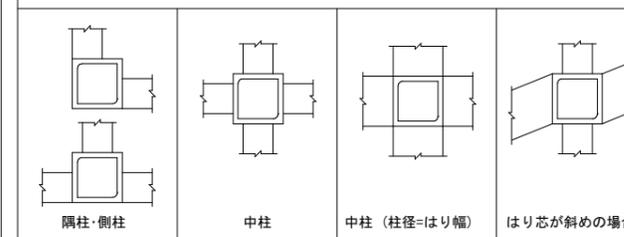
NDコア部材記号	斜め切断無し		斜め切断有り		隅肉溶接仕様
	寸法(mm)	板厚 <sup>※</sup> (mm)	寸法(mm)	板厚 <sup>※</sup> (mm)	
ND150	130×130	≥6	130×PL	≥6	≥6
ND175	155×155	≥6	155×PL	≥6	≥6
ND200	170×170	≥9	170×PL	≥9	≥9
ND250	220×220	≥9	220×PL	≥9	≥9
ND300	270×270	≥12	270×PL	≥12	≥12
ND350	310×310	≥12	310×PL	≥12	≥12
ND400	360×360	≥16	360×PL	≥16	≥16

材質: SN400A, B, C, SS400, SM400A, B, C

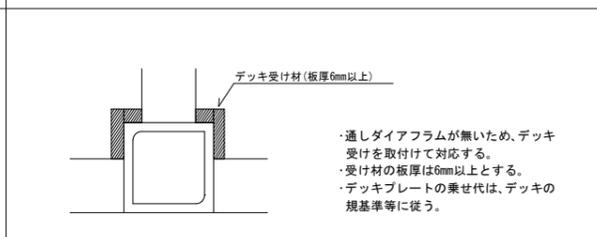
※ 角落ち防止のため、板厚は1サイズアップを推奨する。

### 5. NDコア納まり例

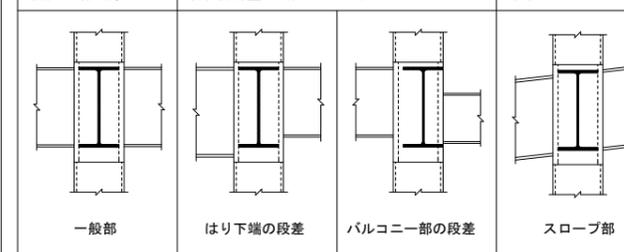
#### (1) はり取り付け位置



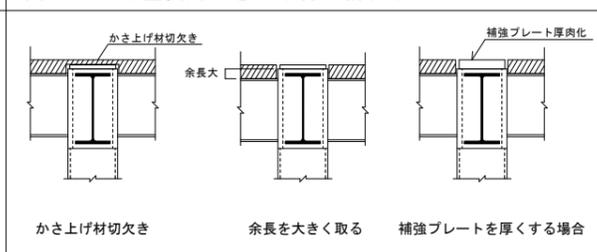
#### (6) デッキプレート納まり



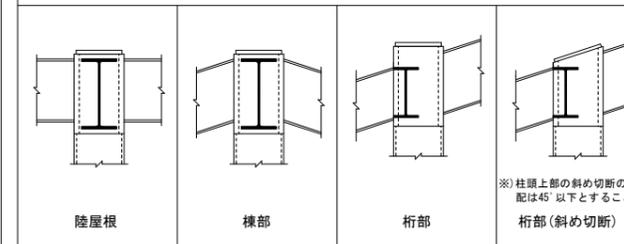
#### (2) 一般部



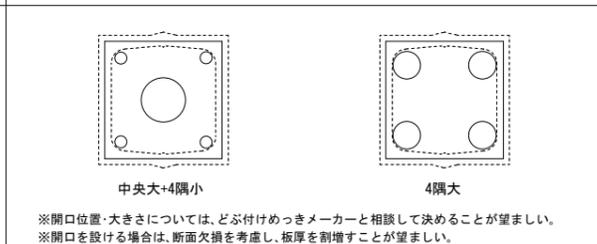
#### (7) NDコアと屋根用かさ上げ材の納まり



#### (5) 柱頭部



#### (8) 補強プレートどぶ付けめっき用開口



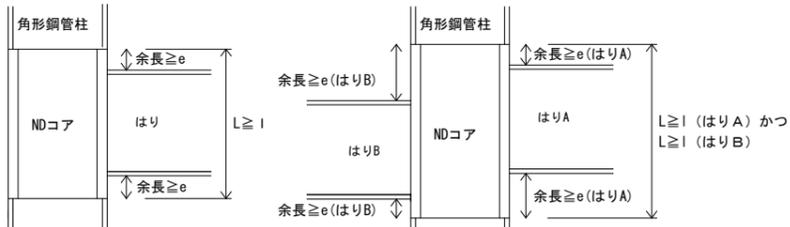
※ 柱頭部の斜め切断の勾配は45°以下とすること

※ 開口位置・大きさについては、どぶ付けめっきメーカーと相談して決めることが望ましい。  
 ※ 開口を設ける場合は、断面欠損を考慮し、板厚を割増すことが望ましい。

(Ver. 5.2 2024.08)

1. 表の見方

- 使用する柱(横軸)、はり(縦軸)を選択し、NDコアの必要最小長さlと余長の必要最小寸法eを確認する
※1 記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合、数値以上の余長を確保する。
・柱材:BCR295およびSTKR400の冷間ロール成形角形鋼管
・はり材:400N級(SS400,SM400,SN400B・C等)のJIS G 3192記載のH形鋼
・NDコア長さ:NDコアの長さ
・最小長さl:柱はり組合せで決まるNDコアの最小長さ
・余長:e:NDコア小口面から はりフランジ端面までの距離
・最小余長e:確保する余長の最小値



2. NDコアの形状および寸法

Table with columns for part number, outer diameter, plate thickness, unit weight, length range, material, and cross-section. It lists specifications for ND150, ND175, ND200, ND250, ND300, ND350, and ND400.

- ※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。
※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。
※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするか、もしくははりウェブを切り欠くなど適切に処置すること。
※5 NDコアの角部に突起が生じてはりと干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。
※6 SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には適合していないが当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質 10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。

3. 注意点

- 組合せ表の最小長さl、最小余長eは、はりの短期降伏耐力をはり全断面を有効として設定している。
・NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。
・NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりとの溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

4. NDコア最小長さlと余長e

※最小余長eに記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合は、数値以上の余長を確保する。

4-1. ND150~ND200 ※表中のNG範囲は適用不可。

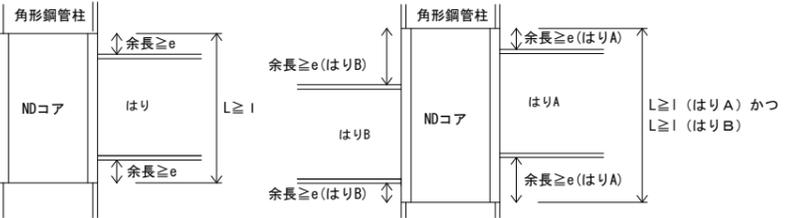
Main table for ND150~ND200 showing minimum length l and minimum remaining length e for various beam sizes (H-100 to H-606) across different core types (ND150, ND175, ND200).

4-2. ND250~ND350

Main table for ND250~ND350 showing minimum length l and minimum remaining length e for various beam sizes (H-100 to H-606) across different core types (ND250, ND300, ND350).

1. 表の見方

- 使用する柱(縦軸)、はり(横軸)を選択し、NDコアの必要最小長さlと余長の必要最小寸法e※1を確認する
※1 記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合、数値以上の余長を確保する。
・柱材:BCR295およびSTKR400の冷間ロール成形角形鋼管
・はり材:400N級(SS400,SM400,SN400B-C等)のJIS G 3192記載のH形鋼
・NDコア長さL:NDコアの長さ
・最小長さl:柱はり組合せで決まるNDコアの最小長さ
・余長:NDコア小口面から はりフランジ端面までの距離
・最小余長e:確保する余長の最小値



2. NDコアの形状および寸法

Table with columns: 外径B, 板厚t, 単位質量, 長さ範囲, 材質, 断面形状. It lists specifications for ND150, ND175, ND200, ND250, ND300, ND350, and ND400.

- ※2 コラムとの食い違い防止のため、NDコアの外径Bを基準寸法としている。
※3 NDコアの長さは1.0mmピッチで対応。
※4 NDコア側面には溶接ビードの盛り上がりがあるため、はり取付時はグラインダで仕上げをするか、もしくははりウェブを切り欠くなど適切に処置すること。
※5 NDコアの角部に突起が生じてはりと干渉する場合、はり取付時にグラインダで仕上げをするなど適切に処置すること。
※6 SN490B-ND 日本産業規格JIS G 3136(建築構造用圧延鋼材)2012の9形状、寸法、質量およびその許容差には適合していないが当該JISに示されるSN490Bの4化学成分、6炭素当量及び溶接割れ感受性組成、7機械的性質10外観、11試験、12検査、13再検査の各規定に適合している。

- 3. 注意点
・組合せ表の最小長さl、最小余長eは、はりの短期降伏耐力を是全断面を有効として設定している。
・NDコアの標準的な納まり等は、「NDコア設計・施工標準仕様書【基本仕様編】」に記載している。
・NDコアの表面に錆が発生していることがあります。はりと溶接時に支障となる錆は除去して下さい。

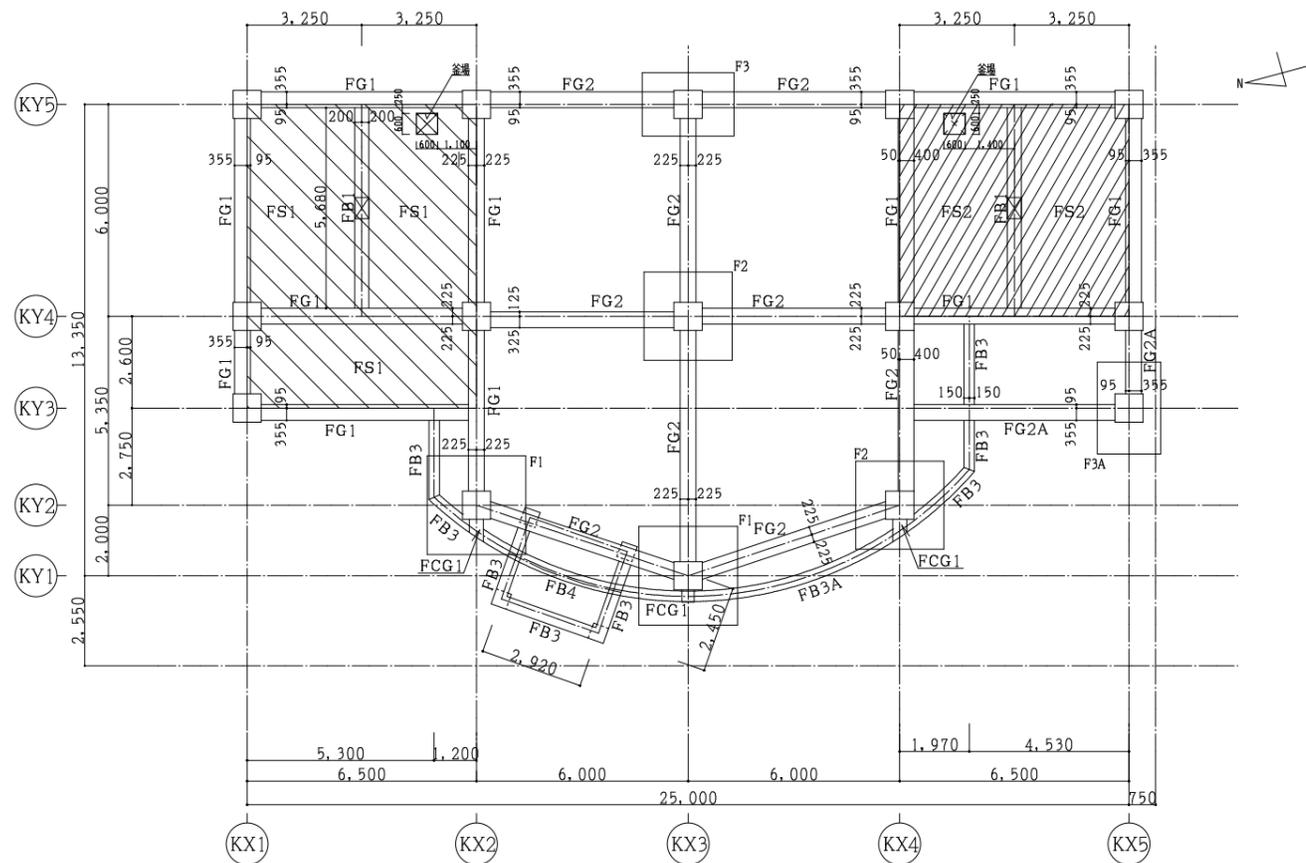
4. NDコア最小長さlと余長e ※最小余長eに記載の無い場合は25mmとする。記載がある場合は、数値以上の余長を確保する。

4-1. ND150~ND200 ※表中のNG範囲は適用不可。斜線部分は個別に検討が必要なので問い合わせ下さい。

Main table for ND150~ND200 showing minimum length l and overlap e for various column and beam combinations. Columns include NDコア, ND150, ND175, and ND200. Rows list different H-beam sizes like H-148x100x6x9, H-194x150x6x9, etc.

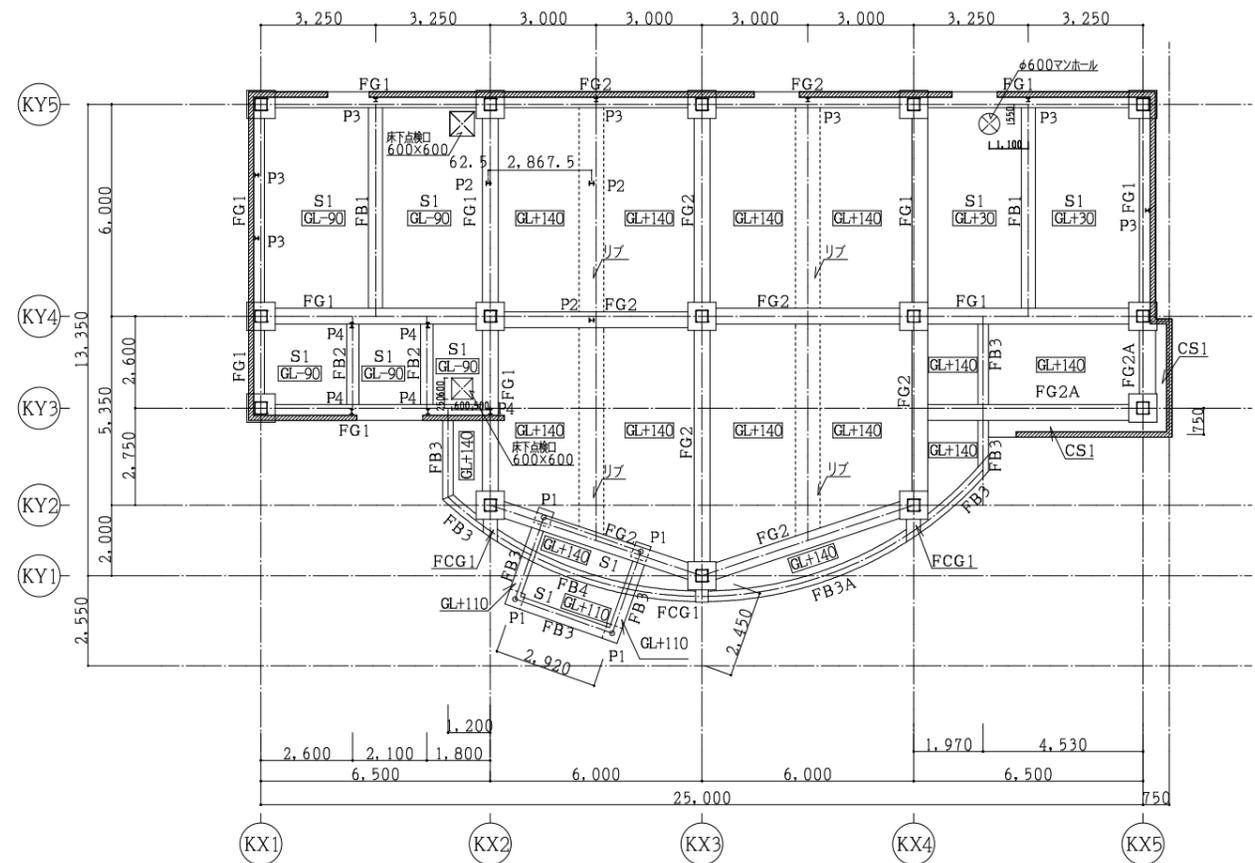
4-2. ND250~ND350

Main table for ND250~ND350 showing minimum length l and overlap e for various column and beam combinations. Columns include NDコア, ND250, ND300, and ND350. Rows list different H-beam sizes like H-148x100x6x9, H-194x150x6x9, etc.



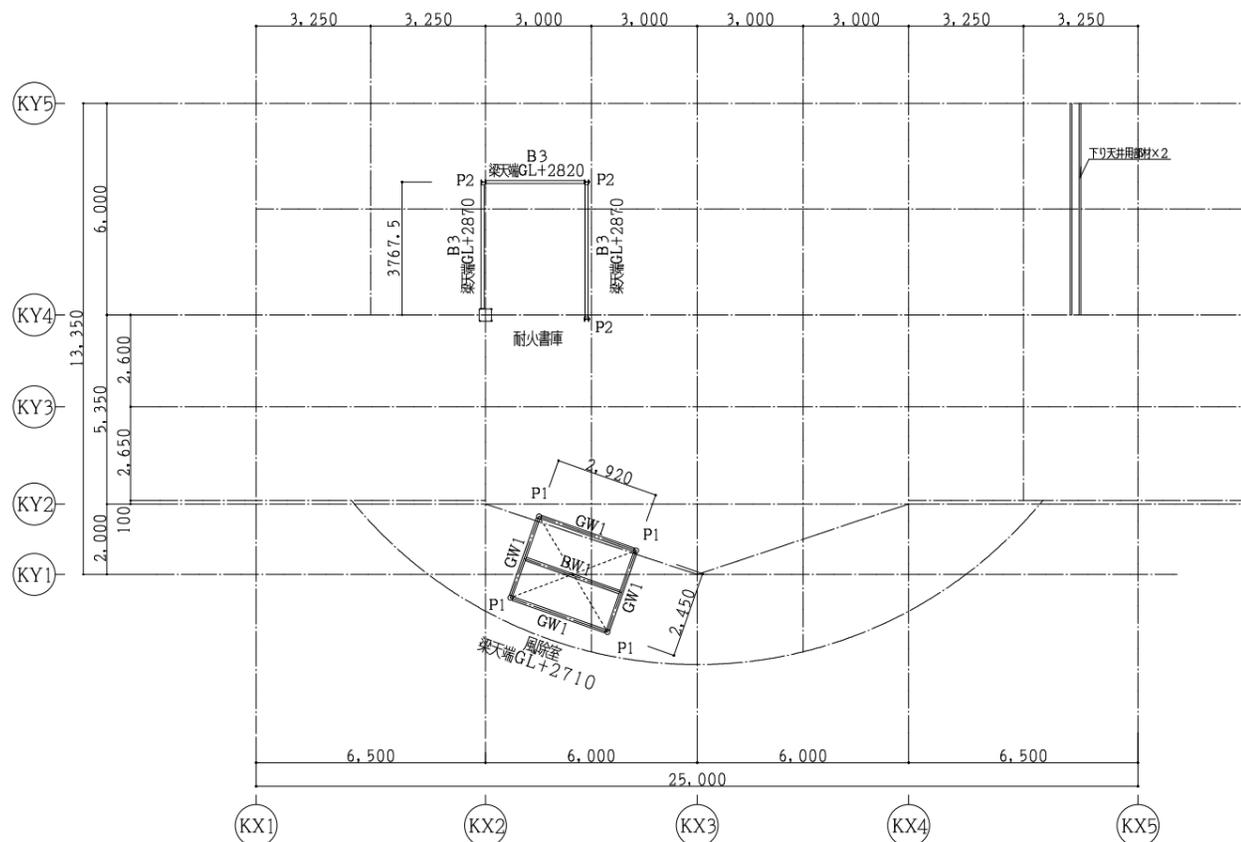
基礎伏図 1/100

註 特記を除き下記に依る  
 はヒット  
 は貯水槽



1F伏図 1/100

註 特記を除き下記に依る  
 はRC壁 W15  
 はスラブ・土間天端を示す  
 床は土間コンクリートとする

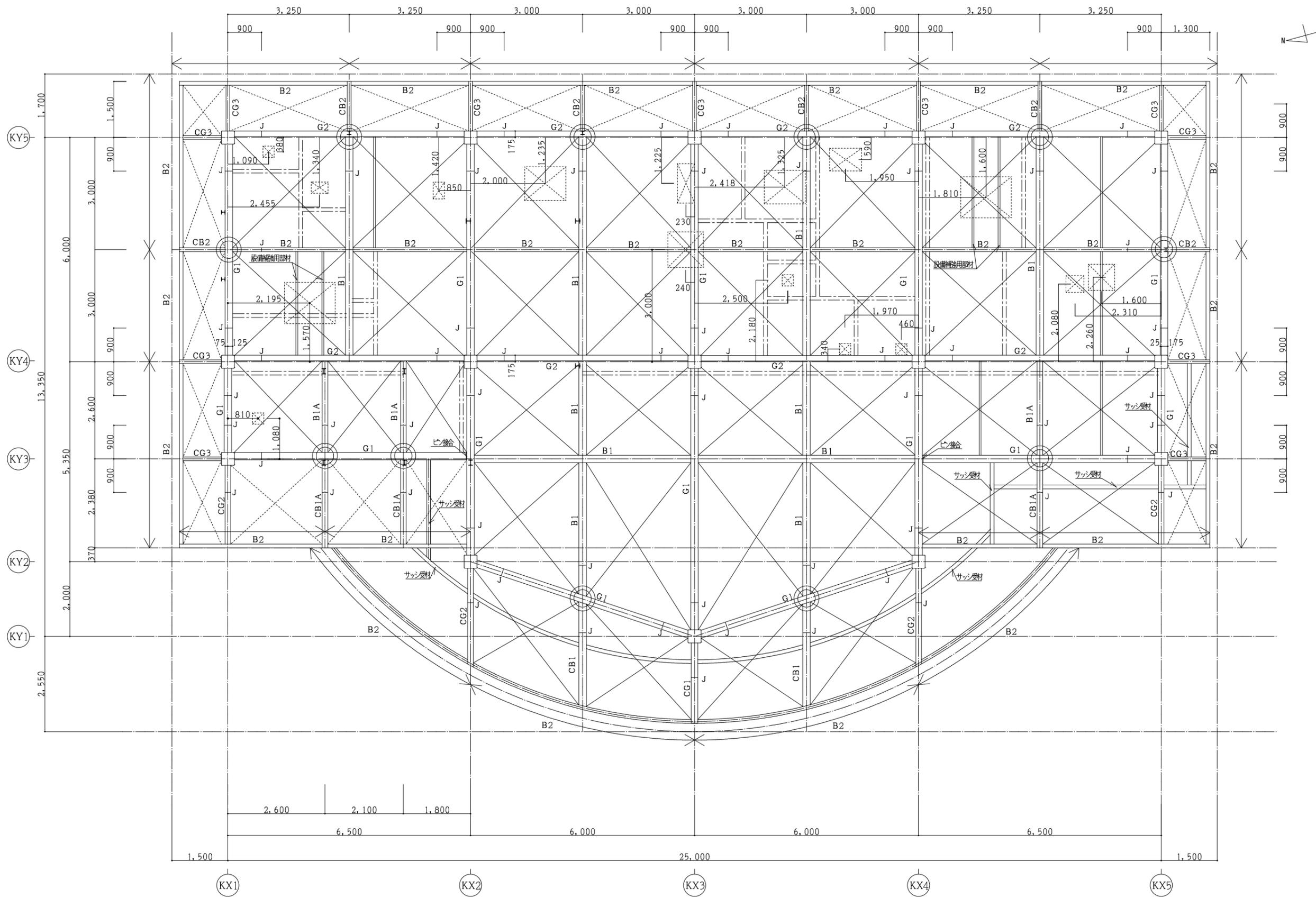


中間階伏図 1/100

註 特記を除き下記に依る  
 は水平V2ブレースを示す

構造仕様		
コンクリート	基礎～1F床:FC24N	
鉄筋	SD295A D10～D16 SD345 D19～D25	
鉄筋継手	D16以下 重ね継手 D19以上 ガス圧接	
鉄骨施工者	MoRRグレード	
外壁	鋼板 胴縁	
間仕切り壁 (耐火書庫)	ALC版 A100	
鉄骨	柱 C1柱頭 接合部	C1 : BCR295 P1 : STK400 P2・P3 : SS400 NDコア
	大梁・小梁	SS400
	プレート	SS400
	ダイヤフラム	C1以外:SN400C
	溶接	柱・大梁のフランジは突合せ溶接 ウェブは溶接溶接 一般C1は全周溶接
	仕口ボルト	高力ボルト F10T(S10T) μ=0.45
	設備用補強材 壁受け用部材	SS400N級
註	設備用補強材・壁受け用部材の位置は監督員と協議の上、決定する。 令129条の2の4(建築設備の構造強度)に適合させる。 壁受け補強材・サッシ受け材の詳細は施工図作成の上、決定する。 ジョイント位置は施工図作成の上、決定する。	

横浜市建築局				工務名 (仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/100	図面名称	【管理棟】伏図 (1)		
設計者	協和建築設計事務所			施設番号	備考	図面枚数	図面番号
1級建築士登録 第282011号 兒嶋 為一							S-19

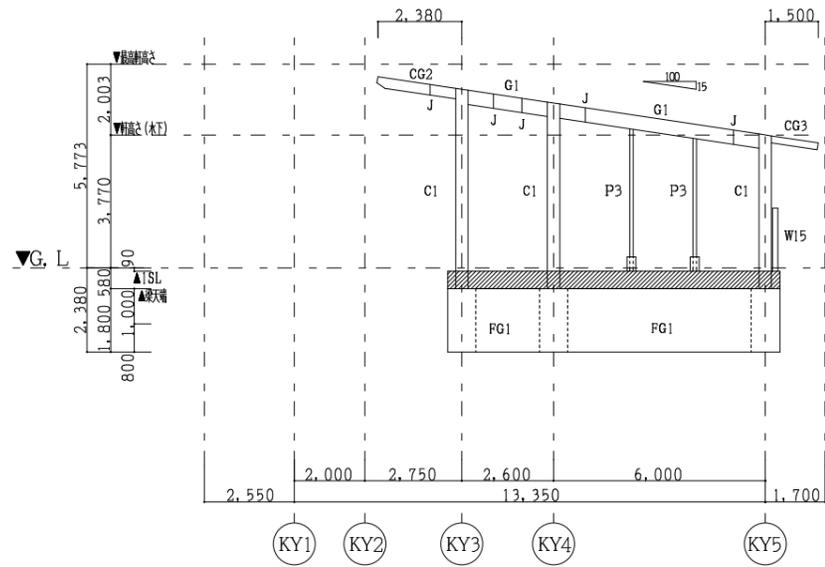


R.F伏図 1/50

- 註 特記を除き下記に依る
- ◎ は剛接合を示す
  - は壁受け補強を示す
  - 柱頭接合部は全てNDコアとする
  - ⊗ は水平V1ブレースを示す
  - ⊘ は水平V2ブレースを示す
  - ⇔ は1本物を示す

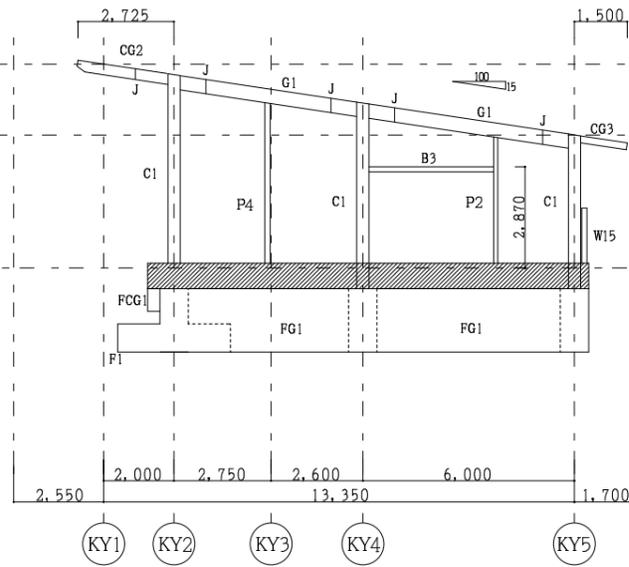
株式会社 エスシー・テック  
 一般建築士事務所登録 神奈川県庁登録 第 7880 号  
 株式会社 (一般建築士大任登録 第 371728 号)

<b>横浜市建築局</b>			工事名	(仮称)舞岡風園管理棟その他新築工事 (建築工事)	
年月日	R7.03	縮尺	1/50	図面名称	【管理棟】伏図(2)
設計者	協和建築設計事務所	図面種類	図面枚数	図面番号	S-20
1級建築士登録 第282011号 見崎 為一					



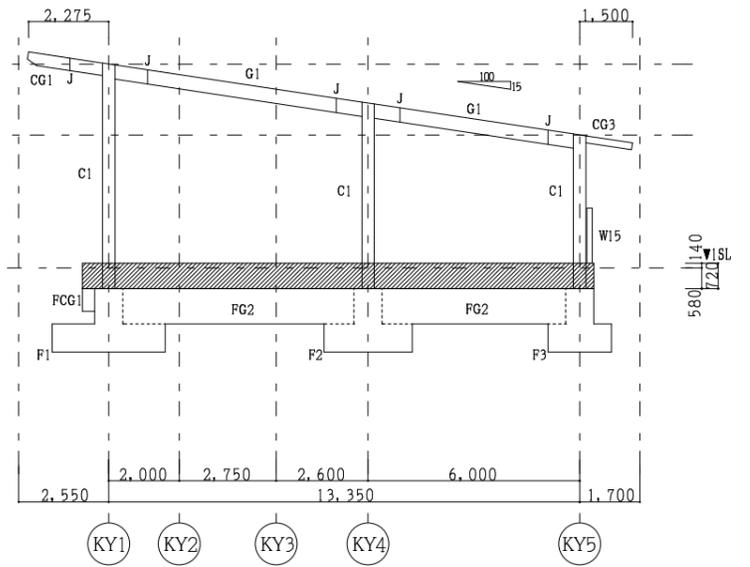
KX1通り軸組図 1/100

註 特記を除き下記に依る  
 〰〰は梁の増し打ちを示す  
 Jは継手部を示す



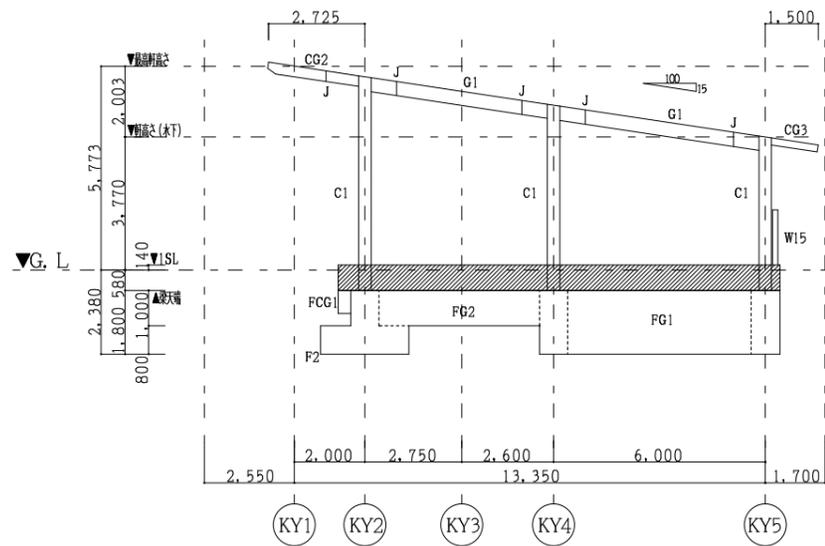
KX2通り軸組図 1/100

註 特記を除き下記に依る  
 〰〰は梁の増し打ちを示す  
 Jは継手部を示す



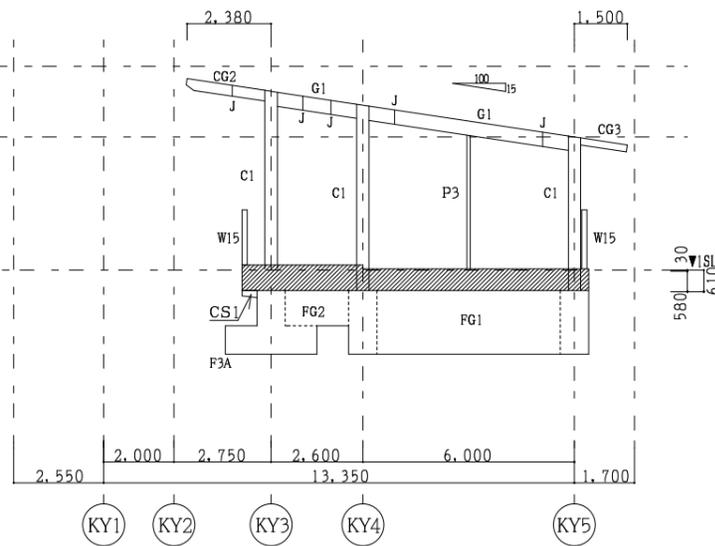
KX3通り軸組図 1/100

註 特記を除き下記に依る  
 〰〰は梁の増し打ちを示す  
 Jは継手部を示す



KX4通り軸組図 1/100

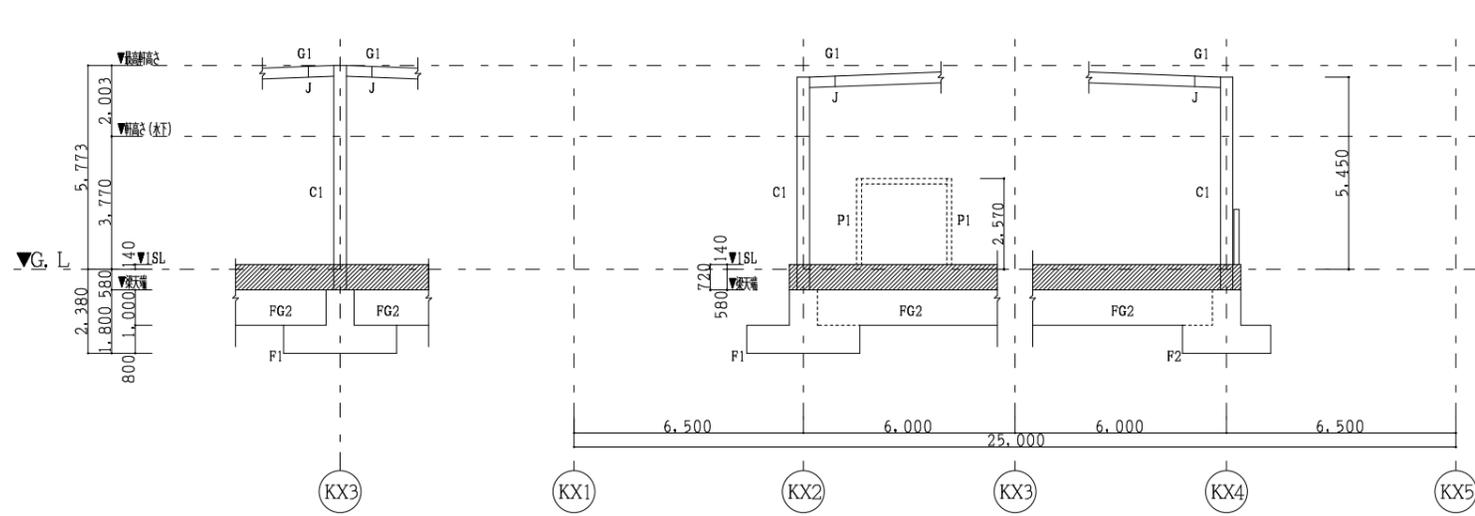
註 特記を除き下記に依る  
 〰〰は梁の増し打ちを示す  
 Jは継手部を示す



KX5通り軸組図 1/100

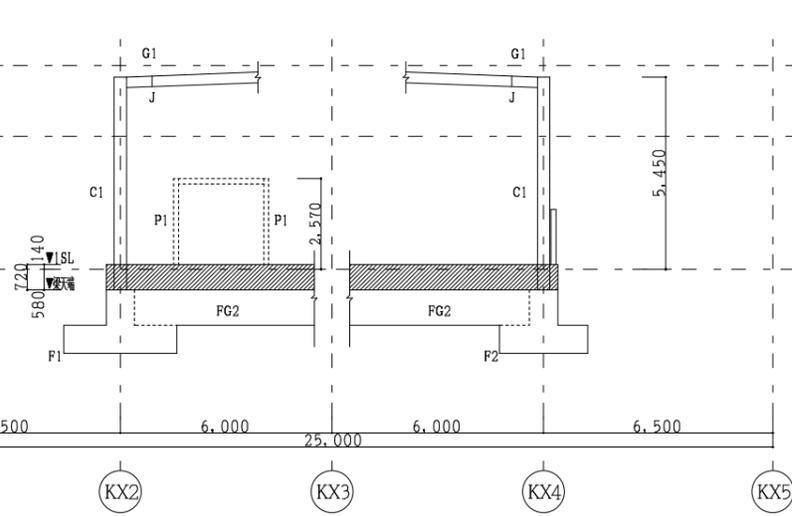
註 特記を除き下記に依る  
 〰〰は梁の増し打ちを示す  
 Jは継手部を示す

横浜市建築局			工事名	(仮称)舞岡基盤管理棟その他新築工事 (建築工事)
年月日	R7.03	縮尺	1/100	図面名称
【管理棟】軸組図 (1)			図面番号	S-21
設計者	協和建築設計事務所		図面枚数	1
1級建築士登録 第282011号 見崎 為一	図面種類	軸組図	図面枚数	1



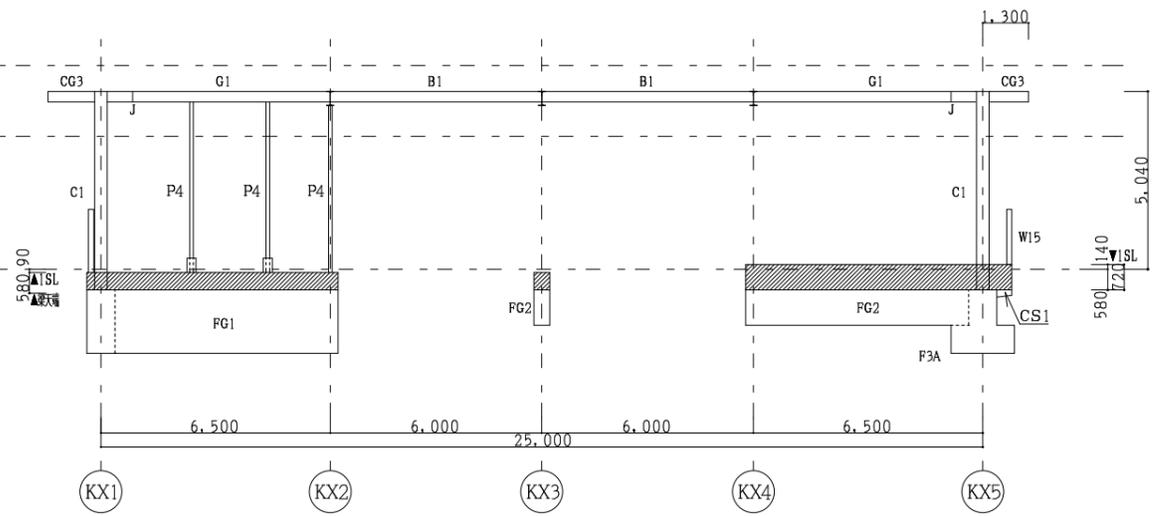
KY1通り軸組図 1/100

註 特記を除き下記に依る  
 斜線は梁の増し打ちを示す



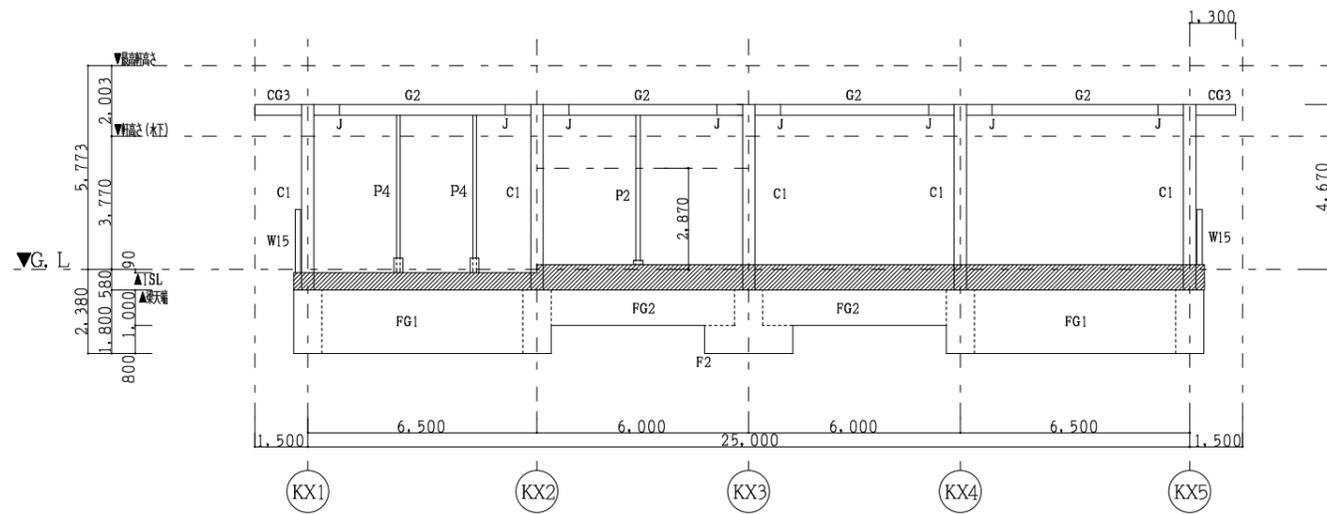
KY2通り軸組図 1/100

註 特記を除き下記に依る  
 斜線は梁の増し打ちを示す  
 Jは継手部を示す



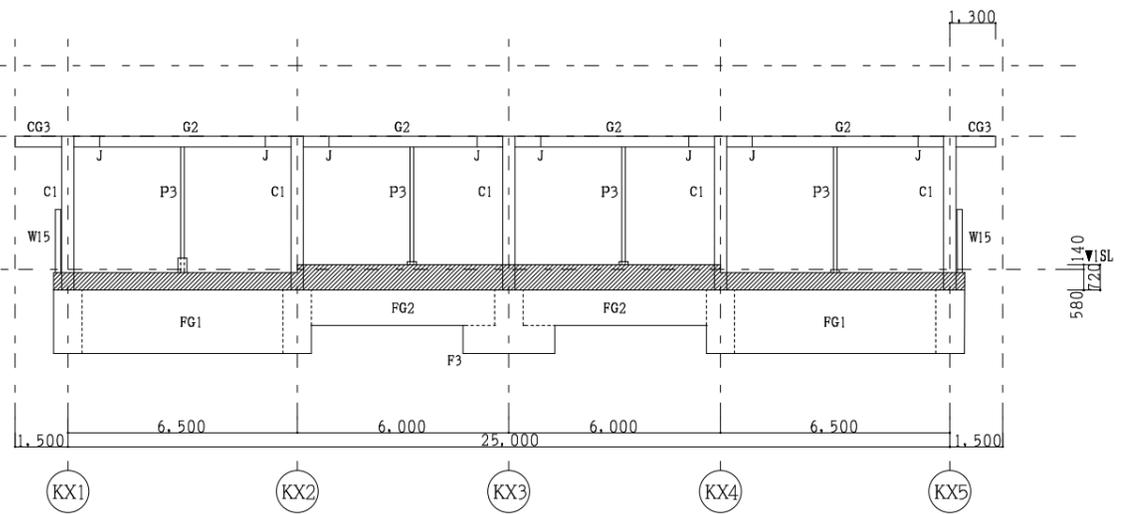
KY3通り軸組図 1/100

註 特記を除き下記に依る  
 斜線は梁の増し打ちを示す  
 Jは継手部を示す



KY4通り軸組図 1/100

註 特記を除き下記に依る  
 斜線は梁の増し打ちを示す  
 Jは継手部を示す



KY5通り軸組図 1/100

註 特記を除き下記に依る  
 斜線は梁の増し打ちを示す  
 Jは継手部を示す

横浜市建築局			工事名	(仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)		
年月日	R7.03	縮尺	1/100	図面名称	【管理棟】軸組図 (2)	
設計者	協和建築設計事務所		図面種類	図面枚数	図面番号	
1級建築士登録 第282011号 兒嶋 為一	棟番号	年度	種類	図面枚数	図面番号	
					S-22	

柱脚・RC柱断面リスト 1/20					
符号	C1 □-350×350×12	P1 ○-139.8×6	P2 H-125×125×6.5×9	P3 H-100×100×6×8	P4a・P4b H-148×100×6×9
ベースバック	35-16R				
柱脚 平面					
部材	ベースプレート 630×630×45 (SN490B) アンカーボルト 8-D38 (SD390)	ベースプレート 340×340×25 アンカーボルト 4-M20 (Wナット) L≥700	ベースプレート 175×175×22 アンカーボルト 2-M20 (Wナット) L≥700	ベースプレート 150×150×9 アンカーボルト 2-M16 (Wナット) L≥560	ベースプレート 150×200×16 アンカーボルト 2-M16 (Wナット) L≥560
柱脚 断面					
RC柱 平面					
主筋	12-D25 (SD345)	8-D19 (SD345)		4-D16 (SD295A)	4-D16 (SD295A)
H00P	D13@100 (SD295A)	D13@100 (SD295A)		D13@100 (SD295A)	D13@100 (SD295A)
註	柱主材 BCR295使用 Aタイプ使用 細長比: 72.5 (最大)	RC柱成は梁成と合わせる。 細長比: 86.5	リブ幅み込みのアンカーは曲げて定着させる。 細長比: 148.6 (最大)	RC柱成は梁成と合わせる。ベースプレート高さは別途記載。 P4aについてはRC腰壁と (別途断面参照)。 細長比: 167.1 (最大)	RC柱成は梁成と合わせる。ベースプレート高さは別途記載。 P4aについてはRC腰壁と (別途断面参照)。 細長比: 197.1 (最大)
▨ は増し打ち (増し打ち高さは意匠図による。)					

- ⊗ D25
- ⊘ D22
- D19
- D16
- × D13
- D10

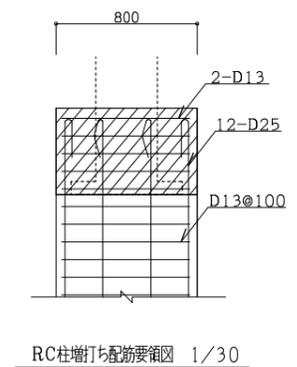
柱断面リスト		
符号	部材	仕口
C1	□-350×350×12	柱頭 突合わせ溶接 柱脚 リスト詳細参照
P1	○-139.8×6	柱頭 突合わせ溶接 柱脚 リスト詳細参照
P2	H-125×125×6.5×9	柱頭 突合わせ溶接 柱脚 リスト詳細参照
P3	H-100×100×6×8	柱頭 突合わせ溶接 柱脚 リスト詳細参照
P4	H-148×100×6×9	柱頭 突合わせ溶接 柱脚 リスト詳細参照
註	鋼材 C1:BCR295 C2~C3:STK400 P1:STK400 P2:STKR400 P3~P4:SS400	

大梁断面リスト			
符号	階数	部材	継手(仕口)
G1	R	H-400×200×8×13	継手リスト詳細参照
G2	R	H-300×150×6.5×9	継手リスト詳細参照
GW1	R	H-194×150×6×9	継手リスト詳細参照
註	特記を除き 鋼材 SS400 仕口ボルト (S) F10T μ=0.45		

小梁断面リスト			
符号	階数	部材	継手(仕口)
B1 CB1	R	H-294×200×8×12	GR-9, 3-M20
B1A CB1A	R	H-300×150×6.5×9	GR-9, 3-M16
B2 CB2	R	H-200×100×5.5×8	GR-9, 2-M16
B3	-	H-148×100×6×9	GR-6, 2-M12
BW1	-	H-175×90×5×8	GR-6, 2-M12
註	特記を除き 鋼材 SS400 仕口ボルト (S) F10T μ=0.45		

片持梁断面リスト			
符号	階数	部材	継手(仕口)
CG1	R	H-350×175×7×11	継手リスト詳細参照
CG2	R	H-300×150×6.5×9	継手リスト詳細参照
CG3	R	H-200×100×5.5×8	継手リスト詳細参照
註	特記を除き 鋼材 SS400		

大梁継手リスト 1/20						
部材	H-400×200×8×13	H-350×175×7×11	H-300×150×6.5×9	H-194×150×6×9	H-200×100×5.5×8	H-294×200×8×12
断面						
継手	フランジ(外) SP-13, 6-M20 フランジ(内) 2SP-13 ウェブ 2SP-13, 4-M20	SP-13, 4-M20 2SP-13 2SP-13, 3-M20	SP-9, 4-M20 2SP-9 2SP-9, 3-M20	SP-9, 4-M20 2SP-9 2SP-6, 2-M20	SP-9, 4-M16 2SP-9 2SP-6, 2-M16	SP-9, 6-M20 2SP-9 2SP-6, 2-M20



ブレースリスト 1/20		
符号	V1	V2
断面		
主材	M-16 FB-50×6	M-12 FB-50×6
仕口	GR-6 1-M16 (H, T, B)	GR-6 1-M16 (H, T, B)
註	JIS A5540 製品のM16用羽子板ボルト使用可	JIS A5540 製品のM12用羽子板ボルト使用可

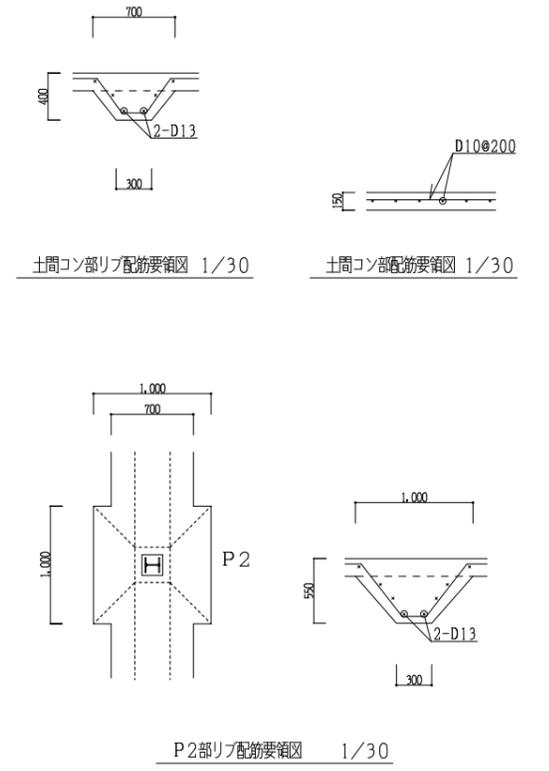
<b>横浜市建築局</b>		工事名	(仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)
年月日	R7.03	縮尺	1/20
図面名称	【管理棟】部材リスト (1)		
設計者	協和建築設計事務所	図面種類	部材リスト
1級建築士登録 第282011号 岩崎 為一		図面枚数	
		図面番号	S-23

株式会社 エスシー・テクノ  
一級建築士事務所 神奈川県横浜市中区 第7880号  
株主総会 (一級建築士大任登録 第371728号)

地中梁リスト		1/20		
符号	FG 1		FG 2・FG 2 A	
断面位置	両端	中央	両端	中央
断面図				
B×D	450×1800		450×1000	
上端筋	4-D22	8-D22	8-D22	4-D22
下端筋	6-D22	4-D22	4-D22	6-D22
スターラップ	□ D13@200		□ D13@200	
腹筋	6-D10		4-D10 (FG2A: 4-D13)	
幅止筋	D10@1000		D10@1000	
註	▨は増し打ち(増し打ち高さは意匠図による。)			

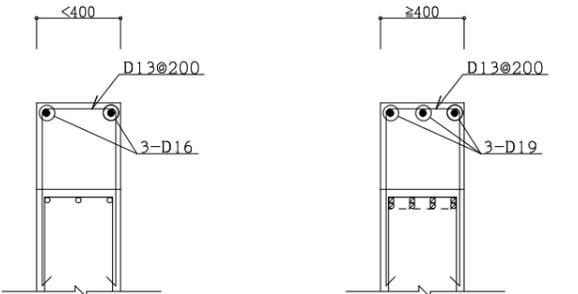
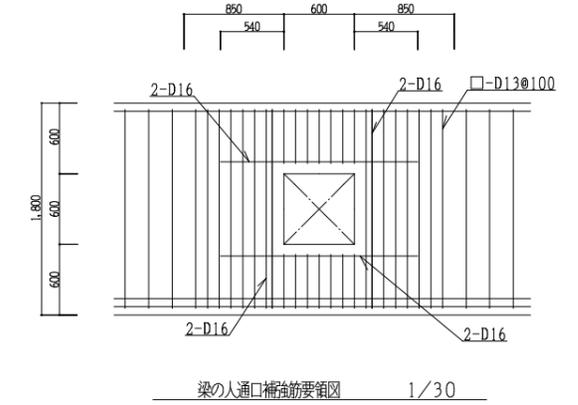
地中片持ち梁リスト		1/20		
符号	FCG 1		FCG 1 A	
断面位置	基端		基端	
断面図				
B×D	350×650		350×650	
上端筋	5-D19		5-D19	
下端筋	5-D19		5-D19	
スターラップ	□ D13@100		□ D13@200	
腹筋	2-D10		2-D10	
幅止筋	D10@1000		D10@1000	
註	▨は増し打ち(増し打ち高さは意匠図による。)			

床版リスト		1/20		
符号	S1		CS1	
断面図				
断面図				



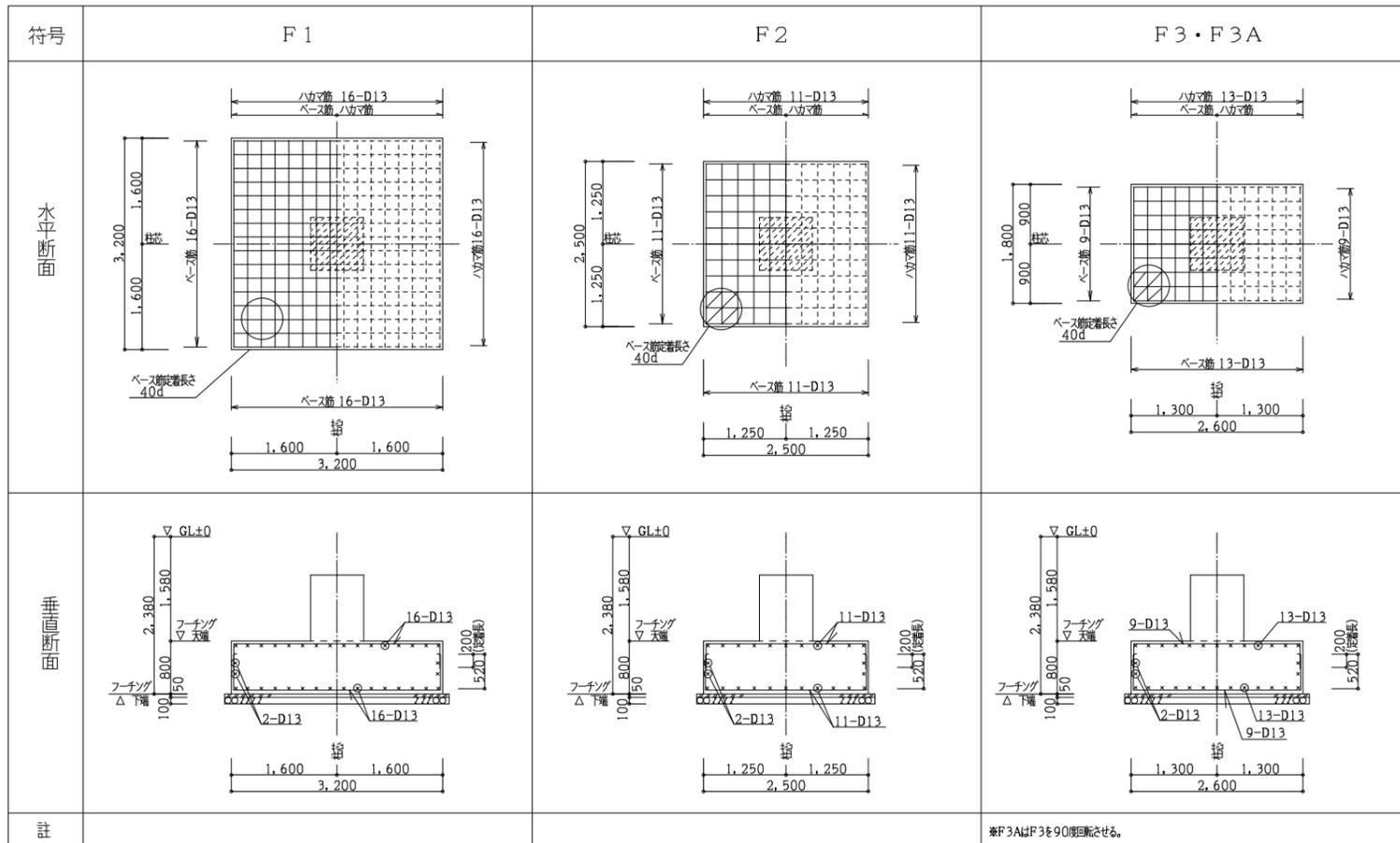
地中小梁リスト		1/20						
符号	FB 1		FB 2	FB 3	FB 3 A		FB 4	
断面位置	両端	中央	全断面	全断面	K X 3 端	中央・他端	両端	中央
断面図								
B×D	400×1800	400×1800	350×400	350×600	350×600	350×600	400×750	400×750
上端筋	3-D25	5-D25	3-D19	3-D19	5-D19	3-D19	3-D19	3-D19
下端筋	3-D25	3-D25	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	6-D19
スターラップ	□ D13@200		□ D10@200	□ D10@200	□ D10@200		□ D13@200	
腹筋	6-D10		-	2-D10	2-D10		4-D10	
幅止筋	D10@1000		D10@1000	D10@1000	D10@1000		D10@1000	
註	▨は増し打ち(増し打ち高さは意匠図による。)							

- D25
- D22
- D19
- D16
- D13
- D10

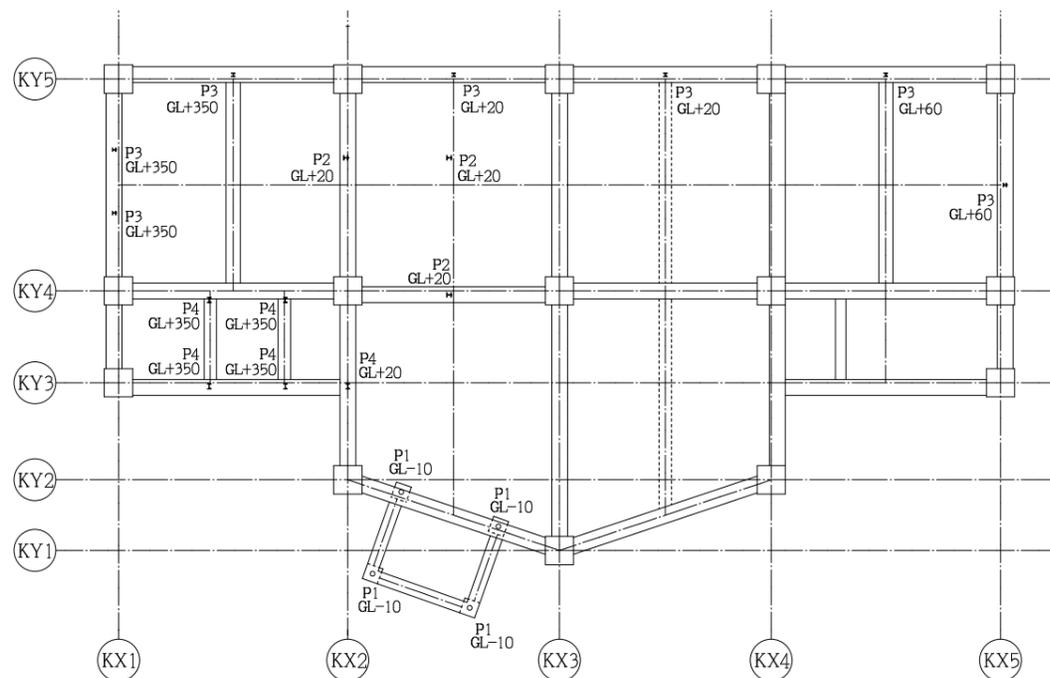


梁上部増し打ち配筋要領図 1/20  
補筋筋は主筋の1段落とし径かつD16以上とする。

梁上部増し打ち配筋要領図 1/20  
補筋筋は主筋の1段落とし径かつD16以上とする。

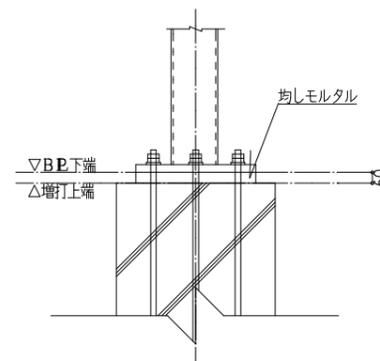


- ⊗ D25
- ∅ D22
- D19
- D16
- × D13
- D10

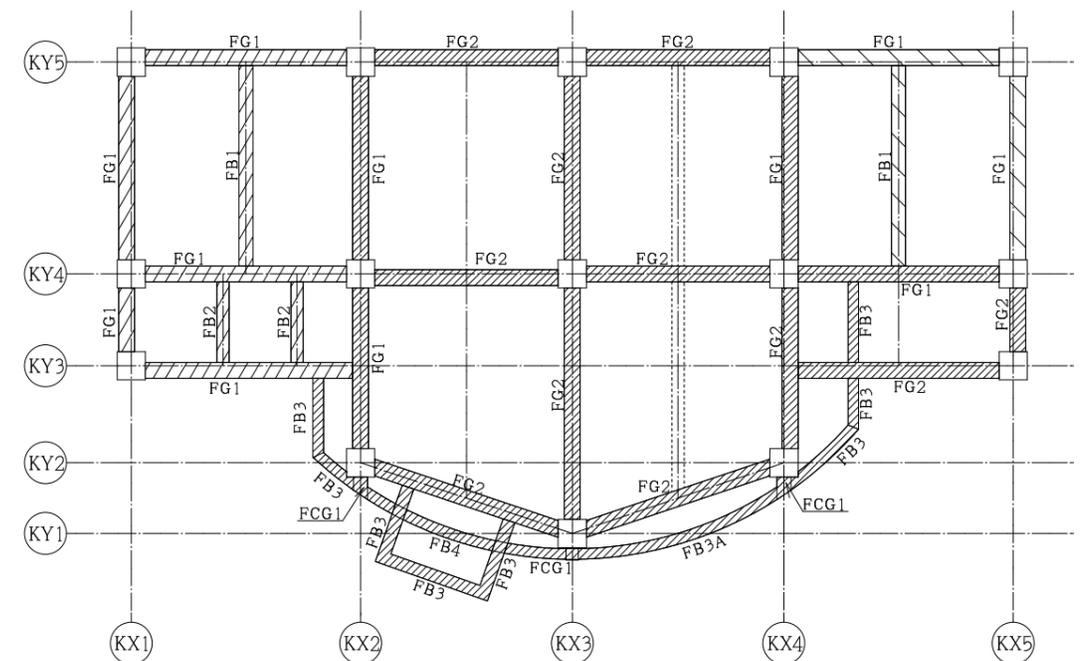


B 配下端高さ図

註 特記を除き下記に依る  
GL~はピン柱のベースプレート下端高さを示す

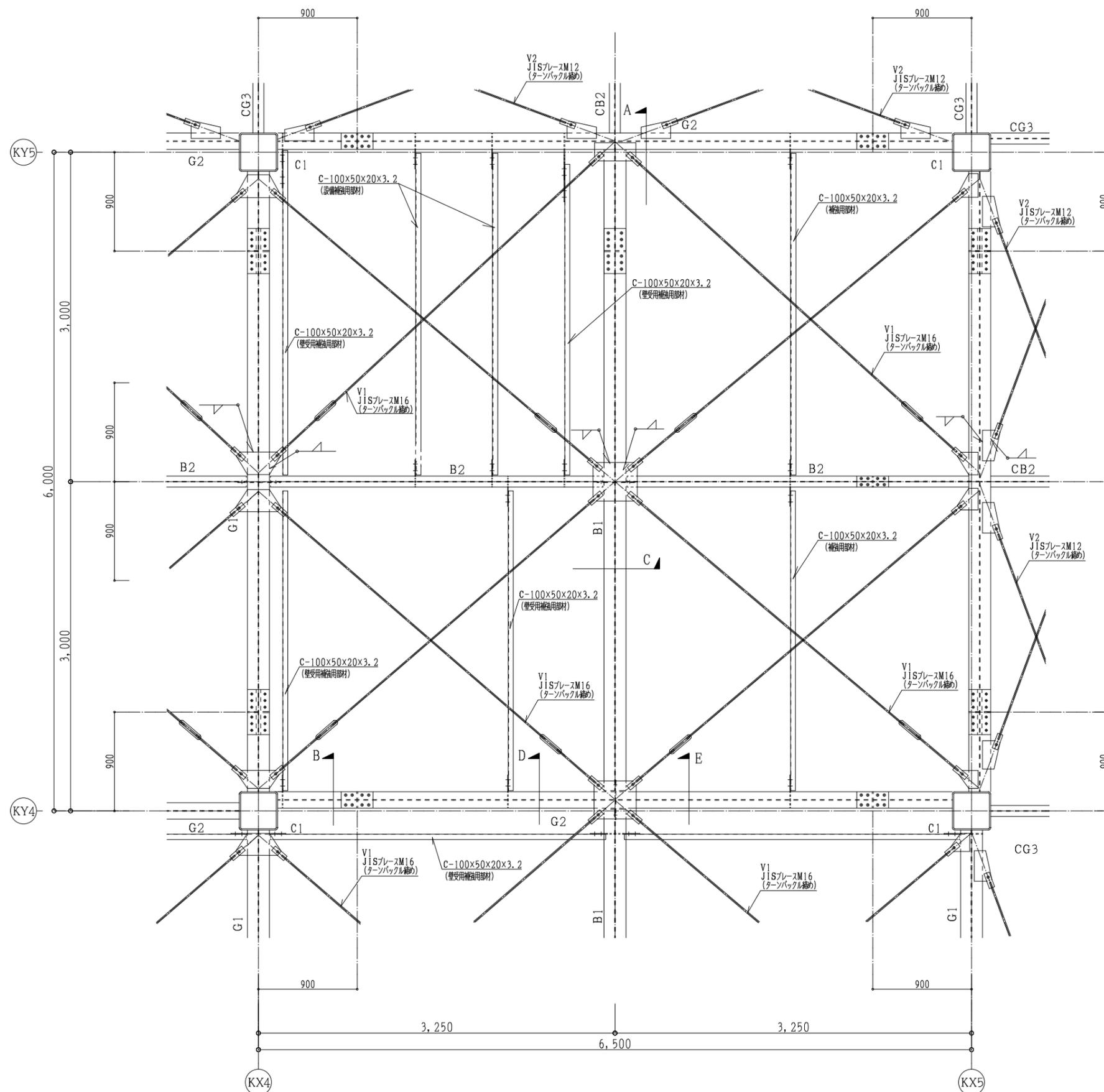


B 配下端高さ位置



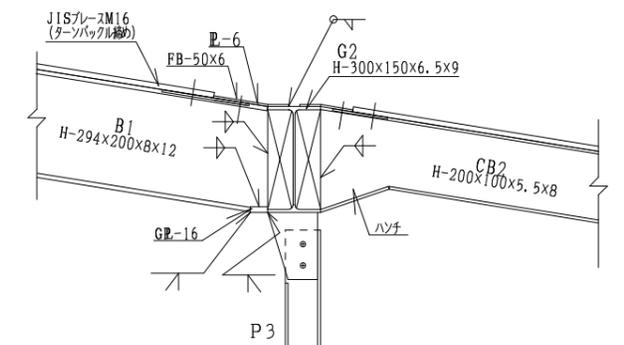
増打ち基準高さ図

註 特記を除き下記に依る  
 は増し打ち高さ490を示す  
 は増し打ち高さ610を示す  
 は増し打ち高さ720を示す  
 ※詳細な増し打ち高さは監理者と協議の上決定する。

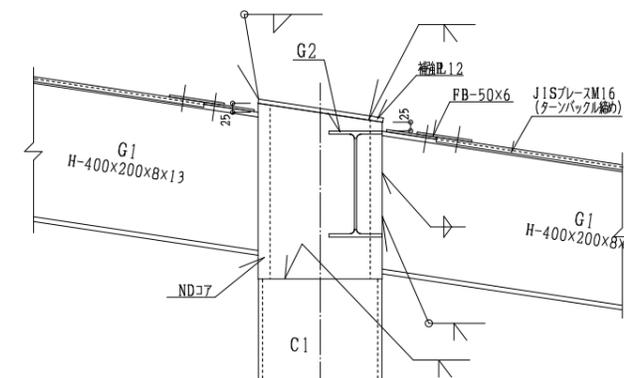


R階水平ブレース詳細図 1/20

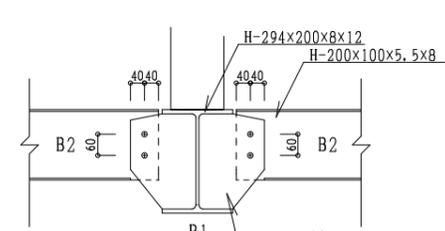
註 特記を除き下記に依る  
 設備用補部材は監理者と協議の上決定すること



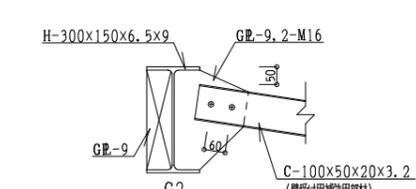
Sec A 1/10



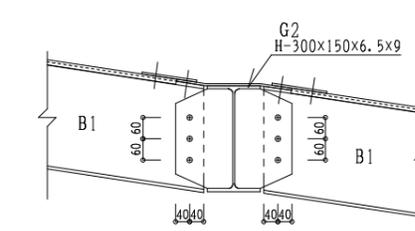
Sec B 1/10



Sec C 1/10



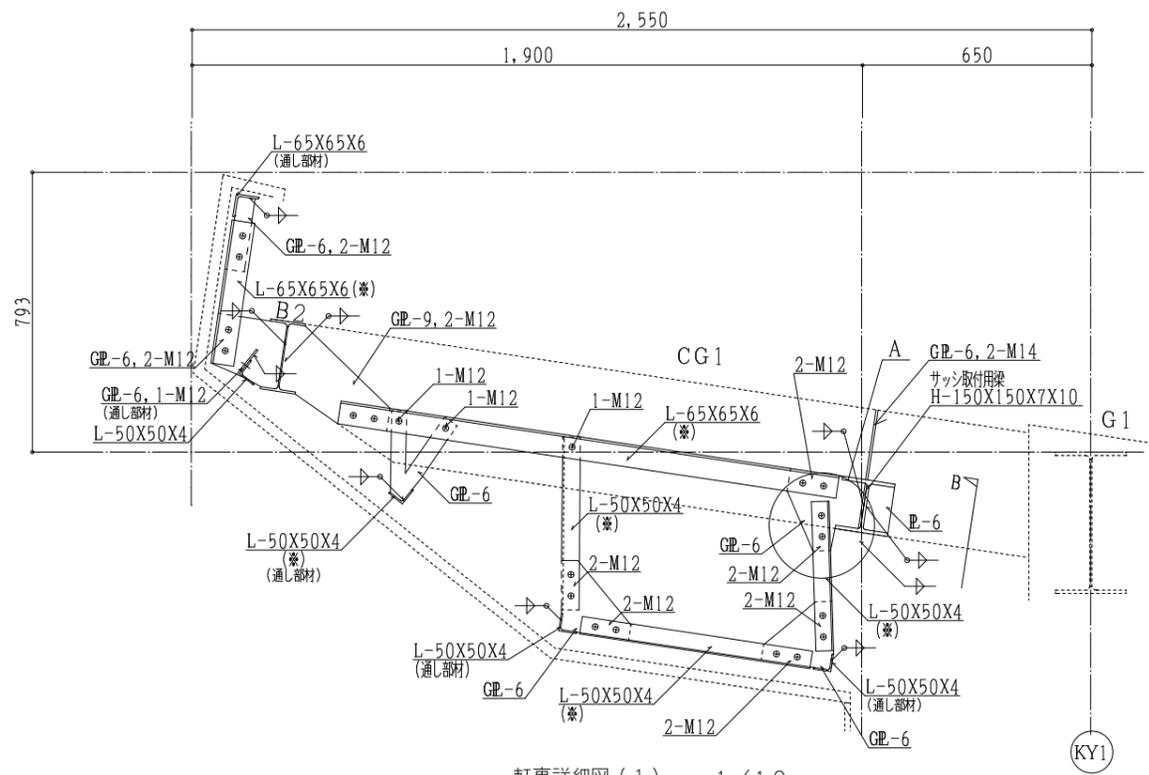
Sec D 1/10



Sec E 1/10

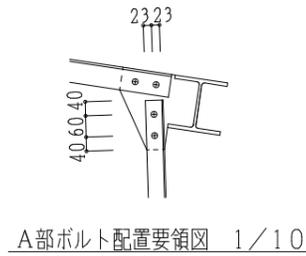
横浜市建築局		工事名称	(仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/10, 1/20	図面名称	【管理棟】層根伏詳細図	
設計者	協和建築設計事務所	図面種類	層根伏	図面枚数	1/20	
施工番号	1級建築士登録 第282011号 見崎 為一	図面番号		図面番号	S-26	

株式会社 エスシー・テクノ  
 一級建築士事務所登録 神奈川県庁登録 第 7880 号  
 株本支店 (一級建築士登録 第 371728 号)

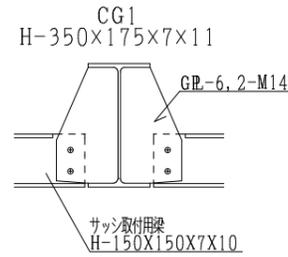


軒裏詳細図(1) 1/10

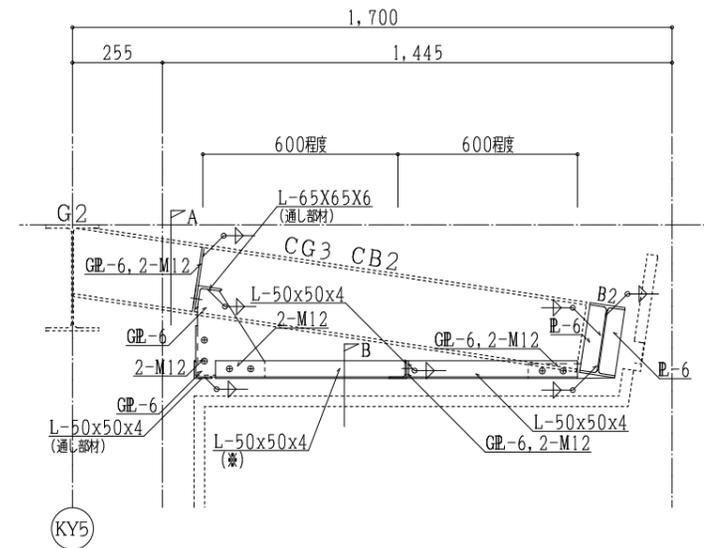
- 註 特記を除き下記に依る
- ・鋼材はSS400N級を使用する
  - ・ボルトはH. T. Bを使用する
  - ・ボルトは原則ピッチ60, はしあき40とする
  - ・※はパネル合わせを示す



A部ボルト配置要領図 1/10

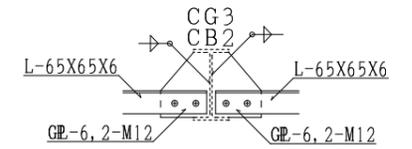


SecB 1/10

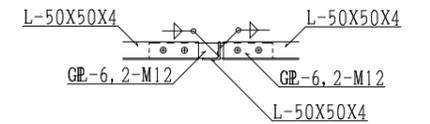


軒裏詳細図(2) 1/10

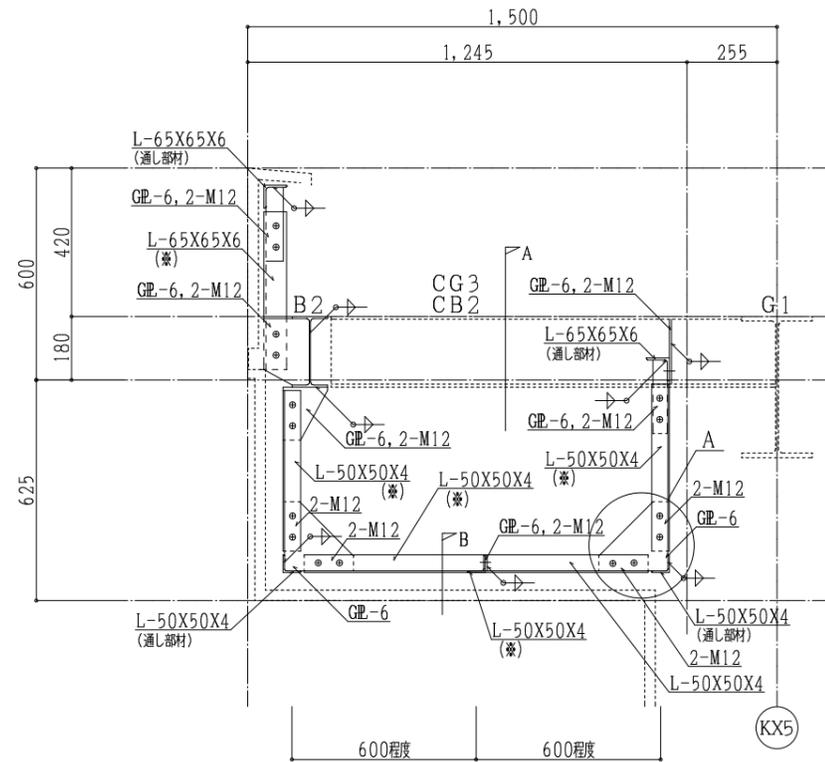
- 註 特記を除き下記に依る
- ・鋼材はSS400N級を使用する
  - ・ボルトはH. T. Bを使用する
  - ・ボルトは原則ピッチ60, はしあき40とする
  - ・※はパネル合わせを示す



SecA 1/10

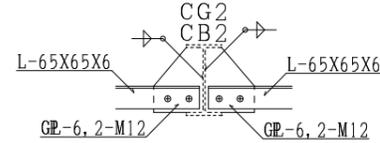


SecB 1/10

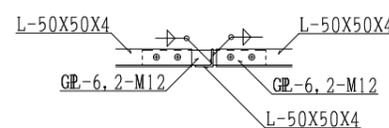


軒裏詳細図(3) 1/10

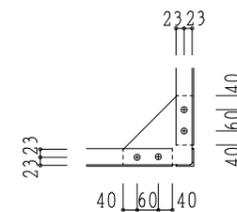
- 註 特記を除き下記に依る
- ・鋼材はSS400N級を使用する
  - ・ボルトはH. T. Bを使用する
  - ・ボルトは原則ピッチ60, はしあき40とする
  - ・※はパネル合わせを示す



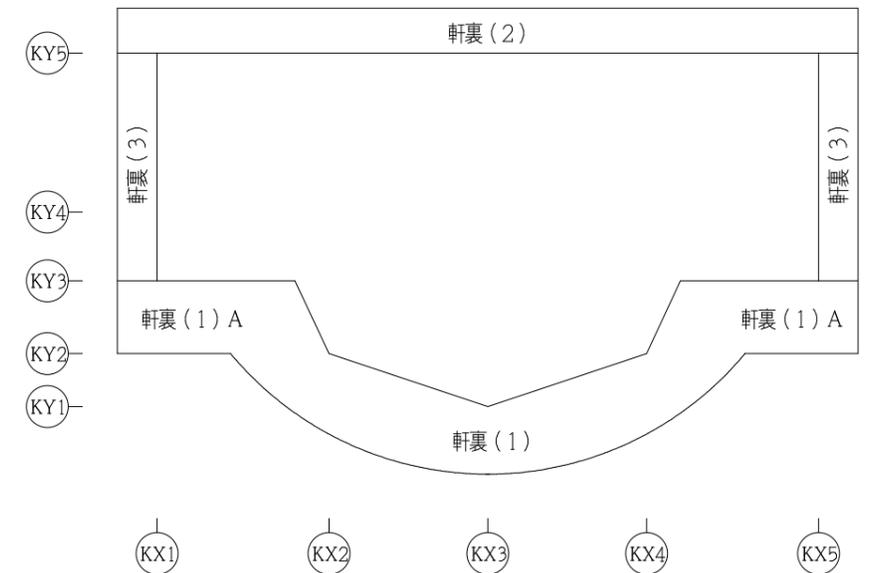
SecA 1/10



SecB 1/10



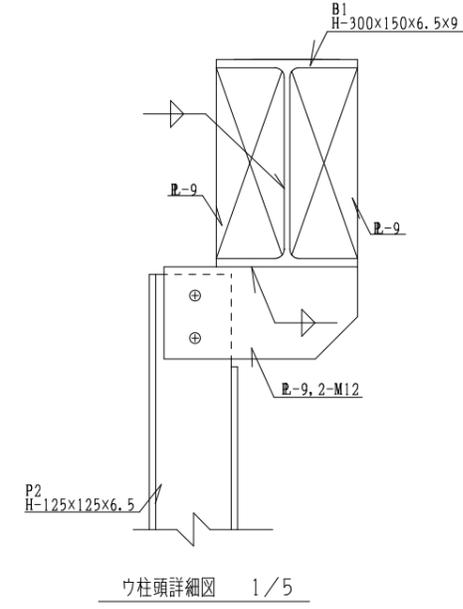
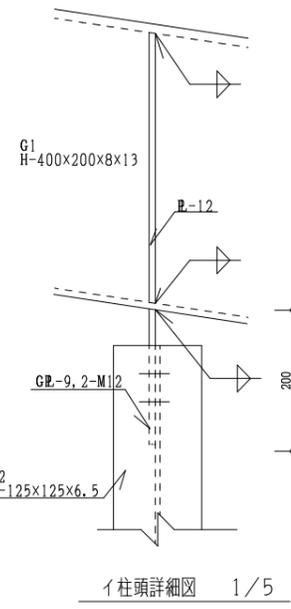
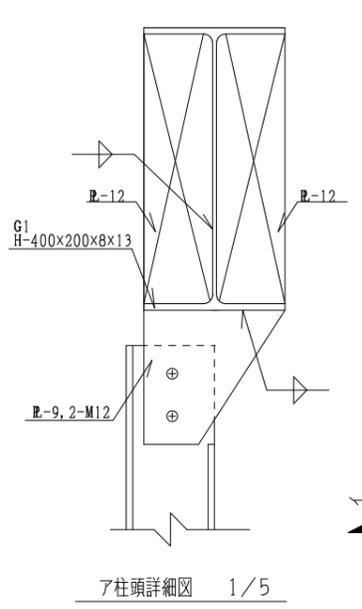
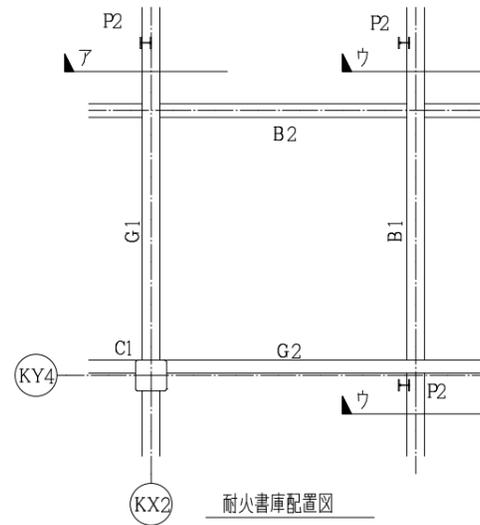
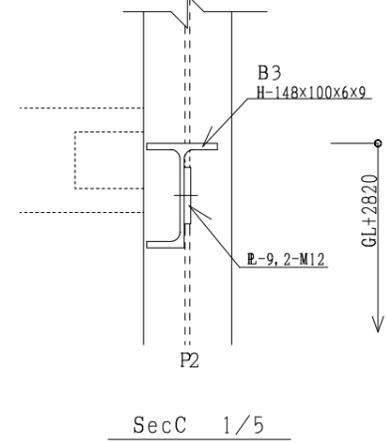
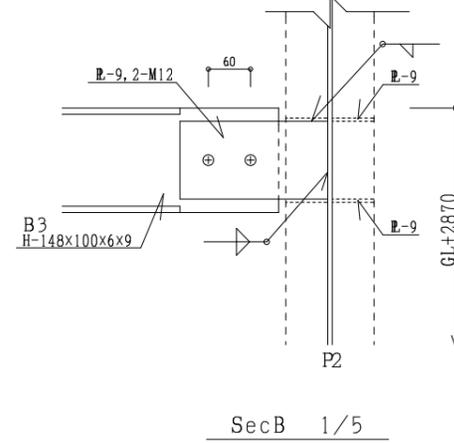
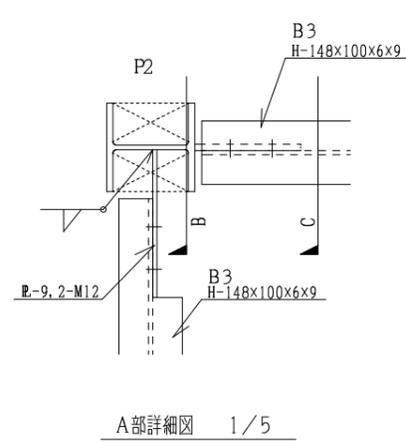
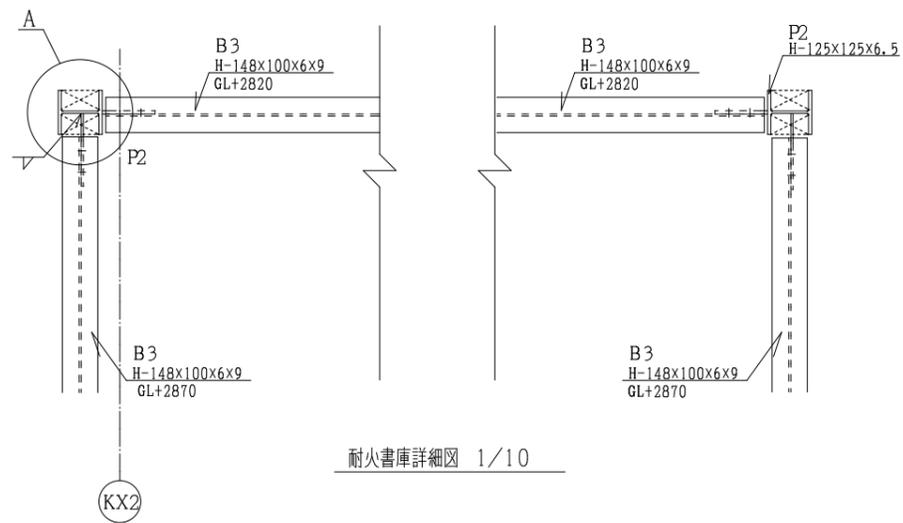
A部ボルト配置要領図 1/10



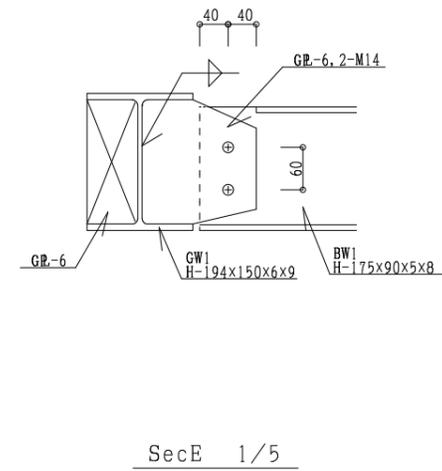
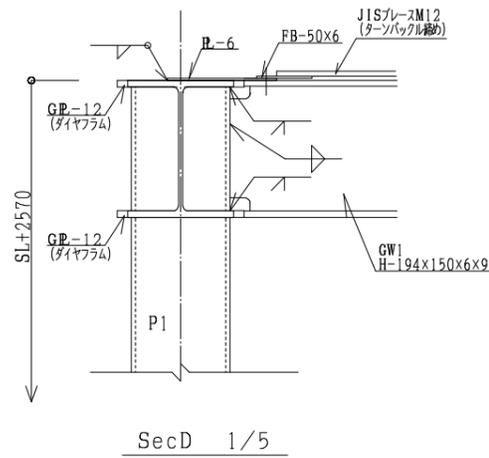
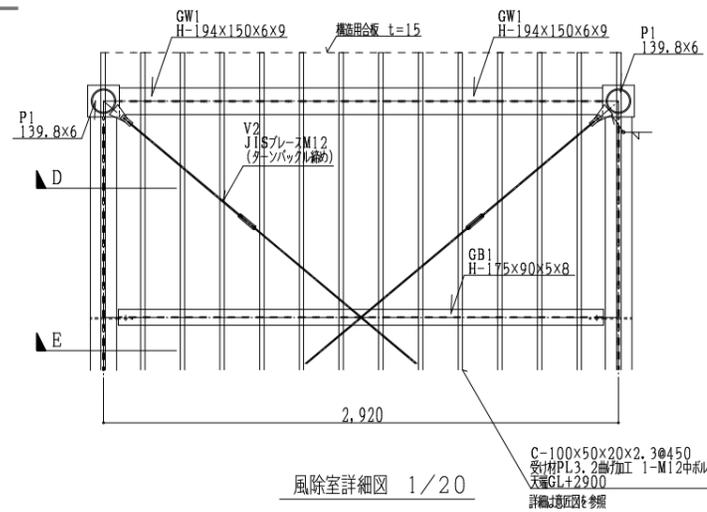
軒裏配置図

横浜市建築局				工事名	(仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/10	図面名称	【管理棟】軒裏詳細図			
設計者				施設番号	種別	年度	図面枚数	図面番号
設計 協和建築設計事務所				1級建築士登録 第282011号 見崎 為一				
1級建築士登録 第371728号				S-27				

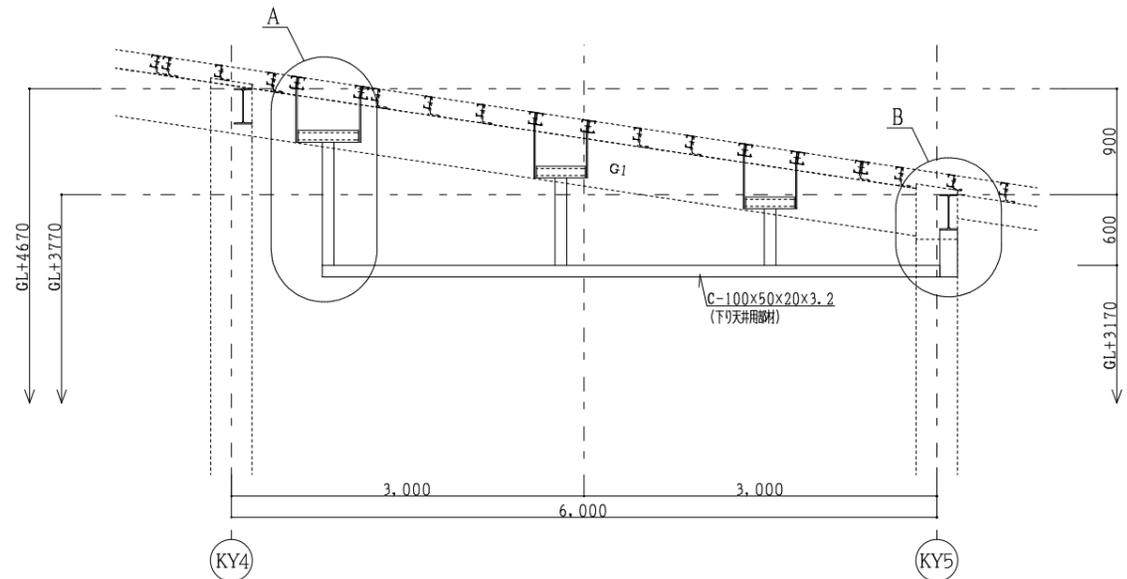
耐火書庫詳細図



風除室詳細図

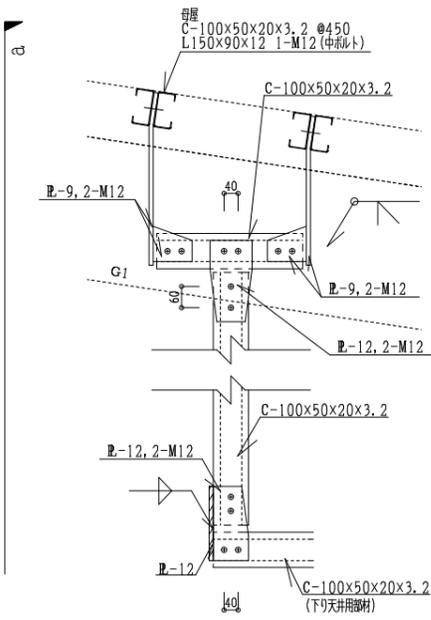


横浜市建築局		工事名	(仮称)舞岡基園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/5, 1/10, 1/20			
設計者		図面名称	【管理棟】雑詳細図 (1)			
株式会社 エスシー・テクニカ 一級建築士事務所 登録 神奈川県知事登録 第 7880 号 横浜 1-1-1 協和ビル 3F (一部建築士登録 第 371728 号)		図面番号	棟番号	完成年度	図面種類	図面枚数
						S-28



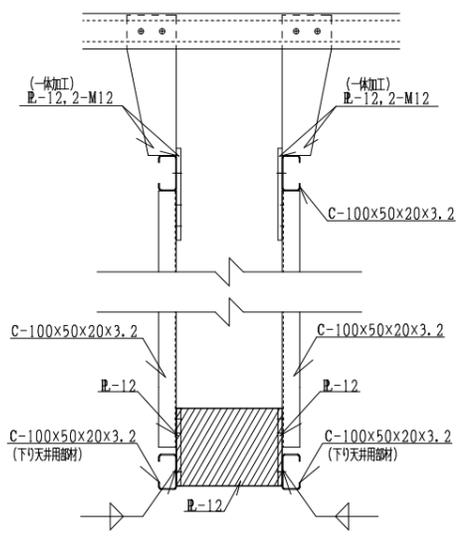
下り天井用部材位置図 1/30

※吊り位置については監理者と協議の上決定する。

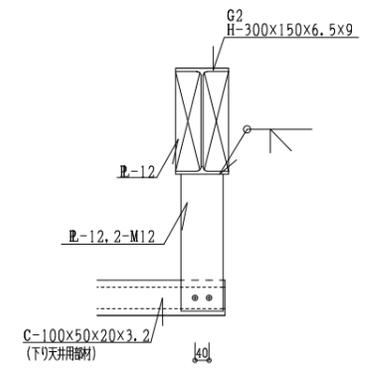


A詳細図 1/10

※部材位置については監理者と協議の上決定する。



Sec a 1/10

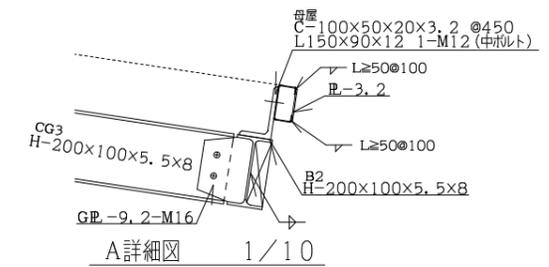
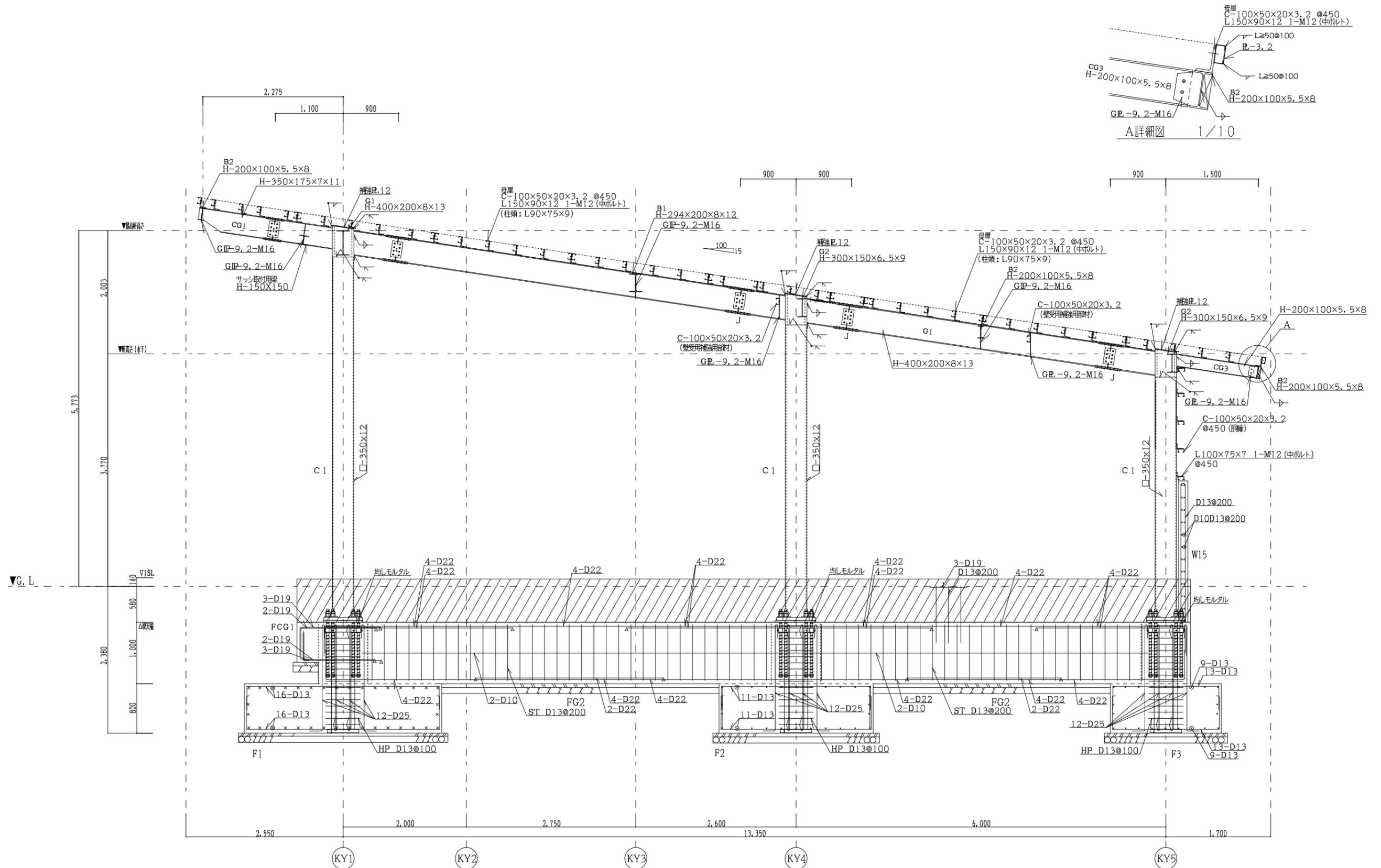


B詳細図 1/10

横浜市建築局		工事名	(仮称)舞岡墓園管理棟その他新築工事 (建築工事)			
年月日	R7.03	縮尺	1/10, 1/30			
図面名称	【管理棟】雑詳細図(2)					図面番号
設計者	株式会社 協和建築設計事務所 1級建築士登録 第282011号 児嶋 為一					図面番号
図面枚数	S-29					図面番号

株式会社 エスシー・テクニカ  
一般建築士事務所登録 神奈川県知事登録 第 7880 号  
設計者 株式会社 協和建築設計事務所  
1級建築士登録 第 371728 号





KX3通り詳細図 1/30

註 特記を除き下記に依る  
 〰〰〰は梁の増し打ちを示す

<b>横浜市建築局</b>		工事名 (仮称)舞岡墓園管理棟その他新築工事 (建築工事)
年月日 R7.03	縮尺 1/30	図面名称 【管理棟】鉄骨詳細図(2)
設計者 株式会社 エスシー・テクニカ 一級建築士事務所登録 東京都知事登録 第 7880 号 株式会社 (一級建築士) 建築士 第 371728 号	図面番号 1級建築士登録 第282011号 現場 為一	図面枚数 図面番号 S-31